

# 田篠塚原遺跡・福島駒形遺跡 福島鹿嶋下遺跡・福島椿森遺跡

国道254号道路改築工事に伴う  
埋蔵文化財調査報告書 第1集

(観察表・写真図版編)

1998



# 田篠塚原遺跡・福島駒形遺跡 福島鹿鳴下遺跡・福島椿森遺跡

国道254号道路改築工事に伴う  
埋蔵文化財調査報告書 第1集

(観察表・写真図版編)

1998





## 凡 例

本書は「田霧塚原遺跡・福島駒形遺跡・福島鹿嶋下遺跡・福島椿森遺跡」遺物観察表および写真図版編である。本編にかかわる凡例については一括して記す。

### 遺物一覧表・遺物観察表

- 1 遺物は本文に掲載した挿図番号の順に掲載した。
- 2 遺物の種類毎に表の書式は異なっている。
- 3 写真PLナンバーの次に記した数字は、各ページの左上から右側へ数えたコマ番号である。
- 4 遺物番号は本文および写真図版に掲載した番号と一致している。なお、滑石製品・未製品の一覧表中には図示していないものが含まれている。
- 5 表中には以下のような略後を使用した。

土器類 口→口縁直径、頸→頸部外径、胴→胴部外径、底→底部外径 高→器高、台または脚上→台部または脚部上端径、台または脚下→台または脚部下端径 孔→穿孔のあるものの孔部の内径。なお、復元径であるものは（ ）、器高などで部分的な計測値の場合は〔 〕を加えた。

石器類 長さ→縦横の区別のあるものは縦軸長、ないものは長軸値、幅→縦横のあるものは横軸値、ないものは短軸値、厚→厚さ、重→重さ。（ ）および〔 〕は土器類と同様である。

- 6 土器胎土の観察については下記の分類による記号を使用した。

A：粗砂・細礫サイズの結晶片岩・乳白色石英・角閃石や黒色・赤色・白色岩片を多く含む。

B：細砂サイズの雲母粒を多量に含む素地土で、乳白色石英の粗砂・細礫を僅かに含む以外夾雑物に乏しい緻密な胎土。

C：Aに類似するが、結晶片岩の混入が皆無に近く、夾雑物の多い砂質的な胎土。

D：Aに類似するが、夾雑物の各鉱物の粒径が粗大となる。

E：生地土に雲母粒を多量に含む点でBに類似するが、夾雑物はAに類似する。

F：ダスト状の極めて細かな素地で、手に微粒子が付く。結晶片岩のまじる各種細礫をやや多量に含む。

G：その他。

- 7 土器類の色調については「新版標準土色帖」を用いて記載した。

- 8 滑石製白玉の製作工程を示すための分類は77頁に記載した。

### 写真図版

- 1 写真図版の掲載順は概ね本文と同じである。
- 2 遺物類の縮率は本分挿図と同一となるようにしたが、一部同じでないものがある。
- 3 カラー口絵は本文編の巻頭に掲載した。

## 遺物観察表 目次

<b>1 田橋塚原遺跡</b> .....	1	28号住居出土遺物 .....	28
1 住居跡出土遺物 .....	1	29号住居出土遺物 .....	29
1号住居出土遺物 .....	1	30号住居出土遺物 .....	29
2号住居出土遺物 .....	1	31号住居出土遺物 .....	30
3号住居出土遺物 .....	1	32号住居出土遺物 .....	31
4号住居出土遺物 .....	2	33号住居出土遺物 .....	31
5号住居出土遺物 .....	2	34号住居出土遺物 .....	31
6号住居出土遺物 .....	4	2 古墳出土遺物 .....	32
7号住居出土遺物 .....	5	3 土坑・井戸・集石出土遺物 .....	33
8号住居出土遺物 .....	6		
9号住居出土遺物 .....	7		
10号住居出土遺物 .....	7	<b>3 福島鹿嶋下遺跡</b> .....	34
11号住居出土遺物 .....	8	1 縄文時代の遺物 .....	34
12号住居出土遺物 .....	8	1号配石 .....	34
13号住居出土遺物 .....	8	2号配石 .....	34
<b>2 畠出土遺物</b> .....	9	3号配石 .....	35
<b>3 古墳出土遺物</b> .....	9	4号配石 .....	35
1号墳出土遺物 .....	9	5号配石 .....	36
2号墳出土遺物 .....	10	その他の遺構出土縄文時代遺物 .....	36
3号墳出土遺物 .....	11	遺構外出土縄文時代の遺物 .....	37
4号墳出土遺物 .....	12	<b>2 堅穴住居</b> .....	41
5号墳出土遺物 .....	13	1号住居出土遺物 .....	41
6号墳出土遺物 .....	13	2号住居出土遺物 .....	41
7号墳出土遺物 .....	14	3号住居出土遺物 .....	42
<b>4 特殊土坑・土坑出土遺物</b> .....	14	4号住居出土遺物 .....	42
<b>5 遺構外遺物</b> .....	15	5号住居出土遺物 .....	43
		6号住居出土遺物 .....	44
		7号住居出土遺物 .....	45
		8号住居出土遺物 .....	45
		9号住居出土遺物 .....	46
		10号住居出土遺物 .....	46
		11号住居出土遺物 .....	46
		12号住居出土遺物 .....	47
		13号住居出土遺物 .....	47
		14号住居出土遺物 .....	48
		15号住居出土遺物 .....	48
		16号住居出土遺物 .....	48
		17号住居出土遺物 .....	49
		18号住居出土遺物 .....	50
		19号住居出土遺物 .....	50
		20号住居出土遺物 .....	50
		3 堅穴状遺構出土遺物 .....	51
		4 土坑・溝出土遺物 .....	51
		<b>4 福島特森遺跡</b> .....	53
		1 墓坑出土遺物墳 .....	53
		2 土坑出土遺物 .....	53
		<b>5 滑石頭一覽表</b> .....	54
		福島駒形遺跡26号住居 .....	54
		福島駒形遺跡29号住居 .....	54
		福島鹿嶋下遺跡1号住居 .....	60
		福島鹿嶋下遺跡10号住居 .....	75
		福島鹿嶋下遺跡11号住居 .....	75
<b>2 福島駒形遺跡</b> .....	16		
1 住居跡出土遺物 .....	16		
1号住居出土遺物 .....	16		
2号住居出土遺物 .....	16		
3 A号住居出土遺物 .....	16		
3 B号住居出土遺物 .....	16		
4号住居出土遺物 .....	17		
5号住居出土遺物 .....	17		
6号住居出土遺物 .....	17		
7号住居出土遺物 .....	19		
9号住居出土遺物 .....	19		
11号住居出土遺物 .....	20		
12号住居出土遺物 .....	21		
13号住居出土遺物 .....	21		
14号住居出土遺物 .....	23		
15号住居出土遺物 .....	23		
16号住居出土遺物 .....	24		
17号住居出土遺物 .....	25		
19号住居出土遺物 .....	25		
20号住居出土遺物 .....	25		
21号住居出土遺物 .....	25		
22号住居出土遺物 .....	26		
23号住居出土遺物 .....	26		
25号住居出土遺物 .....	27		
26号住居出土遺物 .....	27		
27号住居出土遺物 .....	28		

## 写真図版 目次

<b>全 景</b>				
P L - 1	1	田篠塚原遺跡遠景 (東から)	3 東側玄室側壁	
	2	田篠塚原遺跡遠景 (上空から)	4 東側奥遺側壁	
	3	田篠塚原遺跡遠景 (1・2号墳)	5 西側奥込め断面	
P L - 2	1	福島駒形遺跡遠景 (東から)	6 東側奥込め断面	
	2	福島駒形遺跡遠景 (西から)	7 基礎敷石	
	3	福島鹿嶋下遺跡遠景 (西から)	8 敷石下	
<b>田篠塚原遺跡</b>				
P L - 3	1	1号住居 全景	P L - 12	1 3号墳調査前状況 (南から)
	2	1号住居 炉E-E'断面	2 石室側面 (東から)	
	3	2号住居 全景	3 石室全景 (南から)	
	4	2号住居 炉E-E'断面	4 石室側面 (西から)	
	5	2号住居 2号炉F-F'断面	5 狭道	
	6	3・4号住居 全景	6 西側奥遺側壁	
	7	3号住居 炉F-F'断面	7 西側玄室側壁	
	8	4号住居 遺物出土状態	P L - 13	1 3号墳石室全景
P L - 4	1	5号住居 全景	2 東側奥込め下	
	2	5号住居 および遺物出土状態	3 石室内遺物出土状態	
	3	5号住居 A-A'断面	4 東側玄室側壁	
	4	6号住居 全景	5 東側奥遺側壁	
	5	6号住居 遺物出土状態	6 基礎敷石	
P L - 5	1	6号住居 1号炉	7 敷石下	
	2	6号住居 2号炉	P L - 14	1 4号墳調査前状況 (東から)
	3	7号住居 全景	2 調査前状況 (西から)	
	4	7号住居 遺物出土状態	3・4・5 墳丘上堆積状況	
	5	7号住居 遺物	6 狭道閉塞状況 (北から)	
	6	7号住居 炉D-D'断面	7 狭道閉塞状況 (南から)	
	7	8号住居 全景	P L - 15	1 4号墳全景 (南から)
P L - 6	8	8号住居 遺物出土状態	2 4号墳と菅森稲荷神社古墳 (北西から)	
	1	8号住居 遺物出土状態	3 上段貼石 (北側)	
	2	9号住居 全景	4 上段貼石 (西側)	
	3	10号住居 全景	5 上段貼石 (東側)	
	4	4・5 10号住居 遺物出土状態	P L - 16	1 4号墳石室正面
	5	10号住居 貯蔵穴	2 前庭東側	
	6	10号住居 炉F-F'断面	3 前庭西側	
	7	10号住居 A-A'断面	4 前庭東縁石積み	
	8	11号住居 全景	5 前庭西縁石積み	
	9	11号住居 遺物出土状態	P L - 17	1 4号墳玄室
P L - 7	1	11号住居 貯蔵穴内遺物出土状態	2 奥壁	
	2	11号住居 貯蔵穴	3 東側玄室側壁と奥壁	
	3	11号住居 貯蔵穴内遺物出土状態	4 西側玄室側壁と奥壁	
	4	11号住居 貯蔵穴	5 東側玄室と裾部	
	5	12号住居 全景	6 西側玄室と裾部	
	6	12号住居 遺物出土状態	P L - 18	1 4号墳西門西脇
	7	13号住居 全景	2 西門東脇	
	8	13号住居 遺物出土状態	3 奥壁西側最上段	
	1	方形周溝墓 円形周溝状遺構全景	4 西側奥込め	
	2	方形周溝墓 A-A'断面	5 東側奥込め	
	3	方形周溝墓 B-B'断面	6 西側奥込め	
	4	方形周溝墓 C-C'断面	P L - 19	1 4号墳貼石と墳丘内石組
	5	4号墓	2 東側墳丘内石組	
P L - 9	1	1号墳調査前状況 (東から)	3 墳丘F'断面と墳丘内石組	
	2	石室周辺の礎石 (南から)	4 西側墳丘内石組崩落状態	
	3	全景 (東から)	5 墳丘F'断面	
	4	全景 (南から)	6 西側墳丘内石組崩落状態	
	5	基壇 (西から)	7 東側墳丘内石組	
	6	東側周溝 (南から)	P L - 20	1 4号墳奥壁上段
	7	西側周溝 (南から)	2・3・4 石室石材の割れ	
P L - 10	1	2号墳調査前状況 (南から)	5 墳丘内石列	
	2	開廊石	6 墳丘内石組と石列	
	3	全景 (東から)	7 墳丘F'断面	
	4	石室全景 (南から)	8 墳丘F'断面	
	5	石室全景 (北から)	P L - 21	1 4号墳墳丘内石組最下段 (北から)
	6	西側奥込め	2 奥壁外側 (北から)	
P L - 11	1	東側奥込め	3 奥壁最下段と石室 (北から)	
	2	西側玄室側壁	4 基礎敷石 (北から)	
			5 敷石断面	
			6 墳丘下土層断面	
			P L - 22	1 5号墳調査前状況 (南東から)
			2	西側墳丘上A-A'断面

PL-22	3	石室全景	9	3号溝	全景
	4	墳丘A-A'断面	PL-32	1	2号墓
	5	閉塞断面		2・3	3号墓
	6	奥壁外側		4	IV区全景
	7	東面玄門と側壁		5	B地点試掘
PL-23	1	5号墳石室最下段		6	A地点附属跡
	2	西面開口部		7	A地点As-B下全景
	3	奥壁最下段	PL-33	1~3	号住居出土遺物
	4	西側側壁裏	PL-34	4・5	号住居出土遺物
	5	散石断面	PL-35	5	号住居出土遺物
	6	基壇散石(南から)	PL-36	6・7	号住居出土遺物
	7	礎置き下(南から)	PL-37	7	号住居出土遺物
PL-24	1	6号墳調査前状況(西から)	PL-38	7	号住居出土遺物
	2	全景(西から)	PL-39	7	号住居出土遺物
	3	石室全景(南から)	PL-40	8	号住居出土遺物
	4	羨門および階臺	PL-41	9・10	号住居出土遺物
	5	奥壁裏込め	PL-42	11~13	号住居出土遺物
	6	基石側面			福島納骨遺跡
PL-25	1	6号墳石室全景	PL-43	1~3	号墳出土遺物
	2	西面玄室側壁および奥壁	PL-44	4~7	号墳出土遺物
	3	東面玄室側壁および奥壁	PL-45	4・5	号特殊土坑、1・2号墓、 26・35号土坑、遺構外出土遺物
	4	西面奥道側壁	PL-46		遺構外出土遺物
	5	奥壁	PL-47	1	1号住居 全景
	6	東面玄門および玄室側壁		2	1号住居 竈
	7	東側奥道側壁		3	2号住居 全景
PL-26	1	6号墳全景		4	2号住居 遺物出土状態
	2	石室正面		5	3号住居 全景
	3	石室最下段		6	3号住居 竈
	4	西側裏込め		7	4号住居 全景
	5	西側葺き石		8	5号住居 全景
	6	基壇散石最下段(南から)	PL-48	1	6号住居 全景
	7	礎置き下(南から)		2	6号住居 竈内遺物出土状態
PL-27	1	7号墳全景		3	6号住居 竈
	2	周堀内遺物出土状態(北から)		4	8号住居 全景
	3	周堀断面		5	7号住居 全景
	4	4号墳簡易買入試験		6	7号住居 竈G-G'断面
	5	4号墳墳丘試料採取		7	9号住居 全景
	6	4号墳調査風景		8	10号住居 A-A'断面
PL-28	1	1号特殊土坑 全景	PL-49	1	11号住居 遺物出土状態
	2	1号特殊土坑 断面		2	11号住居 伊断面
	3	2号特殊土坑 遺物		3	12・13号住居 全景
	4	2号特殊土坑 断面		4	13号住居 伊
	5	3号特殊土坑 断面		5	14号住居 全景
	6	4号特殊土坑 遺物		6	15号住居 全景
	7	5号特殊土坑 断面		7	15号住居 B-B'断面
	8	5号特殊土坑 断面	PL-50	1	16号住居 全景
PL-29	1	1号土坑 全景		2	16号住居 竈
	2	1号土坑 断面		3	17号住居 全景
	3	2号土坑 全景		4	17号住居 竈
	4	2号土坑 断面		5	18・19号住居 全景
	5	3号土坑 全景		6	19号住居 竈H-H'断面
	6	8号土坑 断面		7	20号住居 全景
	7	5・6・7号土坑 全景		8	20号住居 遺物
PL-30	1	13・14号土坑 全景	PL-51	1	21号住居 全景
	2	15号土坑 全景		2	21号住居 貯蔵穴
	3	16号土坑 断面		3	22号住居 全景
	4	19号土坑 全景		4	22号住居 竈周辺遺物
	5	21号土坑 全景		5	23号住居 全景
	6	22号土坑 全景		6	24号住居 全景
	7	23号土坑 露出土状態		7	26号住居 全景
	8	25号土坑 全景		8	26号住居 遺物
	9	26号土坑 全景	PL-52	1	25号住居 全景
	10	27号土坑 全景		2	27号住居 全景
PL-31	1	28号土坑 断面		3	28号住居 全景
	2	29号土坑 全景		4	28号住居 遺物
	3	30・31号土坑 全景		5	29号住居 全景
	4	32号土坑 全景		6	29号住居 貯蔵穴内遺物
	5	33号土坑 全景		7	30号住居 全景
	6	35号土坑 断面		8	30号住居 遺物
	7	1号溝 全景	PL-53	1	31号住居 全景
	8	2号溝 断面			

	2	31号住居	竪F-F'断面		5	56号土坑	全景
	3	31号住居	貯蔵穴内遺物		6	59号土坑	全景
	4	33号住居	全景		7	60号土坑	遺物出土状態
	5	32号住居	全景		8	61号土坑	全景
	6	32号住居	貯蔵穴C-C'断面	PL-63	1	63号土坑	全景
	7	34号住居	全景		2	64号土坑	全景
	8	34号住居	竪内遺物		3	65号土坑	全景
PL-54	1	1号墳	A-B-A下線(北から)		4	66・67号土坑	全景
	2	石室側面	(北から)		5	68号土坑	全景
	3	石室側面	(北から)		6	69号土坑	全景
	4	石室側面	(西から)		7	70号土坑	全景
	5	1号墳	全景(上から)		8	71号土坑	全景
PL-55	1	1号墳	石室全景(南から)	PL-64	1	72号土坑	全景
	2	袖部とまぐさ石	(北から)		2	73号土坑	全景
	3	まぐさ石			3	74号土坑	全景
	4	東側玄室側壁			4	81号土坑	全景
	5	袖部と東側玄室側壁			5	75号土坑	全景
	6	東側渡道側壁			6	76号土坑	全景
PL-56	7	西側玄室側壁			7	78号土坑	全景
	1	羨門と羨道西側側壁			8	79号土坑	全景
	2	羨門と羨道東側側壁			9	80号土坑	遺物
	3	西側墳丘B-B'断面			10	82号土坑	断面
	4	北側墳丘A-A'断面			11	83号土坑	断面
	5	石室最下段(南から)		PL-65	1	1号溝	全景
	6	石室最下段(北から)			2	2号溝	全景
	7	竪庭付近(南から)			3	3号溝	全景
	8	石室下の礎敷き(北から)			4	4号溝	全景
PL-57	1	1・2号竪立柱建物	全景	PL-66	1	柱穴列	
	2	3号竪立柱建物	全景		2	1号井戸	全景
	3	4号竪立柱建物	全景		3	IV区基盤層	
	4	5号竪立柱建物	全景		4	1号集石	調査前風景
	5	6号竪立柱建物	全景		5	1号集石	全景
	6	7号竪立柱建物	全景		6	発掘調査風景	
	7	8号竪立柱建物	全景	PL-67	1	5号住居出土遺物	
	8	9号竪立柱建物	全景	PL-68	6	号住居出土遺物	
PL-58	1	10号竪立柱建物	全景	PL-69	7	・9~11号住居出土遺物	
	2	1号土坑	全景	PL-70	11	~13号住居出土遺物	
	3	2号土坑A-A'断面		PL-71	13	~15号住居出土遺物	
	4	4号土坑A-A'断面		PL-72	16	・17・19~21号住居出土遺物	
	5	5号土坑	全景	PL-73	22	・23・25~26号住居出土遺物	
	6	6号土坑	全景	PL-74	26	~28号住居出土遺物	
	7	8号土坑	全景	PL-75	28	~29号住居出土遺物	
	8	10~13号土坑	全景	PL-76	30	・31号住居出土遺物	
PL-59	1	14号土坑	全景	PL-77	32	~34号住居・8号竪立柱建物・土坑出土遺物	
	2	15~19号土坑	全景	PL-78	1	号墳出土遺物	
	3	15号土坑	全景	福島鹿鳴下遺跡			
	4	16号土坑	全景	PL-79	1	号集石・遺構外出土遺物	
	5	17号土坑	全景	PL-80	1	縄文時代遺構確認面	
	6	18号土坑	全景		2	1号配石	確認面
	7	19号土坑	炭化物出土状態		3	1号配石	全景
	8	20号土坑	全景		4	1号配石	伊周辺
PL-60	1	21号土坑	全景		5	1号配石	伊
	2	22号土坑	全景		6	1号配石	伊断面
	3	24~26号土坑	全景	PL-81	1	2号配石	全景
	4	27号土坑	全景		2	2号配石	列石
	5	28号土坑B-B'断面			3	4号配石	確認面
	6	29~31号土坑	全景		4	4号配石	伊断面
	7	34号土坑	全景		5	4号配石	全景
	8	35号土坑	全景		6	4号配石	伊
PL-61	1	36号土坑	全景		7	5号配石	全景
	2	37号土坑A-A'断面		PL-82	1	1号住居	全景
	3	38・39号土坑	全景		2	2号住居	遺物出土状態
	4	41号土坑	全景		3	1号住居	貯蔵穴内遺物出土状態
	5	42・43号土坑	全景		4	1号住居	貯蔵穴内粘土出土状態
	6	44・48号土坑	全景		5	1号住居	南東部露出状態
	7	46号土坑	全景		6	1号住居	伊F-F'断面
	8	49号土坑	全景		7	2号住居	全景
PL-62	1	51号土坑	全景		8	2号住居	貯蔵穴E-E'断面
	2	52号土坑	全景	PL-83	1	3号住居	全景
	3	53号土坑	全景		2	3号住居	伊断面
	4	54号土坑	全景		3・4	3号住居	遺物出土状態

PL-83	5	4号住居	全景
	6	4号住居	遺物出土状態
	7	5号住居	全景
	8	5号住居	遺物出土状態
PL-84	1	6号住居	全景
	2	6号住居	遺物出土状態
	3	7号住居	全景
	4	7号住居	遺物出土状態
	5	7号住居	掘り方全景
	6	8号住居	遺物出土状態
	7	8号住居	B-B'断面
	8	8号住居	炭化物出土状態
PL-85	1	9号住居	遺物出土状態
	2	9号住居	遺物出土状態
	3	10号住居	全景
	4	10号住居	炉C-C'断面
	5	11号住居	全景
	6	11号住居	貯蔵穴
	7	12号住居	掘り方全景
	8	12号住居	貯蔵穴
PL-86	1	13号住居	遺物出土状態
	2	14号住居	全景
	3・4	14号住居	遺物出土状態
	5	15号住居	全景
	6	15号住居	遺物出土状態
	7	16号住居	全景
	8	16号住居	遺物出土状態
PL-87	1	17号住居	竈内遺物出土状態
	2	18号住居	全景
	3	19号住居	全景
	4	19号住居	A-A'断面
	5	19号住居	竈全景
	6	19号住居	竈F-F'断面
	7	20号住居	全景
	8	20号住居	A-A'断面
PL-88	1	1号竪穴状遺構	全景
	2	1号竪穴状遺構	A-A'断面
	3	2号竪穴状遺構	全景
	4	2号竪穴状遺構	A-A'断面
	5	1号土坑	
	6	4号土坑	
	7	5号土坑	
	8	6号土坑	
PL-89	1	7号土坑	
	2	8号土坑	
	3	9号土坑	断面
	4	10号土坑	
	5	11号土坑	
	6	14号土坑	断面
	7	1号竪立柱建物	全景
	8	2号竪立柱建物	全景
PL-90	1	1号溝	全景
	2	1号溝	断面
	3	2~4・6号溝	全景
	4	3号溝	全景
	5	3・4号溝	断面
	6	2号溝	全景
	7	4号溝	全景
PL-91	1	1号配石	出土遺物
PL-92	2	2号配石	出土遺物
PL-93	3	3号配石	出土遺物
PL-94	4	4号配石	出土遺物
PL-95	5	5号配石・その他の遺構出土器	
PL-96		土偶・遺構外出土器 (1)	
PL-97		遺構外出土器 (2)	
PL-98		遺構外出土器 (3)	
PL-99		遺構外出土器 (4)	
PL-100		1号住居出土遺物	
PL-101		1号住居出土遺物	
PL-102		2~4号住居出土遺物	
PL-103		5・6号住居出土遺物	
PL-104		7~9号住居出土遺物	
PL-105		10~11号住居出土遺物	
PL-106		11~15号住居出土遺物	
PL-107		16・17号住居出土遺物	
PL-108		18~20号住居、1号竪穴状遺構出土遺物	
PL-109		1・4・5号土坑、2・3・4号溝出土遺物	
PL-110		4~6号溝・その他出土遺物	
<b>福島樟森遺跡</b>			
PL-111	1	福島樟森遺跡	全景
	2	北西側拡張部分	
	3	1号基壇	断面
	4	1号基壇	人骨及び副葬品
	5	1号基壇	礎出土状態
	6	2号基壇	全景
	7	3号基壇	全景
PL-112	1	1号土坑	全景
	2	2号土坑	全景
	3	3・34号土坑	全景
	4	4号土坑	全景
	5	5号土坑	断面
	6	6・7号土坑	全景
	7	8・9号土坑	全景
	8	10・11号土坑	全景
PL-113	1	12号土坑	全景
	2	13号土坑	全景
	3	14号土坑	断面
	4	15号土坑	全景
	5	16号土坑	全景
	6	16・23号土坑	全景
	7	17号土坑	全景
	8	18号土坑	全景
PL-114	1	19号土坑	全景
	2	20・21号土坑	全景
	3	22・26~31号土坑群	
	4	23号土坑	断面
	5	24・25号土坑	全景
	6	35号土坑	全景
	7	39号土坑	全景
	8	46~49号土坑	全景
PL-115	1	50号土坑	全景
	2	54号土坑	全景
	3	56号土坑	全景
	4	57号土坑	全景
	5	58号土坑	断面
	6	61・62号土坑	全景
	7	62号土坑	礎出土状態
	8	63号土坑	断面
PL-116	1	1・2号溝	全景
	2	1・2号溝	西側拡張区全景
	3	2号溝	断面
	4	3・4号溝	全景
	5	3号溝	断面
	6	6号溝	西側拡張区断面
	7	1号竪立柱建物	全景
PL-117		福島樟森遺跡出土遺物	
<b>科学分析</b>			
PL-117	2	検出花粉顕微鏡写真	
PL-118	1	田籾塚遺跡出土炭化材顕微鏡写真	
PL-119	1	福島駒形遺跡出土炭化材顕微鏡写真(1)	
PL-120	1	福島駒形遺跡出土炭化材顕微鏡写真(2)	
PL-121	1	福島駒形遺跡出土炭化材顕微鏡写真(3)	
PL-122	1	福島鹿嶋下遺跡出土炭化材の樹種	

# 1 田篠塚原遺跡

## 1 住居跡出土遺物

### 1号住居出土遺物

No.器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
10図-1 鉢	□(14.1) 底 5.5 高 7.6	P4南床直上の東壁下床直上 口縁2/3欠く	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面に強く粗いヘラ磨き痕。内面も比較的丁寧なヘラ磨きか。外底はヘラ削りで平坦。	①A。混入物は小粒で、量は極めて多い。 ②普通。③にぶい褐色7.5YR7/4。外底に黒斑。赤色味、黒色味おびるムラあり一様でない。
10図-2 鉢	□ 12.3 底 4.0 高 5.7	5片 口縁1/4欠く	外面は幅広く方向不定のヘラ磨き。比較的平滑に仕上げる。外底平坦。内面はやや弱いヘラ磨き。	①A。1に類似。混入物の粒径はさらに小さい。 ②普通。 ③にぶい褐色7.5YR6/4。内面やや明度低い。
10図-3 甕	□(15.4) 頸(8.0) 底 6.0	南壁下に散乱する13片。	器面の摩滅・剥落著しく、整形痕不明内外面とも比較的平滑。	①C。パミス混じりの小粒の混入物多い。 ②やや硬調。③にぶい黄褐色10YR7/4。内外面ともに赤色味の強いムラあり。
10図-4 甕か		南西隅床直上 図示部充存	内底縁部の接合痕が残る。深い器形が想定される。内面不整。外底は平坦で、小豆粒大の圧痕が多数残る。	①C。3に近い。やや大粒の混入物あり。 ②普通。③にぶい赤褐色5YR5/4。黒色味・灰色味をおびるムラあり一様でない。
10図-5 甕か		埋没土 肩部片か	薄手。ハケ目は細かく丁寧。内面も比較的丁寧なナデ。	①C。赤褐色紅物やや多い。②普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。一様。
10図-6 甕か		埋没土 肩部片	施文は単位の長い葉状文か。外面丁寧なナデ。内面のナデは強いがやや粗い。	①C。やや硬調。赤褐色色調多い。②やや硬調。 ③にぶい黄褐色。10YR7/4。一様。
10図-7 甕	□ 18.0	埋没土 図示部の1/5	外面斜位のナデは一部でハケ目状。内面ナデは強く、ヘラ状の圧痕あり、一部でハケ目状。	①C。東地硬質。混入物は少ない。 ②普通。 ③褐色7.5YR4/3。内面、断面は明度高い。
10図-8 紡錘車	径4.4 厚1.5 孔径0.5 重32g	完形	器面摩滅し整形痕不明瞭。孔は中央を外れる。	①C。3に近い。混入物極めて多い。②普通。 ③にぶい褐色7.5YR6/4。黒色味の強いムラあり。

### 2号住居出土遺物

No.器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
12図-1 甕		北西壁隅の南東 寄棟直上	器面摩滅し、不明瞭な部分多い。縄文はLRの横位施文。外面中位に見られる赤彩が、縄文部分に無い。内面も平滑。	①C。混入物は極めて多い。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR7/4。ほぼ一様。赤彩部分は赤10R4/6。
12図-2 甕	□ 17.3 頸(11.0)	埋没土15片 図示部の3/4	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面は縦位のナデ痕残る。縄文文は浅い。内面ナデは僅で輪状の接合痕残る。	①C。黄色砂彩の混入多い。パミス散見。 ②普通。③内面赤褐色2.5YR5/6。黒色味をおびるムラ片。内面は赤彩強い。
12図-3 小型甕	□(11.6) 頸(8.3)	南側埋没土5片 図示部の1/3	器面摩滅し整形痕不明瞭。口縁上端の刻み目は規則的だが強く不明瞭。外面波状文も弱い。口縁内面のヘラ磨きは強い。	①A。東地粗い。0.5~2mm大の混入物多い。 ②やや硬調。③にぶい赤褐色5YR5/4。赤色味、黒色味をおびるムラあり一様でない。
12図-4 甕か	高(8.2)	伊東床直上 肩部片か	葉状文は細く、波状文は太く粗い。内面のナデは丁寧。	①C。やや砂質。大粒混入物なし。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR7/4。内面明度高い。
12図-5 甕か		埋没土 口縁小片	内面はやや平滑。	①C。やや砂質。②普通。
12図-6 甕か	底(8.2)	南側埋没土 図示部の1/4	外面の磨り弱い。内面は磨きに近い強いナデ。	①C。パミスの混入やや多い。②普通。 ③にぶい褐色7.5YR6/4。灰色味おびるムラあり。
12図-7 土玉	径1.0~1.3 孔0.2 重1.18	埋没土 完形	表面は弱い指頭圧痕のみだが、比較的平滑。穿孔は焼成前。	①G。混入物少ないが小型品としては東地は粗い。 ②普通。③にぶい赤褐色2.5YR4/4。一様。

### 3号住居出土遺物

No.器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
15図-1 高杯	□(20.6)	伊予層土内 口縁小片	薄手。内外面とも斜位のヘラ磨きの痕跡がわずかに残る。残存部分はすべて赤色施彩。小片からの復元で径不安。	①C。0.5mm大の混入物多い。 ②普通。 ③淡黄2.5YR/3。赤彩部分は赤褐色10R4/4。
15図-2 甕	□(15.8) 頸(11.6)	西壁下床直上 図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。縦位の弱い削り痕が所々に観察できる。	①Cに近い。混入物やや大粒で量も多い。②普通。 ③にぶい赤褐色5YR4/3。断面明度高い。
15図-3 甕	□(20.0)	中央床直上 図示部の1/5	器面摩滅し、整形痕不明瞭。折り返し口縁の上下両面に規則的な押圧。	①A。小粒の混入物極めて多い。②普通。 ③橙7.5YR7/6。ほぼ一様。
15図-4 甕	□(14.2) 頸(12.0)	南東隅床直上 図示部の1/4	外面は4条の粘土帯。肩部は部分的にヘラ磨きの痕跡があるが、器面は平滑さ欠く内面一部に弱いハケ目状のナデ痕。	①Cに近い。輝石類の混入目立つ。パミス散見。 ②やや硬調。③にぶい橙7.5YR6/4。外面は黒色味をおびるムラ強い。

No. 器種	計測値	出土・復元状態	胎形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
15図-5 甕	口 15.5	南東甕床直上 図示部完存	外面は5条以上の粘土帯。部分的に弱い細頸圧痕。内面やや粗いナデ。	①Cに近い。4と同じ。②普通。 ③4にはほぼ同じ。
15図-6 甕	頸 15.0	北西甕付近の床直上に散在。 図示部の1/4	簾状文・波状文とも強く、比較的明確な文様の下に斜位のやや強い削り痕。内面は割落すのみ、不明瞭。	①Cに近い。混入物は少ない。②やや軟調。 ③④に黄褐色10YR6/3。外面黒色の強いムラ広い内面明度高い。④二次被焼。
15図-7 甕	口(10.8) 胴(14.0) 底 5.9 高 10.8	南甕床直上 体部1/3 底部ほぼ完存	口縁上端に弱い鋭い刻み。外面は磨きに近いナデで器面平滑。内面は一部ハケ目状の粗いナデ。底部やや平坦。	①Cに近い。粗砂サイズの雑多な混入物多い。 ②普通。 ③④に黄褐色10YR7/4。外面黒黒、赤色味おびるムラ広い。内面上半で明度低い。
15図-8 甕	胴 10.7 底 5.8	南東甕床直上 胴1/2 底完存	器面風化し、彫形痕不明瞭。内面は雑なヘラ磨きか。	①A。混入物は小粒で少ない。②普通。 ③④に黄褐色7.5YR4/2。赤色味おびるムラあり。
16図-9 台付甕	台下(7.8)	北東甕床直上 図示部の1/2	器面の摩滅著しく、彫形痕不明。接地部は平坦。	①C。パミスまじりの混入物多い。②普通。 ③明赤褐色2.5YR5/6。灰色味おびるムラあり。
16図-10 甕	頸(20cm前後 か)	北東甕埋没土	簾状文は2条。波状文は不明瞭。内面にやや鋭いナデ。	①C。粗砂サイズの混入物やや多い。②やや硬調。 ③④に黄褐色10YR7/3。ほぼ一様。
16図-11 甕	口(20cm前後 か)	北東甕埋没土	薄手。外面にハケ目状の強く鋭いナデ痕が残る。	①C。不揃いの砂粒の混入多い。②やや硬調。 ③④に赤褐色5YR5/4。内面明度低い。
16図-12 甕	口(25cm前後 か)	南西甕埋没土	口縁上端に細かな刻み目。粘土は内面にのみみ出す。	①A。混入物は小粒。②普通。 ③④に黄褐色5YR6/4。赤色味おびるムラあり。
16図-13 甕		南東甕埋没土	縄文は復原LRの横位施文。	①C。パミス・輝石類やや多い。②普通。 ③④に黄褐色5YR7/4。内面明度低い。
16図-14 甕	頸(20cm前後 か)	南西甕床直上 の6片	簾状文・波状文とも2条で、やや雑な施文。内面比較的平滑。	①Aに近い。混入物は小粒でやや多い。②普通。 ③④に黄褐色10YR7/4。内面赤色味。
16図-15 甕か	底 7.2	北東甕床直上 図示部完存	内外面ともに雑なヘラ磨き。外底は平坦で、モミ状・植物繊維状の圧痕あり。	①C。混入物是不揃いで少ない。②普通。 ③④に黄褐色10YR7/3。黒斑あり。内面灰色味。
16図-16 甕	底(4.6)	北西甕埋没土 図示部の1/3	器面の摩滅著しく、彫形痕不明。	①A。片岩は少ない。混入物はやや小粒。 ②やや硬調。 ③④に黄褐色5YR7/6。彩度の低いムラ。
16図-17 甕	底 9.2~9.7	南西甕床直上 図示部ほぼ完存	削り、ナゲともやや弱い。外底は摩滅し平滑さ欠く。	①A。やや小粒の混入物多い。②普通。 ③④に黄褐色7.5YR6/4。外面黒斑あり。
16図-18 甕	底 9.5	北西甕の床直上 に散在。胴下1/3 底部ほぼ完存	外面やや雑なヘラ磨き。内面ごく弱いナデで、輪模の凹凸が残る。外底にヘラ削り痕。	①C。大器土源としては標準。②普通。 ③④に黄褐色7.5YR6/4。黒斑、赤色味おびるムラあり一様でない。④内底のみ著しく摩滅。

#### 4号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	胎形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
17図-1 甕	口 19.0 頸 15.2 胴 22.8	90片 口縁1/4欠く	口縁の粘土層は6条で、部分的にナゲ削す。外周不規則なヘラ磨き。内面のナゲは弱く輪模状の接合痕が残る。	①C。混入物は小粒。輝石類の混入目立つ。 ②普通。③④に黄褐色10YR7/4。赤褐色・黒色味おびるムラあり一様でない。
17図-2 小皿皿か	底 4.6	1片 胴下1/2 底部完存	外面は強い削りで比較的平滑。外底は平坦。内面のナゲはやや粗く、平滑さに欠く。	①C。やや大粒のチャート散見。粗砂サイズの混入物極めが多い。②普通。 ③褐色7.5YR4/3。黒斑広い。内面明度高い。

#### 5号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	胎形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
18図-1 鉢	口 16.1 底 4.9~5.4 高 9.1	南東甕床直上	外面は一部にハケ目状の磨痕が残る。やや雑で弱い削り。内面のナゲはやや粗く、底部付近は平滑さ欠く。	①Cに近い。混入物は少ない。 ②普通。 ③④に黄褐色10YR7/4。赤褐色・黒色味おびるムラあり一様でない。
18図-2 鉢	口(13.6) 底 5.5 高 8.3	南西甕床直上 口縁4/1 底部完存	器面の摩滅著しく、彫形痕不明。比較的平滑に仕上げたか。	①Cに近い。赤褐色鉱物、輝石類以外の混入物少ない。②やや硬調。③④に黄褐色7.5YR7/4。外面に黒斑。赤色味おびるムラあり。
18図-3 鉢	口 15.7 底 5.8 高 7.8	北東甕床8cm 口縁1/2 底部完存	内面中心に器面の摩滅・割落著しく、彫形痕不明。外面僅かに縦位の擦痕が観察できる。	①C。2mm大の混入物多い。②やや硬調。 ③④に黄褐色10YR7/3。外底に黒斑。内底付近も黒色味をおびる。
18図-4 鉢	口 12.2 底 4.3 高 6.0	中央やや南東甕 床直上 ほぼ完形	外面は細かいやや雑なヘラ磨き。外底は平坦。内面強いナゲで、底部以外は平滑。外底以外に赤色塗彩。	①Cに近い。混入物が多いが粒徑小さい。 ②普通。③明黄褐色10YR7/6。内面明度低い。赤彩部は赤10R4/6。④口縁部のみ摩滅著しい。
18図-5 鉢	口(16.0)	北東甕床直上49 南東甕床直上 図示部の1/2	器面摩滅し彫形痕不明瞭。外面は極めて粗いヘラ磨きか。内面は丁寧なナゲで平滑に仕上げたようだ。	①Cに近い。1mm大の混入物多い。②普通。 ③④に黄褐色5YR7/4。外面黒斑広い。内面やや赤色味をおびる。



No. 器種	計 画 値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
19図-6 鉢	口12.7 底 5.5 高 5.6	西寄床直上 体部一部欠く	部分的に著しい剥落あり。口縁外端に R L横位の縄文施文。他は丁寧なへら磨 き後、全面に赤色塗彩。	①Cに近い。混入物やや少ない。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR/4。赤彩部は赤7.5YR/4。 ④口縁上端と内外表面の剥落顯著。
19図-7 鉢	口 8.8 底 2.9~3.2 高 3.9	東寄床直上 完形	外底以外の全面に粗いへら磨きで磨き の下にナダの痕跡残る。外底以外の所々 に赤色塗彩の痕跡残る。	①Cに近い。混入物は小粒で少ない。 ②やや軟調。③にぶい褐色10YR/3。黒斑あり。赤 彩部は赤10YR/4。
19図-8 壺	口19.3 頸13.2 胴23.7 底 9.6 高 35.5	中央～南東寄床 直上～床上4cm 4/5個体	頸部皺状文は2条か。胴部は4～5条 の雑な波状文。口縁外面の斜位のナダは 一部でハゲ目状。外底に柳状痕跡多量。 内面ナダはやや平滑に仕上げる。	①Cに近い。混入物は小粒で多量。 ②普通。 ③にぶい黄褐色10YR/3。黒斑、赤色味をおびるム ラ等多く、一様でない。
19図-9 壺	底 10.2	南西寄床直上5cm 図示部完存	外面縦なへら磨き。内面は剥落著しく 不明。断面一部赤色味強く、赤色塗彩の 可能性。	①C。チャートのみやや大粒の混入物となる。 ②やや軟調。③にぶい黄褐色10YR/3。一部で赤色 味強い。黒斑あり。内面灰色味強い。
19図-10 壺	口(13.6) 胴(17.0)	南東寄り広く 散る床直上13片 口縁1/5 胴2/5	接合しない口縁と胴部片からの復元。 外面は鋭い磨きで、磨痕に近い。内面は 丁寧なナダ。	①C。混入物はやや小粒。②やや軟調。 ③にぶい赤褐色2.5YR/4。口縁外面、胴部内面は明 度低い。
19図-11 壺	胴(30cm前後) 口26.4 頸13.0	西寄床直上7cm 胴部片	胴部にややつよい波状文が不規則に配 される。内面比較的平滑。	①G。細砂以外の混入物少なく、大型品としては 厳密。②やや軟調。③にぶい黄褐色10YR/3。
19図-12 壺	胴 37.6 高(57.0)	中央付近の床直上 広く散らぶ。底部 4/5個体。底部 欠く	縹状文は規則的で丁寧。波状文は4条で やや粗い。口縁折り返し部は上下同様に 鋭い刃目。胴部所々に磨き状の痕跡 内面は剥落多く、不明瞭。	①Cに近い。1mm以下の混入物極めて多い。 ②普通。大型土器としては良好。 ③にぶい黄褐色10YR/3。外面に黒斑多い。内面は 黒色味、断面は灰色味強い。
19図-13 鉢か	口(25.0)	中央床直上 口縁小片	口縁折り返し部にやや雑な波状文、体 部に粗いへら磨き。歪みのある小破片か らの復元で、歪・傾きとも不安。	①Cに近い。1mm以下の混入物多い。 ②やや軟調。 ③浅黄褐色10YR/4。ほぼ一様。
19図-14 壺	底 4.0~4.4	東寄床直上 図示部完存	外底を除き赤色塗彩。	①C。輝石類の混入物やや多い。②やや軟調。 ③にぶい褐色7.5YR/4。赤彩部は赤10R/4。
20図-15 高杯	胴上 2.8	南西床直上 図示部完存	外面は鋭い磨痕の残るへら磨き内面 のナダはやや丁寧。胴内面を除き赤色塗 彩	①C。混入物小粒でやや少ない。②普通。③にぶ い褐色7.5YR/4。胴内面黒色味。赤彩部は赤7.5R/4。
20図-16 高杯	胴上 3.5 胴下 8.1	北東寄床直上 図示部完存	外面やや強いへら磨きだが、襷部付近 で不明瞭。胴内面は削りに近い粗いナダ 磨内面を塗いて赤色塗彩。	①C。混入物少ない。②普通。 ③浅黄褐色10YR/4。坏部内面は灰色味。胴内面は 黒色味強い。赤彩部は赤10R/4。
20図-17 高杯	胴上 3.9 胴下 8.8	中央～西寄床直上 4cmに散在 図示部ほぼ完存	断面厚減し整形痕不明瞭。外面は丁寧 なへら磨き。内面ナダも丁寧か。	①C。1mm以下の砂粒の混入極めて多い。②普通。 ③明赤褐色2.5YR/5。内面は彩度低い。 ④二次焼熱により断面は脆化。
20図-18 壺	胴(54.0) 底(15.4)	南東寄りの床直上 2~4cmに散ら 布位1/4 下位1/2	断面厚減し整形痕不明瞭。外面縦位の 磨き状の磨痕が部分的にあり、内面中央 の接合直上の強いナダのみ顯著。	①C。大型土器としては厳密で、混入物も小粒。 ②普通。③にぶい褐色7.5YR/4。黒斑あり。内面は 赤色味をおびる。
20図-19 壺	口(14.0)	ピット内 図示部の1/5	外面のナダはハゲ目に近い鋭い磨痕が 残る。内面のナダも極めて強い。台付の 彫形となる。	①Cに近い。厳密で混入物少ない。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR/3。赤色味・黒色味をおびる ムラあり一様でない。④外面にス状付着物。
20図-20 壺	胴 22.9 底 8.7 高 33.2	中央～南東寄の 床直上に散ら 布。口縁1/5、胴上 3/4 胴下完存	頸部付着は線点なし。縹状文があるもの と思われる。波状文はやや細かい。へら 磨きを施す所が多い。内面は剥落が進 み整形痕不明。	①C。大型品としては厳密で、混入物少ない。 ②やや軟調。③にぶい黄褐色10YR/4。外面に黒斑 あり。内面は明度高い。
20図-21 壺	口 21.0 胴(13.6)	東側床直上 図示部の1/2	口縁上端に丁寧で細かい刃目。口縁外 端の波状文、頸部の縹状文ともに丁寧。 内面縦位のやや雑なへら磨き。	①C。②普通。 ③褐色7.5YR/6。内外面とも黒色味の強いムラあ り。
20図-22 壺	口 14.4~15.0 胴11.3 胴14.3 底 5.8 高19.2	南東寄の床直上 に散ら 布。5.8 高19.2 4/5個体	外面のへら磨きは、一部で削りに近い 鋭い磨痕が残る。内面は縦位の強いへら 磨きだが、接合痕を消しきれない。	①C。混入物多い。②普通。 ③にぶい赤褐色5YR/4。黒斑あり。 ④二次焼熱。
20図-23 壺	口12.7 頸11.0 胴 13.5 底(15.1)	南東寄の床直上 図示部の4/5	縹状文はやや丁寧。波状文は2条でや や粗い。内面は口縁に縦位の雑なへら磨 き。胴部のナダは一部でハゲ目状。	①C。1~2mm大の混入物多い。②普通。 ③にぶい赤褐色5YR/4。黒色味の強いムラ多い。 ④破損後に二次焼熱。
20図-24 壺	胴 14.3 底 5.5	中央床直上 図示部ほぼ完存	断面の剥落著しく、特に内面は整形痕不 明瞭。縹状文、波状文とも強い。	①A。片岩類はやや少ない。砂質。②やや軟調。 ③にぶい黄褐色10YR/4。黒斑あり。
20図-25 高杯	口(17.0)	西寄床直上4cm 図示部小片	内外面とも強いへら磨き。赤色塗彩。 小片からの復元で、歪・傾き不安。	①C。ザックリした胎土。②普通。 ③にぶい褐色5YR/4。赤彩部は赤7.5R/4。
20図-26 壺	底 10.6	中央床直上4cm 図示部ほぼ完存	外底平滑。外面は弱く丁寧な削りでや や平滑に仕上げる。内面は脆弱化して整 形痕不明。	①Cに近い。スミ状の植物灰あり。やや粗い。 ②普通。③にぶい褐色7.5YR/4。黒色味・赤色味 あふムラあり。内面彩度低い。④二次焼熱あり。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
20図-27	土製勾玉	長 5.7 幅 2.1 孔 0.35	完形	上端は平頭。孔は焼成前穿孔で直線的断面はやや幅太のへう磨きで丁寧に仕上げられる。全面赤色塗彩。	①Cに近い。粗砂サイズの混入物多い。②普通。③赤彩部分は赤10R4/6。割れ口は淡黄色。④使用痕は不明瞭。
20図-28	土製勾玉	長 4.9 幅 2.1 孔 0.4	南寄床直上ほぼ完形	器面は指環圧痕と強いナダ。一部にへう先状のアタリ痕あり。孔は焼成前穿孔で中央がやや細い。	①C。1mm程度の混入物やや多い。②やや硬調。③にぶい橙16YR7/3。黒斑あり割れ口も黒色味強い。④孔の両側にスレ痕状の使用痕あり。

#### 6号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
23図-1	高杯	口(7.2) 脚上 2.3 脚上 4.5	南壁下直上 坏部 1/6 坏部完存	外面の削りは細かく、一部で深いハケ目状。内面は強いへう磨きだが、器面平滑さにやや欠く。脚部内面は平滑。	①A。大粒混入物は少ない。②普通。③にぶい黄褐色10YR7/3。黒色味・赤色味をおびるムラあり。
23図-2	壺	口(25.5) 胴(11.8)	北壁下床土8cm 図示部1/4	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面ナダの幅広い工具痕が部分的に観察できる。糜状ハケ目の痕跡なし。	①A。大粒の混入物多くDにも近い。②普通。③にぶい橙7.5YR。外面同様。内面赤色味をおびる。④にぶい黄褐色10YR7/4。ほぼ一様。内面調低い。断面は黒色味をおびる。
23図-3	壺	口(20.6) 胴(14.2)	南壁下床土14cm 図示部1/4	口縁は波状に歪む。外面のナダはハケ目状の擦痕。糜状文・波状文とも極めて深く鋭い。内面ナダも一部でハケメ状。	①C。赤褐色鉱物の混入やや多い。②普通。③にぶい黄褐色10YR7/4。黒色味帯びるムラあり。④C。粗砂サイズの混入物やや多い。②普通。⑤にぶい黄褐色10YR7/3。内外ほぼ一様。断面は灰色味をおびる。
23図-4	壺	胴 12.6	北東寄床土8cm (覆乱内) 図示部は完存	外面のナダは一部でへう磨き状。糜状文がわずかに確認できる。内面ナダは袖で擦合痕が残る。一部でハケ目状。	①C。赤褐色鉱物の混入物やや多い。②普通。③にぶい黄褐色10YR7/4。黒色味帯びるムラあり。④C。粗砂サイズの混入物やや多い。②普通。⑤にぶい黄褐色10YR7/3。内外ほぼ一様。断面は灰色味をおびる。
23図-5	高杯か	脚上(3.8)	北壁下10cm 図示部1/3	外面の削りは幅狭でやや強い。下部部に強いナダ。内面のナダは強く、平滑さにやや欠ける。	①B。素地やや緻密。混入物は小粒。②普通。③にぶい黄褐色10YR7/3。やや黒色味をおびるムラあり。断面は黒色味強い。赤彩部分は赤10R3/4。④スス状付着物あり。
23図-6	壺	胴(16.2) 胴(21.2)	床中央12cm 図示部1/4	器面摩滅し整形痕不明瞭。糜状文・波状文は丁寧に磨いた。内面丁寧なナダで平滑。外面無文部に赤色塗彩。内面に赤彩痕がわずかに残る。	①C。粗砂サイズの混入物多い。②普通。③にぶい橙7.5YR7/4。内面灰色味をおびる。④B。混入物なく緻密。②普通。⑤にぶい黄褐色7.5YR5/4。内面は黒色味をおびるムラ広い。断面黒色味強い。
24図-7	壺	口(13.2) 脚 12.0 脚 16.0	19片 口縁 1/5 胴部 1/2	口縁上端に外側からの刻み。糜状文の上にやや粗な波状文。	①C。混入物は小粒でやや多い。②普通。③にぶい黄褐色10YR7/4。外面黒色味強い。
24図-8	壺	胴(7.5)	中央床土4cm 割部小片	器面摩滅し整形痕不明瞭。糜状文・波状文とも粗い。内面比較的平滑。	①C。混入物は小粒でやや多い。②普通。③にぶい黄褐色5YR4/3。赤色味・黒色味をおびるムラあり。
24図-9	壺	底(6.8)	北西寄床直上 図示部1/2	内面にへう磨きあり壺か外面は弱いが丁寧にへう磨き。外面平坦。内面へう磨きは幅太でやや粗い。	①C。混入物は小粒でやや多い。②普通。③にぶい黄褐色10YR7/4。外面黒色味強い。
24図-10	壺	底(10.5)	北寄床直上 図示部完存	外面の細かな削りは一部でハケ目状。内面強いナダ。外底は平坦で、小豆大の圧痕あり。	①C。混入物は小粒でやや多い。②普通。③にぶい黄褐色10YR7/4。外面黒色味強い。
24図-11	小壺蓋か	脚 10.0 底 6.5~7.0	西壁下北寄床土12cm 図示部完存	外面弱い傾位。内面強い傾位のへう磨きでやや平滑に仕上げられる。外底平坦。	①C。混入物は小粒でやや多い。②普通。③にぶい赤褐色5YR4/3。赤色味・黒色味をおびるムラあり。
24図-12	台付鉢か	台下12.0 12.5	北西寄床土5~10cmの4片 図示部ほぼ完存	器面摩滅し整形痕不明瞭。内面幅狭でやや強いナダ。外面わずかに赤色塗彩の痕跡残存。	①B。やや大粒の赤褐色鉱物散見。②やや硬調。③にぶい橙7.5YR6/4。赤色味・灰色味をおびるムラあり。赤彩部分は赤褐色10YR4/4。
24図-13	高杯	脚上 3.8	北西寄床土7cm 図示部ほぼ完存	外面・杯内内面とも丁寧にへう磨きで平滑に仕上げた上に赤色塗彩。脚部内面のナダも比較的丁寧。	①A。素地緻密。混入物は2mm以下。②やや硬調。③にぶい橙5YR6/4。一様。赤彩部分は赤10R5/6。
24図-14	台付壺	台上 4.8 台下 10.8	南西隅床直上 図示部2/3	外面の削りは弱く、粘土層・指環痕状の凹凸が残る。内面は削りに近い鋭いナダで比較的平滑。擦地面やや平坦。	①C。パルス散見。混入物は小粒。②硬調。③にぶい黄褐色10YR7/4。黒斑あり。④にぶい黄褐色10YR7/4。黒色味おびる。
24図-15	台付鉢	脚上 4.2 脚上 11.6	15片 図示部割1/3欠く	脚外面平面上にへう磨き痕あり。杯内面は幅広いへう磨きで平滑に仕上げられる。脚内面も比較的平滑。	①A。混入物は14に類似。②やや硬調。③にぶい黄褐色10YR7/4。赤色味をおびるムラあり。④C。混入物は小粒。②硬調。⑤にぶい橙7.5YR7/4。黒色味強いムラあり。断面灰色味をおびる。
24図-16	土製勾玉		南東側埋没土 両端欠く	全面に幅広いやや粗なへう磨き。	

## 7号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	彫形・製作技法の特徴	①粘土 ②焼成 ③色調 ④その他
26回-1	鉢	口(24.0) 底 9.0 高 10.4~11.4	南寄床直上敷在の9片 口縁1/2欠く	外面磨きに近い丁寧な削り。口縁端部に仕上げのへら磨き。外底も平滑に仕上げられる。外底は粗い彫痕の残る強いナデ。	①C。バミスやが多い。混入物は2mm以下。 ②やや硬調。③明赤褐色2.5YR5/6。黄色味おびるムラあり。④内面の割落痕。
26回-2	鉢	口(18.3) 底 5.7 高 8.8	南西隅床直上 口縁若干。口縁 下半以下完存	口縁上端つまみ上げ時の強い擦痕が内面に残る内外ともに粗いへら磨き。外底に栴杖の圧痕あり。	①A。混入物小粒で中にも多い。②やや硬調。 ③色調は黄褐色10YR7/3。内外面に黒斑あり断面は黒色味おびる。
26回-3	鉢	口(14.4) 底 5.5 高 7.2	南東寄床直上4cm 口縁1/2欠く	外面不規則で弱い削りの内面はやや雑で強いナデ。内外面がも赤色彫形の可能性があるが不明瞭。	①C。0.5~2mm大の混入物やが多い。 ②普通。 ③浅黄2.5YR7/3。黒色味をおびるムラあり。
26回-4	鉢	口 14.4 底 5.0 高 6.5	3号特殊土坑内 口縁1/3欠く	薄手軽量。器面摩滅し整形痕不明瞭。内外面ともやや雑なへら磨きか。器面平滑。外底平滑。	①A。混入物は最大3mm大。②普通。 ③明赤褐色2.5YR5/6。外面灰黄色味・内面黒色味おびるムラ広い。
26回-5	鉢	口 15.4 底 4.1~4.6 高 7.4	北壁隅床直上 口縁1/3欠く	外底を除く全面に細かく丁寧なへら磨きで平滑に仕上げた後、赤色彫形。	①C。細粒サイズの混入物やが多い。 ②やや軟調。③におい黄褐色10YR7/4。外面に黒斑あり。赤彩部分は赤10R4/6。
27回-6	甕	口20.6 頸12.6 胴24.6 底 9.8 高36.8~37.7	南東寄床直上 口縁ほぼ完存 頸~底部1/4欠く	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面は口縁部全体に波状文を施した可能性。内面は口縁で丁寧なへら磨き。胴部以下も平滑。	①C。砂粒極めて多いが、大粒混入物は少ない。 ②普通。 ③橙7.5YR7/6。外面黒斑あり。内面は彫痕低い。
27回-7	甕	口24.4 頸12.5 胴28.0 底 9.0 高41.2~42.0	北東隅床直上~ 床上5cmの87片 ほぼ完形	器面割落多く整形痕不明瞭。簾状文や強く波状文は弱い。どちらも丁寧。内面口縁は幅広く強いナデ。胴部以下も比較的平滑。外底に小豆大の圧痕あり。	①C。3mm大の混入物散見。砂粒極めて多い。 ②普通。 ③におい黄褐色10YR7/4。小黒斑あり。ほぼ一様。
27回-8	甕		埋込土 口縁小片	口縁折り返し部にやや弱い波状文。	①C。砂粒多い。②普通。
27回-9	甕	口15.2 頸10.4 胴15.8 底 6.0 高 23.5	南東隅床直上の 42片 口縁1/3と胴部	外面上半は強いへら磨きの上に簾状文とやや不規則な波状文。下半は弱いへら削り。内面口縁は粗いへら磨き。内面下半は比較的平滑で、弱いへら磨きか。	①A。混入物は最大4mm大。 ②普通。 ③におい橙7.5YR7/4。赤黄色・黒色味の強いムラ多く一様でない。
27回-10	甕	頸 12.6 胴(20.8)	西寄床直上 胴部部の1/2	外面丁寧で細かなへら磨きで平滑。簾状文・波状文とも丁寧で強い。内面も比較的丁寧なナデ。	①C。磨滅。混入物少ない。大粒混入物なし。 ②やや硬調。 ③浅黄褐色10YR8/3。ほぼ一様。外面黒斑広い。
27回-11	甕	胴部35mm程度 か	南西隅の床直上 ~床上5cm 胴部部の1/4	外面簾状文は幅広いカキ目状抽出。文様下に赤色彫形。内面は丁寧なナデで極めて平滑。	①C。混入物少なく10以上に磨滅。②普通。 ③におい黄褐色10YR7/3。外面黒斑あり。赤彩部分は赤7.5R4/6。
27回-12	甕	頸 10.7 胴24.0 底 8.5	南東寄床直上に 敷在の31片 胴~底部ほぼ完存	外面のへら磨きは規則的で丁寧。外底まで平滑。波状文はやや弱い。内面は強いナデの上に部分的にへら磨き。	①C。10に類似する。②普通。 ③浅黄褐色10YR8/3。外面に黒斑あり。内面は黒色味おびる。
27回-13	甕	頸 16.2	北東隅床直上 頸部完存 胴部部の1/3	ボタン状符文は2ヶ所組で6組か。ハケ目は弱い。簾状文は深く鋭い。内面は頸部付近にへら磨き。胴部も平滑。	①C。大型品としては磨滅。混入物も少ない。 ②普通。③におい黄褐色10YR7/4。黒色味おびるムラあり。内面赤色おびる。
28回-14	甕	口(16.6) 頸13.2~13.6 胴19.6 底 8.2 高 25.7	南寄床直上 口~胴下3/4 底部完存	器面摩滅し整形痕不明瞭。ハケ目は規則的で丁寧。内面ナデは丁寧だが胴部上半は鋭い擦痕が残る。	①A。砂質。混入物少ない。②普通。 ③におい赤褐色5YR4/6。黒色味おびるムラあり。 ④内面下半に薄い付着物あり。
28回-15	甕	口(17.5) 頸13.0 胴21.0 底 8.0 高26.6	南西寄床直上 口縁1/4 胴~底部1/3	器面摩滅し整形痕不明瞭だが、簾状文波状文の痕跡なし。外底平滑。内面へら状工具使用の比較的丁寧なナデ。	①A。大粒の混入物目立つ。②普通。 ③におい黄褐色5YR4/3。外面胴部は黒色味・内面は赤色味をおびる。
28回-16	甕	口 17.0 頸 14.4~14.9 胴 20.0 底 8.0~8.5 高 28.7	南東寄床直上~ 床上5cm 胴 20.0 底 8.0~8.5 高 28.7	器面摩滅し整形痕不明瞭だが、簾状文波状文の痕跡なし。口縁外面のナデは一部でハケ目状。内面ナデは丁寧。	①A。大粒混入物少ない。やや硬密。 ②普通。 ③におい橙5YR7/4。外面下半は黒色味・内面は赤色味をおびる。
28回-17	甕	口 12.1 頸 10.4 胴(12.5)	南東床直上に 敷在の8片 口縁1部欠く 頸~胴1/3	口縁外面の粘土層は4条で、接合痕は不明瞭。胴部の削りは粗く弱い。内面は削りに近いナデ。	①E。黄母粒は少ない。②普通。 ③におい黄褐色10YR7/3。黒色味をおびるムラあり。内面胴部以下で黒色味強い。
28回-18	甕	頸 12.8 胴21.5 底 7.5~8.0 高[24.4]	北東隅床直上 胴部胴上2/3 下半完存	器面やや摩滅。簾状文・波状文とも比較的規則的。外面のナデやや丁寧。内面のナデは一部でへら磨き状。	①C。大粒混入物は少ない。②普通。 ③におい黄褐色5YR5/4。外面上半黒色味おびる。 ④二次焼熱。内面下半に広く付着物あり。

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
28-19 甕	口 14.0 頸9.7 胴 13.6 底 5.5~6.2 高 22.5	南東隅床直上6cm 胴下1/2欠く	器面の摩滅・剝落すむ。外面の削りはやや強い。一部でハケ目状痕が残る。内面整形も削りに近い。	①A. 混入物はやや小粒。②やや硬調。 ③明赤褐色5YR5/6。赤色味・黒色味おびるムラあり一様でない。 ④二次焼熱か。
28回-20 甕	胴 24.4 底 9.8	南東寄床直上 器示部1/4欠く 底部完存	器面摩滅すむ。残存部分にハケ目の痕跡なし。内外面の細かな削り・ナデは一部でハケ目状。	①A. 砂質。3mm大の混入物散見。②やや硬調。 ③におい黄褐色7.5YR6/4。赤色味・黒色味をおびるムラ広く、一様でない。④二次焼熱か。
28回-21 甕	口 13.7 頸 10.6~11.1 胴 12.4 底6.0 高 15.0	南東寄床直上~ 床直上5cm 19片 胴部1/4欠く	口縁上部に弱く細かな刻み目。外面上半の波状分やや粗。下半は一部にヘラ磨き痕。内面強いナデだが底部やや不整。	①C. 大粒混入物なし。②普通。 ③におい黄褐色10YR7/4。赤色味・黒色味の強いムラ広く、一様でない。 ④内面に付着物あり。
28回-22 甕	口 13.0 頸 10.0 胴 14.5	南東隅床直上~ 床直上6cm 24片 器示部の3/4 胴下1/4	口縁外面の粘土層は5条。最下段はヘラ削りで接合痕を消している。内面ナデはやや粗い。	①C. 粗砂サイズの混入物極めて多い。 ②やや硬調。 ③におい黄褐色10YR6/3。下半は明度低い。 ④二次焼熱か。
28回-23 甕	底 11.0~11.7	南東隅床直上 器示部ほぼ完存	外底を除いた全面に丁寧なヘラ磨き。平滑に仕上げられるが、内底に凹凸残る。	①C. 赤褐色鉱物散見。大型土器としては極めて緻密。②普通。 ③明赤褐色2.5YR5/6。断面までほぼ一様。
29回-24 台付甕	口16.1 頸13.6 胴15.4台直上4.2 台9.2-9.8 高 19.8	南東寄床直上 口~胴部1/2欠く	ハケ目は細かく丁寧。薫状文は強い。胴部は磨きに近い丁寧なナデ。内面も丁寧なナデで平滑に仕上げられる。	①C. 結晶片岩散見。粗砂サイズの混入物多い。②普通。 ③におい赤褐色5YR5/4。外面に黒粒。 ④内底と台面外面に剝落多い。
29回-25 甕	口 17.7 頸14.7 胴 16.0 高 16.2	南東隅床直上 11片 ほぼ完形	薫状文・波状文とも強く粗い。外面はヘラ削りの上に細かなヘラ磨き。内面のヘラ磨きもやや粗く、上半で器面不整。	①C. 混入物は最大で2mm大。②普通。 ③におい赤褐色5YR4/4。外面黒色味の強いムラ広い内面明度高い。
29回-26 甕	口20.4 頸15.5 胴19.2 底 8.6 高 18.2	南東寄床直上 4/5個体	器面の摩滅著しく、波状文は部分的に確認できるだけ。内外面とも比較的丁寧な整形か。	①A. 大粒混入物は少ない。砂質。②やや硬調。 ③におい黄褐色10YR7/3。外面黒色味の強いムラ広い内面明度高い。
29回-27 小型台付甕	口11.0 頸 9.3 器示部ほぼ完存 脚上 3.8	南東隅床直上4片 器示部ほぼ完存	外面細かな削りの上に薫状文のみを施す内面ナデはハケ目状。内面口縁と外面を赤色塗彩し、指の痕が明瞭に残る。	①B. 結晶片岩少量なし。大粒混入物なし。②普通。 ③におい黄褐色10YR7/3。内面に黒色味の強いムラあり。赤彩部は赤10YR4/6。
29回-28 鉢	口 12.2 高 [ 4.9]	西寄床直上8cm 器示部の1/2	小型土器としてはやや厚手。内外面とも磨きに近い丁寧なナデで平滑に仕上げた上に赤色塗彩。	①C. パズル・輝石少量含む。混入物は小粒で少量。②普通。③におい黄褐色10YR7/3。黒色味おびるムラあり。赤彩部分は赤10YR4/6。
29回-29 高杯 <small>カ</small>	脚上 3.5	北東寄床直上 器示部完存	器面摩滅し、整形痕不明瞭。内面の整形粗く、脚部と判断した。外面ヘラ磨きの痕跡残る。	①C. 砂質。1~3mm大の混入物やや多い。 ②やや硬調。③におい黄褐色10YR7/4。外面ほぼ一様内面黒色味強い。
29回-30 高杯	口(20.0)	南西隅床直上 器示部の1/3	外面に縦位のヘラ磨き痕明瞭。内面に磨きの痕跡は確認できないが、平滑に仕上げられている。内外面赤色塗彩。	①C. 輝石まじりの砂粒やや多い。②普通。 ③におい黄褐色10YR7/4。断面黒色味強い。赤彩部は赤10R4/6。
29回-31 高杯	口 21.4~22.6 脚上( 5.0)	南西壁下床直上6cm 10片 器示部ほぼ完存	器面摩滅し整形痕不明瞭。内面のナデは弱く、一部でハケ目状の擦痕あり。内外面とも赤色塗彩の痕跡残る。	①A. 結晶片岩少々Cに近い。②普通。 ③におい黄褐色10YR7/3。赤彩部は赤10R4/6。 ④内面光沢のあるスス状の付着物あり。
29回-32 高杯	口(22.0) 南寄床直上3cm 8片 環部 1/2 脚上4.5 脚上12.0~12.4 高 20.2	南寄床直上3cm 8片 環部 1/2 脚部ほぼ完存	外面はハケ目状擦痕の残る削りの上に同方向の部分的なヘラ磨きで不明瞭。内面摩滅し整形痕不明瞭だが比較的平滑。	①A. 赤褐色鉱物の混入多い。②やや硬調。 ③におい黄褐色10YR7/4。環部内面は黒色味の強いムラ広い。
29回-33 甕	胴(16.0) 脚 35.8 底 12.0	南東壁直下床直 脚 35.8 底 12.0	残存部分に施文なし。外面は丁寧なヘラ磨き。内面も丁寧なナデで脚部付近にはヘラ磨き。	①C. 粗砂の混入多い。大型品としては緻密。 ②普通。 ③におい赤褐色2.5YR5/4。外面下半と内面は黄色味おびる。

8号住居出土土物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
31回-1 鉢	口 15.0 底 4.3 高 7.3	南隅床直上 ほぼ完形	底面やや上げ底気味。口縁はやや波状に歪む。内外面とも丁寧なヘラ磨きで平滑に仕上げられる。	①C. 1~3mm大の混入物やや多い。 ②やや硬調。③におい黄褐色7.5YR7/4。赤色味おびるムラあり。外面黒粒広い。
31回-2 鉢	口 13.2 底 4.5 高 7.1	南東壁下床直上 口縁1/2欠く	器面摩滅著しく、整形痕不明瞭。内外面とも丁寧なヘラ磨きの痕跡が一部残る。	①C. 粗砂の混入極めて多い。②普通。 ③におい黄褐色7.5YR5/4。外面下半と内面は黒色味強い。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
31	3 小瓶壺	胴(10.2) 底 4.7	東隣床直上 図示部の1/2 底部完存	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。内面のナデやや粗で、接合痕を消しきれない。	①A. 砂質。赤褐色胎物の混入やや多い。 ②普通。③にぶい縹7.5YR5/4。内面赤色味おびる外底に黒斑。
31	4 壺	口(23.8) 頸 14.0	南側床直上に散在する24片 図示部の2/5	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面施文は蕨状文のみ。へう磨きに近い丁寧なナデ内面も平滑で、丁寧なナデか。	①C. 大粒混入物なし。チャートやや多い。 ②普通。③浅黄2.5Y7/3。赤色味・灰色味おびるムラあり一様でない。
31	5 壺	口(20.8) 頸(15.5)	南寄床直上 図示部の1/3	器面の摩滅著しく、整形痕不明。施文の上に蕨状文施文。内面は細木工具使用のナデか。	①C. 輝石類の混入やや多い。②普通。 ③にぶい縹7.5YR7/4。赤色味・黒色味の強いムラ広く、一様でない。④破損後に二次被熱か。
31	6 壺	底 14.5	南寄床直上 胴下1/4 底部完存	厚手で重量。大型品か。外面やや丁寧なナデ。内面は指輪圧痕状の細かな凹凸あり。	①A. 砂質。Fにも近い。輝石類の混入多い。 ②普通。 ③にぶい縹7.5YR7/3。外面に黒斑。内面明度高い。
31	7 壺	埋没土 胴部小片		器面摩滅し整形痕不明瞭。蕨状文は細かいが難。	①C. やや砂質。②普通。
31	8 壺	埋没土 胴部小片		波状文は弱い。傾き不安。	①C. やや砂質。②普通。
31	9 壺	口(25.6)	南東壁下床直上 図示部の1/8	器面摩滅し整形痕不明瞭。口縁の折り返しはやや粗。ハケ目やや粗い。内面のナデは強い。	①B. 大粒混入物少ない。②やや硬調。 ③にぶい黄褐色10YR7/3。内面彩度低い。断面黒色味おびる。
31	10 壺	底 8.8~9.4	南寄床直上~床 上4cm 胴部部の4/5	胴部にL.R横位の縄文施文。胴部は底部直上まで丁寧なへう磨き。内面は細木工具使用のやや粗いナデ。	①C. やや緻密。大粒混入物なし。②普通。 ③明赤褐5YR5/6。外面に黒斑広い。内面彩度低い。
31	11 壺	口 16.1~16.9 頸 14.5~15.0 胴 20.8 底7.7 高 32.0	東隣床直上 胴部1/4欠く	口縁内端僅かに肥厚。外面側いが丁寧なナデに近い滑り。内面は強く丁寧なナデで比較的平滑。	①E. 結晶片岩少ない。大粒混入物なし。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR6/4。黒色味・赤色味の強いムラあり。④外面下半に強い二次被熱。底部を除く内面下にスス付着物。
31	12 高杯	胴上 3.5	北東寄床直上 図示部ほぼ完存	器面摩滅著しく、整形痕不明瞭。胴内面も比較的平滑。	①C. 輝石類の混入多い。大粒混入物なし。 ②やや硬調。

#### 9号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
33	1 鉢	口(20.0)	東壁直下床直上 図示部の1/4	口縁は小さく波状に歪む。外面は粗いへう磨りで器面不整。内面は細かなへう磨きだが粘土組織の凹凸残る。	①E. 器母粒少ない。混入物は最大3mm丈。 ②普通。③にぶい黄褐色10YR7/4。外面に黒斑あり。口縁上端は帯状に黒色味おびる。
33	2 壺	口 19.7~20.4 頸 10.8	北寄床上3cm 図示部ほぼ完存	口縁折り返し部の粘土層幅は一定していない。蕨状文上に波状文施文。内面のへう磨きは鈍るように強い。	①E. 結晶片岩。器母粒ともすくなく、Cに近い。 ②普通。③にぶい黄褐色10YR7/3。内面に黒斑あり。
33	3 壺	口(19.6) 頸(13.8)	南側埋没土9片 図示部の1/4	胴部は2段のハケ目。口縁はハケ目状の標準が一部に残る細かなへう磨き。内面は強いへう磨き。	①A. やや砂質。大粒混入物少ない。②普通。 ③にぶい縹7.5YR5/4。黒色味おびるムラあり。内面胴部は赤色味おびる。
33	4 小型壺	底 4.3	東側埋没土7片 図示部ほぼ完存	薄手。外面細かな滑り。内面へう磨きだが、やや平滑さにかける。外底に小豆大の圧痕残る。	①C. 2mm大のチャート混入する。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR7/3。外面黒色味の強いムラ広い内面赤色味おびる。
33	5 台付壺	台上 7.3	北西隅床直上 図示部ほぼ完存	厚手で重量。器面摩滅し整形痕不明瞭。外面台端部に沈積する。内面は比較的平粗。	①C. 大粒混入物少ない。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR7/4。内面黒色味おびる。 ④割れ口まで摩滅し、混入品の可能性。

#### 10号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
35	1 壺	口 10.7 頸 12.0	北壁下床直上 図示部の3/4	図示部以外は器面の摩滅・剝落すすむ波状文は蕨状文上に施文。外面は幅広い細かなへう磨き。内面は比較的平滑。	①A. 砂質。混入物は3mm以下。 ②やや軟調。 ③縹7.5YR4/3。外面黒斑広い。内面明度高い。
35	2 壺	口 17.4~18.0 頸 12.7	北西側床直上 図示部ほぼ完存	波状文は蕨状文上に施文。外面は滑いナデだが比較的平滑に仕上げられる。内面は幅広いへう磨きで平滑。	①A. 器母粒散見。大粒混入物少ない。 ②普通。 ③縹7.5YR4/3。外面と黒斑広い。内面明度高い。
35	3 壺	口(18.8) 頸(12.6) 胴 24.7	中央北寄床上13cm 図示部の1/2	器面の摩滅・剝落すすむ整形痕不明瞭。外面胴部付近に幅広いへう磨き痕のこる内面は比較的平滑か。	①A. 粗砂サイズの混入多い。②普通。 ③にぶい赤褐5YR4/4。やや赤色味・黒色味おびるムラあり。

No. 器種	計測値	出土・復元状態	胎形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
35図-4 甕	口(15.2) 胴 9.6~10.7 脚 17.2 底7.2	北東隅床直上 口~胴1/3欠く	器面の摩滅著しく、整形痕不明。外面へう磨き痕が部分的に残る。内面やや細かなナデで比較的平滑。	①C。粗砂サイズの混入物多い。②普通。③浅黄2.5Y7/3、外面黒底あり、内面下半は黒色味強い。④内面に縞状の付着物あり。
35図-5 甕か	底 7.7	東壁下床土3cm 脚上1/3	外面は磨きに近い丁寧なナデでやや平滑に仕上げた。内面も細かなナデで平滑。	①C。素地やや粗い。赤褐色鉱物やや多い。②普通。③明赤褐5YR5/6、外面黒底あり、内面黄色味おびる。
35図-6 甕	底 10.0	南東寄床土上13cm 図示部の1/3	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面に幅広く削り残る。内面に丁寧なナデの痕跡が残る。比較的平滑。	①A。素地粗い。粗砂サイズの混入物多い。②普通。③内におい赤褐2.5YR5/4、外底は黒色味、内面は黄色味おびる。
35図-7 台付鉢	胴(12.4) 脚 14.8 脚上(3.1)	P3 脇床直上 胴上1/3 脚上ほぼ充存	外面摩滅し整形痕不明瞭。縷状文・波状文とも幅狭。内外面とも丁寧なへう磨きで器面平滑。内面上半は特に丁寧。	①A。やや砂質。大粒混入物は少ない。②普通。③におい褐7.5YR5/3、赤色味・黒色味おびるムラあり。内面黒色味強い。
35図-8 高杯	口 21.6 脚上 4.5	南壁下床土4cm 図示部の2/3	外面やや粗い削りの上に雑なへう磨き内面強いへう磨き。脚内部を除いた全面に赤色塗彩。	①A。混入物は最大4mm大。②やや軟調。③におい褐7.5YR5/4、赤彩部は赤10R4/6。④杯部内面の割落すずむ。

#### 11号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	胎形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
37図-1 小壺型	口(14.1) 胴(12.9) 脚(14.9)	東壁隅床直上 図示部の1/4	波状文は口縁に2条、肩部に1状。胴部と内部は強く丁寧なへう磨き。意匠的な用塗の土跡か。	①C。輝石類やや多い。②普通。③におい赤褐5YR4/4、黒色味おびるムラあり。内面は黄色味おびる。
37図-2 小壺型	口(11.6) 胴(9.6)	東側の床土5~10cmの4片 南東隅床土3~16cmの231片 図示部ほぼ充存	器面の摩滅・割落著しく、整形痕不明瞭。不規則な縷状文を挟んで口縁端と肩部に各1条の波状文か。	①A。砂質。大粒混入物なし。②普通か。③黒褐7.5YR3/2。内外面一様。④二次焼熱の影響強い。
37図-3 小壺型	胴 9.5 脚(14.0)	南東隅床土3~16cmの231片 図示部ほぼ充存	器面摩滅し、整形痕不明瞭。外面は口縁部に削り、胴部にへう磨き痕が残る。内面幅広く工具使用の丁寧なナデか。	①A。やや砂質。混入物は最大3mm大。②普通か。③におい黄褐10YR7/3。黒色味おびるムラあり。④二次焼熱の影響強い。
37図-4 小壺型	胴(12.0)	貯蔵穴内西壁際 床下3cm 図示部の1/4	器面摩滅し整形痕不明瞭。内面は細かなナデ。	①C。砂質。大粒混入物なし。②やや軟調か。③浅黄2.5Y7/3。黒色味おびるムラあり。内面は赤色味おびる。④二次焼熱の影響強い。
37図-5 高杯	脚上 3.4	南東隅床直上 図示部ほぼ充存	器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。脚内面は比較的平滑。	①A。粗砂サイズの混入物多い。②硬調で焼き締まる。③におい褐7.5YR5/4、断面は黒色味おびる。
37図-6 甕	底 11.2	貯蔵穴床下8cm 約西床土4cm 底部周辺充存	外面に幅広く雑なへう磨き。内面指頭状のやや丁寧なナデ。外底に小豆大の圧痕あり。	①A。混入物は最大3mm大。②やや硬調。③明赤褐5YR4/6、外底に黒底あり。内面は赤色味強い。

#### 12号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	胎形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
38図-1 甕	口 19.4 胴 13.4	南東寄床直上に 敷在する35片 図示部の4/5	口縁波状に凸む。端部は上方へつまみ上げる。縷状文の下に僅かに波状文の見える箇所あり。外面の削りは鋭い。	①C。2mm大の赤褐色鉱物やや多い。②普通。③におい褐7.5YR6/4、やや黒色味おびるムラあり。
38図-2 甕	口(14.4) 胴(10.3)	南東寄床直上 図示部の1/2	縷状文・波状文とも粗い。口縁の削りは鋭い。内面も削りに近い鋭いナデで、器面やや平滑さ欠く。	①C。バリス・赤褐色鉱物やや多い。大粒混入物なし。②普通。③明赤褐5YR5/6。ほぼ一様。
38図-3 甕	胴(24.6)	南東寄床直上 図示部の1/3	外面下半の割落多く、整形痕不明。胴部にハケ目状磨痕の残る細かな削り。内面のナデは細かいが粗い。	①C。1~3mm大の赤褐色鉱物多い。②普通。③におい褐7.5YR6/4、内面黒色味強いムラ。④二次焼熱の可能性。
38図-4 甕	脚上 3.8 脚上 7.7	南壁下床土5cm ほぼ充存	器面摩滅著しく、整形痕不明。	①A。素地やや砂質で粗い。混入物は最大4mm大。②やや硬調。③褐7.5YR6/6、灰色味強いムラ広い。

#### 13号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	胎形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
39図-1 甕	底 4.3 孔 2.3	埋没土 図示部の1/3	底部厚い。外面部分的に強く粗いへう磨き。内面指頭状のナデ痕、やや平滑さ欠く。穿孔部は平滑。	①C。比較的緻密で大粒混入物なし。②普通。③におい黄褐10YR7/3。赤色味・黒色味おびるムラあり一様でない。
39図-2 甕か	底 6.0	南東隅床直上 図示部ほぼ充存	外面は鋭いが丁寧な削り。内面は幅狭なへう状工具のナデで比較的平滑。	①Eに近い。混入物は小粒で少ない。②普通。③におい赤褐2.5YR5/4。内面彩度低い。
39図-3 鉢	脚上 15.0	南寄床土4cm 図示部の1/4	厚手。口縁端部も平滑で台付壺台部に似ている。内面に丁寧なへう磨きを施しており、鉢と判別した。	①E。混入物は最大2mm大。磨粉粒少ない。②普通。③におい赤褐5YR5/4。上半に黒底あり。④二次焼熱。

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
39回-4 壺	底 6.2	南東隅床直上 図示部の1/2	外面の削りは弱いが丁寧。内面のナデは強く、一部へう磨き状だが器面平滑さにはやや欠く。	①A。混入物は最大3mm。②普通。③にぶい黄緑10YR6/3。外面黒度広い。内面は赤色味強い。
39回-5 管玉	長 1.7 径 0.4	南東床直上 完形	両側から穿孔。全面極めて丁寧な研磨で、端部も丸い。	①硬玉。

## 2 倉出土遺物

### 4号倉出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
43回-1 壺	胴(16.0)	BH-45グリッド 図示部の1/8	器面やや摩滅する。外面は上から下へ漸次する。筆状文と同一の工具使用か。内面丁寧なナデで一部へう磨き状。	①A。3mm大の混入物を少量含む。雲母粒を散見する。②やや硬調。③にぶい橙7.5YR7/4。内面やや赤色味おびる。外面薄黒度あり。
43回-2 ガラス玉	径 0.5 厚 0.3 重 1.1g	BG-45グリッド 完形	一面がやや扁平。	③紫色味をおびる。 ④孔径0.15cm。

## 3 古墳出土遺物

### 1号墳出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
51回-1 杯	口(10.6)	北西側周溝内 図示部の1/6	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面は口縁端部付近までやや強い削り。内面は比較的丁寧なナデか。	①F。赤褐色鉱物粒やや多い。他の混入物は少ない。②やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR87/4。断面までほぼ一様。
51回-2 土器(須恵器)	口 12cm前後か	南東側 図示部の1/6	右回転ロクロ。波状文は細狭で粗い。内面はロクロ痕顯著。	①やや粗い素地。白色砂粒を少量含む。②やや硬調の還元焰。 ③灰5Y6/1。断面まで一様。
51回-3 壺	口(9.1)	南西側	外面は弱い縦位の削りの上に方向不定で弱い部分的なへう磨き。内面は丁寧なナデで比較的平滑。	①B。赤褐色鉱物の混入やや多い。②やや硬調。③橙5YR7/6。内面は彩度低く、灰色味を帯びる。断面黒色味強い。
51回-4 長頸壺(須恵器)	胴 4.3	南東側 図示部の1/2	薄手。右回転ロクロ。外面のロクロ痕は弱く、部分的に縦位の磨痕が残る。内面は強いロクロ痕。	①素地やや緻密。②硬調の還元焰。 ③R7.5Y6/1。断面やや明度低い。軸は緑色味を帯びる。
51回-5 長頸壺か(須恵器)	台(12.8)	南東側	右回転ロクロ。回転利用の高台取り付けで、外面に工具痕が凸線状に残る。内面は強いロクロ痕。	①素地やや砂質。結晶片岩を散見する。②還元焰硬調。③灰5B5/1。断面は明度高い。
51回-6 碗(須恵器)	台(7.0)	図示部の1/3	右回転ロクロか。切り離し不明。ロクロ痕弱い。高台はやや高く、取り付けは丁寧。内外底とも平坦。	①素地やや砂質。細粒(白色岩片)散見。②還元焰。普通。③灰白5Y7/1。断面一部青色味をおびる。④混入品。
51回-7 須恵器壺	口 30cm前後か	南西側 小片	右回転ロクロか。外面に1条の幅狭な小片波状文が確認できるのみ。	①素地やや粗い。細粒の混入やや多い。②還元焰普通。③灰7.5Y6/1。断面までほぼ一様。
51回-8 須恵器壺	北西側2片 小片	北西側2片 小片	器面に指環条の凹凸多く、成形にはロクロ不使用か。波状文は細かく丁寧。	①素地やや粗い。細粒の混入多い。②還元焰、やや硬調。③灰5Y6/1。断面までほぼ一様。
51回-9 埴輪	小片	小片	裏面にもわずかにハケ目残る。円筒。	①A。②硬調。
51回-10 形象埴輪	南東側 両端欠く	南東側 両端欠く	太刀。表面は丁寧なナデで平滑に仕上げられる。	①A。結晶片岩類少ない。チャートの混入目立つ。②硬調。③にぶい橙5YR7/4。断面灰色味おびる。
51回-11 形象埴輪	南東側 両端欠く	南東側 両端欠く	太刀。両側面に赤色塗彩。表面は丁寧なナデで平滑。10と同一個体の可能性。	①A。10と同一。②硬調。 ③10と同一。

図一NO 種類	材質 部位等	計測値 長*幅*厚cm/重量g	出土状態 復元状態	備考
51図-12 耳環	銅	2.81*2.62*0.76/19.9	玄室内攪乱部 完形。	表面はすべて剥落する。
51図-13 鉄鏃	無茎有脇快鏃 鉄	3.96*2.17*0.3/5.40	玄室内攪乱部 完形。	平造りの長三角形鏃。浅い逆刺を有する。中央やや上方に緊縛孔有り。矢びさみの木質が片面に残存。
51図-14 鉄鏃	無茎有脇快鏃 鉄	[5.51]* /9.7	北東隅 先端一部欠く。	平造りの三角形鏃。やや深めの逆刺を有する。中央に緊縛孔を有する。
51図-15 鉄鏃	鉄	[10.23]* /9.0	北東隅	欠損著しく、不明瞭だが基部は無脇快鏃。 基部に木質残存。
51図-16 鉄鏃	有脇快鏃 鉄	[9.46]* /7.6	北東隅 先端欠く	
51図-17 鉄鏃	平根鏃 鉄	[12.16]* /13.3	北東隅 ほぼ完形	基部は平造り。ごく浅い逆刺を有する 基部に木質が少量残存。
51図-18 鉄鏃	平根鏃 鉄	[4.31]*2.35*0.2 /5.3	北東隅 基部欠く	
51図-19 鉄鏃か		[6.81]*0.5*0.3	北東隅 基部片	長茎鏃の基部片と思われる。
51図-20 不明	鉄 棒状品	[23.25]	南西側 両端欠く	角柱状品で用途不明。一端でややねじれる。中央に木質残存。
51図-21 釘か	鉄	[4.53]*0.6*0.6 /4.2	南西側 上半欠く	鉄質やや悪く、材質より釘と想定。
51図-22 釘か	鉄	/6.3	南西側 端部欠く	屈曲著しいが、頂部は潰れていない。鉄質は悪く材質より釘か。
51図-23 釘	鉄	[6.87] /18.1	端部欠く	折断形。基部は扁平。
51図-24 刀子	鉄	[4.19]*0.77*0.25 /2.3	南東側	基部に木質残存。
51図-25 鏃か	鉄	[8.17]*2.20*0.4 /26.8	石室壁敷下 先端欠く	木質は残存しない。
51図-26 スラグ		/233.6		輪状に内側が窪む。重量。
52図-27 勾玉	硬玉か。	2.5*1.6*1.0*/7.35	埴土 完形。	孔は両面から穿孔。孔径4.0mm。
52図-28 小玉	ガラス。	径0.4*厚0.2 /0.05	完形。	横長で扁平。孔径1.5mm。色調は紫色味を帯びている。以下34まで色調はほぼ同一。
52図-29 小玉	ガラス。	径0.4*厚0.2 /0.03	墳丘下集石 完形。	横長で扁平。孔径2.0mm。
52図-30 小玉	ガラス。	径0.4*厚0.4 /0.08	完形。	縦長で薬玉状。孔径1.5mm。
52図-31 小玉	ガラス。	径0.3*厚0.8 /0.06	墳丘下集石 完形。	断面菱形に重む。孔径1.5mm。
52図-32 小玉	ガラス。	径0.4*厚0.3 /0.08	墳丘下集石 完形。	孔径1.5mm。
52図-33 小玉	ガラス。	径0.7*厚0.85 /0.55	墳丘下集石 完形。	縦長で薬玉状。孔径2.0mm。
52図-34 小玉	ガラス。	径(0.3)*厚(0.4) /0.05	墳丘下集石 一端を欠く。	縦長で薬玉状。孔径1.0mm。

## 2号墳出土遺物

No.	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
62図-1	長頸壺 (須恵器)	頸 5.7 肩19.8 台(13.2) 高 4.8	前庭 図示部のうち高 台の大平欠く	三段成形。頸部内面巻き上げ伏接合痕 顯著。右回転クワ。二段の列点文幅大。 胴部外面回転へが削り。外低平坦。	①黄地緻密。黒色鉄物の混入多い。②硬調。 ③灰白7.5Y7/1。断面やや明度低い。輪は灰緑味 をおびる。④東海系か
62図-2	長頸壺か (須恵器)		南西側 図示部の1/4	右回転クワか。内面不整。高台の取 り付けはやや雑。	①黄地やや粗く気泡が混入する。1mm大の白色砂粒 以外の混入物は少ない。②普通。 ③灰10Y6/1。輪は灰緑を呈する。
62図-3	壺	口(18.8) 胴(31.6)	図示部の1/8	口縁内端わずかに肥厚する。外面の削 りやや強く、胴面の平滑さに欠ける。内 面は輪広で強いナデ。	①B。赤褐色鉄物やや多い。②やや硬調。 ③径7.5Y R7/4。内面彩度低い。



図-NO 種類	材質 部位等	計測値 長*幅*厚cm/重量g	出土状態 復元状態	備考
62図-4 耳環	銅合金張り	径1.94~1.80*厚0.74 /8.5	玄室内北東側	小形。断面は扇形内径を呈す。金張りの残存は比較的良好。
62図-5 刀子	鉄	(5.0)*1.61*0.39 /4.1	前庭部後門脇 基部破片、両端欠く	錆多い。基部幅0.85、葉部厚0.3。
62図-6 刀子	鉄	(5.4)*1.2*0.25 /7.0	玄室内北東側	5と同一個体の可能性。
62図-7 不明	鉄	(3.4)*1.4*0.2 /3.0		刃部の確認できない板状品。
62図-8 刀装具 切羽か	鉄	(5.6)*3.8*0.35 /10.7	玄室内北西側	大形品。錆や多い。
62図-9 不明	鉄	(5.3)*3.5*0.30 /8.0	前庭部 一部欠く	錆著しく、形状不明瞭。太刀の可能性もあるが、刃部は薄く幅広で不明瞭。包丁か。混入品か。
62図-10 鍔先か	鉄	(15.0)*2.4*0.65 /107.0	両端欠く	刃部は不明瞭。混入品か。

### 3号墳出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	彫形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
70図-1 杯	口(12.2)	南西側墳丘上 図示部1/5	器面摩滅し整形痕不明瞭。外周細かな 縞り。内面は比較的確丁寧なナデか。歪みの ある破片からの復元で怪不安。	①Bに近い。大粒混入物なし。赤褐色薬物含む。 ②やや硬質。 ③④にぶい黄褐色10YR7/4。断面まで一様。
70図-2 蓋 (須恵器)	口(19.0)	南西側墳丘上 <sup>69</sup> 南東側墳丘上 縁部5/6欠く	右回転クローラ→天井部外面クローラ上側 置のへら削り→積み取り付け。内面のロ クろ痕やや強く、中央一方向の指痕ナデ。	①素地普通。0.5~3mmの混入物やや多い。 ②還元焰、普通。③灰N6/0内面明度高い。
70図-3 長形蓋 (須恵器)	類(5.8)	南西側墳丘上 図示部1/3	右回転クローラ。クローラ痕やや弱い。両部 内面に青褐色状のアナ貝痕有り。外面に 弱い印きの痕跡か。	①素地やや硬質。混入物少ない。黒色薬物散見。 ②還元で焼き締まる。 ③灰オリープ5Y6/2。
70図-4 形象埴輪		南西側墳丘上 小破片	ユキ。矢は5本だが大半は断落。	①A。やや砂質。雲母粒散見。②普通。 ③にぶい赤褐色2.5YR5/4。断面やや灰色味おびる。

番号 種類	材質 部位等	計測値 長*幅*厚cm/重量g	出土状態 復元状態	備考
69図-5 耳環	銅合金張り	径2.05~1.83*厚0.74 /9.7	玄室内東壁際	小形で幅広。金張りの残存は良好。
69図-6 耳環	銅合金張り	径2.15~1.97*厚0.75 /11.3	石室内西側門付近	完形
69図-7 耳環	銅合金張り	径2.08~1.84*厚0.70 /8.6	玄室内東壁際	小形幅広でやや厚手。錆の影響少なく金張りの残存は良好。
69図-8 耳環	銅合金張りか	径2.32~2.06*厚0.78 /12.9	玄室内西壁際	小形で幅広。錆多く剥落多い。残存部分では金張りは不明瞭。
69図-9 刀装具 鍔(金鍔か)	銅(金鍔か) 鍔(金鍔か)	11.1*2.9*1.8 /56.7	玄室内東壁際 完形	刀芯部の痕跡は残存せず。鞘木の本質で充満されている。金具は2枚の銅板を張り合わせる。
69図-10 刀装具 刀装具	銅合金張り 鍔(金鍔か)	4.9*3.1*0.62 /5.5	玄室内東壁際 完形	錆多い。1/2程度に金張り残存。
69図-11 刀装具 刀装具	銅 鍔(金鍔か)	5.9* /7.9	完形	押しつぶされて変形著しい。
69図-12 刀装具 足金物	銅 足金物	4.5*(1.9)*0.47 /2.3	玄室内西壁際 一部欠く	吊り手部はしっかりした作りで環体部は薄手。
69図-13 刀装具 不明	銅合金張りか 刀装具か	(2.43) /0.5	小片	金または銅の一部に残る。
69図-14 刀装具 鍔目金具	銅 鍔目金具	径1.0 /1.9	玄室内 ほぼ完形	一部に把頭部の銅板が付着している。
69図-15 刀子	鉄	4.2*0.9*0.5 /8.9	両端欠く	刃部は研ぎ減りの少ない。鞘木の本質が残存する。

## 4号墳出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
83回-1 杯	口(12.0)	墳丘中段 図示部の1/8	薄手。器面薄減し整形痕跡不瞭。外面は比較的丁寧な削り。小破片からの復元で径・傾きとも不安。	①C。0.5mm大のバリスを少量含む。②やや硬調。③により黄緑10YR7/4。断面までほぼ一様。
83回-2 杯	口(13.8)	墳丘北西 図示部の1/8	外面やや強い削り。内面は強いナゲ後、強く丁寧な放射状の硝文。小破片からの復元で径・傾きとも不安。	①C。磁砂多いが他の混入物ほとんどない。②硬調で焼き締まる。③黄5 YR6/4。ほぼ一様。断面は彩度低い。
83回-3 小甕	口(9.0)	墳丘南東 図示部の1/4	断面方向不定の弱い削り。内面は磨きに近い細かなナゲだが、器面の凹凸は消しきれない。	①C。雲母・赤褐色鉱物等、微細な混入物含む。②やや硬調。③により黄7.5YR7/3。断面までほぼ一様。
83回-4 盥 (須恵器)	胴(5.8) 底(3.8)	墳丘南西 図示部の1/3	右回転ロクロ→割部回転利用ヘラ削り。注口部は丁寧な穿孔後、外方へつまみ出す。内面のナゲは工具痕残る。	①素地やや粗い。黒色鉱物・白色磁砂等1mm大の混入物を含む。②やや硬調の還元焰。③灰白10Y6/1。外面一部青色味をおびる。
83回-5 平瓦 (須恵器)	口(9.6) 胴19.3 底 9.9 高 19.5	前庭⇨ 墳丘中段 上平3/4、底部 完存	成形はロクロ不使用か、外底は無調整。内面一部に青海波状のアテ具痕。割部外面は右回転利用の削りヘラ削り。天井部内面接合部には強い指頭圧痕が並ぶ。	①素地やや砂質。黒色鉱物散見。他の混入物少ない。②硬調の還元焰で焼き締まる。③灰白10Y7/1。外面明度の低いムラあり。④白色粒状の陶片散見。
83回-6 長頸壺か (須恵器)	胴(15.6) 底(7.8)	前庭⇨ 墳丘南東 図示部の1/4	外面下端に平行叩き痕。肩部付近にはカキ目状の同心沈線のラセン状のナゲ痕。内面は同中心円状の強いナゲ。	①素地やや緻密。0.5mm大の白色磁砂少量含む。②還元焰、普通。③灰白7.5YR7/1。断面までほぼ一様。
83回-7 長頸壺か (須恵器)	胴(16.8)	前庭⇨ 墳丘南東	成形はロクロ不使用か、内面のナゲは指頭痕状の凹凸を明瞭に残す。外面は右回転利用の強いヘラ削り。	①素地やや砂質。1~2mm大の混入物やや多い。②還元焰やや硬調。③灰2.5Y7/2。内面・断面やや明度高い。
83回-8 長頸壺	胴(17.2)	墳丘南東 図示部の1/8	右回転ロクロか。肩部弱い沈線区画内に鋭い列点文。内面ロクロ痕強い。	①素地やや緻密。磁砂多い。②還元焰、普通。③灰7.5Y6/1。断面までほぼ一様。
83回-9 壺 (須恵器)	胴(15.8)	前庭⇨ 図示部の1/2	いわゆるフラスコ形。右回転ロクロ。割部の接合は丁寧で平滑。右面中央に1条沈線が走る。上面降灰輪顕著。	①素地やや砂質。黒色鉱物陶粒やや多い。②還元焰やや硬調。③灰7.5Y6/1。ほぼ一様。降灰輪は灰緑色。
83回-10 長頸壺か (須恵器)	台(13.2)	墳丘北側 図示部の2/5	右回転ロクロ成形後、底部と接合。高台部外縁は工具使用の鋭い凸線。接合面には鋭い沈線が走る。	①素地砂質。1~4mm大の混入物を含む。②還元焰やや硬調。③灰10Y6/1。内面やや明度高い。
83回-11 壺 (須恵器)	口(21.0) 胴(16.0)	前庭⇨ 図示部の1/6	肩部内面に幅広い青海波状アテ具痕。外面きわめて弱いカキ目状の削りか。口縁は回転利用の強いナゲ。降灰輪。	①素地砂質。黒色鉱物粒等1mm大の混入物含む。②還元焰やや硬調。③灰白5 Y7/1。降灰輪は灰黄色彩をおびる。
83回-12 壺 (須恵器)	口(24.6) 胴(19.2)	前庭⇨ 墳丘南東 図示部の1/6	肩部外面は平行叩きを部分的にナゲ消す。内面削れた青海波状のアテ具痕。口縁は回転利用の丁寧なナゲ。	①素地緻密。1~4mm大の白色混入物を散見。②還元焰、普通。③紫灰5 RP5/1。断面は赤色味をおびる。

番号 種類	材質 部位等	計測値 長×幅×厚cm/重量g	出土状態 復元状態	備考
82回-13 刀装具	鉄 鞘底金具	径5.0×2.9×1.8 /22.5	石室内 完形	錆多い。内部には木質残存。小甕太刀の鞘底部である。
82回-14 棒状品	鉄	(3.6)×0.5×0.4	渡邊部 小片	変形・欠損著しい。鐵の基または釘か。
82回-15 刀装具	鉄地銀張り 足金具	(2.6)×1.7×0.38 /1.3	一部欠く	鐵の残存箇所はわずか。内面一部に木質残存。
82回-16 耳環	銅地金張り	径1.50×厚0.41 /1.9	完形	小形でやや幅広。金張り部分は1/3が欠損するが、残存部での依存状態は良好。
82回-17 耳環	銅地金張り	径1.58×厚0.42 /2.5	文室内北西側 完形	小形でやや幅広。16と対か。錆多いが金張りの残存は比較的良好的。
82回-18 耳環	銅地金張り	径1.55×厚0.50 /3.4	文室内南東側 完形	小形でやや幅広。金張りは一部脱落。
82回-19 耳環	銅地金張り	径1.69×厚0.55 /3.6	完形	小形で扁平。金張りの残存は良好。
82回-20 耳環	銅地金張り	径1.54×厚0.49 /3.3	完形	小形でやや幅広。18と対か。金張り部の残存は良好。
82回-21 耳環	銅地金張り	径1.70×厚0.58 /4.9	文室内北西側 完形	小形でやや幅広。金張りの残存はきわめて良好。
82回-22 耳環	銅地金張り	径1.58×厚0.47 /2.7	完形	小形でやや扁平。錆により金張りは一部脱落。

番号 種類	材質 部位等	計測値 長*幅*厚cm/重量g	出土状態 復元状態	備考
82図-23 耳環	銅地金張り	径1.69*厚0.52 /3.8	玄室北西壁際 完形	小形でやや扁平。金張りは一部剥落。
82図-24 耳環	銅地金張り	径1.69*厚0.58 /4.9	玄室北西側 完形	小形でやや幅広。金張りは一部剥落。23と対か。
82図-25 耳環	銅地金張り	径1.72*厚0.58 /4.7	玄室北西壁際 完形	小形でやや幅広。金張りは一部剥落。21と対か。
82図-26 耳環	銅地金張り	径1.91*厚0.68 /7.4	玄室北西側 完形	小形でやや幅広で厚みあり。金張りの残存はきわめて良好。本品と対になる耳環は出土していない。
82図-27 耳環	銅地金張り	径2.05*厚0.83 /10.4	玄室南東側 完形	中形でやや厚みあり。幅広。錆による金張りの剥落多い。
82図-28 耳環	銅地金張り	径2.05*厚0.85 /11.8	完形	中形でやや厚みあり。幅広。錆による金張りの剥落多い。27と対か。

#### 5号墳出土遺物

番号 種類	材質 部位等	計測値 長*幅*厚cm/重量g	出土状態 復元状態	備考
92図-1 鉄線	鉄 長茎有開狹三角形鏃	(9.96)*0.60*0.36 /6.9	両端欠く	逆刺は浅く、刃部や幅広。轉状突起あり。
92図-2 釘	鉄	(6.94)*0.68*0.52 /6.5	頂部角	錆の影響著しい。
92図-3 刀器具	鉄	(2.82)*2.12*0.15 /5.9	玄室西壁際 下部欠失	錆の影響著しく、やや歪んでいる。
92図-4 刀器具	鉄	2.14*(0.85)*1.67 /2.2	下部欠失	錆の影響著しい。
92図-5 釘か	鉄	(8.58)*0.73*0.70 /26.5	頂部欠く	大形釘。錆の影響著しい。木質の残存なし。

#### 6号住居出土遺物

No.	図種	計測値	出土・復元状態	形状・製作技法の特徴	①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
104図-1	須恵器壺		北西側	回転方向不明。頸部の細い凸線の上下に細かな波状文。やや繊細な造り。	①赤地鉄密。縦溝を含む。②硬調で焼き締まる。③灰7.5Y6/1。断面やや青色味おびる。
104図-2	杯	口(15.4)	前庭 図示部の1/8	口縁端部やや尖る。外面の削りはやや幅広で強い。内面は比較的平滑。小破片からの復元で、径・傾きとも不安。	①B。赤褐色灰物混じりの粗砂を少量含む。②普通。③にふい貴値10YR6/3。断面までほぼ一様。
104図-3	杯	口(21.4) 高 3.2	1/2個体	薄手。断面の摩滅すみ。整形痕不明瞭。口縁は波状に至む。内面は比較的平滑。混入品。	①F。赤褐色灰物散見。②土器部としてはきわめて硬調。③にふい貴値10YR7/4。ほぼ一様。
104図-4	壺	口(21.4) 径19.2 胴11.4 底 3.7 高29.5	玄室北東側 口縁1/2欠く	薄手計量。外面の削りはやや強いが丁寧。内面も丁寧なナデで、変型としては平滑にしあげる。	①Bに近い。混入物少なく緻密。②普通。③明赤褐2.5YR5/6。彩度の低いムラ広い。④内面凍てはせ状の剝離多い。
104図-5	土玉	径 2.2 厚 0.8	南東側 ほぼ完形	指頭で丸めて扁平にしたものだが、圧痕は見られない。孔内面にも磨痕は不明瞭。断面は平滑さ欠く。	①G。素地はあまり良くないが混入物含まない。②普通。③灰黄褐10YR6/2。一様。

番号 種類	材質 部位等	計測値 長*幅*厚cm/重量g	出土状態 復元状態	備考
104図-6 耳環	銅地金張りか	径3.19~2.86*厚0.79 /25.8	玄室北西寄り 完形	大形で断面は円形に近い。錆による剥落すむ。金か銀か不明瞭。
104図-7 耳環	銅地金張りか	径3.11~2.80*厚0.75 /23.2	完形	大形で断面は円形に近い。6と対。錆の影響と剥落著しく、鍍金はほとんど確認できない。
104図-8 刀子	鉄	(5.36)*0.78*0.32 /4.5	玄室西壁際 両端欠く	基部に木質残存しない。
104図-9 刀子	鉄	(3.98)*0.94*0.48 /2.7	玄室北西寄り	極小形の刀子でミニチュアの可能性あり。錆の影響やや多い。
104図-10 不明	鉄	5.81*1.90*0.21 /12.6	完形	中央に穿孔、両脇は斜留めであり、形状は鍍鉄に類似するが、小孔に近い。
104図-11 太刀か	鉄	(6.39)*3.13*0.76 /19.4	玄室南東側 刃部小片	広刃の直刀片。錆の影響著しい。

## 7号墳出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
107回-1 須恵器甕		周縁 肩部片か	乾燥の進まない状態で平行叩き。肩部では斜位、胴部では縦位。内面のアテは粗い。外面は縞線状の雑な指痕施文。	①黄地普通。1～3mm大の距離散見。 ②やや硬調。 ③灰白10Y7/1。断面一部赤色味おびる。
107回-2 形象埴輪		周辺表採	堅魚木。表面はやや丁寧なナデで平滑に仕上げる。	①E。混入物多く、やや大粒のものを含む。 ②酸化緑硬調。③明赤褐2.5YR5/6。
107回-3 形象埴輪		周縁	堅魚木か。2と同一個体と思われる。	①②③2にはほぼ同じ。
107回-4 形象埴輪		周縁	家形埴輪の屋根縁部か。	①C。 ③明赤褐2.5YR5/6。
107回-5 形象埴輪		周縁	部位不明。	③明赤褐2.5YR5/6。
107回-6 円筒埴輪		周縁	内面にもハケ目あり。	③明赤褐5 YR5/6。
107回-7 円筒埴輪		周縁	口縁上端やや窪む。	③明赤褐5 YR5/6。
107回-8 円筒埴輪		周縁	タガは断面台形に近い。内面にもハケ目あり。	③橙5 YR6/6。
107回-9 円筒埴輪	底 12.8	周縁⇔周辺表採 図示部の1/2	タガは低く断面三角。内面は雑なナデでやや平滑さ欠く。	①E。混入物大粒でDにも近い。②酸化緑硬調。 ③橙5 YR6/6。断面中央やや灰色味おびる。

## 4 田籬塚原遺跡特殊土坑・土坑出土遺物

## 特殊土坑出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
109回-1 不明	長 [8.0] 幅 [4.6]	3号特殊土坑	厚さ15mm以上	①鉄器。錆の影響強い。
109回-1 不明		4号特殊土坑	平面が円形か。厚さ1.3mm。	①鉄器。鉄質は悪い。錆の影響強い。
109回-2 杯 (須恵器)	口(11.6) 高 2.3	4号特殊土坑 図示部の1/3	右回転クロコ。底部回転切り磨して無調整。クロコ痕やや強い。	①黄地やや緻密。細砂を混入。 ②還元焰やや硬調。 ③灰5B5/1。
110回-1 釘	長 [4.5]	5号特殊土坑 両端欠く	先端部付近ではほぼ直角に折れ曲がる。	①鉄器。材質やや悪い。

## 土坑出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
115回-1 壺	口 19.8	26号土坑 口縁完存、肩部 1/2	縞状文・波状文ともやや強い。口縁外面に縦位の研磨痕。	①A。やや粗い鉱物も混じる。 ②やや硬調。 ④二次被熱。
115回-2 壺	口(13.4)	35号土坑 図示部の1/3	器面の摩滅すすむ。肩部に細かな波状文がわずかに確認できる。円形符文は4個以内。	①C。 ②やや硬調 ④二次被熱。内面の剥落すすむ。

## 5 遺構外遺物観察表

縄文土器 (第121図)

番号	器形の特徴	出土状態	①胎土 ②焼成 ③色調	文様と成・整形技法の特徴	備 考
1	鉢	7住埋没土	①A	口縁外端に規則的な指頭圧痕  穿孔は焼成後、補修孔か  白形。	外面スス付着 摩滅進む。
2	鉢	7住床下	①E		
3		AX-18グリッド	①A、③断面灰色味		
4		4住埋没土	①E、③断面灰色味		
5		7住埋没土	①A、③断面黒色味		
6		2住床下	①E		
7			①E		
8	耳栓			白形。	摩滅進む。

縄文石器 (第122図)

No.	種 類 石 材	出土位置 遺 存 状 況	計 測 値				備 考 ①形状 ②その他
			長cm	幅cm	厚cm	重量g	
9	石鏃	4号墳	1.3	1.1	0.3	0.30	①凹基無蓋。 ②使用痕顕著。
10	打製石弁 珪質頁岩	4号墳 ほぼ完形	11.5	4.3	2.3	139.0	①薄手。②表面の大半は自然面。
11	打製石弁 変質安山岩	4号墳 頸部欠く		7.3	3.4		②表面一部に自然面。
12	打製石弁 硬質泥岩	2号墳 完形	14.6	7.3	3.2		①楕形。②刃部やや不明瞭。
13	打製石弁 変質安山岩	3号墳 刃部欠く	11.8	7.1			②欠損は旧時のもの。
14	打製石弁 変質武岩	5号墳 ほぼ完形か	12.0	8.1	2.5		①楕形か。 ②欠損は旧時のもの。
15	打製石弁 硬質泥岩	6号墳 完形	9.6	5.7			①小型。横長刺片利用のスクレーパー状。 ②刃部相当部に加工痕あり、石弁として扱う。
16	打製石弁 変質安山岩	3号墳 完形	16.4		2.8		①楕形。②刃部不明瞭。
17	打製石弁 硬質泥岩	BN-35グリッド 完形	10.2		1.9		①分剝形。 ②頸部・刃部ともに使用痕有り。
18	打製石弁 硬質泥岩	6号墳 ほぼ完形	8.2		3.1		①分剝形。
19	打製石弁 硬質泥岩	2号墳 完形	14.2	8.3	3.6		①分剝形。
20	打製石弁 細粒輝石安山岩	5号墳 完形	10.4	6.9			①分剝形。小型。 ②表裏面に自然面有り。

弥生石器 (第125・126図)

No.	種 類 石 材	出土位置 遺 存 状 況	計 測 値				備 考 ①形状 ②その他
			長cm	幅cm	厚cm	重量g	
21	石鏃 変質安山岩	1号墳 完形	17.9	9.8	2.9		表面は自然面広い。
22	石鏃	完形	21.6	10.4	3.3		表面は自然面やや広い。刃部の加工は弱い。刃部先端は欠損の可能性。
23	磨製石包丁 珪質頁岩	BD-53グリッド 一部欠く	2.9				摩滅すすみ、研磨痕は不明瞭。欠損は旧時のもの。
24	石包丁 輝緑凝灰岩	2号墳 ほぼ完形	3.4	8.0			研磨痕不明瞭。磨製ではない可能性。

## 2 福島駒形遺跡

### 1 住居跡出土遺物

#### 1号住居跡出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
129図-1 杯	口 12.0 高 5.2	カマド内床直上 口縁1/2 底部完存	内底の刺高すぎ、整形痕不明瞭。外面の削りは強く細かい。内面には強くやや緩なへら磨き。	①E。雲母は少ない。赤褐色胎物の混入やや目立つ。②やや硬調。③にぶい橙5YR7/4。外面に黒斑あり。

#### 2号住居跡出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
131図-1 杯	11.6 高 3.4	南壁下床直上6cm 口縁1/2 底部完存	外底は鋭い削りの磨痕が重複している。内面のナゲは雑で指痕が残る。器面は平滑さ欠く。	①E。混入物は少ないが大粒。②普通。③にぶい橙7.5YR7/4。外面は赤色味、内面は灰色味をおびるムラあり。
131図-2 杯	口 (12.4)	中央床上26cm 口縁若干 底部1/4	外面は弱い削り丁寧な削りで平滑に仕上げられる。内底も同心円形の丁寧な削りで平滑。	①B。赤褐色胎物やや多い。②やや硬調。③橙2.5YR6/6。内面一様。断面は灰色味が強い。
131図-3 杯	口 (12.4) 高 5.0	北壁直下床直上4cm 口縁1/3 底部はほぼ完存	外底の削りは幅広く丁寧、平滑に仕上げられる。内面も丁寧なナゲで口縁部にやや弱い磨痕が通る。	①B。混入物小粒。②やや軟調。③にぶい黄緑10YR5/4。黒色味強いムラ広い。④二次被焼み。
131図-4 杯	口 (13.4) 高 5.1	南西寄床上13cm 口縁1/2 底部完存	外底の削りは幅広く強い。内面は弧状中心のやや粗いへら磨き。内面黒色処理。	①Eに近いが結晶片磨痕は見られる。②硬調で焼き締まる。③にぶい黄緑10YR5/4。黒斑あり。内面は光沢のない黒色。
131図-5 杯	口 (12.6)	図示部の1/5	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面は丁寧な削りによって器面平滑。内面も丁寧に仕上げられており、やや粗い磨痕が通る。	①B。雲母粒少ない。極めて磨き。②やや硬調。③にぶい橙7.5YR7/4。灰色味をおびるムラあり。断面も灰色味強い。
131図-6 高杯	口 15.7 脚高 12.3 高 12.9	北壁直下床直上 杯部1/2 脚部はほぼ完存	杯部内面やや平滑さ欠く。外底はやや粗い削り。脚部は強く細かい削り。内面はナゲでやや平滑に仕上げられる。	①Eに近い。雲母やや少なく、混入物は小粒。②硬調で焼き締まる。③橙7.5YR6/6。赤色味をおびるムラあり。
131図-7 鉢	口 (19.8)	図示部の1/8	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面にやや強い削りの磨痕が残る。	①Eに近い。雲母少ない結晶片磨痕は見られない。②普通。③にぶい黄緑10YR6/4。内面やや赤い。
131図-8 壺	口 18.0	図示部の1/2	外面の削りは雑で不規則。無調整部分が多い。口縁部は内外面とも粗い磨痕の残る強いナゲ。割部内面は不整。	①B。微細な赤褐色胎物やや目立つ。②普通。炭類としては焼き締まる。③にぶい橙7.5YR6/4。内面は黒色味強い。

#### 3A号住居跡出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
134図-1 杯	11.5 高 5.1	埋没土4片 口縁2/3 底部完存	器面は着てハズレの刺高多く、整形痕はやや不明瞭。外面削り、内面ナゲとも丁寧で、平滑に仕上げられているようだ。	①F。混入物はやや小粒で雲母は少ない。②やや硬調。③にぶい橙7.5YR6/4。黒斑広い。内面は灰色味をおびるムラ広い。
134図-2 杯	口 (14.4)	埋没土7片 図示部の1/3	外面の削りはやや粗い。内面のナゲもやや粗いが、底面付近に不規則なへら磨きを加えている。	①EでIに類似する。赤褐色胎物やや目立つ。②やや軟調。③にぶい橙7.5YR5/4。外面口縁と内面は細砂のない黒色。
134図-3 杯	口 (15.8)	埋没土 図示部の1/5	器面摩滅し、整形痕やや不明瞭。口縁および内部のナゲは比較的丁寧。削りはやや粗い。	①F。細砂サイズの混入物多く、ザラザラしている。②硬調でやや焼き締まる。③橙5YR6/6。黒斑あり、内面は形度低い。
134図-4 ミニチュア	口 1.6 高 2.7	埋没土 1/2個体	口縁外面は横状ナゲ、割部は外面はやや規則的な指痕圧痕、外面はへら先状の工具痕が残る。	①B。大粒の混入物は全く見られない。②普通。小器品としては焼き締まりに欠ける。③にぶい橙5YR5/3。赤色・黒色味のムラあり。

#### 3B号住居跡出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
133図-5 杯	口 (11.8)	P1東部床直上 図示部の1/3	口縁部は強いナゲで、粗い磨痕が残る。外底の削りは粗く強い。内底は丁寧なナゲが、へら工具の圧痕が残る。	①B。粗砂を少量含む。②普通。③にぶい橙7.5YR5/4。黒色味やや強いムラが内外面ともに広い。
133図-6 杯	口 (13.4) 高 4.2	南壁下床直上 口縁1/2 底部はほぼ完存	外面の磨痕は弱い削り、内面にへら先をあてた鋭い沈線が通る。外面の整形痕は不明瞭。内面へら磨き後、黒色処理。	①G、Bに近いが、雲母粒を含まない。②やや硬調。③にぶい黄緑10YR7/4。外面はほぼ一様。内面はやや光沢のある黒色。
133図-7 杯	口 (13.0)	埋没土3片 口縁若干 底部1/3	外底の削りは丁寧でやや強い。内底はへら工具使用のナゲで、やや粗いが平滑に仕上げられる。	①Bに近い。雲母粒は少なく、赤褐色胎物やや目立つ。②やや硬調。③にぶい黄緑10YR7/3。赤色味をおびるムラあり。

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
113図-8 高杯	脚 9.1	南東壁床直上 図示部の3/4	脚柱部外面はやや弱いへう削り。内面はへう状工具による強く鋭いナダ。内面裾部にへう磨きが見られる。	①B。②やや硬調。 ③にぶい橙5YR6/4。内面は明度・彩度とも低い。黒斑あり。
113図-9 壺	口 17.7 胴 18.9	南壁下床直上 図示部は完存	外面の削りは幅広く強い。内面も幅広いへう状工具でやや平滑に仕上げられる。	①D。夾胎物の粒径は最大5mm以上となる。 ②やや軟調でしまり欠く。③にぶい赤褐5YR4/4。外面下半は黒色味強い。
113図-10 壺	底 6.4	P 2内床直上 図示部完存	外面の削りは幅広く強く規則的。内面はへう状工具による不明瞭なナダでやや平滑に仕上げられる。	①C。雲母を含まないやや緻密な集地で混入物少ない。②やや硬調。③にぶい橙7.5YR7/4。赤色味の強いムラ広い。内面は灰色味強い。
113図-11 壺	底 8.2	南壁下床直上 図示部完存	外面細かく丁寧な削り。外面も一方向に丁寧に削る。内面もへう状工具の弱いナダで平滑に仕上げられる。	①A。大粒の混入物を散見する。②やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。黒斑あり。内面彩度低い。
113図-12 壺	胴 (22.4)	南壁下床直上 東壁下床直上6cm 図示部の1/2	外面は方向不定のやや粗い削り。内面のへう状工具によるナダは下半でハケ目状の擦痕が残る。	①E。雲母粒はやや少なく、混入物は小粒。 ②普通。大型品としては良好。③にぶい橙7.5YR6/4。黒色・黄褐色のムラがあり、一様でない。

#### 4号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
135図-1 杯	口 (12.4) 底 4.9 高 3.9	東壁際床直上 野竈穴内 口縁3/4欠く	底部歪む。外面は部分的に弱い削りを施すが、指痕が残る。内面は丁寧でやや強いナダで平滑に仕上げられる。	①D。混入物は最大5mm大。素地は緻密。 ②やや硬調で焼き締まる。 ③橙7.5YR6/6。ほぼ一様。

#### 5号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
137図-1 杯	口 13.1 高 4.8	埋没土6片 口縁2/5欠く	外面は厚減し不明瞭。内面は丁寧なナダで平滑に仕上げられる。	①B。赤褐色胎物やや多い。②普通。 ③にぶい黄橙10YR7/4。黒斑あり。一様でない。
137図-2 高杯	口 18.8	埋没土7片 図示部の1/3	杯外底部に強く粗い削り。他はやや丁寧なナダ。墨み大きい。	①B。雲母の混入やや少ない。②やや軟調。 ③橙5YR6/6。赤色味の強いムラあり。 ④口縁上部の擦痕著しい。
137図-3 鉢	口 (12.0)	埋没土2片 図示部の1/5	口縁部は内外面とも粗い擦痕の残る強いナダ。体部外面は弱い削りか。内面は比較的平滑。	①B。②に類似する。②やや硬調。 ③橙7.5YR7/6。断面は黒色味強い。
137図-4 鉢	口 (20.8)	埋没土 図示部の1/8	外面の削り弱く、接合部残る。内面ナダやや粗い。小破片からの復元で不安。	①B。緻密。②硬調で焼き締まる。③にぶい橙7.4YR6/4。黒斑あり。内面は彩度低い。
137図-5 瓶	底 (5.4)	埋没土 図示部の1/2	外面細かな削り。内面丁寧なナダ平滑に仕上げた後に外方より底部穿孔。	①B。緻密。粗砂少量まじる。②やや硬調。 ③橙5YR6/6。黒斑あり。
137図-6 壺	口 (17.8)	北西壁下床直上 図示部の1/3	外面は強くやや細かな削り。内面は幅広いへう状工具でやや平滑に仕上げられる。口縁のナダは強い。	①E。大粒の混入物をおよびるムラが著しい一様でない。
137図-7 壺	口 (19.0)	北西壁下床直上 図示部の1/3	厚手。外面は細かく鋭い規則的な削り。内面は幅広いへう状工具によるナダでやや平滑に仕上げられる。	①E。最大7mmの大粒混入物やや多い。②硬調で焼き締まる。③外面黒褐7.5YR3/1。内面にぶい黄橙10YR7/3。④口縁内側へ外側スス付着。
137図-8 壺	口 (18.0) 胴 23.0 底 8.6 高 24.6	北西床直上の38片、口縁1/3 胴部以下2/3	外面削りは幅広く丁寧。口縁ナダは布目状の擦痕が残る。内面のナダはやや弱く、接合部が残る。	①D。赤褐色胎物や8mm大の片岩粒目立つ。②やや硬調。③にぶい橙7.5YR5/4。黒斑あり。内面は赤色味をおびる。
137図-9 壺	口 (18.8) 胴 26.4 底 5.8 高 (27.5)	北東壁下床直上 接合しない2点 上半1/3 下半2/3	外面削りは幅広く雑。方向もやや不定。器面は平滑さ欠く。内面のへう状工具使用のナダもやや幅狭で平滑さやや欠く。口縁部も強く、傾き不安。	①D。5mm大の片岩粒目立つ。②やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR5/4。外面に黒斑広い。内面は黒色味強い。

#### 6号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
139図-1 杯	口 12.2 高 4.2	1号野竈穴南壁 床直上 完形	口縁外面に弱い削り。外底は丁寧で鋭い削り。口縁と内底はやや粗い擦痕の残る丁寧なナダ。	①B。赤褐色胎物の混入やや多い。②やや硬調。 ③にぶい黄橙10YR7/4。赤色味、黒色味の強いムラ一様でない。
139図-2 杯	口 10.7 高 4.5	P 2内床面レベル 口縁1/2 底部完存	口縁は内斜角状だが上端のみ僅かにひらく。外底の削りは弱く、縁部に型ハダ状の凹み残る。	①E。雲母粒はあまり多くない。②やや硬調。 ③明赤褐5YR5/6。内面は黒色味の強いムラ広い。

No	種類	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
139回-3	杯	口 12.6 高 4.3	甕西輪床直上 ほぼ丸形	外面やや厚縁し、整形痕や不明瞭。外底の削りはやや粗い。内面は丁寧で強いナデ。	①C。雷母粒が見。最大5mm程度の混入物。赤褐色胎土や目立つ。②硬調で焼き締まる。③粗7.5YR7/6。外底に黒斑。内面は赤色味強い。
139回-4	椀	口 10.5 高 4.9	東壁原床直上15cm 口縁1/3欠く	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面の削りは丁寧なようで器面の凹凸少ない。内面のナデはやや粗く、器面平滑さ欠く。	①Fに近い。混入物は少ない。②やや硬調。③にぶい粗7.5YR7/4。小さな黒斑あり。内面は赤色味をおびる。
139回-5	杯	口 (11.8) 高 3.0	甕西輪床直上7cm 1/2個体	外底は幅広くやや鋭い削り。口縁のナデは丁寧。内底はやや平滑さ欠く。	①E。赤褐色胎土目立つ。②普通。③にぶい赤褐色5YR5/4。黒斑あり。
139回-6	杯	口 12.8 高 [ 3.4]	甕前原床直上の7片 口縁1/6と 底部中央欠く	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面は比較的丁寧な削りか。内面は指頭のやや粗いナデ。	①B。赤褐色胎土の混入やや多い。②やや軟調。③にぶい粗7.5YR6/3。赤色味をおびるムラあり。
139回-7	杯	口 13.4 高 3.9	甕東輪上 2/5個体	厚手。6にはほぼ同巧か。内面は中位のみ横位の強いナデ。	①B。6に類似する。②普通。③粗7.5YR6/6。黒斑あり。
139回-8	杯	口 (14.0)	埋没土 図示部の1/5	厚手。器面摩滅し整形痕不明瞭。歪みある破片からの復元で径・傾きとも不安。	①F。赤褐色胎土を少量含む。②普通。③粗7.5YR6/6。外底は灰色味をおびる。
139回-9	鉢	口 9.8~10.1 底 4.9~5.3 高 7.3	甕西輪床直上 丸形	厚手で重量。外面の削りは粗く縁で器面に凹凸多い。内面のナデも縁で、特に底面は平滑さ欠く。	①E。硬調で厚手の土器としては焼き締まる。③にぶい粗7.5YR6/4。黒色味黄色味をおびるムラ広く一律でない。
139回-10	鉢	口 (22.0)	甕内と甕東側の 8片 図示部の1/4	外面は幅広くやや強い削り。内面は幅広い丁寧なナデでやや平滑に仕上げる。	①B。赤褐色胎土を含む。②やや軟調。③にぶい粗7.5YR6/4。黒斑あり。内面の黒色味強い。④口縁内面に塗布りの可能性。
139回-11	鉢	底 6.7 高 [ 4.3]	埋没土5片 図示部の2/3	内面仕上げ丁寧で縁か。外面の削りも丁寧。割れ口を調整しており、転用して使用した可能性。	①B。赤褐色胎土を含む。②やや硬調。③粗7.5YR7/6。外底に黒斑。赤色味をおびるムラあり。④内底中心に刺高多い。
139回-12	鉢	口 21.7 高 9.4	甕内火床直上18cm の8片 口縁2/3 底部完存	外面の削りは深く、器面は凹凸。口縁に強いナデ。内面に粗い磨痕の強い残る。底面やや平滑に仕上げる。	①A。雷母粒あまり多くない。②やや硬調。③にぶい黄褐色10YR7/4。外底に黒斑。赤色味をおびるムラあり。④甕内出土だが焼熱直でない。
139回-13	甕	口 25.2~26.6 高 12.5 孔 2.9	甕西輪床直上① 貯蔵穴 ほぼ丸形	外面の削りは粗く強い。口縁と内面は強いナデでやや粗い磨痕が残る。穿孔は丁寧。	①A。混入物少ない。チャートやや目立つ。②やや硬調。③にぶい粗7.5YR7/4。外面下半部以下にやや黒色味をおびる均質のムラ。
139回-14	甕	口 16.9~18.7 高 13.7 孔 2.5~2.9	甕西輪床直上 丸形	口縁部の形状は一定しない。外面はやや丁寧な削り。内面のナデは強く、粗い磨痕が著しい。穿孔は粗。	①A。混入物は粒径最大3mm。②硬調で焼き締まる。③にぶい粗7.5YR6/3。外面黒色味、赤色味をおびるムラあり。内面一様。
139回-15	甕	孔 9.8	埋没土 図示部の1/5	外面幅広くやや丁寧な削り。内面の整形は縁で器面に凹凸あり。歪みのある破片からの復元で径・傾きとも不安。	①B。赤褐色胎土の混入多い。②やや硬調。③にぶい黄褐色10YR7/3。内面やや赤色味をおびる。
140回-16	小型壺	口 12.8 高 10.1	2号貯蔵穴南の 床直上 上半1/3欠く	厚手でやや重量。外面の剥落著しく、整形痕不明瞭。内面はやや丁寧なナデ。幅広い工具痕が一部で残る。	①D。混入物極めて多い。②普通。③にぶい赤褐色5YR5/4。外底と内面上半は黒色味をおびる。④二次焼熱の影響著しい。
140回-17	鉢	口 (13.0)	埋没土 図示部の1/5	器面やや厚縁し整形痕不明瞭。削り、ナデとも丁寧で平滑に仕上げる。	①B。雷母粒は少ない。②やや硬調。③にぶい黄褐色10YR7/4。内面やや赤色味をおびる。
140回-18	壺	口 13.3	2号貯蔵穴上床 直レベル 図示部ほぼ完存	口縁上縁は部分的に外方へ肥厚するが一定でない。外面は強い削り、内面のナデはやや丁寧。	②やや軟調で締まり強い。③にぶい粗7.5YR6/4。赤色味、黒色味の強いムラ広い。④二次焼熱。
140回-19	壺	口 19.8~21.2 胴 20.7 底5.3 高 36.5	甕内火床直上13cm ほぼ丸形	外面の削りは幅広くやや丁寧。外底に木葉痕わずかに残る。内面は幅広い工具使用の息の長い丁寧なナデ。	①A。混入物は最大3mm。小粒を多量に含む。②普通。③にぶい粗7.5YR6/4。外周黒色味の強いムラ広い。④二次焼熱。外面中に粘土付着。
140回-20	壺	口 21.0 胴 17.7	2号貯蔵穴東の 10片 図示部ほぼ完存	外面やや強いナデ。口縁部のナデは弱く接合痕が残る。内面の工具使用ナデは強く、ヘラ削りに近い。	①E。雷母粒やや少ない。②普通。③にぶい粗7.5YR6/4。内面は明度低い。④外面頸部付近に黒粘土付着。
140回-21	壺	口 (23.0)	埋没土の10片 図示部の1/3	外面やや剥落著しい。外面の削りは鋭く強い。内面は横位の規則的なナデでやや平滑に仕上げる。	①D。片岩類が大量のもの目立つ。②やや軟調。③にぶい黄褐色10YR7/4。下半は明度強い。④外面に二次焼熱の影響。
140回-22	壺	口 21.5~22.8 胴 18.7 底5.7 高 35.0	甕内火床直上18cm ほぼ丸形	外面削りは下半で強い。口縁のナデは丁寧。内面の横位ナデは規則的で丁寧。やや粗い磨痕が残る。	①D。片岩類はやや少ない。②普通。③粗7.5YR6/6。外周下半は明度低い。④二次焼熱。外面中に黒粘土付着。



No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
140図-23 罎	口 (21.4) 胴 (20.0)	P 1 東側床直上 の17片 図示部1/3	外面の削りは規則的で幅広く強い。口縁のナゲはやや丁寧。内面は息長い幅広いナゲ。	①D。混入物は最大7mm。大粒片が粗目立つ。②普通。③焼5YR6/6。外面下半は明度低い。④二次焼熱。外面一部に電粘土付着。
140図-24 罎	胴内径 29.4 底 8.6	窰内②2号貯蔵 穴上床土レベル 図示部は完存	外面の削りやや粗い。内面のナゲはやや強いが、器面の凹凸や接合痕が残る。底部周辺のみやや平滑。	①B。混入物やや多い。②普通。③にぶい焼7.5YR6/4。外面黒度広い。④内面中位の割高すむ。

#### 7号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
142図-1 杯	口 12.1 高 4.2	北東直下床直上 の3片 3/4個体	外面の削りはやや弱い。口縁と内面のナゲは丁寧で同心円状の磨痕が走る。	①B。雷母粒はやや少ない。②普通 ③焼7.5YR4/3。断面は明度高い。④内外面とも光沢ある黒色付着物あり、産塗りの可能性。
142図-2 杯	口 11.7 高 4.1	床下の9片 口縁1/3欠く	外面の削りやや粗。内面のナゲは丁寧で磨痕はあまり残らない。内面平坦。	②普通。③焼5YR6/6。ほぼ一様。
142図-3 杯	口 12.6 高 3.8	窰前寄りの床 直上 1/4個体	底面中央は薄く、歪みあり。外面の削りは粗くやや強い。内面のナゲも強い。	③焼5YR6/6。明度の低いムラあり。
142図-4 杯	口 12.2	東壁下床土6cm 図示部1/4	3にほぼ同円。内面のナゲはほぼ同心円状の磨痕が走る。	①E。3にほぼ同じ。②普通。 ③にぶい焼5YR6/4。ほぼ一様。
142図-5 杯	口 (13.4) 高 4.6	窰西端④住居中 央床直上 口縁 1/2 底部完存	外面は鋭く丁寧な削りで削り残した部分がない。内面は割高した化粧粘土下にハケ目状の調整痕が見える。	①Cに近い。混入物は少ない。 ②やや硬調。 ③にぶい焼10YR7/3。外面に黒度広い。
142図-6 杯	口 (11.8)	埋没土の3片 図示部1/2	外面の削りは強く、やや雑で器面に小さな凹凸が残る。内面は丁寧なナゲで、細かな磨痕が同心円状の走る。	①B。赤褐色鉱物の混入物やや多い。②やや硬調。 ③にぶい焼5YR6/4。内面は明度低い。 ④内面中央付近の割高がすむ。
142図-7 椀	口 (18.2)	北西側埋没土の 2片 図示部1/4	外面の削り、内面のナゲとともに強く雑で器面の凹凸が多い。歪み強く、歪・傾きとも不安。内面黒色処理。	①B・Eの中間。赤褐色鉱物目立つ。②普通。 ③にぶい焼7.5YR5/4。赤褐色をおおるムラあり。 内面は光沢のない黒色。
142図-8 鉢	口 (20.0)	北東側埋没土の 2片 図示部1/8	外面の削りは幅広く強く、やや粗い。内面は丁寧なナゲで、平滑に仕上げているが、下端に粗い磨痕が残る。	①Fに近い。混入物は少ない。 ②やや硬調。 ③にぶい焼7.5YR7/4。断面は黒色味をおおる。
142図-9 瓶	口 ( 9.0)	P 3 西の床直上 図示部1/3	外面削りやや丁寧。内面底部付近に粗いナゲ、中に雑な磨きを加える。	①C。混入物は少ない。②やや硬調。 ③焼7.5YR4/3。内外面に黒度あり。
142図-10 小型罎	口 12.1 胴 12.4 高 [10.3]	中央床6cm 胴～底部の1/4を 欠く	器面劣化し整形痕不明瞭。外面一部に無調整部分残る。内面は幅広い工具によるやや雑なナゲ。	①A。混入物はやや少ない。②普通か。 ③にぶい赤褐5YR5/4。黒色味をおおるムラあり。 ④全体に二次焼熱の影響。
142図-11 小型罎	口 (15.0)	北西側埋没土 図示部1/6	器面割高すすみ整形痕不明。内面は比較的平滑に仕上げている。	①B。赤褐色鉱物を含む。②やや硬調。 ③にぶい黄褐10YR6/4。外面下半は黒色味強い。
142図-12 罎	口 (20.8)	南西隅床土26cm 図示部1/3	外面幅広く息の長い丁寧な削り。口縁と内面のナゲも要領としては丁寧。	①E。赤褐色鉱物やや多い。②硬調で硬調としては焼き締まる。③焼5YR6/6。内面明度低い。
143図-13 罎	口 18.0～18.9 胴 19.2	貯蔵穴南西側の 床直上 胴部 1/2と底部欠く	厚手で極めて重量。外面は幅広くやや粗い削り。内面はへう状工具のやや丁寧な削り。	①AとDの中間。②普通。厚手の土器としては充分に火がまわる。③にぶい焼7.5YR5/4。黒度あり。内面は赤褐色をおおる。
143図-14 罎	口 23.0 胴19.7 底 4.4～4.9 高 36.6	北西隅床直上 上半の1/3欠く	外面の削りは幅広く息長い。内面はへう状工具の丁寧なナゲで、凹凸少なく仕上げている。	①AとDの中間。Bに類似する。②普通。 ③にぶい焼7.5YR5/4。黒度や赤褐色の強いムラあり一様でない。④二次焼熱。

#### 9号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
145図-1 杯	口 (13.0)	南壁下床直上 図示部1/4	外面の削りやや弱い。口縁のナゲは粗い磨痕が走る。外面一部に光沢ある黒色付着物あり、産塗りの可能性。	①B。輝石・角閃石類を含む。②やや硬調で焼き締まる。③明赤褐5YR5/6。外底付近は黄色味をおおる。
145図-2 杯	口 (12.4)	南寄り床直上④ 西壁床土19cm 図示部1/4	器面厚減し整形痕不明瞭。外面はやや粗い削りか。	①B。1に類似する。②やや硬調。 ③明赤褐5YR5/6。ほぼ一様。④二次焼熱。1と同一個体の可能性。
145図-3 罎	口 (15.0)	P 2 南床上6cm 図示部1/6	器面厚減すすみ整形痕不明。口縁のナゲは強く、粗い磨痕が残る。	①D。やや砂質。混入物は最大6mmだ。②硬調で焼き締まる。③明褐7.5YR6/6。ほぼ一様。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
146図-1	杯	口 (11.2) 高 4.5	南東倒埋土12cm 口縁3/5欠く	器面摩滅すすみ整形痕不明。外底に円形粘土状の粘付痕あり。外面の凹みの中に、黒色の漆状付着物が残る。	①F。雲母粒多い。 ②やや硬調で焼き跡多。 ③にぶい黄緑10YR7/3。断面まで一様。
146図-2	器台	口7.6 脚上2.2 脚下 13.8 高 9.9	上層 ほぼ充形	脚部に外方より3孔を穿つ。ヘラ磨きは杯部でやや粗。脚部内部のナデは上半で削りに近く、下半で粗い磨痕が残る。	①E。混入物は少ない。 ②普通。 ③明赤褐5 YR5/6。ほぼ一様。
146図-3	器台	口8.1 脚上2.0 脚下 13.3 高 9.9	上層 ほぼ充形	脚部の3孔は等間隔とならない。ヘラ磨きは丁家だが、杯部内部は凹凸が残る。脚部内部の整形も丁寧。	①Cに近い。混入物や多量。 ③にぶい黄緑10YR7/4。赤色味・黒色味をおびるムラあり一様でない。

#### 11号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
146図-1	高杯	口 17.0	北西倒埋土の8片 図示部の3/4	口縁内端に削り押しさえ。内外面に細かな単位のヘラ磨きを丁寧にする。	①D。赤褐色胎土を少量含む。②やや軟調か。 ③にぶい赤褐色2.5YR4/3。外面は赤度やや高く、断面は黄色味をおびる。④二次焼物か。
146図-2	器台	脚上 (12.0)	南西倒埋土 図示部の1/3	器面の摩滅すすみ、整形痕不明。内面の整形が雑なことで脚部と判断した。	①F。輝石・角閃石の混入やや多い。②普通。 ③にぶい黄緑10YR7/4。断面まで一様。
146図-3	罎	口 (15.8)	南東倒埋土の8片 図示部の2/5	口縁端部はわずかに内屈する。外面は丁寧で削り削りにナデに近い。内面下半はやや不整。上半に横位ヘラ磨きか。	①G。砂粒多いが、大粒混入物のないやや緻密な胎土。②普通。 ③にぶい黄緑10YR7/4。内外面ほぼ一様。
146図-4	短頸壺 (直頸器)	口 (6.8) 胴 (12.6) 高 [ 8.0]	南西倒埋土11片 図示部の2/5	右回転口クロ。内面上部は削り細かなカキ目状磨痕。底部手持ちヘラ削り。内面はやや鋭い口クロ。	①素地やや緻密。チャート粒まじる。 ②還元充分で硬調。③青灰5 B6/1。断面はセピア色。上半に灰黄色の磨痕。④混入品。
146図-5	壺	口 15.8 胴 12.3	P 1 西臨床直上 図示部の3/4	外面はL R織文の横位施文。肩部付近では市松状の配置を意図している可能性。内面ナデは丁寧で、口縁には磨き。	①Cに近い。混入物は小粒で少ない。 ②やや軟調で締まり欠く。③にぶい黄緑10YR6/3。内外面とも黒色味をおびるムラ広い。
146図-6	壺	口 (17.6) 胴 (10.4)	P 3 西の床上30cm。図示部2/5	口縁外端にL R織文の横位施文。	
146図-7	壺		西壁下南寄床10cm 図示部の1/8	器面の摩滅すすみ整形痕不明瞭。肩部に横状文と細かな波状文の磨痕あり。内面は丁寧なナデか。	①C。小粒の混入物が極めて多い。②硬調で焼き跡多。③暗7.5YR6/6。外面は赤色味・黒色味をおびるムラあり。④二次焼物。
146図-8	壺	胴 (21.6) 底 (7.4)	西壁下床土7cm 図示部の1/4	器面摩滅し、整形痕不明瞭。ヘラ磨き状のナデ痕が内外面に残る。	①C。混入物は小粒。輝石・角閃石多い。 ②普通。③にぶい黄緑10YR7/4。黒斑あり。
146図-9	壺	胴 (21.0) 底 6.5	南東倒埋土の22片 図示部の1/2	外面はやや鋭い削りで丁寧な仕上げ。内面の整形はやや雑で、指頭痕や接合痕が残り、平滑さ欠く。	①C。8に類似する。②やや硬調。 ③にぶい黄緑10YR7/3。ほぼ一様。断面やや灰色味をおびる。
146図-10	壺	底 7.6	南西倒埋土11片 図示部の2/5	大型土器としては薄手で軽量。外面は丁寧な削り、外底に砂粒付着。内面は削りに近い鋭いナデ痕が所々で見られる。	①C。②やや硬調。 ③明赤褐2.5YR5/6。黒斑あり。内面は黒色味が強い。
146図-11	壺	底 7.6	南寄床土9cm 図示部ほぼ充存	細かいヘラ磨きで丁寧に仕上げ。外底もヘラ削りにより平坦。	①G。緻密で重い素地。混入物少ない。②普通。 ③にぶい赤褐5 YR5/4。ほぼ一様。
146図-12	壺	底 8.5	南東倒埋土の8片 図示部ほぼ充存	外面は磨きに近い弱い削りで、比較的平滑。外底も平坦。内面も磨きに近いナデでやや平滑に仕上げ。	①C。8に類似する。②やや軟調。 ③にぶい赤褐5 YR5/4。黒色味・灰色味をおびるムラあり。一様でない。
146図-13	壺	底 7.7~8.2	P 4 上床土7cm 脚下端1/4	円盤状の厚い底部。器面の摩滅著しく、整形痕は不明。	①C。輝石・角閃石の混入極めて多い。②普通。 ③にぶい黄緑10YR7/4。外面に黒斑と黒色味をおびるムラあり。断面灰色味強い。
146図-14	小型壺	口 (14.0)	北西倒埋土の12片 図示部の1/3	口縁は小さく波状に歪む。外面の削りはやや雑で強い。内面は雑なナデで平滑さ欠く。	①A。やや砂質。②やや硬調。 ③にぶい暗7.5YR7/4。外面に黒色味をおびるムラあり。内面は明度低い。
146図-15	台付壺	口 15.2 胴 13.2	東寄床直上 図示部の1/2	ハケ目はやや粗い単位で平坦な工具を使用。内面は指頭状の圧痕と細な磨痕が残る。	①G。やや緻密な素地で、細かな混入物をやや多量に含む。②やや硬調。 ③にぶい黄緑10YR7/4。断面は黒色味が強い。
146図-16	台付壺	口 (15.2) 胴 (14.2)	南東倒埋土 図示部の2/5	ハケ目は繰り返して施しており、細かな単位のように見える。内面のナデは丁寧。	①A。やや砂質。②やや硬調。 ③にぶい暗7.5YR7/4。断面は黒色味が強い。
146図-17	台付壺	口 (15.0) 口縁1/3 脚部1/8	東寄床直上 口縁1/3 脚部1/8	ハケ目の単位は粗く、極めて強く施す。内面は指頭部に削りのような強いナデ。肩部は指頭状の圧痕と磨痕。	①G。15に類似。②普通。 ③にぶい黄緑10YR7/4。赤色味の強いムラあり。断面は黒色味強い。④削れ口摩滅やや目立つ。

No 器種	計 画 値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
149回-18 壺	頸 (19.6) 胴 53.8	住居南寄床直下 6cm×東壁埋込土 上23.28cm 内面 図示部の1/2	器面摩滅し、特に外面同部の剥落顯著。頸部に薫状文あり。外面割部付近はヘラ状工具による磨きに近い磨きナデか。内面は比較的平坦。	①D。混入物は最大7mm。②普通。③に多い種7.5YR7/4。灰色味・黒色味の強いムラ多く、一様でない。内面は均等に黒色味強い。

#### 12号住居出土遺物

No 器種	計 画 値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
150回-1 鉢	口 (12.0)	埋込土 図示部の1/4	口縁は粗い磨痕の残るナデ。胴部外面は磨きに近いナデ。内面やや不整。	①Bに近い。器形の混入物少ない。②普通。③種7.5YR6/6。外面に広い黒斑。
150回-2 杯	口 (13.0)	南西側壁直下床 上5cm 図示部の1/6	薄手で軽量。丁寧な作りである。器面やや摩滅。外面はヘラ状工具による丁寧なナデで、僅かにハケ目状の磨痕残る。内面も一部に放射状のヘラ磨き痕残る。	①G。赤褐色鉱物を散見する微少な胎土。②普通。③種5 YR6/6。外底付近に黒斑あり。
150回-3 壺	頸 (14.0)	北東寄埋込土 図示部の1/3	器面摩滅し磨痕不明。内面は押圧するようなヘラ磨き痕あり。	①C。混入物少ない。②やや硬調。③明黄褐色10YR7/6。内面・断面は黒色味強い。
150回-4 台付壺	口 (17.0)	北西側埋込土 図示部の1/4	ハケ目はやや不明瞭。	①C。混入物やや少ない。②やや硬調。③に多い黄褐色10YR7/3。一様。
150回-5 台付壺	口 (17.0) 頸 (15.2)	埋込土 図示部の1/5	極めて薄手。器面の摩滅すすみ磨痕不明。ハケ目は鋭い。	①C。②硬調で焼き締まる。③に多い黄褐色10YR6/4。断面黒色味強い。
150回-6 台付壺	台上 (6.0) 台下 (9.8)	北西側埋込土 底部充存	やや薄手。ハケ目は細かく、やや弱い。台部折り返しは丁寧。内面のナデも要領台として丁寧で、平滑に仕上げた。	①C。混入物やや少ない。②やや硬調。③に多い黄褐色10YR5/3。内面は明度高い。④Sと同一個体の可能性。
150回-7 台付壺	台上 4.8 台下 7.2	中央埋込土 図示部の3/4	台部内面の折り返しは不規則。外面ハケはやや弱い。	①C。混入物少ない。②普通。③に多い黄褐色10YR7/3。内面黒色味強い。

#### 13号住居出土遺物

No 器種	計 画 値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
152回-1 高杯	脚上 3.0	北側埋込土 底部充存、脚部 1/4	窓は三ヶ。大形で三角形を呈すか。脚内面を除き、やや磨きナデの上に乗色塗彩。	①A。混入物は小粒で多量。②普通。③に多い種7.5YR7/3。断面一部黒色味おびる。赤彩は赤褐色10R4/4。
152回-2 器台	口 (7.2) 脚上 (3.2)	北西側埋込土 図示部の1/2	薄手。器面は比較的平滑。	①B。赤褐色鉱物少量含む。②普通。③に多い黄褐色10YR6/3。ほぼ一様。
152回-3 高杯か	脚上 (14.0)	南西側埋込土 図示部の1/5	薄手。孔は4ヶか。高さが異なり、定期的な配置となる可能性。器面のナデはごく粗く、ハケ目がやや明瞭に残る。	①B。混入物やや多い。②やや硬調。③に多い黄褐色10YR7/4。ほぼ一様。
152回-4 増	口 (11.6) 底 3.1 高 5.6	P4樽。 口縁1/3、底部充存。	底部やや上げ底。外面の摩滅すすみ磨痕不明瞭。底部縁辺にヘラ状工具跡。口縁内面に縦な磨き。	①G。やや砂質。細かな混入物を少量含む。②やや硬調。③淡黄褐色10YR8/3。一様。
152回-5 小形壺	口 (9.8) 頸 (9.0)	南東側埋込土 図示部の1/3	口縁はわずかに稜があり、S字状の退化したものの可能性。胴部外面の削り、内面のナデともやや粗い。	①C。混入物は小粒。②やや硬調。③に多い黄褐色10YR7/2。断面は黒色味おびる。
152回-6 小形壺	口 (10.4) 頸 (8.2)	南東側埋込土 図示部の1/6	器面やや摩滅。内外面とも弱く丁寧なナデだが不明瞭。一部に磨きの可能性。外面に赤色塗彩の可能性。	①C。混入物は小粒。②普通。③に多い赤褐色2.5YR5/4。外面に黒色味おびるムラあり。④二次被熱か。
152回-7 壺	口 (21.8) 頸 12.0	西壁下南寄り。 図示部の3/4	器面やや摩滅。外面口縁部と胴部の縄文はRL横位か。口縁外面にやや粗いヘラ磨き。	①A。混入物は小粒で多量。やや砂質。②普通。③に多い赤褐色5 YR5/4。黒色味、赤色味おびるムラあり一様でない。
152回-8 壺	22cm前後	北西側埋込土。 図示部の1/10	7よりやや薄手で、作りは縄文。縄文はRL横位。	①②とも7の類似する。③に多い赤褐色2.5YR5/4。
152回-9 壺	口 (15.6) 頸 (12.6)	埋込土 図示部の1/4	縄文はL R横位。内面頸部付近にヘラ磨き。	②普通。③に多い黄褐色10YR7/3。
152回-10 壺	口 13.2	西壁下南寄り。	縄文はR L横位か。	
152回-11 壺	頸 (12.6)	南西隅。	縄文はR L横位か。薫状文に先行。	
152回-12 壺	口 (26.0)	南東側埋込土。 図示部の1/6	口縁外端の刻み目は刃先の突った工具による。胴部外面は丁寧なヘラ磨き。内面磨痕不明だが、器面は平滑。	①Cに近い。赤褐色鉱物以外の大粒混入物なし。②普通。③に多い種7.5YR6/4。内面・断面黒色味強い。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼土③色調④その他
1538-13	甕	類 (10.2)	東壁中央 図示部の1/4	列点又は丁字で鋭い。外面上半は横位の強いナデ。下半は細かく鋭い削り。内面は丁字ナデ。残存部分に赤色塗彩。	①Cに近い。混入物は小粒。②普通。 ③に多い黄褐色10YR7/3。断面黒色味強い。赤彩部は上より赤褐色2.5YR/4。
1538-14	甕	□ 28cm前後か	北西側埋没土。 図示部の1/10	厚手。口縁はS字の流れをくむ。内外面とも丁字な横位ナデで平滑。胴部にハケ目あり。小破片からの復元で不安。	①G。礫石等の微細な混入物をやや多量に含む。 ②普通。③浅黄褐色10YR8/3。断面は黒色味強い。
1538-15	甕	□ 25cm前後か	北西側埋没土。 図示部の1/10	胴面やや摩滅し口縁外端の筋目は不明瞭。外面下半に幅太のハケ目。近みのある小破片からの復元で不安。	①B。小粒の混入物やや多い。②普通。 ③灰黄褐色10YR2/2。断面は黒色味強い。
1538-16	甕	□ (14.6) 類 11.1	東寄り。 図示部の1/2	胴面の摩滅すな整形痕不明瞭。口縁端は上方につまみ上げる。内面はやや凹凸多い。	①Fに近い。結晶片岩は含まない。チャート粒等の2mm大の混入物やや多い。②普通。 ③橙5YR6/6。灰赤・黄色味おびるむらあり。
1538-17	甕	□ 21cm前後か	北東側埋没土 図示部の1/8	外面摩滅し整形痕不明。内面口縁はやや強いナデ。胴部は接合痕上に指頭状の圧痕残る。	①C。混入物は1mm以下。②やや硬調。 ③に多い橙10YR7/3。内面・断面は灰黒色味をおびる。
1538-18	甕	□ 20cm前後か	北西側埋没土。 図示部の1/10	胴面摩滅し整形痕不明瞭。小破片からの復元で不安。	①Fに近い。混入物はやや小粒。②やや硬調。 ③に多い橙10YR7/3。内面に黒斑あり。断面は灰黒色味をおびる。
1538-19	甕	類 (8.0)	北西側埋没土。 図示部の1/3	胴面摩滅し整形痕不明瞭。外面は縦位のへう磨きか。内面は種々なナデで粘土紐状の凹凸が残る。	①G。結晶片岩、雲母を含まない。1mm大の赤褐色鉱物粒多い。②普通。 ③に多い赤褐色5YR5/4。黒色味おびるムラあり。
1538-20	甕	□ (12.6) 類 (10.0) 類 (14.6)	図示部の1/3	胴部外面は粗い削りて一部ハケ目状。胴部内面は粘土充塞の焼成前補修痕があり、その上は無調整。	①D。2mm大の混入物多い。②普通。 ③に多い橙7.5YR6/4。外面下半は黒色味おびる。
1538-21	甕	底 6.4	図示部ほぼ存在	やや厚手で重宝。外底上げ感状。内外面とも丁字なへう磨きで、平滑に仕上げる。	①G。礫石やや目立つ微細な混入物含む。砂質 ②普通。③に多い橙7.5YR5/4。内外面とも黒色味の強いムラ広い。
1538-22	甕	底 7.4	南西側 図示部ほぼ存在	外体を除き丁字なへう磨きで、平滑に仕上げる。	①A。チャート、パミス等2mm大の混入物多い。 ②普通。③に多い橙7.5YR5/4。外面黒斑あり。
1538-23	甕	底 6.5	中央 図示部ほぼ存在	厚手。外底はやや上げ底で砂粒付着。内面はやや幅広い磨き、外面は部分的に細かなへう磨きの痕跡が残る。	①A。やや砂質。混入物は少ない。②普通。 ③灰黄褐色10YR6/2。内外面とも黒色味をおびるムラあり。
1538-24	台付き甕	□ 11.2 類 9.7	P1北 図示部ほぼ存在	ハケ目はやや粗い。内面は幅広工具による削りに近いナデだが、指頭状の凹凸が残る。	①B。雲母は少ないがやや大粒。②普通。 ③に多い黄褐色10YR6/2。内外面とも黒色味をおびるムラあり。④二次被熱。スズ状の付着物散見。
1538-25	台付き甕	□ 10.9 類 9.8	北西側埋没土。 図示部の2/3	ハケ目は細かい。内面は指頭にナデのような不明瞭な磨痕が残る。	①G。細かな赤褐色鉱物の目立つ粗砂やや多い。 ②やや硬調。③に多い黄褐色10YR7/3。外面に黒色味をおびるムラあり。④二次被熱。
1538-26	台付き甕	□ 15.0 類 (13.6)	P4北東 図示部の1/4	ハケ目はやや粗く鋭い。外面頸部下端にもハケ目状の磨痕残る。内面は幅広工具により比較的丁寧な調整。	①G。雲母は含まないが24に多い。②普通。 ③に多い黄褐色10YR5/3。内面明度高い。 ④口縁外面に若干スズ付着。
1538-27	台付き甕	□ (14.4) 類 (12.4)	南西側埋没土 図示部の1/5	ハケ目は細太で鋭い。外面頸部下端にもわずかにハケ目状の磨痕残る。内面に強い工具痕の残るナデ。	①G。雲母・結晶片岩を含まない。やや砂質。赤褐色鉱物やや多い。②やや硬調。 ③灰黄褐色10YR6/2。黒色味をおびるムラあり。
1538-28	台付き甕	□ (16.2) 類 (13.8)	西寄り 口縁2/5、胴部1/5	厚手。ハケ目は細かく丁寧。横位のハケ目は幅狭で鋭い。口縁内縁僅かなし。胴部内面は削りに近い鋭いナデ。	①G。27に類似する。②硬調。 ③に多い橙7.5YR7/3。外面一部赤色味強い。内面と断面は黒色味おびるムラ広い。
1538-29	台付き甕	□ (16.4) 類 (15.2)	南西側埋没土 口縁1/10 胴部1/4	厚手。ハケ目はやや細太で、ハケ目の下に一部の横位の削りの痕跡あり。内面のナデは難で固く、指面痕状凹凸残る。	①G。27に類似する。やや大粒の混入物あり。 ②やや硬調。③に多い黄褐色10YR7/3。ほぼ一様。
1538-30	台付き甕	□ 16.5 類 (15.2)	北西側埋没土 口縁1/2、胴部1/3	29に類似するがハケ目下の削り痕は下側でしか確認できない。	①G。27に類似する。②普通。 ③に多い黄褐色10YR7/3。内外面とも下側で灰黒色味強い。
1538-31	台付き甕	□ (14.6) 類 (12.0)	P4内 図示部の1/3	胴面やや摩滅する。やや厚手。ハケ目の上に口縁ナデだが、口縁内面一部に横位のハケ目残る。胴部内面磨。	①A。赤褐色鉱物やや多い。②やや硬調。 ③に多い橙7.5YR7/4。内外面ほぼ一様。
1538-32	台付き甕	□ 14.9 類 12.3 類 16.4 台上 (5.2)	伊東脇 図示部の4/5	胴面の摩滅著しく、ハケ目は不明瞭な部分が多い。口縁内面にハケ目の痕跡残る。胴部内面は削りに近い鋭いナデ。	①Cに近い。混入物やや多い。②普通か。 ③浅黄2.5YR7/3。外面灰色味の強いムラ広い。内面磨痕低い。④二次被熱。⑤普通。

No 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
153回-33 台付き壺	台上 4.9 台下 8.7	南西側埋没土 台部下半1/2欠く	ハケ目はやや雑。縦位のナデ消しは不明瞭。下半に強いナデでハケ目を消す。内面は比較的平滑。	①Bに近い。雲母の混入はわずか。 ③にぶい橙7.5YR6/4。内面明度低く、断面は黒色味強い。
153回-34 台付き壺	台上 4.4 台下 7.4	図示部の4/5	ハケ目粗く、ナデ消しはやや斜行している。内底はザラザラしている。台部内面はやや強い指痕。歪み強い。	①Bに近い。33に類似。②普通。 ③にぶい橙5.5Y7/3。外面彩度の低いムラあり。断面灰黒色味強い。
153回-35 台付き壺	台上 4.9 台下 8.2	北東側埋没土 台部下半1/2欠く	外面はハケ目上に強いナデ。内底、台部内面とも指痕の強いナデ。台部内面の折り返しは弱い。	①Bに近い。33に類似。外面化粧粘土使用の可能性。②硬調でやや焼き締まる。③にぶい橙5.5YR7/4。内底彩度低い。打面灰黒色味強い。
153回-36 台付き壺	台上 5.2 台下 8.9	P 3南 図示部完存	底部厚く、重量。外面ハケ目は雑でやや不規則。内面のハケ目も粗い。内底は雑なナデで平滑さにやや欠く。	①G。赤褐色鉱物、泥粒の混入する粗い土で、本住居の他の土器に見られない。②普通。③にぶい黄橙10YR7/3。内面黒色味強い。

#### 14号住居出土土遺物

No 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
155回-1 壺	口 (12.0) 頸 (7.6)	多分北東直上 図示部の1/3	器面摩滅し整形痕は不明。頸部のつなぎは丁寧。	①Bと下の中間的な粘土。バース含む。②硬調。 ③明赤褐5.5YR5/6。赤褐色の強いムラあり。
155回-2 壺		埋没土 肩部小片	外面は平滑で、その上に鋭いハケ目。刺突には異なる工具使用か。	①G。粗砂散見する極密な胎土。②普通。 ③にぶい黄橙10YR7/3。内面は灰色味強い。
155回-3 壺	口 (11.0) 頸 (10.2) 胴 (18.6)	東壁下床直上7cm 図示部の1/6	口縁部の残存は僅かで、径・傾き不安。外面の削りは極めて細かなハケ目状。内面剥落多く整形痕不明瞭。	①C。混入物少ない。②やや軟調。 ③明赤褐5.5YR5/6。外面下半は黒色味をおびる。 ④外面下半にスス状付着物。二次焼熟か。
155回-4 台付壺	台上 4.8	中央床直上10cm 図示部ほぼ完存	外面の削りは一部で不明瞭なハケ目状。内面のナデ痕に明瞭なハケ目状。	①C。やや大粒のチャート目立つ。②普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。ほぼ一様。
155回-5 ミニチュア		北壁下床直上 図示部の1/4	外面頸部に沈線か配してあり。壺形を意図か。外面に指痕状の弱い圧痕。内面は無調整。	①C。混入物は小粒でやや少ない。②軟調。 ③黒褐7.5YR3/L。内面・断面は明度高い。 ④削れ口摩滅する。

#### 15号住居出土土遺物

No 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
157回-1 高杯	脚上 3.5 脚上 (12.2)	P 2南床直上11cm 脚上完存	器面摩滅し整形痕不明瞭。外側より3孔を穿つ。外面は鋭いハケ目状の残る削りの上に、ヘラ磨きの可能性。	①D。最大6mm大の混入物あり。②やや硬調。 ③橙7.5YR7/6。外面赤褐色。内面黒色味をおびるムラあり。④二次焼熟か。
157回-2 器台	口 8.3	中層埋没土3片 図示部ほぼ完存	器面摩滅し整形痕不明瞭。内面にやや粗い同心円状の磨痕の残るナデ。	①C。混入物は小粒で少ない。②やや軟調。 ③橙5.5YR6/6。ほぼ一様。
157回-3 器台	口 9.7	P 2南床直上23cm 図示部完存	内外面とも丁寧な仕上げで、口縁外縁に幅広いヘラ磨きあり。	①B。細かなバース散見する。②やや軟調。 ③橙5.5YR6/6。外面彩度の低いムラあり。
157回-4 器台	脚上 4.7 脚上 10.7	P 4北床直上7cm 図示部ほぼ完存	4孔ずつ2段、計8孔をやや不規則な配置に穿つ。上方の孔は径約11mm、下方は8mm前後。胴内面は比較的平滑。	①C。赤褐色鉱物等、小粒の混入物を少量含む。 ②やや硬調。③橙7.5YR7/6。内面は灰色味、黒色味をおびる。
157回-5 埴	口 (11.2) 底 3.1 高 6.3	南壁下床直上9cm 上半1/3 下半2/3	薄手で軽量。外面は規則的なヘラ磨きで底部まで丁寧に仕上げている。内面のヘラ磨きは極めて強い。	①C。混入物は小粒で少量。②普通。 ③明赤褐7.5YR5/6。外面に狭い。内面に広い黒斑あり。
157回-6 埴	口 (11.0)	中層埋没土6片 図示部の2/5	器面摩滅し整形痕不明瞭。内外面とも比較的平滑に仕上げている。丸底か。	①G。混入物の少ない、やや密な胎土。 ②普通。③にぶい橙7.5YR6/4。赤褐色、黒色味をおびるムラあり。④破損後に二次焼熟か。
157回-7 台付壺	口 (8.8) 胴 (9.4)	下層埋没土2片 図示部の2/5	口縁外面に不規則な沈線が走り、5字を意図したかと思われる。外面のハケ目は粗く強い。	①G。混入物の少ない極密な胎土。 ②硬調で焼き締まる。③にぶい黄橙10YR7/3。外面下半は明度低い。断面は黒色味をおびる。
157回-8 壺	口 27.0 頸 13.6	P 2北床直上18cm 図示部の2/3	厚手で重量。4単位2本ずつの棒状符文を不規則に配している。口縁内面に幅広い細かなヘラ磨きを施すが、平滑性にやや欠ける。	①D。チャートの混入物やや目立つ。 ②普通。厚手の土器としては焼き締まる。 ③にぶい橙5.5YR7/4。赤褐色の強いムラあり。内面に黒斑あり。
157回-9 壺	口 19.4~19.9 頸 12.5	中央床直上 図示部の4/5	口縁外面は雑な折り返し。内外面とも幅広い粗いナデを施す。	①G。粗砂以外の混入物の少ないボソボソで軽量な胎土。②やや軟調で締まり欠く。 ③にぶい黄橙10YR7/3で断面までほぼ一様。
157回-10 壺	口 (12.4)	南西寄床直上18cm 図示部の2/3	外面頸部は葉状文上にやや鋭いハケ目。口縁部は幅広いナデで、磨きに近い。内面も丁寧なナデで平滑に仕上げる。	①A。混入物はやや小粒。②普通。 ③橙7.5YR7/6。内面やや彩度低い。

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
157図-11 壺	口 (15.4) 高 12.8	東寄床土6cm 口縁1/2 胴部2/3	外面は4条の粘土帯粘付の後、細かく不明瞭なハケ目。内面はややゆるい造跡ナデで、削りに近い磨痕が残る。	①C。混入物は小粒。②普通。 ③に比べ楕7.5YR6/4、赤色味・黒色味の強いムラが多く、一様でない。④二次被熱。
157図-12 壺	胴 (7.4)	P2 西床土15cm 図示部の1/3	外面下半の剥落著しい。残存部分には幅太のややゆるいハケ目。内面はやや平滑。	①C。混入物は小粒。②やや硬調。 ③に比べ楕5YR7/4。内面は明度低い。
157図-13 壺	胴 (33.6) 底 7.9~8.4	中層埋設土13片 図示部の1/3 底部充存	内外面とも器面の摩滅すまし整形痕不明瞭だが、ハケ目痕が所々に残る。大型土器としては薄手で軽量。	①C②近い。砂粒の混入は少ない。③普通か。 ④楕7.5YR7/6。赤色味の強いムラ、黒斑等も多く、一様でない。④二次被熱。
157図-14 壺	底 5.6	上層埋設土11片 胴下半1/3	薄手で軽量。巻き上げ整形の可能性。器面摩滅し整形痕不明。外面部位の磨痕が、僅かに観察できる。	①D。砂質で他の混入物は少ない。 ②やや軟調で締まり欠く。 ③淡黄2.5YR/3。黒斑あり。断面黒色味おびる。
157図-15 台付壺	口 (11.4) 高 10.6	中層埋設土 図示部の1/2	ハケ目の下に、横位へう削り痕の観察できる所あり。内面は比較的平滑。	①C。混入物は小粒でやや少ない。②硬調。 ③に比べ黄楕10YR7/3。赤色味の強いムラ広い。
157図-16 台付壺	口 (14.6) 高 (13.0)	中央西寄床土5cm 図示部の1/3	S字状口縁の土脈としてはやや厚手。凹凸も大きい。内面は頸部に指頭圧痕が通る。	①Cに近い。緻密。混入物は小粒で少ない。 ②やや硬調。③に比べ黄楕10YR6/3。内面は灰色味をおびる。④内外面ともス状付着物あり。
157図-17 台付壺	口 (12.8) 高 (11.4)	下層埋設土 図示部の1/3	ハケ目は乾燥の遙か少ない状態で施す。内面の調整はやや粗い。	①②16にほぼ同じ。③に比べ楕10YR7/3。黒斑あり。内面明度低い。
157図-18 土製勾玉	長 4.5 幅 2.3	東寄床土38cm 完形	穿孔は焼成前、中央で屈曲する。器面には指頭痕以外観察できない。比較的平滑である。	①C。混入物は小粒。②やや硬調で跳き締まる。 ③に比べ黄楕10YR7/4。赤色味の強いムラ広い。 ④孔部に使用痕は見られない。

16号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
159図-1 杯	口 (12.2) 高 5.5	北寄埋設土の5片	やや丁寧なナデの上に、外底に方向不定の強く粗いへう磨き。内底は剥落著しく、整形痕不明。	①C。混入物や少ない。赤褐色鉱物目立つ。 ②やや軟調。③明赤褐2.5YR5/6。黒色味をおびるムラあり。内面は明度低い。
159図-2 杯	口 (13.8) 高 5.1	電北跡床土6cm 口縁1/4 底部充存	口縁は小さな波状に歪む。器面の摩滅すまし、整形痕は不明瞭。内面はやや平滑さ欠く。	①Bに近い。混入物極めて少ない。②普通。 ③に比べ黄楕10YR7/3。外底は灰色味おびる。断面も灰色味強い。
159図-3 杯	口 (14.0) 高 4.9	南層埋設土5片 口縁1/6 底部1/3	口縁端部は上方へつまみ上げる。器面の摩滅著しく、整形痕不明。	①F。混入物は小粒で少ない。②硬調で跳き締まる。 ③楕5YR6/6。内面は明度低い。
159図-4 杯	口 (12.0) 高 [ 5.1]	南寄床土25cm 2/5個体	外底の削りは中央で粗く、縁部で弱い。内面は丁寧なナデ。	①B。②やや硬調。 ③に比べ黄楕10YR7/3。ほぼ一様。
159図-5 杯	口 (13.6) 高 4.4	西層埋設土7片 口縁1/2 底部ほぼ充存	器面やや摩滅し、内面に細かな剥落あり。外底の削りは弱く、比較的丁寧。内面も丁寧なナデ。	①B。赤褐色鉱物の混入やや多い。②普通。 ③に比べ楕7.5YR7/4。外面に赤色味、内面に黒色味をおびるムラあり。
159図-6 杯	口 (14.8) 高 5.3	北寄寄床土8cm 1/2個体	器面の摩滅著しく、整形痕は不明。凍でハゼ状の剥落も多い。	①B。②普通。 ③楕5YR6/6。断面までほぼ一様。
159図-7 杯	口 15.0~15.4 高 5.5	電内々電前の床直上	薄手。口縁端部僅かに外反する。器面摩滅し整形痕不明瞭。口縁外面に鋭い磨痕の通る強いナデ。	①Fに近い。赤褐色鉱物以外の混入物少ない。 ②普通。③に比べ楕7.5YR7/3。内外面とも底部付近は灰色味強い。
159図-8 杯	口 13.5 高 4.3	南寄床土4cm 口縁1/2 底部ほぼ充存	外底は細かくやや鋭い削り。内面のナデは丁寧で比較的平滑に仕上げられる。	①B。赤褐色鉱物の混入やや多い。②普通。 ③に比べ黄楕10YR7/3。外底は黒色。
159図-9 瓶	口 19.5~20.4 底 8.9~10.2 高 25.9	電北袖に密着、床土11cm ほぼ完形	器面の摩滅著しく、整形痕不明。所々に残る深い擦痕から外面は縦位のへう削りが確認できる。	①F。赤褐色鉱物の混入中やや多い。 ②やや軟調で締まり欠く。 ③楕7.5YR6/6。赤色味・黒色味おびるムラあり。
159図-10 壺	口 (18.6)	北寄寄床土5cm 図示部の1/3	口縁端部は上方へつまみ上げる。残存する範囲内で頸部に2条の比線が通る。	①B。雲母粒はあまり多くない。②普通。 ③楕5YR6/6。赤色味・黒色味おびるムラあり。
159図-11 壺	胴 (15.6)	北寄床土14cm 図示部の1/4	外面の削りは息臭く粗い。内面のナデは不明瞭だが、器面は比較的平滑。	①A。5mm大の混入物も散見する。②やや硬調。 ③明赤褐5YR5/6。内面は明度低い。
159図-12 高杯	胴上 4.6	南西側埋設土の6片 脚柱上半完存、下半1/4	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面には縦位の磨痕が残る。平滑に仕上げている。外面は接合痕が顕著。	①B。赤褐色鉱物を含む。②やや硬調。 ③楕7.5YR6/6。断面までほぼ一様。 ④新れ口まで摩滅している。

## 17号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
161図-1 杯	口 13.9 高 3.5	北西寄床上5cm 口径1/4欠く	外底の削りは粗くやや鋭い。内面は比較的平滑。	①C。②普通。 ③橙5YR6/4。口縁部は黒色味をおびる。
161図-2 杯	口 13.2 高 4.2	北西隅床上4cm ほぼ完形	やや薄手で軽量。外底の削りは方向不定で弱く細かい。内面のナゲは極めて丁寧で、口縁以外は磨痕も少ない。	①Bに近い。水じ粘土のように混入物なく極めて緻密。②普通。③に黄褐色10YR7/4。赤色味・黒色味をおびるムラあり。
161図-3 杯	口 (13.0)	埋没土3片 図示部の1/5	外底の削りはやや弱い。内面は比較的平滑。	①B。磨母粒は少ない。②やや硬調。 ③に黄褐色10YR7/4。断面まで一様。
161図-4 杯	口 (13.0) 高 4.1	貯蔵穴 口径1/4 底部1/2	外底の削りはやや強く息長い。内面は極めて平滑で、口縁以外は磨痕も少ない。	①B。赤褐色鉱物やや多い。②普通。 ③に黄褐色10YR7/3。黒斑あり。 ④内底に焼成後のやや深い磨痕多い。
161図-5 杯	口 (15.0)	埋没土 図示部の1/6	口縁部は強いナゲ。外底の削りはやや粗い。内面のナゲも強い。小破片からの復元で、径・傾きとも不安。	①B。磨母粒は少ない。②普通。 ③明赤褐色7.5YR5/6。内面は明度低い。 ④内面にスズ状の薄い付着物。
161図-6 皿か	口 (22.0)	電西前床上9cm 図示部の1/8	器面薄減し整形痕不明瞭。外面に一部ヘラ磨きの可能性。	①A。磨母粒少量まじる。②やや硬調。 ③橙7.5YR7/6。断面まで一様。
161図-7 皿か	口 (24.0)	埋没土 小片	外面は弱く細かな削り。内面は鋭い磨痕の残る強いナゲ。径・傾きとも不安。	①B。磨母粒は少ない。②やや硬調。 ③橙7.5YR7/6。断面は灰色味強い。

## 19号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
164図-1 杯	口 (11.6) 高 5.5	北西側埋没土の5片 口径1/8底部2/3	外底の削りはやや弱い。内面のナゲはやや丁寧で比較的平滑に仕上げられる。口縁下部の内側に強いナゲ。	①D。混入物は最大4mm大。②普通。 ③明赤褐色7.5YR5/6。外面に小黑斑あり。内面は灰色味をおびる。
164図-2 杯	口 12.9 高 5.0	貯蔵穴西側の床直上	厚手で重量。外底の削りは弱い。鋭い磨痕が残る。口縁のナゲ強い。内底は比較的平滑。	①B。やや砂質。②普通。 ③に黄褐色10YR7/3。断面は灰色味をおびる。
164図-3 高杯	口 16.3 脚上 5.7 脚間 11.7 高 17.2	電南福徳床直上 ほぼ完形 電前床直上	杯部外底はやや粗い削り。口縁のナゲは接合痕を消しきれない。内底やや平滑。脚部外面は規則的な削り。内面は下半のみ強いナゲ。上半は接合痕顕著。	①B。やや砂質。片岩粒・赤褐色鉱物含む。 ②普通。 ③橙2.5YR6/6。黒斑あり。脚部内面は黒色味をおびる。
164図-4 高杯	脚上 2.9	図示部ほぼ完形	残存部分には孔の痕跡なし。脚部外面は丁寧で規則的なヘラ磨き。内面は指頭圧痕のみ。杯部内底にもヘラ磨き。	①G。緻密な素地に1mm大のやや多量の混入物を均等に含む。②普通。 ③橙5YR6/6。粗い。断面は明度低い。
164図-5 器台	脚上 2.9	埋没土2片 図示部ほぼ完形	脚部の上方に外方より3孔を穿つ。内面調整は絶えず平滑欠く。	①G。やや粒子の粗い素地に、パミスを含む。②やや硬調。③灰黄2.5Y8/4。一様。
164図-6 不明		埋没土 図示部完形	底面の平面が長楕円形を呈す。体部は薄手。	①G。素地やや緻密。1mm大の混入物多い。②普通。③に黄褐色10YR7/3。外面黒斑広い。内面は赤色味をおびる。

## 20号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
166図-1 甕	口 (14.2) 高 (12.0) 胴 (16.0)	北西隅の床上5～9cm 図示部の2/5	外面の削りは丁寧で弱く、器面は平滑。内面は剥落多く、不明瞭。	①C。赤褐色鉱物の混入やや多い。②やや軟調。 ③に赤褐色5YR5/3。赤色味・黒色味をおびるムラあり。一様でない。④二次被焼。
166図-2 甕	底 6.3～6.7	東壁下床土7cm 図示部ほぼ完形	外底にやや強い削り。体部下半では削りはやや弱い。内面のナゲは丁寧。	①Cに近い。混入物は小粒で極めて多い。②やや軟調。③灰黄2.5Y8/4。黒斑あり。
166図-3 刀子	刃幅 3.4	北西寄床直上 端部欠く	刃部不明瞭。	①鉄製。錆化はあまり進んでいない。

## 21号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
168図-1 杯	口 14.1 高 4.8	南寄床直上 口径1/3欠く	器面厚減著しく、整形痕不明瞭。	①B。混入物やや多い。②普通。 ③橙5YR6/6。内底明度低い。④二次被焼。
168図-2 高杯	脚上 5.5 脚上 (15.6)	埋没土17片 脚住部ほぼ完形 底部1/8	外面は細かく強い、丁寧な削り。底部はやや強いナゲ。脚内面のナゲも強く、比較的平滑に仕上げられる。	①A。混入物少なく、片岩類も小粒で少量。②やや硬調。③橙2.5YR6/6。外面黒斑広い。脚内面は明度低い。

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
168回-3 高杯	脚上 3.9	西寄床直上 図示部完好	外面はやや細かな削りの上に、強く丁寧なへら磨き。内面は接合痕の上に弱い指面圧痕が部分的に残る。	①B。赤褐色鉱物の混入やや多い。 ②やや軟調。③橙7.5YR6/6。外面一部に彩度の低いムラあり。
168回-4 高杯	脚上 4.5	南寄床直上10cm 図示部ほぼ完好	器面摩滅し整形痕不明瞭。内面にも整形痕は残っていない。	①C。細砂を散見する。②やや硬調。 ③橙7.5YR6/6。内面は赤色味をおびる。
168回-5 鉢	口 15.8~16.3 高 [7.7]	南寄床直上 図示部ほぼ完好	外面は細かく削り。内面は同心円状の強いナデで平滑に仕上げ。化粧粘土使用か。亀の可能性有り。	①A。混入物は最大3mmで量も少ない。 ②やや硬調。③に黄褐色5YR6/4。黒黒・赤色味をおびるムラ広く、一様でない。
168回-6 小型壺	口 13.4~14.3 底 6.0 高 10.5	南寄床直上の約 30片 ほぼ完形	器面やや摩滅し、整形痕不明瞭。外面強い削り。内面やや丁寧なナデで平滑に仕上げ。	①C。②普通。 ③に黄褐色7.5YR7/4。黒色味・赤色味をおびるムラ広く、一様でない。④二次焼熱か。
168回-7 甌か	口 (21.2)	南東寄床直上 図示部の1/5	外面は雑でやや強いへら削り。口縁に明瞭な接合痕が残る。内面ナデもやや雑で接合痕を消しきれない。	①D。混入物は最大6mm。②普通。 ③に黄褐色10YR6/3。内面は明度高い。
168回-8 スラグ		ピット北床上5cm 破片	碗状に凹む。	

#### 22号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
170回-1 杯	口 12.1 高 5.2	東西脇床直上 完形	外底は幅広く鋭い削り。口縁内面にやや粗い擦痕。内底は方向不定の細かな擦痕残り。比較的平滑に仕上げ。	①B。赤褐色鉱物を散見する。 ②やや軟調で締まり欠く。③灰黄褐10YR6/2。黒色味おびるムラあり。断面黒色味強い。
170回-2 杯	口 13.8 高 5.2	東西脇床直上 破片1/4欠く	外底の削りは中央でやや粗く、縁部で丁寧。口縁内面に粗い擦痕。内底は細かな凹凸あり。	①②1に類似する。 ③に黄褐色10YR5/3。灰色味・黒色味おびるムラあり。④内底中央にスズ状の付着物あり。
170回-3 杯	口 12.8~13.2 高 4.7	北壁下西寄床直上 4/3個体	外底の削りは弱く雑で、器面は不整。内面の整形痕も不明瞭で、器面は平滑さ欠く。	①②1に類似する。パミスを散見する。 ③に黄褐色7.5YR6/4。黒色味・黄褐色味おびるムラあり一様でない。内面に重ね焼き痕のムラ。
170回-4 杯	口 13.4 高 5.0	北壁下西寄床直上 ほぼ完形	外底の削りは丁寧だがやや弱く、器面は不整。内底は一部に不明瞭なへら磨き。縁部には焼成後の擦痕が多い。	①1に近い。混入物やや大粒。②やや軟調。 ③に黄褐色10YR6/3。内面を中心に黒色味をおびるムラ広い。
170回-5 杯	口 13.6~14.1 高 4.7	東西脇床直上 ほぼ完形	外底は丁寧な削り。内面摩滅すすみや不明瞭だが、放射状のへら磨きの痕跡が部分的に確認できる。	①B。細砂の混入やや多い。②普通。 ③に黄褐色10YR7/4。赤褐色・黒色味をおびるムラあり一様でない。
170回-6 杯	口 13.3 高 4.7	南西脇床直上 2/3個体	外底は強く丁寧な幅広い削り。内面は摩滅し整形痕不明瞭。	①C。混入物は小粒で少ない。②普通。 ③橙7.5YR7/6。内底は赤色味強い。
170回-7 杯	口 13.5 高 4.9	東西脇床直上 完形	器面の摩滅すすみや整形痕不明瞭。外底の削りはやや強い。内外面とも比較的平滑に仕上げている。	①②6に類似する。 ③明黄褐10YR7/6。内面は赤色味をおびる。 ④口縁内側の割傷すずみ。
170回-8 高杯	脚上 4.7	東寄床直上6cm 図示部ほぼ完好	厚手で重量。外面は細かく丁寧な磨きに近い削りで器面は平滑。内面は接合痕が無調整のまま残る。	①Bに近い。混入物は少ない。②やや硬調で厚手の土面としては焼き締まる。 ③に黄褐色10YR7/3。断面は灰色味強い。
170回-9 甌	口 24.4~25.0 底 10.6 高 6.5	甌周辺床直上 4/5個体	外面の削りはやや弱く、器面に粘土屑状の凹凸が残る。内面は丁寧なナデで比較的平滑に仕上げ。	①Fに近い。赤褐色鉱物の混入やや多い。 ②普通。③明黄褐10YR7/6。黒色味をおびるムラ広い。④破片後に二次焼熱か。
170回-10 ミニチュア	口 ( 3.8) 底 2.4 高 4.8	北西側埋没土 底部完好	外面は部分的に粗い擦痕が残るが、削りかナデか不明。外底平滑。内底のナデは雑だが、器面は比較的平滑。	①Cに近い。器面で混入物は少ない。 ②やや軟調。③に黄褐色10YR7/3。黒黒あり。内面は灰色味をおびる。

#### 23号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
172回-1 高杯	口 (10.8) 脚上 2.3	埋没土の4片 脚上1/8、底部~ 脚上端ほぼ完好	器面摩滅すすみが、方向不定のへら削り口縁1/8、底部~脚上端ほぼ完好	①C。混入物は小粒。パミスマスる。 ②やや軟調。③に黄褐色10YR7/3。内面に黒色味をおびるムラ。断面も黒色味強い。
172回-2 高杯	脚上 2.3	埋没土 図示部ほぼ完好	脚部に孔の痕跡なし。外面やや弱い規則的で丁寧なへら磨き。内面はしぼり目が無調整のまま残る。器面の可能性。	①Aに近い。混入物少くやや緻密。②普通。 ③に黄褐色10YR7/4。内外面ほぼ一様。断面は黒色味強い。



No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
172図-3 高杯	脚上 2.7 図示部2/3	埋没土 2片 図示部2/3	脚部に孔の痕跡なし。外面は丁寧でやや強いヘラ磨き。内面はしぼり目が無調整のまま残る。器台の可能性。	①C。混入物は少な。磁蓋。パミス見。 ②普通。③におい黄緑10YR6/3。内外面ほぼ一様。断面は明度高い。
172図-4 器台	脚上 2.2	埋没土 図示部ほぼ完存	脚部穿孔は3ヶ所。外面のヘラ磨きはやや粗い。脚部内面上半は削りに近い鋭い調整。下半は指頭痕残る。	①C。やや小粒の混入物が多い。 ②やや硬調。 ③焼7.5YR6/6。断面一部黒色味強い。
172図-5 器台	脚上 2.6	埋没土 5片 図示部2/3	脚部穿孔は3ヶ所。器面摩滅し整形痕は不明瞭。外面は丁寧なヘラ削りで平滑に仕上げている。内面も比較的平滑。	①C。混入物は小粒。輝石類や多い。 ②やや硬調。③焼5 YR6/6。外面一様。内面は彩度低く、灰色味おびるムラあり。
172図-6 埴	胴 6.6 底 2.2	埋没土 図示部ほぼ完存	外面削りはやや粗で弱い。内面には幅広いヘラ状工具痕が圧痕状に並ぶ。外底は平坦。	①C。輝石類の目立つ細砂多い。②やや硬調。 ③におい黄緑10YR7/3。外底に黒黒広い。内面は赤色味をおびる。
172図-7 埴	口 16.7 胴 9.7	埋没土 3片 図示部1/3	器面摩滅し整形痕不明瞭。口縁外側に鋭い1条沈線が通る。ほかは比較的丁寧な横線のナデナデ。	①C。粗砂サイズの混入物多い。 ②普通。 ③におい黄緑10YR7/3。断面は黒色味強い。
172図-8 埴	底 7.2	東寄床土 8cm 図示部ほぼ完存	外面はナデに近い弱い削り。外底は無調整だが比較的平坦。内面は細かなハケ目の残るやや強いナデ。	①C。赤褐色鉱物の混入物多い。②普通。 ③におい橙5 YR6/4。黒底あり。内面は黄色味を帯びる。
172図-9 台付甕	台上 5.4 台上 9.6	埋没土 9片 図示部2/3	幅太で深いハケ目を帯状に離すように削っている。内面は粗く雑なナデ。底部は内外面とも平坦。	①C。粗砂サイズの混入物極めて多い。 ②普通。③におい黄緑10YR7/4。黒色味をおびるムラあり。断面一部黒色味強い。

#### 25号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
175図-1 高杯	脚上 2.4 脚下 (11.0)	中央床土 4cm 裾部3/4欠く	脚部穿孔3ヶ所。外面は脚柱部のみ強いヘラ磨き。内面はやや雑な、削りに近い粗いナデ。	①C。粗砂サイズの混入物多い。②やや硬調。 ③におい黄緑10YR7/4。外面に灰色味の強いムラあり。
175図-2 器台	脚上 2.2	P 2 西脇床土6cm 図示部ほぼ完存	脚部穿孔は3ヶ所。外面はやや幅太で強いヘラ磨き。内面は削りに近い鋭いナデで比較的平滑に仕上げている。	①C。不揃いの混入物やや多い。②普通。 ③灰黄褐10YR6/7。断面は灰色味強い。
175図-3 埴	口 (12.0)	P 3 東脇床土7cm 図示部1/3	内外面とも丁寧なナデの上に、部分的に削りヘラ磨き。	①C。混入物少ない。②やや硬調で締まり欠く。 ③におい黄緑10YR7/3。上平明度高い。
175図-4 台付甕	口 (15.4) 胴 (13.4)	P 4 南脇床土4cm 図示部1/5	薄手。ハケ目は幅太。内面は指頭圧痕状のやや弱い凹凸あり。	①C。粗砂サイズの混入物多い。②普通。 ③におい橙10YR7/3。ほぼ一様。

#### 26号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
177図-1 高杯	口 11.4~11.9 脚上 3.4 脚下 8.4 高 12.0	貯蔵穴内 脚幅1/2欠く	口縁・脚とも端部は接状に重む。内外面とも一部ハケ目状の擦痕が残る。杯部内面に斜め格子状。脚部外面に放射状の極めて不規則な暗文状へら痕あり。	①B。赤褐色鉱物以外の混入物極めて少ない。 ②普通。 ③におい黄緑10YR7/4。外面一様。杯部内面明度低い。
177図-2 高杯	口 17.0~17.6 脚上 3.4 脚下 11.5	埋没土の13片 完形	器面やや摩滅。外面頂上端に鉄屑と思われる鋭い工具痕残る。脚部上面は鋭い削りで比較的平滑に仕上げている。	①B。赤褐色鉱物やや多い。②普通。③におい橙7.5YR6/4。赤色味・黒色味をおびるムラあり一様でない。④杯部内定の摩滅すむ。器高16.0cm。
177図-3 高杯	口 18.0 脚上 3.4 脚下12.3~12.7	東壁際49西壁下 口縁一部欠く	器面やや摩滅。杯部内面と脚部外面の削りは一部にハリ目状の擦痕残る。脚内面の削りは極めて鋭い。	①B。混入物極めて少ない。②やや硬調。③におい橙7.5YR7/4。黒底。赤色味をおびるムラあり一様でない。④器高17.3cm。
177図-4 高杯	口 17.1~17.7 脚上 3.4 脚下 10.8	貯蔵穴内 完形	器面の摩滅すむ。3にほぼ同巧か。	①B。3に近い。②普通。③焼7.5YR7/6。黒底。赤色味をおびるムラあり一様でない。断面の黒色味強い。④器高16.0cm。
177図-5 高杯	口 17.0 脚上 3.4	貯蔵穴内 図示部ほぼ完存	器面の摩滅すまみ整形痕は不明瞭。脚内面にヘラ先の深い刻みが残る。	①B。3とFの中間的な胎土。②普通。 ③赤色味をおびるムラあり一様でない。内面にB。黒底あり。
177図-6 高杯	口 18.0~18.9 脚上 3.4	南壁下付近に散見する12片 図示部完存	杯部外面は磨きに近い細かな削り。内面は底部付近のナデにハケ目状の擦痕が残る。	①B。3とFの中間的な胎土。②普通。 ③におい黄緑10YR7/4。外面に黒底。赤色味の強いムラあり。断面一部黒色味強い。

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
177回-7 高杯	口 18.4	貯蔵穴周辺に散乱する72片 顯示部ほぼ完全	外面の削りはやや雑で、一部で方向不定となる。口縁上端のみ粗い磨痕のナデが残る。内面黒色処理の可能性。	①B。3とFの中間的な胎土。②やや軟調。③橙・5YR6/6。内面は付着物か黒色処理による濃い黒色味。断面一部黒色味強い。
177回-8 高杯	口 16.8-17.2	P 3北壁原直上 顯示部完全	外面はやや規則的な削り。口縁端部にのみ粗い磨痕の残るナデ。内面一部にハケ目状磨痕の残るナデ。	①B。3とFの中間的な胎土。②普通。③橙・5YR7/6。赤色味をおびるムラ。外面に黒斑あり。
177回-9 高杯	脚上 3.3 脚下 12.6	南東側の7片 顯示部器1部欠	外面脚柱部下端の削りはハケ目状磨痕が顕著。内面脚柱部は細かくやや丁寧な削りで比較的平滑に仕上げられる。	①B。3とFの中間的な胎土。②普通。③にぶい黄褐色10YR6/4。若干赤色味・黒色味をおびるムラあり。
177回-10 甌	口縁 14.5 底 3.0 高 11.4	東壁中央下 ほぼ完全	器面摩滅し整形痕不明瞭。底部は外側から穿孔。内面のナデはやや雑で、底部付近は平滑さ欠く。	①Eに近い。結晶片岩類は混入しない。②やや硬調。③橙・5YR6/6。内面は黄色味をおびる黒斑強い。
177回-11 小型甌	口 (10.7) 脚上 10.5 脚高 14.3	貯蔵穴内 口縁1/2欠く	口縁は波状に歪む。外面の削りは細かく粗い。内面の整形も雑で一部ヘラ磨き状だが、器面の平滑さに欠ける。	①G。素地はやや緻密。赤褐色鉱物多い。10mmを超える粗大な混入物あり。②普通。③にぶい橙・7.5YR5/4。外面に黒斑強い。
177回-12 甌	底 4.8-5.2	中央南寄 顯示部完全	外面の削りは方向不定で、強いが雑。内面は削りに近い強いナデで、器面平滑さにやや欠け。	①Eに近い。結晶片岩は混入しない。②普通。③にぶい黄褐色10YR6/4。外面は黒色味の強い、ムラ広く底面のみ赤色味をおびる。

#### 27号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
180回-1 高杯	口 17.6-18.1 脚上 3.5 脚下 (18.0)	北壁原直上 底部2/3欠く	杯部は内外面とも方向不定で幅太のヘラ磨き。脚部の磨削りは丁寧で細かい。脚部内面は無塗調でしぼり目が残る。	①B。霞母粒程度の小粒。赤褐色鉱物以外の混入物少ない。②普通。③にぶい橙・5YR7/3。黄色味をおびるムラあり。④器高13.6cm。
180回-2 高杯	口 17.6	中央南寄原直上 顯示部完全	外面の削りは高杯としては強い。口縁上端のナデも強く、粗い同心円状の磨痕が顕著。	①B。赤褐色鉱物。細磨りする。②普通。③にぶい橙・7.5YR7/4。赤色味をおびるムラあり。断面は灰色味が強い。
180回-3 甌	口 16.3-17.2 底 4.8 高 14.3	北壁原直上 ほぼ完全	外面削り、内面ナデとも雑で器面は平滑さ欠く。底部の穿孔も雑で歪んでおり、中央を外れている。	①Cに近い。混入物はやや大粒で、砂粒少ない。②やや軟調。③にぶい橙・5YR6/4。外面に黒斑あり。
180回-4 小型甌	口 9.8 頸 7.1 底 3.0-3.5	北壁原直上 3と併置か 脚部1部欠く	外面の削りは強く、磨削は大きく歪む。底部は中央を外れている。内定のナデは極めて強く、器面平滑さ欠く。	①B。赤褐色鉱物の混入多い。②普通。③にぶい橙・5YR7/4。外面下半は黒色味をおびるムラ多い。④器高10.3cm。
180回-5 甌	底 ( 8.0)	南西側埋土上の 3片 顯示部1/4	外面は細かく丁寧な削り。外底は平直。内面も平滑で一部に幅広のヘラ磨き状の痕跡あり。	①G。混入物の少ない、大型品としては極めて緻密な胎土。②やや硬調。③にぶい黄褐色10YR7/3。内面は赤色味・外底は黒色味をおびる。
180回-6 台付甌	台上 6.4 台下 9.0	南壁下床直上4cm 顯示部完全	厚手で重量。台下半は平坦ではない。外面のハケ目は不明瞭。内面のナデは強く、指頭痕の凹みが顕著。	①Dに近い。結晶片岩は見られない。②やや硬調。③にぶい黄褐色10YR7/3。④台下半に片寄った二次土あり。
180回-7 台付甌	台上 (6.0) 台下10.5-11.2	北壁下床直上 顯示部ほぼ完全	厚手。外面にハケ目は見られない。台部内側の折り返しは極めて雑で、指頭痕が不規則に並ぶ。内面は比較的平滑。	①B。輝石類の混入やや多い。②普通。③にぶい黄褐色10YR7/3。赤色味・灰色味をおびたムラあり一様でない。

#### 28号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
182回-1 甌	口 23.8 顯示部4/5	南壁原直上 顯示部4/5	器面摩滅し整形痕不明瞭。口縁外側の波状文は部分的に残存。頸部の磨痕も不明瞭。	①C。大粒のチャート散見。②やや硬調。③にぶい黄褐色10YR7/3。一部に黒斑あり。
182回-2 甌	口 (14.4) 脚上 9.3 脚 (22.8) 底部完全	東壁下床直上 口縁1/3 脚部2/3 底部完全	口縁外縁割落多く、整形不明。口縁外面のナデはハケ目状。磨痕文・波状文とも弱い。脚部に粗なヘラ磨き。内面ナデは上半でハケ目状。下半は丁寧で平滑。	①C。パミス混入する。②普通。③にぶい黄褐色10YR7/3。外面下半に黒斑多い。④口縁内面の割落著しい。
182回-3 甌	口 16.5-17.4 頸12.6 脚19.2 底 7.6 高29.8	南壁寄床直上5cm 脚部1/4欠く	器面全体の初磨著しく、整形痕不明。波状文・磨痕文のこんせきがわずかに観察できる。	①G。砂質で粗い。細磨りサイズの混入物多い。②やや硬調。③にぶい橙・7.5YR5/4。赤色味・黒色味の強いムラあり。④二次焼物。
182回-4 甌	口 (15.6) 頸 (14.2)	13片 顯示部1/2	波状文・磨痕文とも極めて強く深い。ナデは方向一定でハケ目状。内面のナデは幅広で鋭いが接合痕が残る。	①Eに近い。霞母は少量。②普通。③にぶい黄褐色10YR6/3。内面は黒色味をおびる。④外面にスス状の付着物あり。

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
182図-5 壺	口 (16.2) 頸12.4 胴21.8 底 8.6 高34.0	P1東壁床直上 口縁1/2欠く	口縁外面の接合痕は所々でナデ消す。 胴部は内外面とも比較的丁寧なナデ。	①A。混入物は3~4mm大が多い。②やや硬調。 ③にぶい煙7.5YR6/4。内面は黒色味強い。 ④胴部中央やや上にスズ状の付着物あり。
182図-6 石鉄	長16.4 幅 7.7	P3北球上6cm 完形		

29号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
184図-1 土台鉢か	脚上 3.4 脚下 5.4	南壁下床直上 図示部ほぼ完存	器面摩滅し整形痕不明瞭。内底のナデは強いが雑で、やや平滑さ欠く。接合面は平坦。杓状の器形となる可能性。	①B。赤褐色胎土散見。②普通。 ③にぶい黄煙10YR7/4。外面一様。内面上半は黒色味強い。
184図-2 高杯	脚上 (12.8)	南壁下床直上4cm 図示部縦2/3欠く	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面の削りは細かく丁寧か。内面のナデは幅広く工具使用で丁寧だが、接合痕残る。	①B。混入物少ない。②やや硬調。 ③煙7.5YR7/6。外面に黒煙広い。断面も黒色味強い。
184図-3 高杯	脚上 (12.2)	南西隅床直上 図示部中、脚部 端部の大半欠く	外面の削りは細かくやや鋭い。内面は削りに近い鋭いナデだが、接合痕残る。上端にはしぼり目顕著。	①B。2に近い。赤褐色胎土目立つ。 ②普通。 ③煙7.5YR7/6。内面形度低い。断面は黒色味強い。
184図-4 高杯	脚上 (12.6)	埋没土 図示部1/3	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面の削りは弱い。内面はしぼり目上に指痕残る。	①B。2にはほぼ同じ。②普通。 ③にぶい煙7.5YR7/4。断面は黒色味強い。
184図-5 高杯	脚上 3.3	中央南壁床直上7cm 脚柱部完存	薄手。器面摩滅し整形痕不明瞭。外面は比較的平滑に仕上げている。内面は削りに強いナデ。	①B。赤褐色胎土の混入多い。②普通。 ③にぶい黄煙10YR7/4。赤色味をおびるムラあり。
184図-6 小型壺	口 (10.8) 頸 7.2	北西隅の南壁際 図示部1/2	外面はナデに近い細かな削り。内面も比較的平滑。	①B。混入物少ない。赤褐色胎土散見。②やや硬調。 ③にぶい黄煙10YR7/3。外面に黒煙広い。
184図-7 小型壺	口 9.4 頸 5.8	南東寄床直上10cm の6片 図示部の2/3	やや厚手。外面の整形は弱い丁寧。口縁内面のナデは一部でハケ目状。肩部内面の整形線が器面不整。	①B。6に類似する。②やや硬調。 ③にぶい煙5 YR7/4。内面は黒色味強い。
184図-8 小型壺	口 9.0 頸 6.0	東壁下床直上の 8片 図示部1/2	器面摩滅す。整形痕不明。内外面とも比較的平滑に仕上げている。	①Fに近い。2~3mm程度の混入物多い。 ②やや硬調。③煙5 YR6/6。内面は灰色味をおびる。④二次被焼。
184図-9 小型壺	口 9.8 頸6.3 胴 8.5 底3.0 ~3.4 高10.6	南壁下床直上4cm の30片 口縁1/3欠く	薄手。外面の削りは鋭い指痕が残る。外底平坦。内面のナデも強く丁寧だが、内底は指痕による強い凹凸が残る。	①B。赤褐色胎土散見。②普通。 ③煙7.5YR7/6。灰色味・黒色味をおびるムラあり一様でない。断面一部黒色味強い。
184図-10 小型壺	口 9.8 頸7.0 胴 10.0 高 9.3~9.7	北西隅床直上 ほぼ完形	外面の削りは雑で、特に底部周辺は平滑さ欠く。内面のナデは丁寧で、鋭い指痕が通る。底部付近は平滑。	①B。混入物少ない。②やや硬調。 ③にぶい煙7.5YR6/4。外面一部はスズ状付着物。色味をおびる。④外面一部にスズ状付着物。
184図-11 小型壺	口 (11.0) 頸12.0 底 3.8 高14.4	貯蔵穴内底面直上 図示部1/2	外面の削りはやや雑で方向不定。内面のナデは下半で、丁寧で平滑に仕上げている。頸部付近は指痕の凹凸強い。	①B。赤褐色胎土散見。②普通。 ③にぶい煙7.5YR6/3。外面下半は黒色味強い。④外面一部にスズ状付着物。
184図-12 小型壺	口 (10.4) 頸 (7.9) 胴 (13.0)	貯蔵穴内底面直上 図示部1/2	外面の削りはやや鋭い。口縁のナデ一部でハケ目状。内面のナデは強いがやや雑で、器面平滑さ欠く。	①B。混入物少ない。②やや硬調。 ③灰黄煙10YR5/2。外面下半は黒色味強い。 ④器高 [13.0] cm。
184図-13 壺	口 15.3 頸 12.6	東壁下南寄床直上 図示部ほぼ完存	外面の削りは一部で強い。内面のナデはやや丁寧で、幅広く工具痕が残る。	①Bに近い。2~3mm程度の混入物多い。 ②普通。③にぶい黄煙10YR6/3。黒色味の強いムラ内外面とも広い。
184図-14 壺	口 15.6~16.0 頸 12.6	貯蔵穴内60周辺 の床直上	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面は比較的平滑だが、内面平滑さ欠く。	①Eに近いが結晶片が若干少ない。②普通。 ③煙7.5YR6/6。外面一様。内面に黒色味をおびるムラあり。

30号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
188図-1 鉢	口 10.8~11.2 底 4.5 高 5.2	南壁下床直上 ほぼ完形	口縁は大きく袋状に歪む。内外面のナデ・削りとも雑で、器面に指痕圧痕状の凹凸残る。外底やや平坦。	①B。黄褐色の混入やや少ない。②普通。 ③煙5 YR6/6。外面に鋭い黒煙あり。 ④内外面とも概状の黒色付着物あり。
188図-2 高杯	口 (22.0)	北西隅床上15cm 図示部の1/8	内外面ともやや削いへう磨き痕が残る。内外面に赤色塗彩の痕跡残る。小片からの復元で、傾き・様とも不安。	①Cに近い。混入物は小粒で少ない。 ②軟調で締まり欠く。③にぶい黄煙10YR7/4。内面は灰色味をおびる。赤部分には10R4/6。

No 器種	計 画 値	出 土・復元状態	器 形・製 作 技 法 の 特 徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
188回-3 高杯	脚 下 (12.6)	北壁原床直上13cm 床直上 顯示部1/4	外面のヘラ磨き、内面のナデともに丁寧。孔は4ヶ所か。極めて丁寧に穿孔している。	①A。混入物に小粒で少ない。 ②普通。 ③燈5 YR6/6、ほぼ一様。内面彩度低い。
188回-4 器台	脚 上 2.4	北西寄枕上内 顯示部ほぼ完存	外面のヘラ磨きは丁寧、内面は削りに近い鋭いナデ。孔は3ヶ所か。極めて丁寧に穿孔している。	①C。混入物やや小粒で少ない。 ②やや硬調。 ③燈5 YR6/8、内外面一様。断面は黒色味強い。
188回-5 高杯	脚 上 3.2 脚 下 8.7	南壁原床直上 顯示部ほぼ完存	外面やや粗いハケ目状擦痕の残る不整で深いヘラ削り。内面ナデもハケ目状の擦痕残る。	①C。混入物は小粒。チャートやや目立つ。 ②やや硬調。 ③浅黄橙10YR8/3。小黑斑あり。
188回-6 高杯	西壁下床土8cm 顯示部の2/5	西壁下床土8cm 顯示部の2/5	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面の列点文は規則的に施文。内底は比較的平坦。	①C。混入物はやや小粒。②やや硬調。 ③にぶい黄橙10YR7/3。外面一部黒色味をおび、断面は明度低い。④割れ口まで摩滅している。
188回-7 蓋	口 20.0 胴 9.8	北壁下床土13cm 顯示部の1/5	器面やや摩滅し整形痕不明瞭。外面に規則的で丁寧なヘラ磨き痕。口縁端部も丁寧に仕上げている。	①C。混入物は小粒。②普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。赤色味・黒色味おびるムラあり一様でない。④破損後に二次焼熱。
188回-8 蓋	底 6.3	北西隅床土14cm 顯示部の1/2	大形品としては薄手。底部穿孔は焼成後で中央を外れている。外底平坦。内面も比較的平坦に仕上げている。	①C。混入物はやや小粒。バミス散見。②普通。 ③明赤橙2.5YR5/6。黒色味おびるムラあり。内面黄色味強い。
188回-9 台付壺	口 (13.0)	北壁下床土6cm 顯示部の1/4	極めて薄手。口縁内面に極めて強い2条状線高る。ハケ目は鋭い。	①C。混入物は小粒でやや少ない。 ②硬調で焼き締まる。③にぶい黄橙10YR7/3。内外面とも黒色味をおびるムラ広い。
188回-10 台付壺	口 (15.8)	北西隅床土6cm 顯示部の1/3	薄手。器面やや摩滅する。ハケ目はやや鋭い。内面は比較的平滑。	①C。混入物少ない。②硬調。 ③にぶい黄橙10YR7/3。ほぼ一様。
188回-11 台付壺	口 (14.4)	顯示部の1/3	ハケ目は鋭く明瞭。口縁内外面に細かな擦痕が広がる。胴部内面は指痕状の凹凸が残る。	①C。混入物は小粒でやや少ない。 ②硬調で焼き締まる。③にぶい黄橙10YR7/4。内外面ほぼ一様。断面は黒色味強い。
188回-12 台付壺	口 14.6	北西隅床土9cm 顯示部の1/2	器面摩滅しハケ目は不明瞭。やや粗いハケ目か。口縁内面に弱い沈線が部分的に巡る。内面は弱い指痕状の凹凸あり。	①C。混入物少ない。②普通。 ③沈線2.5YR8/3。淡い黒底状のムラあり。断面一部黒色味おびる。
188回-13 台付壺	口 (12.8)	P3北床土13cm 顯示部の1/8	ハケ目はやや鋭い。口縁内外面に細かな擦痕が広がる。内面は指痕状の凹凸や顕著。小片からの復元で径不安。	①C。混入物はやや小粒。 ②普通。 ③黒褐10YR3/2。内面はさらに明度低い。
188回-14 台付壺	台上	西壁下床土11cm 底部完存 台部1/2欠く	台部外面はハケ目を帯状にすり消す。台部内面は丁寧なナデ。内底は中央のみナデ残り、砂粒が多い。	①C。混入物はやや小粒。石灰粉や多い。 ②やや硬調。③13に近い。内面は明度高い。 ④13と同一個体の可能性。
188回-15 台付壺	台上 5.9	顯示部ほぼ完存	ハケ目はやや粗い。台部外面は帯状にハケ目すり消し。底部は内外面ともナデ残り。	①C。②やや硬調。 ③にぶい黄橙10YR7/3。黒色味・赤色味おびるムラあり一様でない。
188回-16 台付壺	台上 5.1 台下 8.0	南壁下東寄床直上 顯示部ほぼ完存	外面はごく弱い削りの痕跡。内外面とも平滑に仕上げ。外底付近は無調整。	①A。混入物やや小粒。赤褐色色調含む。 ②硬調で焼き締まる。 ③にぶい橙7.5YR7/4。赤色味の強いムラあり。

### 31号住居出土遺物

No 器種	計 画 値	出 土・復元状態	器 形・製 作 技 法 の 特 徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
190回-1 杯	口 9.3 高 3.7	東西隅床直上 完形	小型品としてはやや厚手。器面の摩滅・剥落著しく、整形痕不明。内面には方向不定の焼成後の傷多い。	①E。結晶片岩はやや少ない。 ②やや硬調。 ③にぶい黄橙10YR7/3。灰色味をおびるムラあり。
190回-2 杯	口 (15.4) 高 4.4	中央床直上 口縁1/8 底部ほぼ完存	器面摩滅著しく、整形痕不明。外面の削り、内面のナデともに比較的丁寧か。	①B。赤褐色色調の混入多い。②やや軟調。 ③燈5 YR7/6。外面にやや深い黒斑がある以外はほぼ一様。
190回-3 瓶	口 15.6~16.4 底 6.2 高 11.8	窠内 ほぼ完形	外面の削りは粗く雑。内面は規則的な同心円状の擦痕が巡る丁寧なナデ。	①C。やや軽量な粘土である。②やや軟調。 ③にぶい橙10YR7/3。外面に小黑斑がある以外はほぼ一様。④底部の剥落やや多い。
190回-4 瓶	口 25.2 底 (7.8) 高 21.2	東寄床直上4床 上4cm 口縁3/4 胴下半1/2	外面の削りは幅広くやや弱い。内面の整形痕は不明瞭だが、比較的平滑に仕上げている。	①C。混入物は最大8mmで量も多い。赤褐色色調やや多い。②普通。 ③にぶい黄橙10YR7/4。外面に黒斑あり。
190回-5 壺	口17.7 胴18.9 底 6.5~6.9 高 19.0	窠内 ほぼ完形	外面削りはやや鋭い。口縁は内外面ともやや粗い擦痕が広がる。胴部内面は一部に接合痕残るが、比較的丁寧なナデ。	①C。1~3mm程度の混入物極めて多い。 ②普通。③にぶい黄橙10YR5/4。外面に黒斑あり。 ④二次焼熱の痕跡はあまり顕著ではない。

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
190図-6 壺	胴 18.6 底 7.0	甕内 胴中位1/2 胴下半3/4	外面削りは比較的丁寧。内面下半は削り多く不明瞭。比較的丁寧なナゲか。	①C。混入物は最大8mm。砂粒は少ない。 ②普通。③にぶい黄褐色10YR6/3。外面黒色味の強いムラ。④二次被熱。電機整材の可能性有り。
190図-7 壺	口 19.1～19.8 胴 18.8 底6.4 高 33.3	貯蔵穴内 ほぼ完存	外面の削りは比較的丁寧で鋭い。内面のナゲは強く鋭い。下半は平滑さ欠く。外底に木葉状の圧痕あり。	①A。片岩質少ない。混入物は3mm。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR7/4。赤色味・黒色味をおびるムラあり。④二次被熱。外面胴中位にスス付着。

### 32号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
192図-1 埴	口 9.4 胴6.0 胴6.2 底3.2 高 5.2	南寄床直上 ほぼ完存	やや薄手。内外面ともナゲは弱い。内底付近の幅太への磨きは部分的で、全体の平滑さに欠ける。	①E。混入物は2.0～5mm。②普通。 ③焼7.5YR7/6。外面一様。内面やや彩度低い。
192図-2 壺	口 18.2 胴 11.7	南壁下床直上 6cm 図示部はほぼ完存	厚手で重量。口縁の削り返しは雑。外面に粗いハゲ目の上に、幅広がったヘラ磨き。内面のナゲは一部でハゲ目が残る。	①E。やや少ない。②普通。 ③にぶい焼7.5YR6/4。外面に灰色味をおびるムラがあり。内面に黒斑あり。
192図-3 小型壺	口 9.0 底 6.8	西壁脚床上18cm 口縁完存	外面やや粗いハゲ目の上に、部分的な細かいヘラ磨き。口縁端部は内側のみ若干肥厚。底面内面は無調整。	①E。2～4mmの混入物やや多い。 ②やや硬調。③焼7.5YR7/6。外面黒斑広い。内面やや彩度低い。
192図-4 壺か	底 4.5	西壁脚床上22cm 胴1/3 底部完存	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面は弱い削りか。内面のナゲも弱くやや雑だが、器面は比較的平滑。	①E。素地は細密。チャートの混入やや多い。 ②硬調でやや焼き締まる。③にぶい黄褐色10YR7/4。赤色味おびるムラあり。④二次被熱。外面一部にスス付着物。
192図-5 台付甕	口 16.4 胴 14.4 胴 24.0	北壁下床直上 図示部の5/6	薄手で軽量。外面のハゲ目は粗い。肩部分のハゲ目は、他と異なる工具使用の可能性。内面のナゲは平滑に仕上げる。	①A。細砂の混入目立つ。②普通。 ③にぶい焼7.5YR6/3。赤色味・黒色味おびるムラあり。④二次被熱。外面一部にスス付着物。

### 33号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
194図-1 高杯	口 17.2 胴上 (4.0)	東壁下床直上5cm 図示部1/5	薄手で軽量。器面の摩滅著しく、整形痕不明。	①G。粗砂の混入極めて多い。②やや軟調。 ③にぶい黄褐色10YR7/4。内面やや彩度低い。
194図-2 高杯	胴上 2.8 脚上 10.6	南壁下床直上 図示部ほぼ完存	器面の摩滅・剥落著しい。脚部に3孔を丁寧に穿つが、配置はやや不規則。内面平坦にはしほり目が残る。	①G。バミス、赤褐色鉱物の目立つ粗砂多い。 ②やや硬調。 ③焼5YR6/6。黄色味をおびるムラあり。
194図-3 埴	口 11.0 胴 7.0	貯蔵穴東脇床直上 4cm <sup>+</sup> 7cm 口縁一部欠く	薄手で軽量。口縁端部を上方へつまみ上げ、外側に比喩状の凹みできる。ナゲ削りとも外面は鋭い磨痕。内面は平滑。	①G。砂粒多いが大量の混入物無し。 ②普通。③にぶい黄褐色10YR7/3。黄色味をおびるムラ広い。断面は黒色味強い。
194図-4 台付甕	口 10.0 胴 8.4	南壁下床直上 図示部の1/5	器面やや摩滅するが、不明瞭なハゲ目が部分的に見られるのみ。当初から明確なハゲ目は施さないか。内面やや不整。	①G。素地は粗く、砂粒の混入多い。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR7/3。内面は黒色味を帯びる。断面は黒色味おびる。

### 34号住居出土遺物

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼土 ③色調 ④その他
196図-1 杯	口 11.6 高 5.4	甕西脇床直上 口縁1部欠く	外底の削りは鋭いが丁寧。内面幅広で雑な放射状への磨きを部分的に施す。内面黒色処理。	①B。混入物は少ない。②やや硬調。 ③にぶい焼5YR7/4。内面は光沢のない黒色。
196図-2 杯	口 12.4 高 4.3	1と入り子 図示部1/3欠く	外底の削りは、やや強く長い。口縁外端に二条の比喩あり。内面のナゲは丁寧で平滑に仕上げる。	①B。バミスを少量含む。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR7/3。外底は黒色味強い。口縁外端に黒斑あり。
196図-3 杯	口 12.5～13.0 高 [4.0]	甕前面直上 底面欠く	外底は幅広でやや粗い削り。口縁のナゲは丁寧で、内端わずかに凹む。内面は斜放射状のやや強いへの磨き。	①G。粗砂サイズの混入物多く、杯縁としては粗い。②普通。③にぶい赤褐色5YR5/4。外底はやや黒色味をおびる。
196図-4 甕	口 25.0～25.5 底 9.5 高 30.0	北西隅床直上5cm 口縁完存	器面の摩滅すずみ。整形痕は不明瞭。外面は幅広で息の長い丁寧な削りか。内面のナゲはやや丁寧。	①B。緻密。赤褐色鉱物少量含む。 ②やや硬調。③にぶい黄褐色10YR7/3。赤色味おびるムラあり。外面に小黒斑あり。
196図-5 鉢	口 15.2 底 6.0 高 10.0	甕東脇床直上 口縁端部1/2 底部完存	厚手で重量。外面の削りやや粗い。外底にも削り。口縁のナゲも外面は鋭い。内面は比較的丁寧なナゲ。	①D。10mm近い混入物あり。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR7/3。赤色味おびるムラあり。内面は黒色味おびる。

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
196図-5 鉢	口 11.6 底 6.0 高 10.6	竈東脇床直土 口縁割部1/2 底部完存	厚手で重量。外面の削りやや粗い。外底にも削り。口縁のナゲも外面は細。内面は比較的丁寧なナゲ。	①D。10mm近い混入物あり。②普通。 ③にぶい黄緑10YR7/3。赤色味おびるムラあり。内面は黒色味おびる。
196図-6	口 13.3	北西隅床土5cm 口縁1/2 胴部1/3	器面の摩滅著しく、整形痕不明。外面は強い削りか。内面のナゲも丁寧なようでは器面は平滑。	①B。4に類似する。より緻密。②普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。黄色味おびるムラあり。
196図-7 鉢	口 21.0 底 7.4 高 14.0	竈内 胴部1/3 底部完存	外面は規則的だがやや粗い削り。外底は平直さ欠く。内面のナゲは丁寧で、比較的平滑に仕上げる。	①D。5に類似する。②普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。赤色味・黒色味をおびるムラあり。内面とも一様でない。
196図-8 甕	胴 19.0 底 7.0	竈内 胴部ほぼ完存	外面の削りは幅広く息長い。外底は無調整の。内面は全体を丁寧なナゲで平滑に仕上げる。	①D。混入物は6mm大。②普通 ③にぶい黄緑10YR6/3。黒色味おびるムラあり。 ④二次焼熱。カマド粘土・スス状付着物顯著。

## 2 古墳

### 1号墳

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
205図-1 蓋 (須恵器)	口 (20.0) 紐 (6.8)	前庭の5片 胴部1/3	右回転クワコ。総端部、カエリとも鋭さ欠く。器面の摩滅著しく、整形痕は不明瞭。	①C。素地はFに近い。黒色鉱物やや多い。 ②還元焰、普通。 ③黄灰2.5YR7/2。断面・内面は赤色味をおびる。
205図-2 杯 (須恵器)	口 (16.8) 台 (10.8) 高 4.1	墳丘南側付近の5片 胴部1/4	右回転クワコ→高台削り出しで口縁下平まで削る。クワコ痕は鋭く、内底では平直さ欠く。	①G。やや砂質で混入物を殆ど含まない。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰5Y6/1。断面までほぼ一様。
205図-3 杯	口 10.5 高 4.1	西側墳丘内 口縁1/2、底部ほぼ完存	口縁端部は僅かに内陥する。外底の削りは丁寧でやや細かい。内面のナゲも丁寧で、平滑に仕上げる。	①Bに近い。赤色鉱物を含む。②普通。 ③にぶい黄緑10YR6/4。断面赤色味をおびる。
205図-4 杯	口 (12.2)	墳丘内の2片 胴部1/6	外底の削りやや強い。内面平滑で黒色処理の可能性。小片からの復元で径・傾きとも不安。	①C。②普通。 ③にぶい赤灰5YR4/4。黒色味おびる部分広く、内面では一部で光沢を持つ。
205図-5 杯	口 (11.8)	南側墳丘内 胴部1/6	やや厚手。内外面とも比較的平滑。器面の摩滅著しく、整形痕不明瞭。	①C。素地はFに近い。②やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。一部で黒色味おびる。
205図-6 杯	口 (11.8)	北側墳丘内2片 胴部1/6	外底の削りやや強い。内面ナゲはハゲ目状工具の粗い磨痕強く、器面の平滑さを損なう。径不安。	①C。赤色鉱物の混入多い。 ②普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。ほぼ一様。
205図-7 杯	口 (14.6)	北側墳丘内6片 胴部1/2	外底の削りは弱いが丁寧。内面は比較的平滑。口縁に小さな波状の歪みあり。	①C。素地はFに近い。②やや軟調。 ③にぶい黄7.5YR7/4。内面中心に黒斑あり。
205図-8 杯	口 (12.8)	南側墳丘内2片 胴部1/6	器面の摩滅著しく、整形痕不明。内外面とも比較的平滑。	①F。黄母粒やや多い。②やや硬調。 ③にぶい橙5YR7/4。赤色味、黒色味のムラあり。
205図-9 高杯	台下 (17.0)	南側墳丘内2片 胴部1/6、柱部ほぼ完存	器外端部は接地しない。外面は細かな削りの上に丁寧なヘラ磨き。内面は巻き上げ状の接合部の上に粗いヘラ磨き。	①A。黄母粒やや多い。②普通。 ③にぶい赤灰5YR5/4。黒色味おびるムラあり。
206図-10 兵衛壺 (須恵器)	口 8.7 頸 4.7 胴17.9 台 9.2 高 25.4	墳丘南側付近の2片 ほぼ完存	右回転クワコ。肩部中央に1条、外端に2条の沈線線入。降灰粘多く、整形痕不明瞭。消費地出土品としては器体の融着多く、高台は歪む。	①G。やや砂質。乳白色鉱物の混入顯著。 ②還元焰の還元で焼き締まる。 ③灰5Y6/1。輪には濁った灰緑色を呈す。 ④二次焼熱の可能性。
206図-11 兵衛壺 (須恵器)	頸 4.6 胴 19.0	前庭東周辺の15片。胴部のうち割部1/3欠く	右回転クワコ。肩部外端に粗い列点文を配し沈線で面す。頸部にも1条沈線。割部外面は広い範囲に強い削り。	①10icに近いが、白色鉱物の混入は少ない。 ②還元焰。やや硬調。 ③にぶい5Y7/1。黒色味の強いムラあり。
206図-12 兵衛壺 (須恵器)	口10.7 頸 4.7 胴台 11.5 高 28.8	前庭～東割付付近に散乱する26片 4/5個体	右回転クワコ。肩部外端の沈線は規模が一定でない。器面は摩滅し整形痕不明瞭。内底も摩滅する。	①10icに近いが、黒色鉱物を殆ど含まない。 ②還元焰、普通。 ③灰白2.5Y7/1。黒色味の強いムラあり。
206図-13 甕 (須恵器)	口 (18.6) 胴 (13.2)	北側墳丘内5片 胴部1/4	やや厚手。残存部分下端に平行印字痕とアケ痕あり。降灰粘厚く、整形痕不明瞭。	①G。素地磨きだが、1~3mm大の夾雑物多い。 ②還元焰。③灰5Y6/1。断面やや赤紫色味をおびる。輪は暗灰色。
206図-14 甕	口 (13.2)	南側墳丘内3片 胴部1/4	外面削りは弱いが丁寧。内面も比較的平滑。	①B。赤褐色鉱物やや多い。②やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。内面黒色味おびる。
206図-15 甕	口 (13.6) 胴 (13.8)	南側墳丘内 胴部1/4	器面摩滅し整形痕不明瞭。内外面とも比較的平滑。	①A。混入物少ない。②やや硬調。 ③にぶい橙5YR6/4。内面・断面黒色味おびる。

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
206図-16 壺	口 (13.6) 頸 (12.2)	南側墳丘内4片 図示部1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明。夾雑物が器面を不整にしている。	①A。混入物は多く、やや大粒。②普通。 ③にぶい赤褐色5YR5/4。内面黒色味。④二次被熱。
206図-17 壺	口 (11.0) 頸 (14.4)	西側墳丘内5片 図示部1/3	器面摩滅し整形痕不明瞭。内面は指頭状の強いナデで器面やや不整。	①B。14に近い。②やや硬調。 ③褐色5YR6/6。断面灰色味おびる。
206図-18 ?か	胴 (10.0)	北側墳丘内2片	厚手。外面平滑。内面にやや幅広工具ナデ痕あり。積き不安。	①G。やや緻密で混入物少ない。②普通。 ③にぶい赤褐色5YR5/4。ほぼ一様。
206図-19 瓶か	口 (24.6)	西側墳丘内3片 図示部1/3	器面の摩滅著しく、整形痕不明。内外ともに比較的平滑。	①F。②普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。内面黒色味おびる。
206図-20 壺	底 9.7	南側墳丘内15片 図示部ほぼ完存	外面細かくやや強い削り。内面傾位の研ぎ痕残るが器面やや平滑さ欠く。	①C。混入物は少ない。②普通。③にぶい橙7.5YR6/4。赤色・黒色味のムラあり一様でない。
206図-21 高台付碗 (灰輪)	台 ( 8.2)	西側墳丘上 図示部1/2	右回転ロクロ。底部中央やや窪む。高台端部やや尖る。輪はつけ掛けだが、薄く不鮮明。	①G。素地やや粗いが混入物は殆どない。 ②硬調還元焰。③灰色2.5Y7/1。断面までほぼ一様。輪も灰白色でやや緑色味おびる。④混入品。

### 3 土坑・井戸・集石

(第226・229・230図)

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他
6土坑-1 台付甕	台上 4.4 台下 (7.8)	埋没土 図示部ほぼ完存	ハケ目は残らない。全面に指頭状のナデで、内底はやや平滑さ欠く。	①A。②普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。内底黒色味おびる。
10土坑-1 壺	口 (19.2)	底面直上4片 図示部1/4	内外面とも丁寧なナデの上に丁寧なヘラ磨きで平滑に仕上げられる。	①Bに近い。雲母粒少ない。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR7/4。断面黒色味強い。
13土坑-1 器台	台上 3.5 台下 11.5	下層11片 図示部ほぼ完存	薄手。外面縦位へラ磨き。過半で不明瞭。器面やや摩滅する。	①Fに近い。赤褐色藍物の混入多い。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR6/4。赤色味強いムラあり。
13土坑-2 台付甕	台上 4.3 台下 (10.0)	下層2片 上半完 存、下半1/6	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面僅かにハケ目残る。内面比較的平滑。	①C。②やや硬調。③にぶい橙7.5YR6/4。黄色味、黒色味のムラあり一様でない。④二次被熱。
66土坑-1 杯	口 (13.4)	埋没土 図示部1/8	摩滅著しく、整形痕不明。小片からの復元で怪不安。	①F。雲母粒やや多い。②普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面まで一様。
80土坑-1 壺	底 7.3	上層20片 図示部1/2	外面削りは磨きに近く。器面比較的平滑。内面ナデは粗く、指頭状痕残る。	①A。結晶片岩はあまり多くない。②普通。 ③にぶい橙5YR6/4。内面黄色味おびる。
81土坑-1 埴	底 3.7	底面直上5片 図示部ほぼ完存	外面削りに近い幅太で粗い磨き。内面ナデは不明瞭。	①Cに近い。赤褐色藍物やや多い。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR7/3。外底黒斑あり。
1井戸-1 鉢	口 (28.8)	埋没土 小片	ロクロ使用か。口縁先端摩滅減む。小片からの復元で怪不安。	①G。砂質。やや大粒のチャート散見。②硬調で焼き締まる。③青黒5B2/1。一様。④中世か。
1井戸-2 碗	台 ( 6.2)	埋没土 図示部1/2	青磁碗か。輪は薄い。底部は内外とも窪む。登着き部の輪ハギなし。	①G。混入物なく緻密。②硬調。③灰へ湯で一様でない。輪は灰青色。④二次被熱。近世。
1集石-3 石鉢	長 16.2 幅 11.4	完形	自然面あり。川原石状に原石か。先端部は使用痕顯著。	①粗粒輝石安山岩。
1集石-5 置き甕		小片	正面左側壁の上側破片と思われる。内面指頭上の幅太で長い圧痕あり。	①B。②硬調。③にぶい橙7.5YR6/4。内面赤色味おびる。④二次被熱の影響少ない。
1集石-6 祀人形	高 2.4	完形	捏造りで表面貼り合わせ。中空と思われる。彩色の痕跡なし。大黒漆。	①G。混入物少なく緻密。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR7/3。ほぼ一様。

### 3. 福島鹿島下遺跡

#### 1 縄文時代の遺物

##### 1号配石 (第235・236図)

###### 縄文土器

番号	大きさ	出土状態	①胎土②焼成③色調	文様と成・整形技法の特徴	備考	
1		南東寄り	①E②軟調③暗褐色	矢羽状波線はへら先状工具による。	内面やや風化	
2		北隅	①E②やや硬調	波状口縁。内面のナゲ丁字。		
3		埋没土	①F③外面赤褐色	内面のナゲ丁字。		
4		埋没土	①E			
5		西隅の4片接合	①A	波状口縁か		
6		西隅の5片接合	①D③淡褐色	底部直上付近の破片		
7		南東寄り	①D③暗褐色			
8		北寄り	①A			
9				波状口縁		器面の厚減著しい
10	口径20cmほどか		①E			
11			①E③外面黒褐色	縄文L横		
12		西隅	③淡褐色			
13		3片接合	③淡褐色			
14	口 (24.0)	南東寄り	①A③淡褐色	内面。横へつ磨き、外面。口縁上部は横へつ削り後、縦へつ磨き、体部。縦へつ削り後、縦ラへつ削り		器面充分
15	底 5.7	南東隅	③暗褐色			
16	底 8.2	南西隅	③暗褐色+淡褐色			
17	底 (8.4)	南東寄り	①H	外面。縦へつ磨き、底面。1本くぐり2本絶え副代痕		

###### 石器

番号	種類	出土状態	計測値				石材	備考
			長cm	幅cm	厚cm	重g		
18	石鏃		1.3	1.1	0.3	0.3	黒曜石	平基無基 完形
19	磨製石斧	東隅	11.5	4.3	2.3	139	安玄武岩	刃部欠く
20	削器	北東隅	11.6	5.6	2.0	100	硬質泥岩	
21	削器	北寄り	9.3	6.6	2.3	149	硬質泥岩	
22	加工痕のある剥片	東寄り	9.3	9.3	2.5	254	硬質泥岩	自然面広い
23	加工痕のある剥片	北寄り	7.9	5.0	1.2	70	硬質泥岩	最長剥片の1面使用。
24	削器	伊内	8.9	6.5	2.3	134	硬質泥岩	
25	加工痕のある剥片		7.0	5.0	2.7	88	硬質泥岩	
26	加工痕のある剥片	伊外東脇	7.3	6.7	1.3	39	硬質泥岩	自然面広い。1面使用。
27	石皿	伊外東脇	29.5	19.8	7.5	6500	デイスイト	窪み僅か。1面使用痕。

##### 2号配石 (第237・238図)

###### 縄文土器

番号	大きさ	出土状態	①胎土②焼成③色調	文様と成・整形技法の特徴	備考
1		窪み東脇	①F②軟調③内面黒色	波状口縁 内面ミガキ丁字	残存部分では無文粗製土器
2			①E②やや硬調		
3		北東寄り	①E		
4	口 (14.0)	北東寄り	①E		
5	口 (18.0)	窪み西脇3片	①E②やや硬調	波状口縁 内外面ていねいなナゲと削り	
6	口 (36.0)	窪み内壁上9片	①E		

###### 石器

番号	種類	出土状態	計測値				石材	備考
			長cm	幅cm	厚cm	重g		
7	石鏃	埋没土	1.7	1.4	0.3	0.42	黒曜石	凸基有基。完形。
8	石核	南東寄り	15.5	7.4	6.5	980	硬質泥岩	
9	石核	南東寄り	14.8	9.0	8.8	1510	硬質泥岩	
10	多孔石	東寄り		19.0	14.5	9100	牛伏砂岩	半欠品。裏面に磨耗痕。



### 3号記石 (第239~241図)

縄文土器

番号	大きさ	出土状態	①胎土②焼成③色調	文様と成・整形技法の特徴	備考
1		4片接合	①A②淡褐色	口縁平滑	早期赤飯文 内外面厚減 内外面厚減 内面、軽い横線痕
2		周辺の細片接合	①A②やや硬調③赤褐色	内面ナデ推 口縁上端に不整な圧痕	
3		群の東側	①A③黒褐色	波状口縁	
4		周辺	①F②やや硬調③淡褐色		
5			①D②やや軟調	波状口縁	
6		群東側の3片	①A③淡褐色		
7			①A③内面黒色味強い	波状口縁 口唇上端あり、	
8		群の西側	①A②淡褐色	波状口縁。縄文L横	
9		南寄り	①A		
10	底 9.6	群中央の16片接合	①A③外面赤色味強い	内面。横へら磨き、外面。縦へら削り後、縦磨き 底面。1本くくり2本越え網代痕	

石皿

番号	種類	出土状態	計 測 値				石 材	備 考
			長cm	幅cm	厚cm	重g		
11	打製石片	北側	13.0	10.8	3.7	478	硬質泥岩	分銅形
12	使用痕のある剥片		6.9	4.7	1.5	32	硬質泥岩	1面使用
13	打製石片	北側	12.7	8.3	2.1	234	硬質泥岩	分銅形か
14	打製石片	群の東側	11.1	8.0	4.1	420	硬質泥岩	
15	削片		1.2	1.5	0.45	0.86	黒曜石	残存する3面に加工痕
16	石皿		31.6	27.8	8.5	1230	玄文武岩	窪み僅か。裏面多孔石
17	多孔石		31.4	21.0	12.5	1360	緑色片岩	表面と1側面に孔

### 4号記石 (第243図・244図)

縄文土器

番号	大きさ	出土状態	①胎土②焼成③色調	文様と成・整形技法の特徴	備考
1	口径30cm以上	中央と北側3片	①A②やや硬調③淡褐色	外面丁寧な磨き	内面割落多い 被熱。内外面割落多い、粗製土器。割落多い。 被熱。厚減すすむ。 内外面とも厚減すすむ 断面まで厚減する 被熱か 内外面とも厚減すすむ 被熱か。厚減すすむ。
2		伊内と南側3片	①A②軟調③暗褐色	外面矢羽状の比滑か	
3			①D③淡褐色		
4		南寄り	①A③淡褐色	波状口縁。沈着は浅くやや粗。	
5		中央やや南寄り	①F③暗褐色	縁部に刻み。口縁外面に磨き。内面平滑。	
6		南西側	①F③暗褐色		
7		東寄り	①A③褐色	内面に強いナデ	
8			①A③硬調③淡褐色	外面に不整な削り	
9		南寄り5片	①A③暗褐色	外面に刻み	
10		南寄り2片	①A③灰色味おびる	外面は縄文前に丁寧なナデ	
11	底径は10cm以下か		①A③外面赤褐色	内面平滑	
12	裾部径は8cm程か	南西側	①F③黄褐色	外面へら削りか	
13	口径10.7 頸10.2	北側、一部想定 範囲外	①A②やや軟調 ③暗褐色、一部赤色味	縄文L R横、外面。口縁部に磨き状横ナデ、 肩部縦へらナデ	

石皿

番号	種類	出土状態	計 測 値				石 材	備 考
			長cm	幅cm	厚cm	重g		
14	打製石片		8.8	6.1	1.7	86	玄文武岩	分銅形、自然面広い。
15	打製石片	中央やや南寄り	11.3	8.3	4.5	321	硬質泥岩	
16	打製石片	南側	5.4	5.3	1.9	67	硬質泥岩	
17	使用痕のある剥片		6.7	3.5	1.9	29	硬質泥岩	1面使用
18	砥石		(5.1)	(4.2)	1.1	24	牛伏砂岩	小破片、1面に溝有り
19	多孔石	南東寄り	39.7	16.7	8.5	9200	緑色片岩	表面面に孔有り
20	多孔石	伊南東側	30.5	34.5	14.0	17700	牛伏砂岩	半欠品、孔は1面

## 5号配石(第245図)

## 縄文土器

番号	大きさ	出土状態	①胎土②焼成③色調	文様と成・整形技法の特徴	備考
1		周辺	①A③断面まで黒褐色	内外面ともやや丁寧なナデ	
2		周辺	①A③断面まで黒褐色	波状口縁。ナデやや粗。	器面やや摩滅する。
3		周辺	①A②やや硬調③暗褐色		
4		周辺	①E②軟調③暗褐色	口縁外面にニ条比線か	摩滅著しい。被熱か。
5		中央	①A②やや硬調③灰褐色	波状口縁。比線は鋭い寛先による。	断面まで風化する
6	底 5.1	中央の7片	①A③外面赤褐色	表面は剥落で整形痕残らない	被熱著しい

## 石函

番号	種類	出土状態	計測値				石材	備考
			長cm	幅cm	厚cm	重g		
7	使用痕のある剥片	周辺	1.5	1.7	0.85	1.74	黒曜石	1面使用
8	打製石片	周辺	9.4	7.9	2.3	178	硬質泥岩	半欠品
9	石皿	位置不明	34.0	25.7	7.7	1070	粗粒輝石安山岩	完形

## その他の遺構出土縄文時代遺物(第246・247図)

## 縄文土器

番号	大きさ	出土状態	①胎土②焼成③色調	文様と成・整形技法の特徴	備考
1	口(10.2)	2号土坑	①D。②灰褐色。	羽状の比線は細かく鋭い。内面平滑	
2		7号土坑	①D。②やや硬調③灰褐色	沈線幅太で断面丸い。	
3		3号土坑	①A。②やや硬調③暗褐色		波状口縁の可能性。
4		3号土坑下層	①E。②暗褐色	縄文不明瞭。内面平滑。	
5		14号土坑	①E。②やや軟調	沈線鋭い。	

## 石函

番号	種類	出土状態	計測値				石材	備考
			長cm	幅cm	厚cm	重g		
6	甗器	1号壑穴状遺構	7.8	7.5	1.6	108	硬質泥岩	
7	使用痕のある剥片	1号壑穴状遺構	7.4	7.0	1.3	77	硬質泥岩	L字状の2面使用
8	石核	2号壑穴状遺構	13.0	7.1	6.0	622	硬質泥岩	
9	石核	1号洞	12.6	6.7	2.8	247.2	滑石	
10	甗器	2号壑穴状遺構	5.0	4.5	1.1	92	硬質泥岩	
11	使用痕のある剥片	2号壑穴状遺構	9.4	6.2	1.8	23	硬質泥岩	L字状の2面使用
12	石核	2号土坑	3.1	2.0	1.3	9.0	黒曜石	
13	甗器	11号土坑	7.5	4.2	1.2	36	硬質泥岩	
14	打製石片	1号土坑	16.9	11.2	2.2	872	黒色片岩	完形。加工痕は少ない。
15	石棒	3号土坑	76.4	20.5	17.7	4700	緑色片岩	両端欠く。中央に孔あり。

## 遺構外出土縄文時代の遺物

縄文土器 (第248～253号)

番号	器形の特徴	出土状態	①胎土②焼成③色調	文様と成・整形技法の特徴	備 考
1		7住埋没土	①A	口縁外端に規則的な指頭圧痕	
2		7住床下	①E		外周ス付着
3		AX-18グリッド	①A, ③断面灰色味		
4		4住埋没土	①E, ③断面灰色味		
5		7住埋没土	①A, ③断面黒色味		
6		2住床下	①E	穿孔は焼成後、補修孔か	
7		1 整穴	①A	穿孔は焼成後	
8		4住埋没土	①E		
9		AY-21グリッド	①D		
10		1 整穴	①A		
11		BA-20グリッド	①E	外面横へつ削り	
12	波状口縁	3住埋没土	①A		
13	波状口縁	BB-21グリッド	①A		
14	波状口縁	7住埋没土	①A		
15	波状口縁	7住床下	①A, ③黒色味強い		
16		4住埋没土	①A		
17		8住埋没土	①C, ③外面赤色味		
18	波状口縁	2住埋没土	①E		
19	波状口縁	床下	①A		
20		2住埋没土	①A	口縁内端にも微細な沈線あり	
21		BC-21グリッド	①E	矢羽状の沈線はやや深い	
22		AX-18グリッド	①A, ③内面黒色味		
23		AY-24グリッド	①A		二次被熱
24		19住埋没土	①A		
25	波状口縁。	7住埋没土	①A	口縁上端は平坦で内端の沈線。	
26		7住埋没土	①A, 25に類似		
27	波状口縁	1 整穴	①E		器面の摩滅著しい。 器面やや摩滅する。
28		AY-16グリッド	①A		
29		AY-21グリッド	①A	斜行する沈線はやや深い	
30	波状口縁	AX-18グリッド	①A, ③内面黒色味強い		
31		AY-21グリッド	①D	口縁内端に僅かな沈線	器面の摩滅著しい。 器面やや摩滅する。
32		5住埋没土	①A, ③内面黒色味強い		
33		14住埋没土	①E	斜行する沈線は深い	
34	浅鉢か。波状口縁か	2住埋没土	①A		
35		BB-22グリッド	①E		口縁内端摩滅する。 器面の摩滅著しい。
36		5住埋没土	①A, ③内面黒色味強い		
37		7住埋没土	①F		
38	波状口縁。	1住埋没土	①E	縄文L	
39		AX-18グリッド	①E	縄文LR	
40		7住埋没土	①E		
41		BA-19グリッド	①A	斜行する沈線は深く鋭い	
42		2住床下	①E		二次被熱。
43		7住埋没土	①E		
44		14住埋没土	①E	口縁内端不明瞭な凹縁状に窪む	
45		4住床下	①A		
46		4住埋没土	①E	口縁端部不整	
47		BB-21グリッド	①A		
48		2住埋没土	①A	縄文LR	
49		BA-17グリッド	①A		
50		2住埋没土	①E	縄文LR	
51	波状口縁	6住埋没土	①A	孔は先端尖る	
52		1住埋没土	①F		
53		2住埋没土	①E		器面やや摩滅する。
54	波状口縁	BA-20グリッド	①A		
55		4住埋没土	①E	内面のナゲ丁車	器面やや摩滅する。 器面やや摩滅する。
56		2住埋没土	①A, ③黒色味強い		

番号	器形の特徴	出土状態	①胎土②焼成③色調	文様と成・整形技法の特徴	備考
57		AY-21グリッド	①E		
58		BA-20グリッド	①F。③黒色味強い		
59	波状口縁か	2住埋没土	①A。③内面明度高い		
60	波状口縁	1溝	①A		
61		2住床下	①E		
62		BC-20グリッド	①A		
63	波状口縁。	1配石	①F	縄文R L横位	
64		7住埋没土	①A		
65	波状口縁	1窟穴	①A		
66	波状口縁	9住埋没土	①A。③灰白味おびる		器面の摩滅著しい。 器面やや摩滅する。
67	波状口縁	4溝	①A		
68		15住埋没土	①A		
69		7住埋没土	①E。②やや硬調		
70		1住埋没土	①A		
71	波状口縁。	BB-22グリッド	①A。③内面赤色味	縄文L R	器面の摩滅著しい。
72		1窟穴	①A		
73		北西表採	①A		僅かにスス状付着物。
74		1住埋没土	①E	内面。指押さえ痕多い	
75	注口か	2住埋没土	①A		
76	注口か	BA-24グリッド	①F。③黒色味強い		
77	波状口縁	7住埋没土	①A		
78	浅鉢	7住埋没土	①A		
79		7住埋没土	①E	外面平番	
80		AX-18グリッド	①A		内面僅かに朱色の付着物 器面やや摩滅する。
81	波状口縁	2住床下	①F	縄文L R横位。内面平滑。	
82	注口	BA-20グリッド	①E		
83	注口	BA-20グリッド	①E		
84		2住床下	①F。③黒色味強い	内面平滑。	
85		4住埋没土	①A	外面。縦へら削り状ナデ	内底の割落顕著。
86		AW-17グリッド	①A		
87		AX-18グリッド	①A。③赤色味おびる	内底。網代直	
88		14住埋没土	①A	内面。外面。ナデ、底面。へら削り	
89	高台付鉢か？	AW-17グリッド	①A		
90		BB-21グリッド	①A	外面。へら削り、底面。1本帯2本越網代直	二次被熱。
91		BB-23グリッド	①E	外底。1本くぐり2本越え網代直	内面。外面。被熱風化。
92		2住埋没土	①A	外底。1本くぐり2本越え網代直	
93		2住床下	①A	外面斜めへら削き、外底1本帯2本越網代	内面。風化

土偶 (第254図)

番号	器形の特徴	出土状態	①胎土②焼成③色調	文様と成・整形技法の特徴	備考
1	顔部分	9住埋没土	①A。③断面黒色	口の凹みは浅い。	
2	顔部分	BC-22グリッド	①A。③断面黒色	口と耳の部分は孔を貫通させる。	器面やや摩滅する。 2片接合。
3	右足部分	BA-21グリッド	①A。③断面灰黒色	指頭によるしぼりか。	
4	右足部分	1号配石周辺	①A。③断面黒色		
5	右足部分	5住埋没土	①A。		摩滅著しい。 器面やや摩滅する。
6	右足部分	9住埋没土	①A。③断面黒色		
7	右足部分	3住埋没土	①A。	指頭によるしぼりか。	
8	左足部分	1号配石周辺	①A。4に類似		2片接合。摩滅。

遺構外出土石器一覧

No.	種類	石材	出土位置	残存状況	長cm	幅cm	厚cm	重量g	備考
1	石鏃	黒曜石	1号住居内	完形	1.45	1.2	0.3	0.32	凹基無茎
2	石鏃	下呂石	1号住居内	先端部欠く	1.4	1.25	0.3	0.40	凹基無茎
3	石鏃	下呂石	1号住居内	先端部欠く	1.5	1.5	0.45	0.68	凹基無茎
4	石鏃		5号住居内	完形	1.7	1.2	0.3	0.49	平基無茎、両面局部磨整
5	石鏃		8号住居内	完形	2.0	1.3	0.4	1.78	平基無茎
6	石鏃	黒曜石	Ba-19グリッド	完形	1.7	1.4	0.55	0.85	平基無茎
7	石鏃	黒曜石	1号住居内	完形	(1.8)	1.2	0.3	0.46	平基無茎
8	石鏃	チャート	1号住居内	先端部欠く	12.2	1.4	0.35	1.02	凸基有茎
9	石鏃		1掘立P1	完形	2.6	1.1	0.4	0.58	
10	打製石斧	堂玄武岩	8号住居内	完形	17.9	7.0	3.2	488	短冊形
11	打製石斧	雲母石英片岩	1号住居貯蔵穴		21.1	6.0	1.5	290	
12	打製石斧	緑色片岩	Bc-40グリッド	完形	14.5	6.4	1.6	251	
13	打製石斧	硬質泥岩	Bb-21グリッド	刃部破片	6.7	6.4	2.7	120	
14	打製石斧	雲母石英片岩	Bc-19グリッド	刃部欠く	17.8	9.3	2.3	555	
15	打製石斧	硬質泥岩	Ba-21グリッド	完形	18.5	8.2	4.5	538	
16	打製石斧	雲母石英片岩	7号住居内		16.3	7.6	1.8	246	刃部は両調整
17	打製石斧	硬質泥岩	6号住居内		7.3	6.3	2.4	95	
18	打製石斧	硬質泥岩	15号住居内		8.8	7.8	2.8	153	
19	打製石斧	硬質泥岩	Ba-18グリッド		7.8	7.5	1.9	108	
20	打製石斧	硬質泥岩	Ba-20グリッド		9.7	5.9	1.6	90	
21	打製石斧	硬質泥岩	15号住居内		8.8	7.8	2.8	153	
22	打製石斧	硬質泥岩	By-23グリッド		13.1	6.5	2.4	182	
23	磨製石斧	緑色片岩	11号住居内	刃部欠く	17.3	7.5	2.9	639	河原石利用で研磨痕不明瞭
24	磨製石斧	変輝緑岩	5号住居内	完形	15.1	6.0	3.9	587	刃部使用痕、側縁部敲打痕
25	磨製石斧	堂玄武岩	2号住居内	刃部欠く	17.5	9.3	4.4	1153	河原石利用、研磨痕不明瞭
26	削器	黒曜石	8号住居内		1.4	1.6	0.7	2.47	
27	削器	硬質泥岩	13号住居内		9.5	5.5	1.2	59	
28	削器	チャート	Ba-22グリッド		3.5	3.7	1.2	16	
29	削器(石核石鏃)	赤磐玉	Ba-19グリッド		4.2	2.2	1.0	9	
30	削器	透頁岩	3号住居内		6.1	2.9	0.9	17	
31	削器	硬質泥岩	8号住居内		10.3	5.6	1.2	68	
32	削器	硬質泥岩	8号住居内		7.4	7.0	2.5	136	
33	削器	硬質泥岩	Ba-22グリッド		6.5	4.9	2.5	71	
34	削器	チャート	Bb-23グリッド		6.2	5.5	1.1	37	
35	削器	硬質泥岩	Bb-23グリッド		6.5	4.9	1.7	60	
36	削器	硬質泥岩	5号住居内		9.5	9.3	2.2	148	
37	削器	硬質泥岩	4号住居内		9.9	8.7	3.8	204	
38	加工痕のある剥片	硬質泥岩	Bb-23グリッド		11.0	8.4	3.1	352	縦長剥片
39	加工痕のある剥片	硬質泥岩	Bb-23グリッド		7.7	4.5	1.9	67	縦長剥片
40	加工痕のある剥片	硬質泥岩	4号溝フタ上		10.3	7.5	4.3	373	縦長剥片
41	加工痕のある剥片	硬質泥岩	Bc-24グリッド		11.5	8.0	2.4	198	縦長剥片
42	加工痕のある剥片	硬質泥岩	12号住居内		8.9	8.4	4.7	371	1面
43	加工痕のある剥片	硬質泥岩			9.0	7.5	3.3	214	
44	加工痕のある剥片	硬質泥岩	6号住居内		10.3	7.5	3.8	315	縦長剥片
45	加工痕のある剥片	硬質泥岩	3号住居内		9.5	6.4	4.0	299	
46	使用痕のある剥片	硬質泥岩	7号住居内		8.0	5.5	0.8	36	丸歯状
47	使用痕のある剥片	硬質泥岩	Ba-23グリッド		7.1	4.6	0.9	27	2面使用
48	使用痕のある剥片	硬質泥岩	6号住居内		5.0	3.6	1.4	33	2面使用
49	使用痕のある剥片	硬質泥岩	3号住居内		6.3	5.3	1.1	34	丸歯状
50	使用痕のある剥片	硬質泥岩	11号住居内		6.4	5.4	1.9	71	L字状2面使用
51	使用痕のある剥片	硬質泥岩	8号住居内		6.1	3.2	1.7	29	
52	使用痕のある剥片	黒曜石	Ba-18グリッド		1.5	2.0	0.6	1.4	
53	石核	赤磐石	Ba-18グリッド		3.2	2.7	1.7	16	
54	石核		Ba-23グリッド		4.4	2.8	2.2	19	
55	石核	黒曜石	8号住居内		3.9	2.0	1.7	13	
56	石核	黒曜石	Bb-23グリッド		5.0	4.2	1.4	26	
57	石核	硬質泥岩	Ba-19グリッド		6.6	4.5	4.4	137	
58	石核	硬質泥岩	12号住居内		9.2	7.0	5.9	463	
59	石核	硬質泥岩	3号住居内		11.6	9.5	7.0	833	
60	石核	硬質泥岩	4号住居内		12.2	9.3	7.4	702	

No.	種類	石材	出土位置	残存状況	長cm	幅cm	厚cm	重量g	備考
61	磨石類		6号住居内	突形	16	6.3	4.0	423	
62	磨石類	点紋緑色片岩	15号住居内	ほぼ完形	13.9	5.5	3.4	475	
63	磨石			一端を欠く	(9.7)	(6.8)	(3.8)	378	
64	砥石	牛伏砂岩	Bb-23グリッド	端部欠く	(7.3)	(5.5)	1.0	20	
65	砥石	牛伏砂岩	Nw覚乱	両端欠く	(4.4)	4.8	1.0	23	
66	砥石	牛伏砂岩	Ba-23グリッド	小片	(4.4)	(3.3)	(1.0)	7	

## 2 壁穴住居

### 1号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
265図-1	高杯	口 19.2 脚下 12.6 高 14.2	北壁下床直上 ほぼ完形	杯部は内外面ともヘラ状工具のナデでやや平滑に仕上げられる。脚内側も同様だが中央のみ、しぼり目が無調整で残る。	①B。大粒の混入物なし。 ②やや軟調だが、ムラなく良好。 ③明褐色5YR5/6、外面には黒斑あり。
265図-2	高杯	口 16.5 脚下 (11.5) 高 15.0	貯蔵穴内床下12cm 口径1/2。脚2/3	杯部はヘラ状工具のナデを施すが、器面は旋打様な凹凸有り。脚内面は丁寧なヘラ調整を施す。	①B。1に同じ。 ②軟調でしまり欠く。 ③にぶい褐色7.5YR/4。黒斑多い。
265図-3	高杯	口 (15.8) 脚上 2.9	北壁下床直上4cm 中央床土19cm 口径2/5。脚1/3	器面摩滅し、整形痕は不明瞭。脚内側には、しぼり目が明瞭に残る。	①B。赤褐色鉱物の混入やや目立つ。 ②軟調でしまり欠く。
265図-4	高杯	脚下 (13.0)	貯蔵穴内床土9cm 図示部4/5	器面摩滅し整形痕は不明瞭。断内面はしぼり目が無調整のまま残る。	①B。赤褐色鉱物の混入やや目立つ。 ②やや軟調だが良好。③にぶい褐色7.5YR/6、黒斑あり。断面は黒色味をおびる。
265図-5	高杯	脚上 3.2	西寄床土5cm 図示部ほぼ完存	器面摩滅し整形痕は不明瞭。断内面はしぼり目が無調整のまま残る。	①B。1に同じ。②普通。適度に焼き締まる。 ③にぶい褐色7.5YR/6。断面は黒色味をおびる。
265図-6	小型丸底壺	口 (9.0)	9区埋没土3片 口径1/6 脚上1/2	胴部外面はヘラ状工具によるナデに近い削りで平滑に仕上げられる。内面も比較的平滑。	①B。結晶片岩粒を散見する。②やや軟調で小形品としては、しまり欠く。③にぶい黄褐色10YR/4内面赤色味。断面黒色味をおびる。
265図-7	器台	脚上 3.7	南寄床直上 図示部ほぼ完存	脚部に外側から円孔を3ヶ穿つ。外面は幅広い粗い縦位のヘラ磨き。内面は指道の強いナダ磨き。	①A。素地はやや緻密。 ②やや硬調で焼き締まる。 ③様一様。断面は彫度強い。
265図-8	壺	口 (16.8) 脚 (23.4)	南寄床直上 図示部の1/3	外面の削りは磨きで、器面は平滑さ欠く内面は細かなナデでやや平滑に仕上げられる。	①E。混入物あまて多い。雲母少ない。 ②普通。大型品としては良好。③にぶい褐色7.5YR/4。下半は黒色味強く一様でない。
265図-9	広口壺	口 (18.4)	貯蔵穴東階床直上 図示部の1/5	器面は摩滅して整形痕は不明瞭だが、口縁部のナデは強く、肩部の削りは強いようだ。	①Eに近い。雲母混入物とも少ない。素地は粒子細かい。②普通。 ③褐色7.5YR/6一様。断面は黒色味をおびる。
265図-10	小型壺	口 (14.8)	北寄床土22cm 図示部の1/4	口縁部のナデは強く丁寧。肩部の削りも丁寧だが、内面は不整。	①Eに近い雲母少ない。混入物はやや大粒。 ②普通。 ③明赤褐色5YR5/6一様。断面は黒色味強い。
265図-11	壺	口 (15.2)	北西隅床土25cm 図示部の1/4	口縁のナデは丁寧、肩部の削りは強い内面のナデはやや丁寧だが、ヘラ状の工具痕が一部で不整面を作っている。	①Eに近い。雲母少ない。赤褐色鉱物の混入やや多い。②普通。③にぶい褐色7.5YR/4。内面は淡く断面は黒色味をおびる。
265図-12	壺	底 9.8	南壁下床土6cm 図示部の2/3	外面には整形痕なし、体部外面に粗い削りの痕跡がわずかに残る。内面は平滑さ欠く。	①C。粗粒の混入極めて多い。 ②やや軟調でしまり欠く。 ③にぶい黄褐色10YR/6。断面一部黒色味をおびる。
265図-13	台付壺	台下 7.9	北寄床直上 図示部ほぼ完存	厚手。外面の整形痕は不明瞭。接地面はつぶれて平坦になっている。内面は指道圧痕と不明瞭な磨痕が残る。	①E。5mm大の細粒を散見する。 ②やや硬調。③にぶい褐色7.5YR/6ほぼ一様。断面は黒色味をおびる。
265図-14	台付壺	台下 9.6	貯蔵穴内床下29cm 図示完存	厚手。外面の整形痕は不明瞭だが比較的平滑。接地面はつぶれて平坦。内面はヘラ状工具による丁寧なナデ。	①Eに近い。雲母、混入物ともに少ない。 ②やや硬調。 ③にぶい褐色7.5YR/4ほぼ一様。
265図-155	碓石	長 43.6 幅 24.2	中央 ほぼ完形	中央大きく窪むのは、縄文石皿の転用か、玉砥石の痕跡と金属器使用のような深い溝あり。	①牛伏砂岩。
265図-156	碓石	長 20.4 幅 10.9	東寄 完形	河原石の一面の一部が摩滅している。	①砂岩。

### 2号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
272図-1	鉢	口 9.6 底 4.3 高 3.5	貯蔵穴西層床直上 ほぼ完形	外面は指道痕の凹凸の上に雑な削りで器面やや不整。内面も鉢類としては不整である。	①A。混入物は小粒。②やや軟調 ③にぶい褐色10YR/6。内外面ともに黒斑あり。 ④口縁部部の割落多い。
272図-2	器台	台下 11.3	南西壁下床直上 図示部ほぼ完存	器面の荒れ著しく、整形痕は不明瞭。外面に縦位の擦痕が見られる。台部は規則的な配置の4孔を外方から穿つ。	①C。砂粒の混入物は少ない。 ②普通か。 ③にぶい褐色7.5YR/3。一様ではない④二次被熱か
272図-3	器台	台上 3.8	埋没土の2片 図示部の3/4	外面は幅広い磨きで丁寧な仕上げ。孔は1ヶのみ残存。3孔になるか。内面の調整は粗。	①C。素地はやや緻密。 ②やや硬調で、厚手の土器としては焼き締まる。 ③にぶい黄褐色10YR/7、黒色味、赤色味のムラあり

No.	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
2728B-4	鉢	□ (17.0) 高さ 7.8 底高 13.0	中央南寄床上4cm 図示部の1/3	厚手で重量。外面削りは不明瞭だが器面は比較的平滑。内面も平滑で磨きに近いナデを施している。	①A。大粒の混入物が含まれる。 ②やや軟調でしりり欠く。 ③に多い黄褐色10YR6/3。黒斑帯広い。内面は黒色。
2728B-5	小型壺	□ (14.0)	南東壁寄着床上18cm 図示部の1/3	口縁のナデは丁寧。肩部外面の削りも丁寧に細かくナデに近い。内面のヘラ状図工使用のナデは不明瞭。	①Eに近い。器母少ない。やや緻密。 ②やや軟調。③灰青⇔褐色10YR6/2。一様でない。断面は黒色味をおびる。
2728B-6	壺	□ (18.0)	埋設土の2片 図示部の1/8	器面荒れて整形痕は不明瞭。	①B。素地は粒子細かい。 ②やや軟調。 ③に多い黄褐色10YR6/3。断面は黒色味強い。
2728B-7	壺	底 (8.4)	北東壁下床上20cm 図示部の1/2	外面の削りは弱く細かい。内面は指頭圧痕状の凹みが多量に見られる。	①C。大粒混入物を散見する。 ②やや軟調。 ③灰青褐色10YR5/2。内面は明度高い。
2728B-8	台石か	長 [32.4] 幅 32.0	南寄床上直上 半久品	平坦な表面が著しく摩滅する。縄文時代遺物混入の可能性。	①デイスait。

### 3号住居出土遺物

No.	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
2758B-1	高杯	台上 3.1	東寄床上38cm 図示部上半完存 下半1/2	外面は摩滅著しく、整形痕不明。脚部の面は強いしり目が無調整で残る。	①B。混入物少ない。 ②やや軟調。 ③に多い褐色10YR6/3。内面、断面は黒色味強い。
2758B-2	器台	□ 18.3 台上 2.8	中央床上4cm 図示部ほぼ完存	口縁部は蓋状に歪む。外部のナデ、削りとも雑。脚内面にも粗く雑なナデ。4孔の穿り方も雑である。	①A。混入物は2mm大粒程度。 ②硬調で焼き絞る。 ③に多い褐色7.5YR6/3。ほぼ一様。
2758B-3	壺	□ (15.0)	埋設土内 図示部の1/6	頸部の調整は雑。内面はやや平滑に仕上げられる。	①C。砂粒は中粒サイズ。バミス含む。②普通。 ③に多い赤褐色2.5YR5/4一様。断面は彩度低い。
2758B-4	壺	□ (19.4)	中央～南寄床上20cmの3片 図示部の1/2	摩滅すすみ調整不明瞭。内面は頸部接合痕が無調整のまま残る。	①A。やや大粒の混入物も散在する。 ②普通。 ③に多い褐色7.5YR6/4。外面に黒斑あり。
2758B-5	壺	□ (16.0)	中央床上38cm 図示部の1/3	外面は削り、ナデとも丁寧。肩部内面のナデは雑で、器面不整。	①Aに近い。混入物やや少ない。②普通。 ③に多い褐色7.5YR6/4。断面一部黒色味をおびる。
2758B-6	台付壺	□	北寄床上4cm 図示部の2/5	台部が割落し。ソケット状の底部が明顯に残存している。刷毛目は深く鋭い。内面はやや不整。	①A。粘片屑は少ない。 ②普通。変態としては良好。 ③に多い赤褐色5YR5/4濃灰。黒斑等で一様でない。
2758B-7	台付壺	台 8.9	西寄床直上 脚部1/4 台部完存	刷毛目は細かい。脚部内面は平滑に仕上げられる。台部内面もヘラ状工具でやや平滑に仕上げられる。	①C。やや大粒の混入物を散見する。②普通。 ③に多い黄褐色10YR7/3。 ④破損後の二次焼結か。
2758B-8	台付壺	台 9.0	北東壁埋設直上 図示部完存	底部極めて厚く重量。刷毛目はやや粗い内面のナデは不明瞭だが、器面は比較的平滑。	①C。粒徑不揃いの組織を含む。 ②硬調。厚手だがムラなく焼き締まる。 ③に多い褐色5YR7/4。
2758B-9	台付壺	台 8.2	南寄床上15cm 図示部完存	脚部の刷毛目はやや雑。台部は不明瞭割部内面は不整。台部内面は不明瞭な痕痕がわずかに残る。	①A。5mm以上の大粒混入物が混じる。 ②普通。 ③に多い褐色7.5YR7/4。内面灰色味をおびる。
2758B-11	砥石	長 22.0	西寄 半久品	窪みのある表面の一部は不明瞭な有溝状。一面面は研磨面。	①牛伏砂岩。
2758B-12	砥石	長 [14.2]	南寄 半久品か	表面両面が研磨面だが平坦ではない。表面不明瞭な有溝状。	①牛伏砂岩。
2758B-13	砥石か	長 [18.5]	中央やや東寄 小破片	研磨面は穏やかに覆む。縄文時代遺物混入の可能性。	①緑色片岩。
2758B-14	台石か	長 [28.0]	南東壁埋 半久品	表面中央に敲打痕。周辺は摩滅する。表面も全面摩滅。	①ひん岩。
2758B-15	不明	長 [28.5]	北東隅 半久品か	表面中央が凹み。周辺が若干摩滅している。表面の摩滅は顕著。	①黄褐色石英片岩。

### 4号住居出土遺物

No.	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
2768B-1	壺	□ (23.4)	南東隅 図示部の1/6	蓋状文は、丁寧に強く、波状文は雑。内面は幅太のヘラ状工具のナデで平滑に仕上げられる。	①Cに近い。夾雑物は少ない。 ②やや軟調でしりり欠く。 ③に多い褐色7.5YR4/3。内面は明度高い。



No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
276図-2	口 甕	(17.0)	中央線上 口縁1/2, 頸部完 存	器面厚縁し整形痕不瞭。薫状文、波 状文は同一工具による縦文が口縁外端が 不整で、粘土割落痕の可能性。	①A。夾雑物の粒径不揃い。粗粒目立つ。 ②普通。ややしまり欠く。 ③明赤褐5YR5/6。濃淡のムラあり。
276図-3	口 甕	(19.1) 頸部 15.0	南寄 口縁3/4側上2/3	薫状文、波状文とも極めて細。外面縦 位のナデは粗く、削りに近い。内面もヘ ラ状工具による粗いナデ。	①C。粗粒の混入が目立つ。 ②普通。厚手としては良好。 ③にぶい黄褐10YR5/3。深い黒斑あり。
276図-4	甕	(27.0)	南寄 図示部の1/4	器面厚縁し文様は不瞭。波状文は縦 で斜格子文様帯も不規則。内面のナデは やや丁寧	①C。5mmを超える粗粒を散見する。 ②普通。 ③橙7.5YR6/6。小規模な黒斑あり。
276図-5	甕	(22.6)	西寄 図示部の1/3	薫状文は強く、波状文はやや粗い。外 面は削り削りの摩痕が残る。内面は細太 の棒先状工具による強いナデ。	①C。厚石掘じりの粗粒目立つ。 ②やや軟調でしまり欠く。③素地はにぶい黄褐 10YR7/4。黒斑あり。赤形部分は暗い赤色。
276図-6	底 甕	(6.6)	東側 図示部ほぼ完 存	外面は細太のヘラ状工具で強く丁寧に 削り、磨きに近い仕上がりとなる。内面 もやや平滑。	①C。砂は少量で粒径細かい。 ②軟調でややしまり欠く。 ③にぶい赤褐5YR5/4。内面彩度低い。外黒色。
276図-7	台下 台付甕	(12.8)	東側 図示部の1/2	器面に細かな割落多。調整痕は不明 瞭内外面とも比較的平滑に仕上げる。	①C。粗粒の混入が目立つ。 ②やや軟調でしまり欠く。 ③にぶい橙7.5YR7/4。黒斑あり。
276図-8	甕		1住埋土内 小片	薫状文は強く、波状文は弱い。外面は 比較的平滑。内面はやや割落多。整形 痕は不瞭。	①C。砂は粒径不揃い。バミスまじる。 ②やや硬調。 ③橙7.5YR6/6。ほぼ一様。
276図-9	長 砥石	( 2.5)	埋没土 小片	使用痕不瞭。	①砂岩

#### 5号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
278図-1	高 杆	(23.0)	南側壁直上床 上10cm 図示部の2/5	内外面ともやや細太の工具による丁寧 なヘラ磨き。杯部内面に割落痕著。	①Aに近い。やや軟かな素地に3mm大の細粒を少 量含む。②普通。 ③にぶい橙
278図-2	台 付甕		北西壁直下床 上4cm 図示部ほぼ完 存	外面は極めて強い削り、刷毛目状の 磨痕が残る。内面はナデで、やや平滑に 仕上げる。	①Aに近い。Dとの中間的な胎土。 ②軟調でしまり欠く。 ③赤褐2.5YR4/6。内面は黒味強い。
278図-3	台 器台	12.1~ 12.7	南側壁直下床 直上 図示部ほぼ完 存	器面の厚縁減み、調整痕は不瞭。内 外面とも平滑に仕上げる。	①F。バミスの混入やや目立つ。 ②普通。厚手でムラなく焼き締まる。 ③橙5YR6/6ほぼ一様。
278図-4	器 台	(20.8)	北寄床上5cm 小片	厚手で大型。円意は直径5cm近い。外 面はムラなく丁寧に磨きで平滑に仕上 げ、内面にもやや丁寧に磨きが見られる。	①Aに近い。素地やや緻密で混入物は小粒。 ②やや硬調。適度に焼き締まる。 ③にぶい赤褐5YR5/4。黒斑広い。
278図-5	台 甕	6.6	中央やや西寄 り床上6cm 図示部ほぼ完 存	内面のナデによる調整は上下両側とも 同じ様な仕上がりで天地不瞭。	①Aに近い。混入物は少なくやや小粒。 ②普通。 ③にぶい赤褐5YR5/4。濃淡のムラあり一様でない。
278図-6	底 甕	(7.2)	北東壁下床 上14cm 図示部の3/4	底部の抜け台付甕台部と思われるが 痕跡は残っていない。外面に調整痕なし 内面は指面状の圧痕が巡る。接地面は平坦	①Fに近い。5mm大の粗粒を散見する。 ②やや軟調。 ③灰黄2.5Y7/2。断面はやや黒味をおびる。
278図-7	台 甕	(29.4)	中央北西寄り 床上4~6cmの4 片 図示部の1/4	刷毛目状の押圧痕には縦文(LR) がある。内面はやや丁寧に磨きで器 の内面としては極めて平滑に仕上げる。	①A。チャートの混入やや目立つ。 ②やや硬調。調整としては良好。 ③にぶい橙7.5YR7/3。断面下半は黒色。
278図-8	台 甕	8.2	埋没土の4片 図示部の1/4	器面の割落著しく、調整痕は不瞭。薫 状文の一部分に刷毛目を残す。	①C。赤褐色胎土の混入が目立つ。 ②やや硬調。調整としては良好。 ③にぶい橙7.5YR6/4。ほぼ一様。
278図-9	台 甕		中央床上5cm 図示部の2/5	器面の割落著しく、調整痕不瞭。薫 状文が痕跡程度に残る。	①C。砂は粗粒粗い。②普通 ③にぶい黄褐5YR6/3。内面は彩度低い。
278図-10	台 付甕	5.2	南東壁下床 上9cm 図示部の2/5	外面は極めて強いヘラ磨きで1mm近く 凹む。内面の磨きは丁寧に平滑に仕上 げる。	①C。素地粗い。混入物は1~2mm大で粒径揃う ②普通。③にぶい黄褐10YR7/3。内面は灰色味、 断面は黒味をおびる。

## 6号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
280回-1	高杯	台上 5.2	伊西緑床直上 図示部ほぼ完存	厚手。脚部は細かく丁寧な削りで平滑 杯部内面は丁寧なへう磨き。脚部内面は 指頭圧痕。内面黒色処理の可能性。	①G。素地やや緻密で混入物少なく良好。 ②普通。厚手だがムラなし。 ③にぶい赤褐色5YR5/3。内面黒色。
280回-2	台付壺	台下 6.8	北壁下床直上 図示部完存	厚手。器面の摩滅進み、整形痕は殆ど 判らない。内面は平滑さ欠き、変型と した。	①C。粗粒の混入極めて多い。 ②普通。ややしまり欠く。 ③にぶい赤褐色5YR5/4。器部内面は黒色。
280回-3	小型壺	口 (11.4)	伊西緑床直上 図示部の1/3	器面は割落進み、整形痕は不明。糜状 文下の波状文は成跡が僅かに残るのみ。	①C。粗粒の混入極めて多い。2に近似。 ②普通。③2に近似。④二次焼熱の可能性。
280回-4	壺	西寄り床直上 図示部の1/8	西寄り床直上 図示部の1/8	器面の割落著しい。糜状文に波状文が 通る可能性。小片からの復元で怪、傾き 不安。	①C。粗粒の混入多い。2に近似。 ②やや硬調。③にぶい赤褐色5YR5/4。ほぼ一様。
280回-5	壺	口 (19.0)	南壁際床直上8cmと 6cmの2片 図示部の2/5	糜状文は強く波状文は弱い。特に口縁 外部は不明瞭。斜格字状の施文も不明瞭 内面はへう状工具による幾何ナデ。	①C。粗粒の混入多い。 ②やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。黒斑あり。内面彩度低い。
280回-6	壺	底 5.8	南青床直上 図示部完存	外面はナデに近い丁寧な削り。内面は 指頭による丁寧なナデがほぼ同心円状 に走る。外面は平坦。	①C。混入物少なく比較的緻密。 ②やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR7/3。外面黒色。
280回-7	壺	底 7.5	南壁直下床直上 図示部完存	外面は強く細かい削り。外面は不規則 な削りでやや平坦。内面の指頭による ナデも不規則だがやや平滑に仕上げる。	①C。混入物は粒径小さく少なめ。 ②やや硬調。 ③にぶい赤褐色5YR5/4。黒斑あり。
280回-8	長 幅	[ 5.7 ] [ 2.9 ]	埋没土	磨製石礫未製品。縁部に割離調整痕が 残る。研磨痕なし。	①珪質準片岩 ④重9.17g
280回-9	長 幅	[ 4.4 ] [ 2.4 ]	埋没土	磨製石礫未製品。片面に弱い研磨痕。	①珪質準片岩 ④重7.83g
280回-10	長 幅	[ 4.6 ] [ 3.2 ]	埋没土 2片接合	磨製石礫未製品。研磨痕なし。	①燧石 ④重6.59g
280回-11	長 幅	[ 4.1 ] [ 3.4 ]	埋没土	磨製石礫未製品。研磨痕なし。	①珪質準片岩 ④重6.91g
281回-12	長 幅	[ 5.7 ] [ 3.3 ]	埋没土	磨製石礫未製品。研磨痕なし。	①珪質準片岩 ④重13.73g
281回-13	長 幅	[ 4.5 ] [ 2.3 ]	埋没土	磨製石礫未製品。素材剥片で研磨痕な し。	①珪質準片岩 ④重4.08g
281回-14	長 幅	[ 4.4 ] [ 1.9 ]	北壁際	磨製石礫未製品。研磨痕なし。	①珪質準片岩 ④重4.35g
281回-15	長 幅	[ 2.9 ] [ 1.2 ]	埋没土	磨製石礫未製品。片面に粗い研磨痕。	①珪質準片岩 ④重1.40g
281回-16	長 幅	[ 4.6 ] [ 2.0 ]	埋没土	磨製石礫未製品。研磨痕なし。	①珪質準片岩 ④重3.21g
281回-17	長 幅	[ 3.0 ] 2.0	埋没土	磨製石礫未製品。片面に粗い研磨痕。	①珪質準片岩 ④重2.70g
281回-18	長 幅	[ 5.2 ] [ 1.6 ]	埋没土 平欠みか	磨製石礫未製品か。製品破片の可能性。	①珪質準片岩 ④重3.94g
281回-19	長 磨製石礫	4.4 1.9	南寄り ほぼ完形	凹基。断面菱形。	①珪質準片岩 ④重3.28g
281回-20	長 磨製石礫	[ 2.7 ] 1.8	北壁際 頂部欠く	凹基。きわめて薄手。表裏面とも平坦。	①珪質準片岩 ④重1.31g
281回-21	長 幅	[ 8.4 ] [ 5.2 ]	南壁上	素材剥片か。研磨痕なし。	①珪質準片岩 ④重28.83g
280回-22	長 砥石	[ 3.0 ] 3.1	埋没土 両端欠く	有溝状の砥石。	①牛伏砂岩 ④重8g
281回-23	長 砥石か	24.4	伊内 完形	三面に弱い研磨痕。	①粗粒輝石安山④焼熱は不明瞭岩 重4.96g
281回-24	長 砥石か	29.8	東壁際 完形	裏表の他、三側面に研磨痕。	①デイサイト 重9.5g

## 7号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
283図-1	高杯	脚上 3.1	南東部脚床上*** cm 図示部の2/5	孔は4ヶ。外面の整形痕は不明瞭だが平滑に仕上げる。内面も丁寧なへら磨き状の痕跡が残る。	①G。やや緻密な素地に0.5mm大の砂粒を含む。 ②やや硬調。 ③にぶい黄褐色10YR7/4。内面は彩度低い。
283図-2	丸底甕	口 16.6 胴 16.9	東部床土***cm 中央床土**cm 図示部の3/4	外面はへら先で強く引っかかるような整形で器面は平滑で欠く。内面はへら工具による粗いナデ。	①D。結晶片岩の混入は少ない。②普通。 ③にぶい褐色7.5YR5/4。黒色、赤色味のムラが多く一様でない。④下半は被焼。
283図-3	甕	口 12.8	西壁部床土**cm 西寄床土**cm 図示部の1/2	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面僅かに赤色塗彩の痕跡が残る。	①A。大粒の混入物は少ない。 ②硬調で焼き締まる。 ③にぶい褐色7.5YR7/4。内面は赤色味強い。
283図-4	小室甕	底 4.8~5.1	P 緑床土**cm 図示部完存	内外面ともへら磨きはやや粗で強い。底部は平滑。	①A。3に類似する。②硬調。やや焼き締まる。 ③にぶい褐色7.5YR7/4。黒斑あり。
283図-5	台付甕	台下 9.8	北隅床土**cm 南東寄床土**cm 図示部ほぼ完存	厚手。器面は摩滅し整形痕は不明瞭。台部中央にしぼり目残る。	①D。混入物多い。②やや硬調。 ③にぶい褐色7.5YR5/4。内面は赤色味強い。 ④二次被焼。
283図-6	台付甕	台下 9.7	北壁直下床土*** cm 図示部ほぼ完存	外面は弱い指頭圧痕残り、整形痕は不明瞭。内面上部に指頭の強い押圧。下半に弱いへら工具の痕跡。	①Bに近い。やや粗い素地に混入物は小粒。 ②やや硬調。 ③にぶい褐色7.5YR7/4。内面は赤色味をおびる。
283図-7	砥石	長 (3.5)	両端欠く	全面に不明瞭な研磨痕あり。	①牛伏砂岩

## 8号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
285図-1	杯	口 (12.2) 高 5.7	北壁下床土29cm 図示部の1/4	厚手で重量。器面は摩滅済み整形痕は不明瞭。外面にはやや強い削りの痕跡。内面は比較的平滑。	①Cに近い。雲母粒目立つ。 ②硬調でやや焼き締まる。③褐色7.5YR4/3。内面は赤色味。外面は灰色味をおびる。
285図-2	杯	口 (11.6)	埋没土の2片 図示部の1/6	器面の摩滅著しく、整形痕は不明。外面にへら削りの痕跡が僅かに残存。	①A。素地やや緻密。②やや硬調。 ③にぶい褐色7.5YR7/4。口縁部は灰色味強い。
285図-3	杯	口 (13.0)	北寄床土43cm 図示部の1/6	口縁外端が平坦になる。整形痕は不明。	①B。砂粒の混入は少ない。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR7/3。断面は黒色味強い。
285図-4	杯	口 (12.0)	埋没土 図示部の1/8	厚手。器面の摩滅著しく、整形痕は不明瞭口も摩滅進む。	①Fに近い。混入物は殆ど含まない。②普通。 ③にぶい褐色5YR6/4。断面は黒色味強い。
285図-5	杯	口 (12.0)	東寄床土16cm 図示部の1/8	器面の摩滅著しく、整形痕は不明。	①F。片岩含む。赤褐色鉱物や目立つ。 ②硬調。③褐色7.5YR。ほぼ一様。
285図-6	丸底甕	口 (8.0)	埋没土 図示部の1/4	増殖部の折れを意識した様子が内面にのみ作り出される。内面はやや丁寧なナデ外面は全面に及ばず、接合痕が残る。	①Cに近い。混入物少ない。 ②やや硬調。 ③褐色7.5YR/6。断面は灰白色。
285図-7	埴	(6.6)	埋没土 図示部の1/5	器面やや摩滅する。外面は弱い削りの痕跡のみで研磨痕なし。胴内面も不整。	①B。赤褐色鉱物や目立つ。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR7/4。内面、断面黒色味強い。
285図-8	高杯	口 (18.0)	中央床土60cm 図示部の1/5	横位の粗いナデの上に縦で弱いへら磨きを不規則に施す。	①F。混入物少ない。赤褐色鉱物やや目立つ。 ②普通。③にぶい褐色5YR7/4。断面黒色味おびる。
285図-9	高杯	脚上 3.7	西壁脚床上8cm 図示部の1/2	脚部外面は弱く粗いへら削りで磨きに近い。内面はしぼり目が無調整で残る	①Bに近い。砂粒の混入は少ない。②やや硬調。 ③褐色5YR6/4。断面は赤色味強く、芯は黒色。
285図-10	高杯	北寄床土40cm 図示部の2/3	4孔を穿つ。器面摩滅し整形痕不明瞭平滑に仕上げてあるようで、内面まで丁寧な調整を加える。	①F。混入物少ない。 ②硬調 ③褐色7.5YR7/6。断面は灰色味をおびる。	
285図-11	埴	(5.2)	北寄床土5cm 図示部の1/4	厚手。口縁部は内外面とも縦位の丁寧なへら磨き。胴内面は無調整で明瞭な接合痕が残る。	①C。混入物やや少ない。 ②やや硬調 ③にぶい褐色7.5YR7/3。内外面はほぼ一様
285図-12	高杯	口 3.3	埋没土2片 図示部の4/5	器面の摩滅著しく、整形痕は不明。脚内面は平滑でへら調整を加えている。	①A。2mm大の泥粒の混入が目立つ。②やや硬調。 ③褐色7.5YR7/6。断面は彩度低い。
285図-13	甕	口 (15.0)	中央床土21cm 埋没土 図示部の1/8	器面の摩滅済み整形痕不明瞭。口縁外面にへら磨きの可能性。頸部付近にも部分的に不規則なへら磨きの可能性。	①C。混入物は小粒で少ない。②やや軟調。 ③赤褐色2.5YR/4。断面は彩度低い。
285図-14	台付甕	台下	埋没土 図示部の1/3	器面の摩滅著しく、整形痕不明。接地面平滑。	①A。素地粗くボロボロしている。②やや軟調。 ③にぶい褐色7.5YR6/4。内面黒色味強い。
285図-15	不明	長 19.4	P 2 兩	表面磨面は弱い研磨面。縄文時代遺物混入の可能性。	①デイスライト。
285図-16	砥石	長 10.4 幅 10.4	北壁外 両端欠く	表面は幅広く、研磨され平滑な裏面は幅広い溝のある玉砥石。	①牛伏砂岩。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
285図-17	長 磁石か	22.8	中央 完形	扁平な阿原石の裏裏面が摩滅しする。	①デザイト。
285図-18	長 磁石	[20.0]	P 2南 平仄品	表面に幅広く深い断面U字状の溝。裏面は不明瞭。玉磁石。	①牛伏砂岩。②被熱腐害しい。

#### 9号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
287図-1	壺	□	13.8	北西隅壁直下床 上10cm 図示部完存	厚手で重量。外面に横位～斜位の強いへら削り。内面は幅広い丁寧なナデ。 ①A. パミスを散見する。②青濁 ③にふい焼7.5YR5/4。内面は黒色。断面は灰褐色を呈す。
287図-2	壺			伊西へり床 上15cmの5片 図示部の1/3	外面は細かな削りで磨きに近い。内面は雑で強いへら状工具使用のナデ。蓋み有り様、積き不安。 ①G. 緻密な素地に片岩混じりの繊維をやや多重に含む。②青濁。 ③増5YR6/6。内面形度低い。
287図-3	壺	底	(6.2)	南西壁直下床 上5cm 図示部の1/4	外面の削りは鋭く朝毛目状の痕痕が残る内面は横位の規則的なナデで丁寧に仕上げている。 ①A. 混入物はやや小粒。 ②やや軟調でしまり欠。③にふい焼2.5YR5/4 黒斑あり内面は形度低く、上半黒色味おびる。
287図-4	壺	□	(14.6)	伊北へり床 上15cm 図示部の1/5	外面頸部に縦位の雑な削りの上に唇部の丁寧な横位削り。内面調整難。胎土、調整手法より2と同一個体の可能性。 ①G. 2に近似する。②青濁。 ③にふい焼5YR7/4。黒斑あり。内面は赤色味をおびる。
287図-5	壺	底	7.6	北壁直下床 上7cm 図示部完存	外面の削りは弱く雑で器面は平滑さ欠く内面のナデは強いが雑で、やはり器面は平滑さ欠く。 ①C. 素地粗くボソソしている。 ②青濁。やしまり欠く。 ③にふい焼7.5YR6/3。内面やや赤色味おびる。

#### 10号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
289図-1	高杯	縦	14.7	東寄 図示部の3/4	外面丁寧な横位のナデの上に、脚柱部に縦位基調の弱いへら磨きを部分的に施す器上部の突帯の取り付けは丁寧。内面はへら状工具で丁寧。 ①B. 赤褐色鉱物を含む。 ②やや軟調。 ③にふい焼5YR6/4。内外面同様。断面は黒色味強い。
289図-2	台付壺			中央 底部完存 台座上半1/4	厚手で重量。外面は鋭い削りようだが痕跡は不明瞭。内面はへらあたり痕が斜射状に並ぶ。台座内面は指頭押圧。 ①D. 1～4mm次の繊維の混入が目立つ。 ②やや軟調。 ③にふい焼7.5YR6/3。内面は灰色味強い。
289図-3	台付壺	□	(19.2)	中央 口縁～胴上半1/4 胴下半1/2	台付壺としては厚手。外面はやや雑で強いへら削り。内面はへら状工具の強いナデだが、器面は比較的平滑。 ①G. 器目粒の少ない素地に、片岩を含まない繊維を多量に混入する。②やや軟調。 ③にふい焼5YR5/4。濃淡ムラ有り同様でない。

#### 11号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
291図-1	高杯	□		南側埋込土6片 図示部の1/3	器面の摩滅著しく、整形痕不明。 ①F. 混入物は少ない。②やや軟調。 ③にふい焼5YR6/4。濃淡ムラあり同様でない。
291図-2	高杯	□	14.2	東寄床直上 図示部の3/4	杯部外面のソケット状取り付け部は中心から外れる。器面の摩滅著しく、整形痕不明。 ①Fに近い。赤褐色混物やや目立つが他の混入物少ない。 ③にふい焼10YR7/3。赤色味をおびるムラ広い。
291図-3	高杯	縦 高	3.1 (14.2)	中央 脚柱部完存 器部1/2	器面摩滅し整形痕は不明瞭。外面は縦位削りの痕跡が弱かに残る。内面はへら状工具のナデ。しぼり目が裏に残る。 ②やや軟調。③にふい焼5YR6/4。外面ほぼ一様。内面一部黒色味をおびる。
291図-4	高杯	縦上 高	3.5 13.4	伊西床 上4cm 図示部ほぼ完存	器面摩滅し整形痕は不明瞭。外部は弱い縦位へら削り。内面はへら状工具による削りに近い鋭いナデ。 ①B. 赤褐色鉱物を少量含む。 ②青濁。 ③にふい焼10YR7/3。ほぼ一様。
291図-5	高杯	縦	13.6	伊上床 上5cm 図示部ほぼ完存	器面摩滅し整形痕は不明瞭。4にほぼ同巧か。 ①B. 4に近似する。②やや軟調。 ③にふい焼10YR11/3。ほぼ一様。
291図-6	高杯	□	(8.4)	伊南壁床直上 増	外面摩滅著しく、整形痕不明。内面は指頭の強いナデで器面は不整。 ①B. 3に類似する。②やや軟調。 ③にふい焼10YR6/4。赤色、黒色味のムラ有り。
291図-7	壺	□	(27.6)	西壁直下 図示部の1/4	口縁外縁は折り返しの上に指頭による強い押圧。体部は弱いへら削りか。内面は一部にへら磨き状の痕跡が残る。 ②やや軟調でしまり欠く。 ③にふい焼10YR7/4。赤色味をおびるムラ有り。
291図-8	壺	□	(20.8)	南寄床直上 図示部の1/5	摩滅著しく、整形痕不明。内外面ともへら磨きの痕跡が若干残る。 ①A. 砂質。混入物はやや小粒。 ②青濁。やや磨き跡まる。③増7.5YR6/6。赤色味をおびるムラ有り。断面一部灰色味をおびる。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
291図-9	甕	口 (15.8)	貯蔵穴内 図示部の2/5	12とほぼ同巧か。肩部著しく厚い。外面の削りは鋭い。内面口縁は丁寧なナゲ肩部は雑なナゲで磨面不整。	①Eに近い。混入物は細かく少ない。 ②普通。厚手の土器としてははみうなく良好。 ③にぶい焼7.5YR6/4。断面は黒色味強い。
291図-10	甕	口 (17.0)	貯蔵穴内 図示部の1/4	口縁内外面ともやや粗いナゲ。肩部外面は弱い削り。内面も弱いナゲで両面ともやや平滑に仕上げられる。	①B。やや粒子粗い。②やや軟調でしまり欠く。 ③焼10YR4/4。内面やや黒色味をおびる ④内面肩部付近。若干磨滅する。
291図-11	甕	口 (14.4)	南壁埋没土 口縁2/5肩部1/5	口縁部のナゲは内外面とも丁寧。外面の削りは粗く鋭い。内面は指頭によるやや強いナゲ。	①F。磨目はやや少ない。結晶片若含まない。 ②軟調でしまり欠く。 ③にぶい焼7.5YR6/4。内面赤色味をおびる。
291図-12	甕	口 (14.2) 胴 底 6.1	上半北東隅床直上、下半西壁直上床土4cm 1/2個体	接合し難い2点より完形に復元。出土位置が離れており、同一とするには問題残る。外面の削りは丁寧でやや鋭い。内面のナゲも比較的丁寧。	①B。赤褐色鉱物が下半でやや多い。 ②やや軟調でしまり欠く。 ③にぶい焼7.5YR6/4。内面は彩度低く断面はやや黒色味をおびる。
291図-13	甕	胴 底 4.1	東壁直下床直上 肩部1/4 胴下半 以下は完存	胎土、焼成、整形手法とも11に近似し同一個体の可能性あり。胴下半にはヘラ状工具のナゲあり。	①F。11に類似。磨目はさらに少ない。 ②軟調でしまり欠く。 ③焼7.5YR4/3。内面は黒色味強い。
291図-14	甕	底 6.0	東壁直下床直上 胴1/3 底部2/3	12とほぼ同巧。内面のナゲはやや粗で接合痕が一部で残る。	①②12に同じ。 ③表面12に同じ。内面灰黄色味強い。

#### 12号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
295図-1	杯	口 (14.4)	北側壁密着直上 11cm 口縁若干 底部1/3	外底は粗くやや強い削り。口縁は強いナゲで端正。擦痕は弱い。内面も丁寧なナゲでやや平滑。	①B。やや大粒の赤褐色鉱物が少量含む。 ②普通。適度に焼き締まる。③にぶい貴種10YR7/3黒斑あり。内面は黒色味強い。
295図-2	杯	口 (11.2) 受け (12.6)	貯蔵穴内 図示部の1/6	口縁端部は内傾し凹線状。受部も凹む外面は細かく強い削り。内面は丁寧なナゲの上に不整な放射状のヘラ磨き。	②普通。やや焼き締まる。 ③内面やや光沢あり磨滅の可能性。 ④黒褐色R2/1。断面赤褐色。
295図-3	杯	口 (14.2)	図示部の1/3	外底はやや幅広い強い削り。口縁は粗い擦痕の残る丁寧なナゲで、外面の縁にはヘラ先をあてるか。内面平滑。	①Bに近いが磨目粒は少ない。 ②やや硬調。適度に焼き締まる。 ③にぶい焼7.5YR7/4。断面灰黄色味をおびる。
295図-4	器台	口 (7.4)	北寄床土6cm 図示部の1/3	磨面厚減し整形痕不明瞭。口縁外面に4単位と思わせる三条状の施文。	①A。結晶片若少量含む。②硬調。 ③焼7.5YR6/6。ほぼ一律。
295図-5	甕	胴 底 (24.6) (7.2)	北壁直下床直上 の9片 図示部の1/4	外面は丁寧でやや細かな削り。内面もヘラ状工具によるやや細かなナゲで比較的平滑に仕上げられる。	①G。磨目粒散見のやや緻密な素地に。赤褐色鉱物が目立つ。やや大粒混入物を含む。②大型品としては硬調。にぶい焼5YR6/4。黒斑あり。
295図-6	土玉	径 1.1	ほぼ完形	頂部凹む。	②やや硬調。

#### 13号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
296図-1	高杯	脚上 3.5	西壁直下床土8cm 図示部完存	外面脚柱部の上下両端に刀子切先で刻んだ様な凹みある。外面細かな削り。内面一部しぼり目上にはヘラ状工具痕。	①B。素地ややダスト状。②やや硬調。 ③にぶい貴種10YR7/4。断面黒色味強い。
296図-2	高杯	脚上 (3.8)	西壁下床土9cm 図示部の1/3	外面は丁寧で規則的なヘラ磨きで平滑に仕上げられる。内面はヘラ状工具による削りに強いナゲ。	①B。②硬調で焼き締まる。 ③にぶい貴種10YR7/4。断面一部黒色味をおびる。内面明度低い。
296図-3	甕	胴 底 (14.0) 図示部の1/4	埋没土2片 図示部の1/4	外面丁寧でやや弱い刷毛目。比較的平滑に仕上げられる。内面も刷毛目状のやや強いナゲの外面赤色塗彩。	①C。夾雑物は少ない。②普通。 ③にぶい焼5YR7/4。断面一部黒色味強い。赤彩部分は赤10YR5/6。
296図-4	台付甕	台下 (9.8)	西寄床直上 図示部の1/3	外面は部分的に細かな削り。指頭痕が不規則に見られる。内面は強い指頭痕。折り返しは厚く雑。	①D。素地はやや緻密。 ②普通。磨目としては良好。 ③明赤焼5YR5/6。内面は黄色味をおびる。
296図-5	台付甕	台下 (9.6)	埋没土498埋没土 図示部の1/2	外面は不明瞭な斜位の削りが部分的に残る。内面は指頭による極めて強い斜位のナゲ。	①A。素地やや粗い。片若粒は少ない。 ②普通。磨目としては良好。 ③焼7.5YR6/6。断面は彩度低い。
296図-6	土玉	径 1.2	一端を欠く。	頂部凹む。	

## 14号住居出土遺物

No.	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
298図-1	鉢 蓋	口径 3.0~3.6 高 12.7 底 4.3	北東寄床土15cm ほぼ完形	胴部は歪み大きい。口縁部も波状に歪む内外面ともやや粗いハケメ調整。蓋としては緩な作り。高杯脚部の可能性あり	①A。夾雑物はやや少なく、粒径も小さい。 ②やや軟調。 ③におい橙7.5YR7/4。内外面とも黒斑あり。
298図-2	高杯	胴上 3.4	中央床土7cm 図示部はほぼ完形	胴部に2孔残存。配置より3孔か。器面摩滅し整形不明瞭。外面一部に赤色塗彩の痕跡。	①A。夾雑物は小粒だが量は多く、やや砂質。 ②やや硬調。③橙7.5YR7/6。内面やや赤色味をおびる。塗彩部分は赤10YR4/6。
298図-3	小型壺	口径 6.9 底 3.3~3.8 高 6.5	南西壁直下床直上 完形	口縁部波状に歪む。外面のヘラ削りは不明瞭。内面はハケメ整形。接合痕が明確に残る。	①A。素地やや緻密。夾雑物は粒径小さい。 ②硬調で焼き締まる。③におい黄褐10YR5/4。赤色味の強いムラあり。内面は彩度低い。
298図-4	甌	東寄床直上 口縁1/2底部完形	極めて薄手。		①A。素地やや緻密。夾雑物は粒径小さい。 ②やや硬調。③におい黄褐10YR7/3。赤色味の強いムラあり。
298図-5	盃	口径 14.8~15.7 胴24.9 底10.2 高 29.6	東側の床直上に 広く散らばる 胴部1/4欠	胴部外面下半はハケメの上に薄なヘラ磨き。上半は不明瞭。口縁部の薄なヘラ磨き。内面ヘラ状工具のナデ。内面ヘラ状工具の使用のナデで比較的平滑。	①A。大型品としては磨面で混入物も少ない。 ②やや軟調。③におい黄褐10YR7/4。下半明度低い ④内面上部にス状付着物あり。
298図-6	台付壺	底 7.8	東寄床直上 図示部はほぼ完形	器面摩滅し整形痕は不明瞭。外面底部直上にハケメ残る。内面はヘラ状工具使用のナデで比較的平滑。	①A。混入物は少ないがやや大粒。②やや軟調。 ③におい黄褐10YR7/3。内面は灰色味強い。 ④内面にス状付着物あり。
298図-7	台付壺	底 5.2~5.6	東側床土21cm 図示部2/3	外面削り削り。内面ヘラ状工具使用のやや強いナデで、器面不整。	①C。混入物はやや少ない。②普通。 ③におい黄褐10YR7/3。断面やや黒色味をおびる。
298図-8	台付壺	口径 16.1 胴 17.2	東側壁直下床直上 ほぼ完形	口縁外端に割み目。外面は上半で横位下半へ台部に縦位のハケメ。内面はヘラ状工具でやや平滑に仕上げられる。	①A。混入物は粒径小さい。②やや硬調。 ③におい黄褐7.5YR5/3。赤色味をおびるムラあり。 ④内面にス状付着物顕著。
298図-9	小型台付壺	口径 9.7~10.3 胴 9.2 台下(6.4)高12	南側床土5cm 胴部1/4と台下 半1/2を欠く	口縁は大きな波状に歪む。外面は粗いヘラ削りで胴部にのみハケメが残る内面は口縁のみハケメ。他はヘラ状工具使用の粗いナデ。	①A。小形品としては粗悪。 ②普通。小形品としてはやや不良。 ③におい橙7.5YR7/3。黒色味、赤色味をおびるムラあり。
298図-10	台付壺	台下 7.8	南西寄床土15cm 図示部完形	器面摩滅度の調整痕不明。台部内面にヘラ状工具の深い圧痕が残る。	①A。混入物は少ない。②やや硬調。 ③におい黄褐10YR7/4。赤色味をおびるムラあり。

## 15号住居出土遺物

No.	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
299図-1	高杯	胴上 2.6	北東側床土10cm 図示部はほぼ完形	外面は強いヘラ磨き。内面杯部にもヘラ磨きの痕跡あり。脚部内面はヘラ状工具による細かなナデか。	①C。大粒の混入物は少ない。②やや硬調。 ③におい赤褐2.5YR5/4。杯部内面は黒色処理の可能性。脚部内面は彩度低い。
299図-2	小型壺	口径 (9.8)	埋没土 図示部の1/6	胴部にやや丁寧な波状文。内面は平滑小破片からの復元で、径・傾き不安。	①C。混入物は小粒。②硬調。 ③明赤褐2.5YR5/6。断面黒色味をおびる。
299図-3	盃	東寄床土10cm 胴部小片	4柱・5とほぼ同巧で胎土も近い。ハケメの単位や施文の強さが異なるが、同一個体の可能性あり。		①C。混入物少ない。②やや硬調。 ③明赤褐5YR5/6。内面彩度低い。
299図-4	壺	底 (7.6)	北壁下床直上 底部片	木製痕が比較的明瞭に残る。内面ヘラ状工具による粗いナデで器面不整。	①Cに近い。砂粒の混入少ない。②普通。 ③におい橙7.5YR7/4。内面は赤色味をおびる。
299図-5	瓶石	長 (2.6) 幅 1.8	端部破片か	使用痕不明瞭。	①砂岩。 ④重8g

## 16号住居出土遺物

No.	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
301図-1	鉢	口径 (9.0)	東壁下床直上 図示部の1/4	器面の摩滅著しく、整形痕不明。	①F。磁片岩が含まない。②普通。焼き締まる ③黄褐5YR6/6。ほぼ一様。
301図-2	盃	胴上 12.5 底 5.3	北壁床直上 図示部完形	外面は上半中心に割落すむ。下半には丁寧でやや強いヘラ磨きと赤色塗彩が明瞭に残る。	①A。器母粒は少ない。混入物は中粒。 ②やや硬調。③におい橙10YR7/4。赤色味の強いムラあり。塗彩部分にはにおい赤7.5R4/4。
301図-3	盃	口径11.6胴14.1 底 5.7 高 17.1	北東寄床直上 ほぼ完形	外底を除いた全面にハケメ。内面で特に強い。外面胴部下半に弱いヘラ磨き。外面及び胴部以上の内面に赤色塗彩。	①F。やや大粒の混入物含む。②やや軟調。 ③におい橙7.5YR7/4。赤色、黒色味おびるムラあり一様でない。塗彩部分は赤褐10R4/4。
301図-4	小型壺	口径 7.7胴 9.0 底 4.7 高 10.1	北寄床直上 ほぼ完形	外面はハケメの上に胴中部のみヘラ状工具による削りナデ。内面は口縁部にハケメ。他はヘラ状工具によるナデ。	①A。混入物はやや少ない。②やや軟調。 ③におい橙7.5YR7/4。赤色味をおびるムラ広い。 ④ハケメの中にも赤色塗彩の痕跡あり。

No.	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
301図-5	小型壺	口6.9 胴9.1 底 5.8 高 9.8	北寄床直上 ほぼ球形	外面はハケメ上に胴部以下に強いヘラ磨き。外底平坦。内面は口縁のみハケメ外面と口縁内面に赤色塗彩。	①A。混入物は少ない。②やや軟調。 ③にぶい黄褐色7.5YR/6。黒底あり。塗彩部分は赤10R4/6。
301図-6	小型壺	口6.8 胴9.3 底 5.7 高 10.2	北寄床直上 口縁1/2欠く	器面摩滅し整形痕不明瞭。外面と口縁内面にハケメが残る。内面は比較的水平。	①F。Aとの中間。混入物やや少ない。 ②普通。③にぶい黄褐色10YR/7/4。外面一部と内面は赤色味をおびる。
301図-7	小型壺	口7.1 胴8.8 底 4.8 高 9.2	北寄床直上 整形	器面摩滅著しく、整形痕不明。外面と口縁内面にハケメが部分的に残る。内面は比較的平滑。	①F。小粒の混入物多い。 ②普通。③にぶい黄褐色7.5YR/7/4。外面一部と内面は赤色味をおびる。
301図-8	小型壺	口 7.3~7.6 胴9.3 底6.2 高 9.6	北寄床直上 ほぼ球形	外面は器面摩滅著しく、整形痕不明。ハケメが僅かに残る。内面はヘラ状ナデによる丁寧で強いナデ。	①F。Aとの中間。バミスの混入物多い。 ②硬調でやや焼き過ぎる。 ③黄褐色5YR/7/6。一部で赤色味をおびる。
301図-9	小型壺	口 7.9~8.5 胴10.3 底6.8 高 9.4	北寄床直上 上半1/4欠く	表面は部分的に摩滅。やや強いハケメが残る。内面はやや粗いナデで、底部は平滑き欠く。	①A。混入物はやや小粒。②普通。 ③にぶい黄褐色7.5YR/7/4。外面、赤色味の強いムラ広い。
301図-10	小型壺	口 (9.0) 胴10.9 底5.2 高 12.6	中央寄床直上 上半1/2 下半ほぼ完存	外面は強いハケメの上に、やや雑なヘラ磨き。器面の摩滅部分はハケメの痕が残り、外面と口縁内面に赤色塗彩。	①A。混入物はやや小粒で少ない。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR/7/4。黒底あり。塗彩部分は赤10R4/4。
301図-11	小型壺	口7.8 胴10.4 底 6.2 高 10.9	北寄床直上 口縁1/2欠く	外面の摩滅著しく、整形痕不明。内面は口縁にハケメ残り胴部はヘラ状工具の強いナデで、器面やや平滑。	①A。Fにも近い。混入物多い。②やや硬調。 ③黄褐色5YR/6。黄色味をおびるムラあり。
301図-12	小型壺	口 (9.8) 胴 (11.6) 底6.5 高12.3	中央寄床直上 底部完存 他は1/2	外面はやや雑なハケメの上に、ヘラ磨き内面は口縁にハケメ、胴～底部は指頭程度の粗いナデで器面は平滑き欠く。	①A。混入物多い。③普通。 ③にぶい黄褐色10YR/7/4。黒底、赤色味をおびるムラあり。塗彩部分は赤10YR/6。
301図-13	小型壺	底 7.1	北寄床直上 図示部ほぼ完存	外面は細かな磨りで、一部にハケメ状の痕跡。内面ヘラ状工具によるナデ。刀子状の強い圧痕あり。	①A。混入物少ない。②普通。 ③にぶい黄褐色7.5YR/7/3。小さな黒底あるが、内外面ほぼ一様。
301図-14	小型壺	底 5.9 胴 (7.2)	中央寄床直上 胴下半1/3 底部完存	外面は細かな磨りで、一部にハケメ状の痕跡。内面は指頭とヘラ状工具による雑なナデで器面は平滑き欠く。	①A。混入物やや小粒。素地はやや粗密。 ②やや軟調。③にぶい黄褐色10YR/7/3。黒底あり。内面は灰色味をおびる。
301図-15	壺	口 (12.7)	中央寄床直上 図示部の2/5	外面細かなハケメ。口縁部の縁位のハケメは特に粗大。内面口縁にハケメ。胴部はヘラ状工具で平滑にナデる。	①A。やや小粒の混入物が多い。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR/7/3。外面一部で黒色味をおびる。
301図-16	壺	口 (19.0)	中央寄床直上 図示部の1/8	器面摩滅し整形痕不明。蓋みのある小破片からの復元で径・傾きとも不安。	①D。混入物極めて多い。②やや硬調。 ③黄褐色5YR/6。胴部内面は赤色味強い。
301図-17	壺	口 (19.6)	中央寄床直上3~11cm 図示部の2/1	外面と口縁内面は強いハケメ。口縁外端にハケ施文と同じ工具によると思われる筋目。胴部内面は平滑。	①A。混入物は少ない。やや大粒。②普通。 ③にぶい黄褐色10YR/7/3。灰色味の強いムラが外面に広い。
301図-18	台付壺	口11.6 胴10.5 台下 7.5 高 14.0	北寄床直上 ほぼ球形	外面細かなハケメ。口縁外端に弱い刻み目のある可能性。内面胴部はヘラ磨きによるナデで平滑に仕上げられる。	①D。Fにも近い。②やや硬調。 ③にぶい黄褐色7.5YR/7/4。赤色味の強いムラ、黒底あり ④二次被焼。
301図-19	台付壺	台上 5.4	北寄床直上6cm 図示部の1/2	器面摩滅著しく整形痕不明。	①D。Fにも近い。②やや硬調。 ③にぶい黄褐色7.5YR/7/4。台部内外面は赤色味強い。
301図-20	台付壺	台上 4.9 台下 9.2	中央寄床直上 図示部の完存	外面摩滅し整形痕不明瞭。ハケメが僅かに残る。台部内面は強いハケメ。	①A。混入物多い。②やや硬調。 ③にぶい黄褐色7.5YR/7/4。台部内外面は赤色味強い。

#### 17号住居出土土物

No.	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
303図-1	杯	口 (13.0)	竈内の4片 図示部の1/4	外面は細かく強い磨り。縁部は無調整内面は丁寧なナデの上に粗いヘラ磨き。口縁外面もヘラ磨き。	①B。2mm大の粗粒散見する。②やや軟調。 ③灰青褐色10YR/6/2。黒色味をおびるムラあり。内面一部黒色味強く、磨きりの可能性。
303図-2	杯	口 (13.8)	埋没土の9片 図示部の2/5	薄手で精巧。外底の磨りは丁寧で弱い。外面とも平滑に仕上げられる。	①B。赤褐色鉱物目立つ。Fに近い。②普通。 ③明赤褐色5YR/6。外底は黒色味強い。
303図-3	杯	口 (13.6)	埋没土 図示部の1/8	器面摩滅著しく、整形痕不明。小破片からの復元で、径・傾き不安。	①B。赤褐色鉱物やや目立つ。②やや硬調。 ③黄褐色5YR/6。断面は灰色味をおびる。
303図-4	鉢	口 (13.0)	竈内の5片 図示部の1/4	外面は部分的に強い磨り。無調整部分が広く残り、器面不整。内面はヘラ状工具による細かなナデで器面は不整。	①D。混入物は最大5mm大。素地も粗密。 ②普通。 ③にぶい赤褐色5YR/4/3。黒色味の強いムラ広い。
303図-5	鉢	口 (11.4)	竈内 図示部の1/6	器面の摩滅著しく、整形痕不明。蓋みのある小破片からの復元で径・傾き不安	①A。やや砂質。混入物少ない。④硬調で焼き過ぎる。③にぶい黄褐色10YR/7/4。内面は赤色味強い。

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
303回-6	甕	底 (8.4)	甕内の6片 図示部の2/5	厚手で重量。外面は幅広くやや弱い削り内面はヘラ状工具による弱いナデで、接合痕が明瞭に残る。	①B。大型品としては極めて緻密。②やや軟調。③に黄褐色10YR7/3。外面は黒斑あり。④外面に一部スス状の付着物あり。
303回-7	壺	口120.4 高 119.5 (32.2)	甕内 図示部の3/4	厚手で重量。外面は幅広く削り、下方ほど強い。内面のヘラ状工具によるナデは中位で幅狭。他は幅広くなる。	①D。混入物は最大7mm <sup>2</sup> 。②焼成としては極めて緻密で焼き締まる。③に黄褐色7.5YR6/4。赤褐色黒色の強いムラあり。④二次被熱。
303回-1	埴	口18.0 高 7.5 8.0	貯蔵穴床面床面 レベル 完形	外面頭部はヘラ先で削るようして窪みを作る。外面の削りは弱い。内面は平滑だが、底部の強いナデで器面不整。	①B。赤褐色胎土の混入やや多い。素地は極めて緻密。②被熱で焼き締まる。③に黄褐色7.5YR7/4。外面に黒斑あり。

#### 18号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
304回-1	埴	口 5.9 高 6.8	貯蔵穴内 ほぼ完形	整形やや雑。内底は不整。	
304回-2	白玉	径 0.57	貯蔵穴内 完形	完成品。白玉分類の6A類にあたる。	①滑石。 ④重3.72g

#### 19号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
307回-1	杯	口 (12.4)	東壁直下南隅床 直上 個体1/2	薄手で軽量。外底の削りは強いがやや雑。内面はほぼ同心内状のナデで平滑に仕上げられる。	①B。細かな赤褐色胎土を含む。②やや軟調。③に黄褐色10YR7/3。ほぼ一様。
307回-2	杯	口 (12.4)	甕内④南壁面埋 没土	外面口縁下半は比喩状。外底はやや弱いヘラ削り。内面は極めて平滑で、研磨の可能性	①B。垂らかり素地である。②やや軟調。③に黄褐色10YR6/3。黒色味をおびるムラ広い。
307回-3	杯	口 (14.6) 底 5.6~6.1 高 6.4	甕内火床上5cm 口縁1/4底部完存	器面の摩滅著しく、整形痕は不明。外面は比較的平滑に仕上げられるが、内面はやや平滑さ欠く。	①B。2に類似。②やや軟調。③に黄褐色10YR7/3。内面に中心に黒色味をおびるムラ広い。
307回-4	壺	口114.8 底 15.4 高 6.9 13.8	南東寄床直上 ほぼ完形	器面劣化し整形痕不明瞭。外面はやや幅広く削り、口縁部は丁寧なナデ。内面のナデは弱いが息長く丁寧。	①D。混入物は最大7mm <sup>2</sup> 。素地やや緻密。②やや軟調でしまり欠く。③に赤褐色5YR5/4。内部黒色味をおびる。④二次被熱。
307回-5	鉢	口 (26.9)	甕前面床土31cm 口縁若干 体部上半1/6	器面の摩滅著しく、特に内面は割離が著しい。外面は比較的丁寧な横位削りか。内面に明瞭な接合痕残る。傾き不安。	①D。混入物の量は少ない。②やや軟調。③黄褐色7.5YR6/6。外面に黒斑あり。④二次被熱。
307回-6	甕	口 (23.4) 底 (11.6)	甕南直上 口縁1/8底部1/6	接合しない二点からの復元。器面の摩滅と特に外面の剥落著しく、整形痕不明内面やや平滑。径・傾きとも不安。	①B。赤褐色胎土やや多い。器面粗さ少ない。②やや軟調。③に黄褐色10YR7/3。灰色味の強いムラあり一様でない。④二次被熱の影響大。
307回-7	壺	口 (17.4) 胴 (15.2)	甕南袖輪材 図示部の1/2	器面の劣化著しい。外面には縦位で幅太のヘラ削り痕が残る。内外面とも器面は凹凸多い。	①D。混入物は最大5mm <sup>2</sup> 。砂粒の混入多い。②不明。③に黄褐色5YR ④二次被熱の影響極めて強い。
307回-8	壺	口 18.5 胴 17.6	甕北袖輪強材 図示部ほぼ完存	7ほどの器面の劣化はない。外面の削りは雑で弱い。内面のナデは雑だが規則的器形の歪み極めて大きい。	①D。混入物は少ないが、粒径最大8mm <sup>2</sup> 。②やや軟調か。③に黄褐色7.5YR6/3。外面に黒斑あり。④二次被熱。
307回-9	壺	口 (17.8)	甕前面の床土28 ~35cm	口縁部は抜状に歪む。外面の削りは細かくやや雑。接合痕が残る。内面のナデはやや丁寧。	①D。混入物は最大8mm <sup>2</sup> 。②普通。③に黄褐色5YR5/4。外面に黒斑あり。
307回-10	土玉	径 0.85	埋没土 ほぼ完形	表面に指頭状の圧痕が僅かに残る。	

#### 20号住居出土遺物

No	器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
308回-1	ミニチュア	底 4.6	中央寄床直上 胴部1/3底部ほぼ 完存	薄手。輪郭的成形か。器面の摩滅著しく、整形痕不明。外面に縦位の接合、内底に指頭痕状の凹凸が僅かに残る。	①C。砂粒の混入は少ない。②やや軟調。③黄褐色7.5YR6/6。ほぼ一様。
308回-2	壺	口 (15.2)	南隅密着床土 14cm 図示部の1/5	口縁外端にやや幅広くの刻み目。外面極めて細かなハケメ。内面口縁にハケメ。胴部やや粗いナデ。径・傾き不安。	①C。混入物は少ない。②やや軟調。③に黄褐色10YR7/3。外面黒斑あり。④外面にスス状の付着物あり。
308回-3	壺	口 16.4 胴 (20.4)	北西壁下床直上 口縁ほぼ完存 胴上半1/3	外面やや摩滅し整形痕不明瞭。口縁外端の刻み目は細。内面はやや強い磨きで平滑に仕上げられる。	①C。混入物は小粒で少ない。②普通。③に黄褐色10YR5/3。黒色。赤色味をおびるムラあり一様でない。



### 3 窪穴状遺構

#### 1号窪穴状遺構

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
309回-1 高杯	台 (14.4)	西側埋没土4片 回示部の1/5	外面のナゲはやや雑で削りに近い。底は1ヶ所のみ残存。	①C。赤褐色鉱物やや多い。②やや硬調。 ③灰黄褐10YR5/2、下縁は黒色。
309回-2 台付壺	口 17.5 胴 17.6	南寄り床直上 16片。口縁1/2 胴下半完存。	口縁部にS字の屈曲が僅かに残る。外面ハケ目は削い。内面ハケ目やや明瞭。台部の削落痕広い。	①D。②やや硬調。 ③にぶい黄褐10YR5/3。外面一部と内面に黒斑。 ④二次焼成。内底やや厚減する。
309回-3 壺	口 (14.4) 胴 (13.0)	南東側埋没土の 4片。 回示部の2/5	口縁は波状に歪む。外面一部にハケ目状の擦痕。内面は指頭強い圧痕で器面はやや不整。	①A。素地はやや粗い。②普通。 ③にぶい黄褐7.5YR5/3。内面赤色味を帯びる。 ④二次焼成。外面一部削落する。

#### 2号窪穴状遺構

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
310回-1 壺か		埋没土2片。 小片。	器面やや厚減する。口縁外縁に細かな指擦痕状文を施し、他は内外面とも丁寧な磨き。	①E。素地はややボソボソする。②普通。 ③にぶい黄褐7.5YR5/4。内面は黒色味強く、やや光沢有り。

### 4 土坑(313回)

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
1土坑-1 杯	口 (12.2)	埋没土8片 回示部の1/3	口縁外面に粗い磨痕が巡る。外底の削りは比較的丁寧だが、厚減し不明瞭。	①B。Eにも近い。②普通。 ③にぶい黄褐10YR6/4。内面は灰色味を帯びる。
4土坑-1 壺	底 12.3	埋没土の15片 回示部の1/2	外面下端に弱い削りの痕が残るが不明瞭。内面は比較的丁寧なナゲで、大形の土器としては平滑。	①Cに近い。赤褐色鉱物の混入やや多い。 ②やや硬調。厚手の土器としては焼きしまる。 ③にぶい黄褐10YR7/3。外黒黒斑・赤色ムラあり。
5土坑-1 高杯	口 16.4 高 12.4 胴下 (11.8)	中央に散乱する 8片。ほぼ球形	胴下縁は歪み大きい。胴内面は接合痕の上で磨いたナゲ。胴外面は丁寧なナゲ。内底は比較的平坦。	①E。赤褐色鉱物以外の混入物少ない。 ②やや硬調。③にぶい赤褐5YR5/3。ほぼ一様。
5土坑-2 壺	口 (15.8) 胴 (12.6)	埋没土4片 回示部の1/8	器面は厚減すのみ。整形痕は不明瞭。	①B。赤褐色鉱物やや多い。②普通。 ③にぶい黄褐10YR6/4。黒色味を帯びるムラ有り。
5土坑-3 台付壺	台上 5.3 台下 10.4	南側の5片 回示部ほぼ完存	厚手で重量。外面は弱い削りでハケ目は見えない。内面の指頭圧痕も強い。	①A。②普通。③にぶい黄褐7.5YR5/4。内面は彩度低い。④二次焼成痕は不明瞭。
5土坑-4 砥石	厚 4.8 重 778g	西側埋没土	3面欠く。擦痕は顕著ではない。	①白色炭灰岩。

### 5 溝

#### 2・3号溝(第319回)

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
2溝-1 ミニチュア	口 3.4 高 4.3 台下 2.2	西側掘面直上 ほぼ完形	底部以外は比較的薄手。台部外面に強い指頭痕が残るが、他は整形痕不明で比較的平滑。	①Cに近い。赤褐色鉱物やや多い。②やや硬調。 ③にぶい黄褐7.5YR5/4。黒斑有り。断面一部黒色味を帯びる。
2溝-2 模造品	長 [5.3] 厚 0.5	中央底上12cm 両端欠く	剣形品。正面の縁は不明瞭で未製品の可能性。	①蛇文岩。抜け多くやや不良。 ④重量9.3g。
2溝-3 模造品	長 [2.8] 厚 0.5	中央底上10cm 破片	刀子形品の基部分か。鬼面は平短さ欠く。未製品の可能性。	①蛇文岩。2に類似する。 ④重量3.7g。
2溝-4 模造品	長 [4.1] 厚 0.6	埋没土 小破片	刀子形か。基短く剣形の可能性。丁寧な作り。製品の破片。	①蛇文岩。良質。 ④重量2.3g。
2溝-5 白玉	径 0.8 厚 0.2	埋没土 2/3個体。	扇形の磨きや雑だが、製品の破片。孔は中央を通れる。	①滑石。 ④重量0.18g。
3溝-1 瓶	底 (9.8)	埋没土 回示部の1/4	外面の削りは幅広く鋭い。内縁部にも鋭い削り。内面は丁寧なナゲ。	①D。黄褐色も多い。②やや硬調。 ③にぶい黄褐10YR5/3。ほぼ一様。

## 4号講

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
320図-5 器台	口 11.9~12.2	中央に散乱する 6片。図示部4/5	器面やや摩滅し整形痕不明瞭。内外面とも比較的平滑で丁寧なナデか。	①A。青母粒散見。②やや軟調。③にぶい黄褐色10YR6/4。赤色味・黒色味おびるムラあり。
320図-6 甗	底 5.9 胴 8.1	南寄り底上8cm 図示部完存	器面摩滅し整形痕不明。内面に接合痕と強い指痕圧痕有り。	①B。②普通。③にぶい黄褐色10YR7/3。外面黒黒広い。断面一部灰色味を帯びる。④
320図-7 査	口 23.3 胴 11.8 胴 (22.4)	中央に散乱する 30片。口縁完存 胴部1/4。	比較的薄手。龍文はR/L横位。頸部環状文は1条で雑。他は丁寧なヘラ磨きで平滑に仕上げられる。	①A。素地はやや軟微。②普通。③にぶい黄褐色7.5YR6/3。黒色味・赤色味帯びるムラあり。一様でない。
320図-8 査	底 (6.4)	中央底直上5片 図示部の1/4	隆帯はヘラで丁寧に調整し、断面3角仕上げる。外面平滑。内面は接合痕上に強く息長い指痕のナデで器面不整。	①B。②やや硬調。③にぶい黄褐色10YR6/4で一様。内面は彩度低い。
320図-9 甗	底 1.5 孔 0.8	埋没土 図示部ほぼ完存	外面の削りやや粗いが、器面は比較的平滑。内面はヘラ状工具痕顕著。	①A。混入物は少ない。②普通。③にぶい黄褐色7.5YR6/3。外面黒黒広い。
321図-10 甗	胴 10.3	東隅底直上 図示部完存	薄手。表面摩滅し整形痕不明瞭。内面器面は接合痕と指痕圧痕が明瞭に残る。	①B。素地はFに近い。②やや硬調。③にぶい黄褐色10YR6/4。赤色味・灰色味のムラあり。
321図-11 小型壺	口 7.8 胴 7.2 胴 9.5 底 4.1 高 9.3	南隅直上15cm 完形	口縁S字状。頸部外面にやや強い平行擦痕が走る。胴部外面のハケ目は殆ど見えないが、内面ではやや明瞭。	①G。混入物の少ない緻密な胎土。②硬調で焼き締まる。③にぶい黄褐色7.5YR6/4。外面に弱い黒黒有り。
321図-12 甗	口 (15.8) 胴 (12.8) 胴 11.3 胴 22.1	中央東寄り底上 20cm。口縁1/3 胴部1/2。	外面の削りは鋭いがやや雑。頸部にはヘラの傷が無調整で残る。内面ナデは比較的丁寧だが、器面やや粗い。	①Eに近い。結晶片含有は少ない。②やや硬調。③にぶい黄褐色7.5YR6/4。黒色味おびるムラ有り。④外面胴部中央に若干スス付着。
321図-13 査	口 (22.0) 胴 (13.2)	南寄り底上10cm 図示部の2/5	口縁部横位ナデは丁寧だが口縁と底とは異なる。内面器面に指痕圧痕。	①G。素地軟微。チャートの混入やや多い。②やや硬調。③にぶい黄褐色7.5YR6/4。断面灰色。
321図-18 台付壺	台上 5.3 台下 8.4	中央西寄り底面 直上。図示部完	厚手で重量。接合部はヘラ削り。外面縦位ハケ目上に一部横位のハケ目。	①C。②やや硬調。③にぶい黄褐色7.5YR5/3。ほぼ一様。④二次焼成。
321図-19 台付壺	台上 4.0 台下 8.1	埋没土 図示部完存	接合部は押圧による平坦化。外面にハケ目なし。内面粗広の板状工具痕。	①Cに近い。混入物少ない。②硬調で焼き締まる。③にぶい赤褐色5YR5/4。ほぼ一様。
321図-20 台付壺	台上 5.2 台下 7.3	中央西壁際 図示部完存	接合部はヘラ削りか。外面弱いハケ目が部分的にある。内面削り削りか。	①Bに近い。雲母の混入少ない。②普通。③にぶい黄褐色10YR6/4。外面一部黒黒。
321図-21 台付壺	台上 5.0 台下 9.2	中央西壁際 図示部ほぼ完存	接合部はヘラ削り。外面部分的にハケ目状の擦痕。内面一部に板状工具痕。	①A。混入物少ない。②やや硬調。③にぶい黄褐色10YR6/4。内面明度低い。
321図-22 台付壺	台上 5.0 台下 7.3	埋没土 図示部完存	接合部はヘラ削りか。外面細かく丁寧なヘラ削り。内面やや雑なヘラ削りか。	①C。赤褐色磁物やや多い。②普通。③にぶい赤褐色5YR5/4。黒色味おびるムラあり。
322図-23 須恵器横瓶	底 (9.8)	西寄り壁際 図示部の1/5	外面平行叩き。内面青波状アテ具痕とも深く、生乾き状態。叩きの上に軽いカキ目状の平行線。	①G。素地極めて緻密。白色磁物散見。②硬調還元焼で焼き締まる。③暗青灰5B4/1。断面赤紫色。灰黄色の降灰層かかる。
321図-24 須恵器横瓶		中央へ南に広く 散在する8片	縦は薄手。外面やや粗いカキ目。内面はやや強い擦痕の横位ナデ。	①G。素地やや粗く。白色磁物の混入多い。②還元焼。普通。③灰N5/0。ほぼ一様。
322図-25 不明土製品		埋没土 土製紡輪車には大きく、瓶底部には厚小片	土製紡輪車には大きく、瓶底部には厚小片。摩滅し整形痕不明。	①C。②やや硬調。③にぶい黄褐色7.5YR6/4。黒黒有り。④二次焼成か。
322図-26 磁石	幅 4.4 厚 1.2	埋没土 両端欠く	横断面長楕円形の2面使用。擦痕は僅か。	①凝灰質砂岩。②重47g。
322図-27 磁石	長17.5 幅 5.6 厚 3.8	中央南寄り ほぼ完形	縦断面赤巻き状の4面使用。置き疵。横断面台形。擦痕の他に鋭い傷あり。	①砥沢石。②重65g。割落多い。

## 7号講

No. 器種	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
323図-1 高杯		底面付近散乱の 11片。図示部完	器面の摩滅著しく、整形痕は不明。内面比較的丁寧なナデか。	①Cに近い。赤褐色磁物やや多い。②普通。③にぶい黄褐色10YR6/4。内面赤色味おびる。

#### 4. 福島椿森遺跡

##### 1 基壇

###### 1号基壇 (第327回)

No.種類	計測値	出土・復元状態	器形・製作技法の特徴	①材質 ②その他
1 銅鏡	径 2.45	中央床直上、完形。	折痕形。頂部潰れなし。 頂部直下に眉曲。 折痕形。頂部やや潰れ。 折痕形。頂部やや潰れ。	②銅元通貫。表面に布付着。
2 銅鏡	径 2.49	中央床直上、ほぼ完形。		②皇宋通貫。初跡1039。
3 銅鏡	径 2.47	中央床直上、完形。		②元豊通貫。初跡1078。篆書体。
4 銅鏡	径 2.44	中央床直上、完形。		②元豊通貫。初跡1093。
5 銅鏡	径 2.41	中央床直上、完形。		②銭種不明。
6 銅鏡	径 2.40	中央床直上、平欠品。		②皇宋通貫。初跡1101。
7 釘	長 [6.4]	先端欠く。		①鉄。
8 釘	長 [4.9]	下半欠く。		①鉄。②残存木部から木に打ち込まれたもの。
9 釘	長 [4.0]	下半欠く。		①鉄。②木質わずかに残存。
10 釘	長 [3.3]	下半欠く。		①鉄。錆の付着顯著。

###### 3号基壇 (第328回)

No.種類	計測値	出土・復元状態中央床直上	器形・製作技法の特徴	①材質 ②その他
1 銅鏡	径 2.54	中央床直上・完形	刃部不明瞭。 茎部分に木質残存。	②景祐元寶。初跡1034。
2 銅鏡	径 2.51	中央床直上・ほぼ完形		②天聖元寶。初跡1023。
3 銅鏡	径 2.37	中央床直上・完形		②紹聖元寶。初跡1094。
4 銅鏡	径 [2.40]	中央床直上・完形		②宣和通貫。初跡1118。
5 銅鏡		中央床直上・完形		②祥符通貫。初跡1002。
6 銅鏡		中央床直上・ほぼ完形		
7 刀子か		小破片		①鉄。
8 刀子		小破片		①鉄。

##### 2 土坑 (第334回)

出土遺構・器種	計測値	復元状態	器形・製作技法の特徴	①胎土②焼成③色調④その他
15土坑-2 釘か	長 [3.8]	埋没土 両端欠く	断面四角。鉄質はあまり良くなく、材質より釘か。	①鉄。
63土坑-4 煙首		ほぼ完形	側面に眼目が残る。	①銅。
63土坑-5 不明鉄製品			断面は四角か。ボルトのような近代以降の鉄製品の可能性。	①洋鉄。軽量。
63土坑-6 不明鉄製品		完形か		①洋鉄。クラック多い。錆の付着も顯著。
11土坑-1 小皿	□ 6.7 底 4.6	ほぼ完形	左回転クロコ成形→回転糸切り無調整。灯明皿として使用し、内外面にスス付着。	①G。やや砂質で雲母鱗片目立つ。 ②やや硬調。 ③褐色10YR4/1。ほぼ一様。
15土坑-1 碗	□ 10.6 台 (4.2)	体部1/2 底部1/3	印痕。	③呉須はベロ藍。
63土坑-1 碗	台 (4.8)	図示部1/3	厚手。高台外縁部に刺刺。	①陶体染付。 ④唐津系。18世紀後半。
63土坑-2 碗	台 (4.2)	図示部1/5	外面鉄軸、内面長石軸。	④瀬戸美濃系。
63土坑-3 碗	台 (4.0)	図示部1/5	呉須は薄く不明瞭。	①陶体染付。 ④唐津系。18世紀後半。

## 5 滑石類一覧表

## 福島駒形遺跡26号住居

単位 mm、重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
13	石核				100	70	28	132.15	滑石	
14	石核か				96	43	36	166.33	滑石	側面に深い溝痕
15	石核か				130	93	54	784	滑石	側面に深い溝痕
16	形割素材				49	30	15	34.04	蛇紋岩	
17	不明 模造品		C D		25	17	3	2.96	滑石	
18	不明 模造品				35	19	4	6	滑石	
19	白玉	1	C D		12	11	4	1.82	滑石	断面台形
20	白玉	1	C D		10	8.5	5.5	1.33	滑石	
21	白玉	1	C D		11	10	4	1.18	滑石	
22	白玉	1	C D		12	8	3.5	1.27	滑石	
23	白玉	5 A 1	C D	完形	10	10	3	1.14	滑石	断面台形
24	白玉	5 A 1	C D	完形	12	9.5	3.5	1.4	滑石	断面平行四辺形
25	白玉	5 A 1	C D	完形	9	8	3	1.06	滑石	
26	白玉	5 A 2	C D	半割	9	5	3	1.2	滑石	
27	不明 模造品		C D		22.2	10.8	3.8	2.02	滑石	
28	紡錘車			ほぼ完形	45	45	7	20.04	滑石	
29	磁石		A	半割	31	2.3	7	10		4面使用
30	白玉	1	C D		10	8.5	4.2	0.58	滑石	
31	白玉	1	C D		9.5	9.5	3.2	0.45	滑石	
32	白玉	1	C D		10	7.5	2	0.24	滑石	
33	白玉	1	C D		8	7	2.4	0.2	滑石	
34	白玉	1	C D		9.5	5.5	2.5	0.16	滑石	
35	白玉	1	C D		8.5	6	2.6	0.17	滑石	
36	形割削片		C D		11	5	4	0.3	滑石	
37	形割削片		C D		11	5.5	3.8	0.25	滑石	
38	形割削片		C D		8	6	3	0.16	滑石	
39	形割削片		C D		6	5.5	1	0.06	滑石	
40	削片		C D		7.5	3	1.4	0.03	滑石	
41	原石				187	46	26	311.12	滑石	
42	原石				151	48	43	363.87	滑石	
43	原石				93	29	23.6	78.66	滑石	
44	原石		P 2 内		75	31	18.6	50.19	滑石	
45	原石				78	29	16.4	49.06	滑石	
46	原石				74	33	15.3	44.27	滑石	
47	原石				43	38	23.2	51.58	滑石	
48	原石				62	27	18.1	36.42	滑石	
49	原石				67	41	22.2	54.67	蛇紋岩	
50	原石				41	24	17	16.35	蛇紋岩	

No30以降は実測図なし。

## 福島駒形遺跡29号住居

単位 mm、重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
15	石核				124	74.8	48.2	339.1	滑石	
16	削片				74.5	42.1	30	120.1	滑石	
17	削片				81.2	49.2	18.5	79.46	滑石	
18	素材削片				31.5	24.5	7	8.55	滑石	
19	素材削片				49.2	35	13.8	30.29	滑石	
20	形割素材				44.5	24	10.5	14.62	滑石	
21	形割素材		A		37	19.2	3.1	3.79	滑石	
22	形割素材				43.5	39.2	3	7.93	滑石	2片接合
23	形割素材				51	34.5	3.9	11.43	滑石	
24	形割素材		B		23.2	10.5	2.1	7	滑石	
25	白玉	1	A		9	8.8	2.5	1.43	滑石	
26	白玉	1	C		10.5	8.6	2.9	1.3	滑石	
27	不明 模造品		D		13	12.6	1.9	1.26	滑石	
28	白玉	1	D		7.4	6.8	2.9	1.1	滑石	

単位 mm、重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
29	白玉	1	貯蔵穴		8.9	7.8	1.8	0.92	滑石	
30	白玉	2	A		12.2	8.2	4.5	1.6	滑石	
31	白玉	2	A	穿孔半割	10.2	3.2	2.8	0.78	滑石	
32	白玉	3	A		8.5	6	2.1	1.03	滑石	
33	白玉	3	A		7.2	5.1	2.9	1.18	滑石	
34	白玉	3	C		8.8	5	3.5	1.23	滑石	
35	白玉	3	C	穿孔半割	8.1	5.8	3.2	0.97	滑石	
36	白玉	3	貯蔵穴	穿孔半割	10.2	5.2	3.2	1.14	滑石	
37	白玉	3	貯蔵穴	穿孔半割	9.6	6.2	3.1	1.37	滑石	
38	白玉	4 A	A	穿孔半割	9.5	4.8	2.5	1.06	滑石	
39	白玉	4 A	A	穿孔半割	8.8	6.2	3.8	0.98	滑石	孔斜行
40	白玉	4 A	A	穿孔半割	7.9	3.8	3	1.17	滑石	
41	白玉	4 A	C		10.8	9.5	3.1	1.37	滑石	
42	白玉	4 A	C	穿孔半割	7.8	4.5	3.1	1.26	滑石	
43	白玉	4 A	D		9.5	8.5	3.6	1.59	滑石	
44	白玉	4 A	D	穿孔半割	6.5	4.5	3	1.1	滑石	
45	白玉	4 B	貯蔵穴	穿孔半割	5.2	3.2	2.2	1.11	滑石	
46	白玉	5 A 1	A	宛形	7.2	4.8	2.5	1.07	滑石	
47	白玉	5 A 1	C	穿孔半割	5.5	3.8	1.8	0.81	滑石	
48	白玉	5 A 1	A	宛形	8.4	7.8	3	1.38	滑石	
49	白玉	5 A 1	C	宛形	9.5	9.5	3.1	1.5	滑石	孔裏刺離
50	白玉	5 A 1	C	宛形	9.5	8.2	3.8	1.21	滑石	
51	白玉	6 A 1	D	宛形	9.5	8.6	3	1.48	滑石	孔裏刺離
52	白玉	6 A 1	D	宛形	9	8.8	3.8	1.51	滑石	
53	白玉	5 A 1	C	宛形	9	6.8	2.9	0.99	滑石	
54	白玉	5 A 1	D	宛形	10.5	9.2	2.8	1.22	滑石	
55	白玉	5 A 2	A	宛形	9	6.8	3.5	1.35	滑石	断面台形
56	白玉	5 A 2	A	半割	8.8	4.8	1.8	1.05	滑石	
57	白玉	6 A 1	A	宛形	5	4	2	1.07	滑石	
58	白玉	6 A 1	A	宛形	5	4	3	0.96	蛇紋岩	
59	白玉	6 A 1	C	宛形	5	4.5	2.5	0.86	滑石	
60	白玉	6 A 1	A	宛形	4	4	2	1.12	蛇紋岩	
61	白玉	6 A 1	C	宛形	5.5	4	5	1.13	滑石	
62	白玉	6 A 1	埋没土	宛形	4	4	1	1.09	滑石	
63	白玉	6 A 1	C	宛形	5	5	1	1.01	滑石	
64	白玉	6 A 1	A	宛形	5.5	5.5	2	1.02	滑石	
65	白玉	6 A 1	A	宛形	5	5	4	1.08	滑石	
66	白玉	6 A 1	埋没土	宛形	5.5	5	3	0.87	滑石	
67	白玉	6 A 1	A	宛形	6	6	4	1.2	滑石	
68	勾玉		A		29	18	6	5.87	滑石	
69	勾玉		貯蔵穴		19	19	5	2.26	滑石	
70	勾玉		C		12	12	4	1.03	滑石	
71	勾玉欠損		A		13	11	5	1.43	滑石	
72	刀子か		C		45	21	3	4.33	滑石	
73	不明模造品		D		31	31	2.5	4.62	滑石	
74	不明模造品		貯蔵穴		14	12	3	1.36	滑石	
75	円盤				45	47	5.5	18.88	滑石	孔裏一部欠、擦痕あり
76	白玉	1	A		12	5	3.5	0.49	滑石	不整形、表面研磨面やや不整
77	白玉か	1	A		13	8	3	0.43	滑石	不整形、一面研磨、裏面刺離
78	白玉	1	A		16	11	2	0.54	滑石	平面三角、薄板状
79	白玉	1	A		9	8	3	0.4	滑石	平面五角
80	白玉	1	A		9	8	3.5	0.46	滑石	平面四角
81	白玉	1	A		15	7	2.5	0.4	滑石	平面台形
82	白玉	1	A		10	8	2	0.38	滑石貫蛇紋岩	平面台形、長辺に彫溝浅か
83	白玉	1	A		9	9	2	0.33	滑石	平面不整形形、表面研磨
84	白玉	1	A		10	6	3	0.39	滑石	平面不整形
85	白玉	1	A		12.5	5	2.5	0.33	滑石	平面三角
86	白玉	1	A		15	5.5	3	0.43	滑石	平面長四角
87	白玉	1	A		7.5	7	3.5	0.39	滑石	平面三角、表面とも研磨
88	白玉	1	A		15.5	6	2	0.34	滑石	平面縦長三角、表面研磨やや粗
89	白玉	1	A		9	8	2.5	0.31	滑石	平面五角、一面面に彫溝浅

単位 mm, 重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考	
90	白玉	1	A		10	5	3	0.24	滑石	平面不整形、一側面に彫溝痕か	
91	白玉	1	A		8.5	8	2	0.31	滑石	平面四角、薄板状	
92	白玉	1	A		8.5	8	3.5	0.45	滑石	平面不整形	
93	白玉	1	A		9	5	3	0.28	滑石	平面長四角、一短辺に彫溝痕か	
94	白玉	1	A		8	7	1.5	0.28	滑石	平面菱形、側面に彫溝痕、端付近に窟位磨痕	
95	白玉	1	A		10	4.5	2.5	0.19	滑石	平面狭長三角	
96	白玉	1	A		8.5	5	2.5	0.22	滑石	平面不整形	
97	白玉	1	A		10	4	1.5	0.16	滑石	平面狭長三角	
98	白玉	1	A		9	8.5	1.8	0.33	滑石	平面五角	
99	白玉	1	A		9.5	5.5	1	0.14	滑石	平面長四角、表裏に刻線	
100	白玉	1	A		8.5	7.5	1.9	0.22	滑石	平面五角形	
101	白玉	1	A		8.5	6.5	2	0.2	滑石	平面不整形三角	
102	白玉	1	A		9.5	6.8	2.1	0.29	滑石	平面台形、短辺に彫溝痕	
103	白玉	1	A		9.5	6	1.5	0.14	滑石	裏面研磨や中継	
104	白玉	1	A		8	7	1.5	0.16	滑石	平面三角形、一側面に彫溝痕か	
105	白玉か	1	埋没土		20.5	17.5	3.5	2.44	滑石		
106	白玉	1	埋没土		14.5	12.5	2.5	0.51	滑石	一側面に深い彫溝痕、表裏研磨痕	
107	白玉	1	埋没土		14	9.5	3	0.51	滑石	研磨雑で裏面不整形	
108	白玉	1	埋没土		9.5	8.5	2.2	0.39	滑石	平面五角形	
109	白玉	1	埋没土		10	9.5	3.2	0.57	滑石	平面六角形、五側面に窟位磨痕	
110	白玉	1	埋没土		15	9.1	2.2	0.47	滑石	平面不整形五角	
111	白玉	1	埋没土		15	10	3.1	0.65	滑石	上字状二側面に彫溝痕か	
112	白玉	1	埋没土		8.9	8.5	3	0.39	滑石	一側面一部に窟位磨痕	
113	白玉	1	埋没土		8	8	2.1	0.37	滑石	三側面の一部に窟位磨痕	
114	白玉	1	埋没土		13.5	4.8	2.1	0.36	滑石	平面長四角形	
115	白玉	1	埋没土		9.1	7.1	2.1	0.38	滑石	平面四角形、一側面に深い彫溝痕	
116	白玉	1	埋没土		9.5	5.5	2.5	0.19	滑石		
117	白玉	1	埋没土		8.9	8.8	2.1	0.21	滑石	石材は多孔質	
118	白玉	1	埋没土		10.8	6	2.2	0.28	滑石	石材は多孔質	
119	白玉	1	埋没土		9.9	5.8	1.5	0.17	滑石	平面五角形、裏面馬の背状	
120	白玉	1	埋没土		6.9	5	2.8	0.18	滑石	平面不整形	
121	白玉	1	埋没土		7.2	3	1	0.06	滑石	平面狭長台形	
122	白玉	1	埋没土		8.1	4	2	0.18	滑石	一側面彫溝痕か	
123	白玉	2	A	破損なし	7	6.5	4.1	0.18	滑石	孔断面U字状、一側面に研磨か	
124	白玉	2	A	穿孔半割	7	3	2.5	0.07	滑石	一側面彫溝痕か	
125	白玉	3	A	穿孔半割	9.1	5.1	2.5	0.19	滑石	一側面彫溝痕	
126	白玉	3	A	穿孔半割	9.8	3.8	3.8	0.15	滑石		
127	白玉	3	A	穿孔半割	6.9	3	1.1	0.07	滑石	孔断面U字状	
128	白玉	3	A	穿孔半割	6.2	4.5	2.2	0.11	滑石	孔断面U字状、一側面研磨	
129	白玉	4	A	C	破損なし	9.1	5.5	2.9	0.21	滑石	裏面刻線
130	白玉	3	A	穿孔半割	8.1	3.1	1.8	0.17	滑石	孔断面地彫	
131	白玉	4	A	穿孔半割	9.6	4.5	3	0.19	滑石	孔断面地彫	
132	白玉	4	A	穿孔半割	7.1	4	3.1	0.14	滑石	孔断面地彫	
133	白玉	4	A	貯蔵穴	穿孔半割	6.1	3.6	2.1	0.08	滑石	孔断面地彫
134	白玉	4	A	貯蔵穴	穿孔半割	6.1	3.5	1.2	0.07	滑石	孔断面地彫、裏面刻線
135	白玉	4	A	貯蔵穴	穿孔半割	6.2	3.9	2.5	0.11	滑石	孔断面地彫
136	白玉	4	A	貯蔵穴	穿孔半割	4.9	3.9	1.5	0.07	滑石質蛇紋岩	孔断面地彫、裏面一部刻線
137	白玉	4	A	A	穿孔半割	8.5	3.9	2.9	0.17	滑石	孔断面地彫
138	白玉	4	A	A	穿孔半割	9	3.5	2.5	0.17	滑石	孔断面地彫、裏面一部刻線
139	白玉	4	A	A	穿孔半割	7.9	4.9	3.2	0.15	滑石	孔断面地彫
140	白玉	4	A	A	穿孔半割	7	6.9	2.1	0.21	滑石	孔断面四角、一側面一部に研磨
141	白玉	4	A	A	穿孔半割	8.1	3.2	2.1	0.18	滑石	
142	白玉	4	A	A	穿孔半割	7.5	4.5	2.6	0.25	滑石	
143	白玉	4	A	A	穿孔半割	7.4	4.2	2.1	0.14	滑石	
144	白玉	4	A	A	穿孔半割	8.5	3.5	1.5	0.13	滑石	一側面に深い彫溝痕
145	白玉	4	A	A	穿孔半割	8	4.2	3.8	0.18	滑石	孔断面U字状
146	白玉	4	A	A	穿孔半割	9	4.1	3.5	0.27	滑石	孔裏面一部刻線
147	白玉	4	A	A	穿孔半割	8.6	6	2	0.18	滑石	孔裏面刻線
148	白玉	4	A	A	穿孔半割	8.5	3.2	2.9	0.22	滑石	
149	白玉	4	A	A	穿孔半割	6.8	4.8	3.1	0.19	滑石	孔裏面刻線
150	白玉	4	A	A	穿孔半割	9	4.8	2.5	0.25	滑石	表裏面とも不整形

単位 mm、重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
151	白玉	4A	A	穿孔半割	9.5	5.2	3.9	0.22	滑石	孔断面箱形、裏面割落
152	白玉	4A	A	穿孔半割	8.1	6.5	3.5	0.23	滑石	表面とも不整、孔断面箱形
153	白玉	4A	A	穿孔半割	8.5	5.1	3.1	0.21	滑石	孔断面U字状
154	白玉	4A	A	穿孔半割	7.5	6	3.5	0.22	滑石	
155	白玉	4A	A	穿孔半割	10.9	4.5	2	0.12	滑石	表面不整部分広い
156	白玉	4A	A	穿孔半割	7.5	3.8	1.5	0.11	滑石	孔裏面一部割離
157	白玉	4A	A	穿孔半割	7.5	5	3	0.16	滑石	
258	白玉	4A	A	穿孔半割	9	5.5	2	0.18	滑石	一側面に彫溝痕か
259	白玉	4A	A	穿孔半割	8	4	1.5	0.14	滑石	孔裏面一部割離
160	白玉	4A	A	穿孔半割	8.6	4	2.3	0.16	滑石	孔断面U字状、一側面に斜位擦痕
161	白玉	4A	A	穿孔半割	8	3.1	1.1	0.12	滑石	一側面に斜位擦痕の研磨
162	白玉	4A	A	穿孔半割	7.9	3.8	2.5	0.11	滑石	L字状二側面に斜位擦痕の研磨
163	白玉	4A	A	穿孔半割	8	4	3.1	0.17	滑石	裏面馬の背状
164	白玉	4A	A	穿孔半割	9.8	5.5	3	0.19	滑石	孔裏面一部割離
165	白玉	4A	A	穿孔半割	7.1	4.5	2.5	0.19	滑石	一側面に彫溝痕か
166	白玉	4A	A	穿孔半割	8.6	4	3.1	0.17	滑石	孔裏面割離
167	白玉	4A	A	穿孔半割	8.1	4.2	2.5	0.17	滑石	孔断面箱形、孔裏面一部割離
168	白玉	4A	A	穿孔半割	6.8	4	2.3	0.11	滑石	孔断面箱形
169	白玉	4A	A	穿孔半割	6.8	4	3	0.14	滑石	
170	白玉	4A	A	穿孔半割	9.5	4.8	3.2	0.2	滑石	孔断面U字状
171	白玉	4A	A	穿孔半割	8.5	3.8	2	0.12	滑石	
172	白玉	4A	A	穿孔半割	6.8	4	2.5	0.11	滑石	表面ともやや不整
173	白玉	4A	A	穿孔半割	4.7	3	2	0.2	滑石	孔裏面一部割離
174	白玉	4A	A	穿孔半割	8.8	4.5	4.1	0.13	滑石	
175	白玉	4A	A	穿孔半割	8.5	5	3.5	0.21	滑石	表面馬の背状、裏面割落
176	白玉	4A	A	穿孔半割	6.1	4.5	3.8	0.16	滑石	一側面に斜位擦痕の研磨
177	白玉	4A	A	穿孔半割	7.8	4.5	2	0.1	滑石	孔裏面一部割離
178	白玉	4A	A	穿孔半割	7	4.5	2	0.08	滑石	孔裏面一部割離、一側面に研磨か
179	白玉	4A	A	穿孔半割	6.5	4.8	1.2	0.09	滑石	孔断面箱形
180	白玉	4A	A	穿孔半割	7.1	3	2.5	0.08	滑石	
181	白玉	4A	A	穿孔半割	7	4	2.4	0.09	滑石	一側面に彫溝痕顯著、孔断面箱形
182	白玉	4A	A	穿孔半割	6.8	3.5	3	0.12	滑石	一側面に斜位擦痕の研磨
183	白玉	4A	A	穿孔半割	6.2	2.8	2.8	0.07	滑石	一側面に研磨か
184	白玉	4A	A	穿孔半割	8	3	2	0.07	滑石	
185	白玉	4A	A	穿孔半割	6.5	5.5	2.1	0.13	滑石	孔断面U字状、孔裏面一部割離
186	白玉	4A	A	穿孔半割	7	4.5	2.5	0.11	滑石	孔裏面一部割離
187	白玉	4A	A	穿孔半割	7.1	4	3.6	0.15	滑石	孔裏面一部割離
188	白玉	4A	A	穿孔半割	6.1	4.8	1.8	0.1	滑石	
189	白玉	4A	A	穿孔半割	7.2	5	2.5	0.17	滑石	孔裏面一部割離
190	白玉	4A	A	穿孔半割	5.5	5	3.1	0.17	滑石	
191	白玉	4A	A	穿孔半割	7.2	4	2.1	0.15	滑石	
192	白玉	4A	A	穿孔半割	7.5	3.2	3	0.14	滑石	一側面に研磨か、孔裏面一部割離
193	白玉	4A	A	穿孔半割	6	3.8	2.5	0.14	滑石	
194	白玉	4A	A	穿孔半割	7	2.5	2	0.06	滑石	細片
195	白玉	4A	A	穿孔割離	5	3.5	2.5	0.07	滑石	表面割落
196	白玉	4A	A	穿孔半割	5.5	3	2.1	0.28	滑石	一側面に彫溝痕か
197	白玉	4A	C	穿孔半割	9	5	3	0.27	滑石	一側面に深い彫溝痕
198	白玉	4A	C	穿孔半割	7.5	6.3	2.5	0.23	滑石	断面U字状
199	白玉	4A	C	穿孔半割	7.8	6.5	2.8	0.24	滑石	孔裏面一部割離
200	白玉	4A	C	穿孔半割	9.5	4.3	3	0.2	滑石	3-4 型の中間
201	白玉	4A	C	穿孔半割	8.5	5	2.8	0.21	滑石	一側面に浅い彫溝痕か
202	白玉	4A	C	穿孔半割	7.5	4.5	3.9	0.19	滑石	
203	白玉	4A	C	穿孔半割	8.9	3.8	2.5	0.17	滑石	表面馬の背状、一側面に平坦面
204	白玉	4A	C	穿孔半割	7.5	4	2	0.1	滑石	孔裏面一部割離
205	白玉	5Bか	C	穿孔半割	7.5	3.8	2.5	0.12	滑石	一側面に横位擦痕の研磨
206	白玉	4A	C	穿孔半割	7.3	4.8	2.6	0.17	滑石	
207	白玉	4A	C	穿孔半割	7.5	5.5	2.3	0.14	滑石質蛇紋岩	孔裏面一部割離
208	白玉	4A	C	穿孔半割	6.2	2.5	2.5	0.08	滑石	孔裏面一部割離
209	白玉	6B	C	半割	5	2.5	2	0.04	滑石	
210	白玉	6A	C	穿孔半割	5.2	2.5	1.5	0.03	滑石	
211	白玉	4A	D	穿孔半割	8.2	4.5	3.5	0.18	滑石	表面割落広い

単位 mm、重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
212	白玉	4A	D	穿孔半割	7.6	4.8	2.5	0.13	磨石	
213	白玉	4A	D	穿孔半割	8.5	5	2.5	0.13	磨石	孔裏面一部剥離
214	白玉	4A	D	穿孔半割	8.5	3	3	0.15	磨石	
215	白玉	4A	D	穿孔半割	7.2	4.2	3	0.12	磨石	孔裏面一部剥離
216	白玉	4A	D	穿孔半割	7	4.9	2.5	0.16	磨石	
217	白玉	4A	D	穿孔半割	7.8	4	2	0.08	磨石	一側面横位磨痕の研磨
218	白玉	4A	D	穿孔半割	8.2	4.8	1.5	0.11	磨石	孔断面J字状
219	白玉	4A	D	穿孔半割	8	3	3	0.11	磨石	孔裏一部剥離
220	白玉	4B	D	穿孔半割	6.1	4.8	2.2	0.07	磨石	孔は中央を外れる
221	白玉	4A	D	穿孔半割	4.1	4.2	1.5	0.04	磨石	孔断面J字状
222	白玉	4A		穿孔半割	8.3	6.2	3.6	0.25	磨石	孔壁かに貫通、一側面に浅い彫溝痕
223	白玉	4A		穿孔半割	8.5	4.9	2.5	0.14	磨石	一側面に縦位磨痕の研磨
224	白玉	4A		穿孔半割	7.5	4	3	0.14	磨石	
225	白玉	4A		穿孔半割	7.6	3.8	2	0.09	磨石	一側面に彫溝痕か
226	白玉	4Bか		穿孔半割	6.8	4	2.5	0.11	磨石	裏面からの穿孔不明瞭
227	白玉	4Bか		穿孔半割	7	3.2	2	0.07	磨石	
228	白玉	5A1		宛形	10	9.5	2	0.33	磨石	
229	白玉	5A1	A	半割	7	3.9	1.8	0.05	磨石	裏面剥落
230	白玉	5A1	C	宛形	8.6	4.5	2	0.11	磨石	孔裏側磨広い、作業続行不可
231	白玉	5A1	C	宛形	7.3	6.8	2.5	0.19	磨石	孔裏に小剥離あり
232	白玉	5A1	C	宛形	7.5	6.2	2.5	0.2	磨石	一側面に横位磨痕の研磨、孔脇伏い
233	白玉	5A1	C	宛形	8	5.9	2.1	0.15	磨石	一側面に彫溝痕、孔裏側あり
234	白玉	5A1	D	宛形	6	6	2.5	0.12	磨石	薄手、孔裏側あり
235	白玉	5A1	D	宛形	8	7.5	2.5	0.27	磨石	孔裏調整未了
236	白玉	5A1	D	宛形	8.5	8	3	0.33	磨石	J字状二側面彫溝痕、孔裏調整未了
237	白玉	5A1	D	宛形	8	8	3	0.33	磨石	
238	白玉	5A1		宛形	8	5.6	2.5	0.17	磨石	薄手、一側面に彫溝痕か、剥落多い
239	白玉	6A1		半割	6	2.2	2.2	0.06	磨石	裏面剥落、側面やや不整
240	白玉	6A1		半割	4.5	3	1.5	0.03	磨石	側面研磨完了
241	白玉	6A1	貯蔵穴	半割	8.8	5	3	0.23	磨石	孔は中央を外れる、裏面剥落
242	白玉	6A1	D	半割	5.9	2	2.5	0.09	磨石	裏面一部剥離
243	白玉	6A1	D	半割	5	3	1.5	0.05	磨石	側面やや不整
244	白玉	1	D		22.5	8.9	1.6	0.58	磨石質蛇紋岩	裏面剥落
245	白玉	1	貯蔵穴		25	16.8	1.5	0.51	磨石質蛇紋岩	裏面やや不整、一部剥落
246	白玉	1	貯蔵穴		16.5	9	3	0.6	磨石質蛇紋岩	裏面一部剥離
247	白玉	1	貯蔵穴		10.3	6.6	3.5	0.41	磨石	
248	白玉	1	貯蔵穴		11	7.5	3.5	0.35	磨石	
249	白玉	1	貯蔵穴		14	8	1.5	0.3	磨石質蛇紋岩	表裏面とも一部剥落
250	白玉	1	貯蔵穴		11.2	5.6	3	0.38	磨石	一側面に彫溝痕か
251	白玉	1	貯蔵穴		10.1	5.1	1.1	0.13	磨石	
252	白玉	1	貯蔵穴		10.2	3.5	2.5	0.13	磨石	薄手
253	白玉	1	貯蔵穴		9.5	5	2	0.22	磨石	裏面一部剥離
254	白玉	1	貯蔵穴		9	5	2.8	0.19	磨石	
255	白玉	1	貯蔵穴		10	5	1.5	0.14	磨石	裏面一部剥離
256	白玉	1	貯蔵穴		7.2	6	1.5	0.14	磨石	平面三角形
257	白玉	1	貯蔵穴		8	5.5	2.2	0.21	磨石	一側面一部縦位磨痕の研磨
258	白玉	1	貯蔵穴		8	4.5	2.1	0.17	磨石	
259	白玉	1	貯蔵穴		7	4.9	1	0.11	磨石	研磨やや鈍、平面長方形
260	白玉	1	貯蔵穴		8.1	6	2	0.15	磨石	裏面剥落広い
261	白玉	1	貯蔵穴		7	6.5	3.5	0.24	磨石	薄手
262	白玉	1	貯蔵穴		7.8	6.2	1.5	0.09	磨石	裏面一部剥離
263	白玉	1	貯蔵穴		7.9	2.9	2	0.11	磨石	
264	白玉	1	貯蔵穴		6.5	5	2	0.12	磨石	平面四角形
265	白玉	1	貯蔵穴		5.5	4.8	1.5	0.06	磨石	平面三角形
266	白玉	1	C		19.8	7.5	2.8	0.7	磨石	側面摩滅
267	白玉	1	C		11.5	8	1.5	0.36	磨石質蛇紋岩	
268	白玉	1	C		9	8.8	3	0.5	磨石	一側面彫溝痕か
269	白玉	1	C		10.2	8	2.8	0.27	磨石	一側面横位磨痕の研磨
270	白玉	1	C		7.2	7.2	2.8	0.36	磨石	平面四角形
271	白玉	1	C		8.4	6.5	2.6	0.28	磨石	平面平行四辺形
272	白玉	1	C		8.5	7.4	0.8	0.15	磨石	薄手、裏面やや不整



単位 mm、重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
273	白玉	1	C		11.2	7.2	3.5	0.31	滑石	平行する二辺に彫溝痕
274	白玉	1	C		7.2	6	2.5	0.15	滑石	
275	白玉	1	C		9.5	6	0.8	0.17	滑石	薄手
276	白玉	1	C		7.1	6	3	0.24	滑石	平面五角形
277	白玉	1	C		7.2	5.2	2.3	0.17	滑石	平面四角形
278	白玉	1	C		7.6	6.5	1.8	0.13	滑石	平面四角形、裏面一部剝落
279	白玉	1	C		8	7.4	2.8	0.3	滑石	
280	白玉	1	D		20.1	10.2	2	0.79	滑石	
281	白玉	1	D		16.5	7.2	2.5	0.59	滑石	平面縦長三角形
282	白玉	1	D		19.5	4.8	2	0.56	滑石	平面長方形
283	白玉	1	D		16.8	11.5	3	0.95	滑石	平面不整三角形
284	白玉	1	D		18	4.5	3.5	0.38	滑石	平面横長三角形
285	白玉	1	D		15	4.2	1.8	0.3	滑石	平面縦長三角形
286	白玉	1	D		12.5	5.2	5	0.45	滑石	表裏面とも不整
287	白玉	1	D		9.5	9.2	3.5	0.63	滑石	平面四角形
288	白玉	1	D		9.2	8	5.6	0.88	滑石	
289	白玉	1	D		9.5	5	3	0.24	滑石	表裏面とも不整
290	白玉	1	D		9.5	6.5	3.5	0.43	滑石	裏面剝落
291	白玉	1	D		8.5	7.5	3	0.31	滑石	裏面不整
292	白玉	1	D		9	6	2	0.34	滑石	
293	白玉	1	D		10.5	4.1	3	0.25	滑石	裏面剝落広い
294	白玉	1	D		9	7.5	1.5	0.21	滑石	表裏面研磨雑、平面三角形
295	白玉	1	D		9	5	3.4	0.3	滑石	平面台形
296	白玉	1	D		12.4	3.5	2	0.14	滑石	薄手、平面横長三角形
297	白玉	1	D		8.5	5	2.5	0.18	滑石	平面平行四辺形
298	白玉	1	D		10	7.5	3	0.29	滑石	平面三角形、表裏面の磨痕粗い
299	白玉	1	D		8.5	6.5	3.8	0.37	滑石	断面三角形
300	白玉	1	D		8.8	8.7	3.4	0.36	滑石	平面台形
301	白玉	1	D		10.5	5.3	3.5	0.28	滑石	裏面剝落広い
302	白玉	1	D		8.1	4.8	4	0.24	滑石	厚手、平面長方形
303	白玉	1	D		10.5	4.8	1.2	0.12	滑石	一側面に彫溝痕か、裏面剝落
304	白玉	1	D		7.1	6	1.5	0.17	滑石	一側面に彫溝痕
305	白玉	1	D		8	7	3	0.29	滑石	
306	白玉	1	D		7.5	7.5	2.5	0.28	滑石	
307	白玉	1	D		7.5	4	1.5	0.11	滑石	平面縦長三角形
308	白玉	1	D		10	3.8	1.2	0.09	滑石	平面横長三角形
309	白玉	1	D		7.5	6.2	3.5	0.24	滑石	裏面剝落
310	白玉	1	D		8.5	3.5	2.1	0.13	滑石	一側面一部に彫溝痕か
311	白玉	1	D		6	4.5	2.2	0.15	滑石	平面菱形
312	白玉	1	D		8	6.5	3.5	0.23	滑石	
313	白玉	1	D		6.2	4.8	2.5	0.14	滑石	一側面に縦溝痕の研磨か
314	白玉	1	D		6	6	4.8	0.28	滑石	厚手
315	白玉	1	D		8.5	3	2.5	0.11	滑石	平面横長三角形
316	白玉	1	D		7.1	4.2	2.5	0.17	滑石	裏面剝落
317	白玉	1	D		7.2	5	3	0.15	滑石	裏面剝落
318	白玉	1	D		6	3.5	2	0.09	滑石	断面三角形
319	白玉	1	D		6.8	4	3.5	0.14	滑石	やや厚手
320	白玉	1	D		6.5	4.5	3.2	0.13	滑石	
321	白玉	1	D		7	5	3.4	0.16	滑石	裏面やや不整
322	白玉	1	D		5.5	5	3	0.12	滑石	
323	白玉	1	D		5.5	5.5	2.9	0.13	滑石	断面三角形
324	白玉	1	D		6.4	4.5	2	0.11	滑石	裏面剝落広い
325	白玉	1	D		6.4	5.8	1.5	0.07	滑石	表裏面剝落広い
326	白玉	1	D		7	5.2	2.2	0.08	滑石	平面三角形
327	白玉	1	D		6	6	2.5	0.1	滑石	裏面剝落多い

No.76以降は実測図なし。

福島鹿嶋下遺跡1号住居

単位 mm、重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
15	石核				170	108	66	987	蛇紋岩	
16	石核				130	66	5	391	蛇紋岩	
17	不明			剝離	18	45	11	4.81	滑石	
18	不明			剝離	22.5	14	6	1.77	滑石	
19	不明			剝離	26	9	6	1.23	滑石	
20	不明			剝片	92	50	21	74.67	滑石	
21	不明 模造品		B		23	9	4	1.2	滑石	刀子形の柄部分か
22	形割素材か				12	12.5	4	0.64	滑石	形溝痕か、残存2箇面に研磨
23	形割素材				22	14	2.5	1.03	滑石	
24	形割素材				18.5	11	3	0.74	滑石	
25	形割素材		貯蔵穴内		21	16	4	1.64	滑石	
26	形割素材		貯蔵穴内		40	25	8	9.81	滑石	
27	形割素材		A		30	16	4	2.38	滑石	一側面に形溝痕
28	不明 模造品		A		32	21	3.5	3.04	滑石	一側面一部に縦位の研磨痕
29	形割素材				22	17	3	1.84	滑石	
30	形割素材		A		30	21	3	2.13	滑石	
31	形割素材				21.5	17	3.5	1.61	滑石	
32	形割素材				23	18	3.5	2.08	滑石	
33	形割素材				50	19	8	9.66	滑石	
34	形割素材		C		20	20	9	4.05	滑石	二側面に研磨痕
35	形割素材		C		31	18	3	3.23	滑石	
36	形割素材		C		27	17	2	1.47	滑石	一側面に形溝痕か
37	白玉	1	C		13	8	4.5	0.61	滑石	
38	白玉	1	C		11	10	3	0.35	滑石	
39	白玉	1	C		8	7	3	0.31	滑石	
40	白玉	1	B		10	10	2.5	0.4	滑石	
41	白玉	1	A		9.5	10	4.5	0.59	滑石	表面馬の背状
42	白玉	1	C		11	8.5	2	0.29	滑石	一側面に形溝痕か
43	白玉	1	C		8	8	2	0.26	滑石	
44	白玉	1	D		9	10	3	0.4	滑石	一側面に形溝痕か
45	白玉	1	D		9	9	2	0.31	滑石	
46	白玉	1	D		11	12	2.5	0.49	滑石	
47	白玉	2	C	半割	4	8	3	0.13	滑石	
48	白玉	2	C	半割	8	8.5	2.5	0.17	滑石	一側面に形溝痕
49	白玉	2	B	完形	6	5.5	3	0.12	滑石	
50	白玉	2	B	完形	7	5	2	0.13	滑石	裏面に浅い形溝痕
51	白玉	2	C		6.5	8.5	3.5	0.24	滑石	表面やや不整
52	白玉	2	C		9.5	6	3	0.31	滑石	
53	白玉	2	C		8.5	8	2.5	0.2	滑石	穿孔の痕跡はわずか
54	白玉	3	P1内	穿孔半割	6	9.5	3.5	0.22	滑石	
55	白玉	3	A		6	9	3	0.23	滑石	
56	白玉	3	A		9	9.5	3	0.31	滑石	
57	白玉	3	A		7	9	4	0.3	滑石	
58	白玉	3	C		8	7	2.5	0.21	滑石	孔は中央を通れる
59	白玉	3	C	穿孔半割	7	9	5	0.48	滑石	
60	白玉	3	D		10	9	2.5	0.3	滑石	
61	白玉	3	埋没土	穿孔剝離半割	5	6	3.5	0.14	滑石	孔断面U字状
62	白玉	4 A	C	穿孔半割	9	5	2.5	0.16	滑石	L字状二側面に斜位磨痕
63	白玉	4 A	C	穿孔半割	6	8	3	0.19	滑石	孔断面箱形
64	白玉	4 A	C	穿孔半割	5	8	3	0.14	滑石	孔断面U字状
65	白玉	4 A	埋没土	穿孔半割	6	7.5	3	0.11	滑石	孔断面U字状
66	白玉	4 A	埋没土	穿孔半割	5	6	2.5	0.09	滑石	孔断面箱形
67	白玉	4 A	C	穿孔半割	5	9	3.5	0.23	滑石	側面全面に研磨
68	白玉	4 A	D	穿孔半割	6	12	2.5	0.24	滑石	
69	白玉	4 A	完形		8	8.5	3	0.31	滑石	
70	白玉	4 A	完形		8	8	3	0.27	滑石	裏面に形溝痕
71	白玉	4 B	C	穿孔剝離	8	9	3	0.21	滑石	
72	白玉	4 B	C	穿孔半割	7	7	3	0.19	滑石	
73	白玉	4 B	貯蔵穴内	穿孔半割	5	8	2.5	0.15	滑石	表面に形溝痕
74	白玉	4 B	C	穿孔半割	8.5	11.5	5	0.45	滑石	

単位 mm、重量 g

No.	種 類	タイプ	位置	破 損	長さ	幅	厚み	重量	石 材	備 考
75	白玉	5 A 1	C	穿孔半割	5	9	3	0.19	滑石	孔裏面縁辺割落
76	白玉	5 A 1	C	完形	9	7	2.5	0.29	滑石	
77	白玉	5 A 1	C	完形	10	8	4	0.49	滑石	
78	白玉	5 A 1	C	完形	6	9	2.5	0.15	滑石	
79	白玉	5 A 1	C	完形	7.5	7	3	0.18	滑石	
80	白玉	5 A 1	C	穿孔半割	5.5	9	3	0.15	滑石	
81	白玉	5 A 1	埋没土	穿孔半割	4.5	8	4	0.21	滑石	
82	白玉	5 A 1	P 1内		6	6	2.5	0.11	滑石	
83	白玉	5 A 1	A		9.5	6	3	0.29	滑石	
84	白玉	5 A 1	A		9	6	2	0.17	滑石	
85	白玉	5 A 1	P 4内		6.5	1	4	0.33	滑石	
86	白玉	5 A 1	P 1内	穿孔刺離半割	7	9	3.5	0.32	滑石	
87	白玉	5 A 1	P 1内		10	9	3	0.32	滑石	
88	白玉	5 A 1	P 1内		7.5	8	3	0.23	滑石	
89	白玉	5 A 1	P 1内		7	9	3	0.23	滑石	
90	白玉	5 A 1	C	完形	10	9	4	0.43	滑石	孔裏に刺離あり
91	白玉	5 A 1		完形	12	10	2.5	0.4	滑石	孔裏に刺離あり
92	白玉	5 A 1		穿孔刺離か	11	9	4	0.53	滑石	孔裏に刺離あり
93	白玉	5 A 1	貯蔵穴内		8	10	2	0.23	滑石	
94	白玉	5 A 1	A	穿孔半割	7.5	10.5	3.5	0.33	滑石	
95	白玉	5 A 1		完形	10	7	2.5	0.24	滑石	孔裏に刺離あり
96	白玉	5 A 1		完形	8	8	2	0.28	滑石	一側面に彫溝痕、孔裏刺離
97	白玉	5 A 1		裏面欠く	6	7	2	0.07	滑石	
98	白玉	5 A 2	C	完形	8	6	2	0.23	滑石	
99	白玉	5 A 2	C	半割	9	6	3	0.18	滑石	
100	白玉	5 B	D	刺離	6	5	2.5	0.09	滑石	
101	白玉	5 B	C	刺離	8.5	7.5	2.5	0.29	滑石	
102	白玉	5 B	A	穿孔半割	5	5.5	2.5	0.07	滑石	
103	白玉	6 A	C	完形	4.5	4	2	0.06	滑石	
104	白玉	6 A	C	完形	5	4	1.5	0.05	滑石	
105	白玉	6 A	貯蔵穴内	完形	4	4	2.5	0.04	滑石	
106	白玉	6 A	貯蔵穴内	完形	4	4	1.5	0.04	滑石	
107	白玉	6	C	完形	4	4	3	0.05	滑石	
108	白玉	6	C	完形	4.5	2	2	0.05	滑石	
109	白玉	6	C	完形	4	4	2	0.05	滑石	
110	白玉	6	D	完形	4	3.5	2	0.04	滑石	
111	白玉	6	D	完形	4.5	5	3	0.07	滑石	
112	白玉	6	D	完形	5	4	2.5	0.06	滑石	
113	白玉	6	D	完形	4	4	2	0.05	滑石	
114	白玉	6	D	完形	4	4	2	0.04	滑石	
115	白玉	6	D	完形	4.5	4.5	2	0.05	滑石	
116	白玉	6	D	完形	4.5	4	2	0.03	滑石	
117	白玉	6	D	完形	3	3	2	0.04	滑石	
118	白玉	6	D	完形	3	3	2	0.06	滑石	
119	白玉	6	D	完形	4	4	2.5	0.04	滑石	
120	白玉	6	D	完形	4	4	2	0.06	滑石	
121	白玉	6	C	完形	4.5	4	5	0.07	滑石	
122	白玉	6	C	完形	4.5	4	3	0.05	滑石	
123	白玉	6 A		完形	4	4	2	0.03	滑石	
124	白玉	6 A		完形	6	6	2.5	0.13	滑石	
125	白玉	6	A	半割	4.5	5	2	0.03	滑石	
126	白玉	6	B	半割	6	3	3.5	0.09	滑石	
127	白玉	6 A	埋没土	完形	4	4	4.5	0.07	滑石	
128	白玉	6 A		完形	4	4	4	0.08	滑石	
129	白玉	6	C	完形	4	4	4.5	0.09	滑石	
130	白玉	6 A	C	半割	4.5	3	1.5	0.05	滑石	
131	白玉	6	A	完形	5.5	5	3.5	0.08	滑石	
132	白玉	6 A		完形	6	6	2.5	0.16	滑石	
133	白玉	6 A	B	完形	7	7	2.5	0.17	滑石	
134	白玉	6 A 1	A	完形	8	8	2	0.31	滑石	
135	白玉	6	B	半割	7	4	1.5	0.08	滑石	

単位 mm、重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石 材	備 考
136	白玉	6 A			10	10	5	0.75	滑石	
137	勾玉	1	C		14	9	4	0.73	滑石	勾玉
138	不明 模造品	1	貯蔵穴内		12	8.5	4	0.63	滑石	不明 模造品
139	勾玉	1	D		14	8	2.5	0.48	滑石	未製品
140	勾玉か		伊付近		17	10.5	2.5	1.08	滑石	未製品
141	勾玉か		B		22	11	5	2.81	滑石	未製品
142	勾玉	1			23	10	6	3.34	滑石	未製品
143	勾玉	6 A			13	5	3	0.37	滑石	
144	勾玉	6 A			11	6	3	0.25	滑石	
145	勾玉	4 A			12	4.5	4	0.37	滑石	孔を中央に穿つ
146	勾玉		B	破損	16	9	6	1.02	滑石	
147	勾玉	6 A		完形	20	6	4	1.38	滑石	表面やや不整
148	勾玉			完形	12	7	2	0.2	滑石	
149	勾玉	4 A		穿孔破損	19	9	4	0.89	滑石	
150	管玉	1		完形	21	12	6	1.95	滑石	未製品
151	管玉	6 A		完形	22	5	10	0.79	滑石	未製品
152	刺型模造品	6 A		破損	45	20	5	6.12	滑石	
153	紡錘車	6 A			32	25	11	11.21	蛇紋岩	未製品
154	不明 模造品	1	C	完形	16	11	4.5	1.72	滑石	
155	砥石				436	239	102	12600	牛状砂岩	
156	砥石				205	112	83	2800	砂岩	
157	白玉	5 A 1	A	完形	10	10	3	0.36	滑石	
158	白玉	5 A 1	A	完形	6	9	3	0.21	滑石	
159	白玉	5 A 1	A	完形	9	8	3	0.26	滑石	孔下端不整
160	白玉	5 A 1	A	完形	7	8	2	0.15	滑石	若干剝離あり
161	白玉	5 A 1	A	完形	8	8	3	0.21	滑石	裏面不整
162	白玉	5	A	完形	4	4	2	0.02	滑石	
163	白玉	5	A	完形	7	7	3	0.15	滑石	欠損は調査時
164	白玉	4 A	B	完形	9	10	25	0.52	滑石	
165	白玉	5 A	B	剝離	7	9	2.5	0.27	滑石	
166	白玉	5 A 2	B	完形	8	8.5	3	0.29	滑石	
167	白玉	5	B	剝離	6	7	3	0.15	滑石	
168	白玉	5 A	B	完形	8	8	2.5	0.19	滑石	
169	白玉	5 A	C	剝離	8	7	2.5	0.28	滑石	
170	白玉	5 A 2	C	完形	10	7.5	3	0.36	滑石	
171	白玉	5 A	C	剝離	9	7	2.5	0.26	滑石	
172	白玉	5 A	C	完形	10	7	3	0.23	滑石	
173	白玉	4 A	C	完形	7.5	7.5	3	0.28	滑石	
174	白玉	5 A 2	C	完形	7	6.5	2	0.17	滑石	
175	白玉	5 A	C	半割	8	4.5	2.5	0.19	滑石	
176	白玉	5 A	C	剝離半割	8	5.5	2	0.17	滑石	
177	白玉	5 A	C	剝離半割	8	5.5	2	0.19	滑石	
178	白玉	5 A	C	剝離半割	6	6	1.5	0.13	滑石	
179	白玉	5 A	C	剝離半割	8.5	5	1.5	0.17	滑石	
180	白玉	6	C	完形	4	2	2	0.03	滑石	
181	白玉	6	C	完形	4	2	2	0.03	滑石	
182	白玉	5 A 1	D	完形	9	8.5	2	0.31	滑石	
183	白玉	5 A	D	剝離	8.5	7.5	2	0.22	滑石	
184	白玉	5 A	D	剝離	6.5	7	2	0.13	滑石	
185	白玉	5 A 1	D	完形	8	5.5	3	0.17	滑石	
186	白玉	5	D	剝離	6.5	6.5	2	0.16	滑石	
187	白玉	5	D	剝離	8.5	5	2	0.08	滑石	
188	白玉	5	伊付近	完形	8	6.5	2.5	0.31	滑石	
189	白玉	5	伊付近	穿孔半割	11	6	2	0.26	滑石	
190	白玉	5	伊付近	穿孔半割	8	7	4	0.43	滑石	
191	白玉	5	伊付近	完形	8	6	3	0.28	滑石	
192	白玉	5 A 2	伊付近	完形	7.5	6	1.5	0.21	滑石	
193	白玉	5	伊付近	剝片	8	5	2.5	0.17	滑石	
194	白玉	4	伊付近	穿孔半割	9	5	2	0.25	滑石	
195	白玉	5	伊付近	穿孔半割	6	3.5	1.5	0.05	滑石	
196	白玉	5 B	伊付近	穿孔半割	8	5	3.5	0.27	滑石	

単位 mm、重量 g

No.	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
197	白玉	5 B	伊付近	穿孔半割	8	6	2.5	0.19	滑石	
198	白玉	4	伊付近	穿孔半割	8	4	2	0.16	滑石	
199	白玉	4	伊付近	穿孔半割	8	4	2.5	0.13	滑石	
200	白玉	4	伊付近	穿孔半割	7	4	2	0.14	滑石	
201	白玉	3	伊付近	穿孔半割	6	4	2	0.12	滑石	
202	白玉	4	伊付近	穿孔半割	10	3.5	2	0.12	滑石	
203	白玉	5	伊付近	穿孔半割	6	4	1.5	0.06	滑石	
204	白玉	5	伊付近	穿孔半割	7	4	4	0.07	滑石	
205	白玉	1	伊付近		9	8.5	2.5	0.36	滑石	
206	白玉	1	伊付近		7.5	4.5	2.5	0.17	滑石	
207	白玉	4	伊付近	穿孔半割	7.8	4.6	1.8	0.08	滑石	
208	白玉	4	伊付近	穿孔半割	7.5	4.4	1.9	0.09	滑石	
209	白玉	1	伊付近		13.8	6.9	2.1	0.28	滑石	
210	白玉	1	伊付近		10	4.6	3.1	0.23	滑石	
211	白玉	1	伊付近		7.2	6.3	2	0.16	滑石	
212	白玉	1	伊付近		9.1	7.7	2.1	0.28	滑石	
213	白玉	1	伊付近		8.3	7.4	1.3	0.11	滑石	
214	白玉	1	伊付近		7.2	7	2.1	0.17	滑石	平面台形
215	白玉	1	伊付近		11.2	6.1	2.2	0.2	滑石	平面菱形、裏面一部不整
216	白玉	1	伊付近		6.1	6	1.9	0.24	滑石	
217	白玉	1	伊付近		7.2	5	2.2	0.19	滑石	
218	白玉	1	伊付近		7.2	6	2.3	0.18	滑石	
219	白玉	1	伊付近		7	5.2	2.8	0.15	滑石	
220	白玉	1	伊付近		8.5	4.3	3.2	0.19	滑石	
221	白玉	1	伊付近		7.5	4.1	2.4	0.17	滑石	
222	白玉	1	伊付近		6	5.2	2.8	0.11	滑石	
223	白玉	1	伊付近		7.5	6	2	0.11	滑石	平面台形
224	白玉	1	伊付近		7.5	6.1	1.9	0.15	滑石	平面菱形、裏面不整部広い
225	白玉	1	伊付近		6.8	6.2	2	0.14	滑石	平面三角形
226	白玉	1	伊付近		6.8	4.5	2.5	0.13	滑石	平面長方形
227	白玉	1	伊付近		9.1	5.4	2	0.12	滑石	平面五角形
228	白玉	1	伊付近	剝離	9.5	7.2	2.1	0.2	滑石	平面三角形
229	白玉	1	伊付近		6.5	5.7	2	0.13	滑石	平面平行四辺形、厚手
230	白玉	1	伊付近		6.1	4.7	2.1	0.11	滑石	平面長方形
231	白玉	1	伊付近		6.8	4	2	0.09	滑石	平面台形
232	白玉	1	伊付近		12.5	4.2	2.2	0.24	滑石	平面三角形
233	白玉	1	伊付近		6.2	5.8	2.1	0.12	滑石	平面三角形
234	白玉	4 A か	伊付近	穿孔半割か	8	6.1	1.9	0.16	滑石	平面不整三角形
235	白玉	1	伊付近		11.5	4.2	1.5	0.12	滑石	
236	白玉	1	伊付近		6	4.5	2.1	0.12	滑石	
237	白玉	1	伊付近		8	6	2.2	0.17	滑石	
238	白玉	1	伊付近	剝離	6.2	5	3	0.14	滑石	
239	白玉	1	伊付近		5.9	5.8	2	0.11	滑石	
240	白玉	1	伊付近		6.2	3.8	2	0.08	滑石	
241	白玉	1	伊付近		6.5	5.1	2.2	0.11	滑石	
242	白玉	1	伊付近		8.9	4.1	1.7	0.12	滑石	
243	白玉	1	伊付近		7.1	5.1	2.4	0.11	滑石	
244	白玉	1	伊付近		8.1	6	2.2	0.14	滑石	
245	白玉	1	伊付近		5.8	5.2	2	0.1	滑石	
246	白玉	1	伊付近		6.1	5	2.9	0.09	滑石	
247	白玉	1	伊付近	剝離	7.2	4	2.5	0.1	滑石	
248	白玉	1	伊付近		9.5	3.2	2	0.09	滑石	
249	白玉	1	伊付近		7	5.5	2	0.07	滑石	
250	白玉	1	伊付近		6.7	4.5	2	0.1	滑石	
251	白玉	1	伊付近		4.5	4.2	1.2	0.03	滑石	
252	白玉	1	伊付近		9.8	5.2	2.5	0.23	滑石	
253	白玉	1	A		11.8	10	2.2	0.51	滑石	
254	不明	1	A	完形か	13.1	6.1	3	0.56	滑石	平面長方形、四側面に研磨
255	白玉	1	A		7.2	7.1	1.5	0.12	滑石	平行二側面横位擦痕研磨
256	白玉	1	A		9	8.2	2	0.18	滑石	平面不整五角形
257	白玉	1	A		9	8.2	2	0.29	滑石	平面長方形

単位 mm、重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考	
258	白玉	1	B		9.2	6.5	3	0.35	滑石	平面長方形	
259	白玉	1	B		7.6	6	4	0.39	滑石	一側面に矢跡か	
260	白玉	1	B		8	8	2.5	0.39	滑石	平面正方形	
261	白玉	1	B		7	6.4	2.5	0.2	滑石	一側面に縦位磨痕研磨	
262	白玉	1	C		7.5	7.5	2.8	0.22	滑石	平面四角形、裏面不整	
263	白玉	1	C		8.1	8	2.2	0.24	滑石	一側面の一部に斜位磨痕	
264	白玉	1	C		8.5	8	3	0.28	滑石	裏裏面とも水平でない	
265	白玉	1	C		7	4.8	2	0.14	滑石	平面長方形	
266	白玉	1	C		7.5	5.4	1.8	0.14	滑石	平面不整形長方形	
267	白玉	1	C		11.5	7	2.5	0.35	滑石	平面菱形	
268	白玉	1	C		9	8.5	2.2	0.31	滑石	平行二側面斜位磨痕研磨	
269	白玉	1	C		7.8	5.8	1.8	0.19	滑石	平面長方形	
270	白玉	1	C		8	7.8	2	0.24	滑石		
271	白玉	1	C		8.5	8.2	2.2	0.29	滑石		
272	白玉	1	C		6.8	6.5	1.8	0.16	滑石	平面正方形	
273	白玉	2			8	5.2	3	0.15	滑石	孔断面四角	
274	白玉	3	C	穿孔半割	9.5	4	2.2	0.16	滑石		
275	白玉	3	C		6	3.8	3.1	0.14	滑石	孔先やや尖る	
276	白玉	3	C	穿孔半割	8.8	4.8	4.8	0.15	滑石	孔先欠けるタイプ不明	
277	白玉	3	C	穿孔半割	7.8	6.5	2.4	0.16	滑石	孔断面U字状	
278	白玉	3	C	剝離	7.5	5.8	2.4	0.13	滑石	孔断面U字状	
279	白玉	3	C	剝離	7.8	7	2.2	0.1	滑石	表面欠く	
280	白玉	3	C	穿孔半割	7.8	4	2.2	0.11	滑石	裏面やや不整	
281	白玉	3	C	剝離	7.5	7.2	2.8	0.23	滑石	孔先やや尖る	
282	白玉	3	C	剝離	6.5	4	2.2	0.12	滑石	2類との中間	
283	白玉	3	C	穿孔半割	7.2	6.8	1.8	0.13	滑石	孔底は二段階状	
284	白玉	3	C	穿孔半割	6	3.8	4	0.1	滑石	4類との中間	
285	白玉	4	B	C	穿孔半割	5.5	5	3	0.1	滑石	裏面の孔は小さい
286	白玉	3	D	穿孔半割	7.5	5.5	2.5	0.13	滑石	4類との中間	
287	白玉	3	P1内	穿孔剝離半割	7.8	4	2	0.07	滑石	表裏ともやや不整	
288	白玉	3		穿孔半割	8.1	5	2	0.14	滑石		
289	白玉	4	A	穿孔半割	7.2	4.4	2.3	0.15	滑石	孔貫通の可能性	
290	白玉	4	A	穿孔半割	6	5.5	2	0.11	滑石	孔は著しく斜行	
291	白玉	4	A	穿孔半割	8.2	3.5	2.8	0.11	滑石		
292	白玉	4	A	穿孔半割	8	5.8	2.5	0.1	滑石		
293	白玉	4	A	穿孔半割	8	4.5	2.3	0.16	滑石		
294	白玉	4	A	穿孔半割	8.2	3.8	2.1	0.13	滑石		
295	白玉	4	A	穿孔半割	6.4	3.8	1.5	0.06	滑石		
296	白玉	4	A	穿孔半割	6.2	5.2	1.8	0.06	滑石		
297	白玉	4	A	穿孔半割	8.2	4.5	2.5	0.12	滑石		
298	白玉	4	A	穿孔半割	8.2	3.5	2	0.11	滑石		
299	白玉	4	A	穿孔半割	7	6.5	2	0.1	滑石	孔貫通の可能性	
300	白玉	4	A	穿孔半割	7.5	5.5	1.6	0.09	滑石	一側面に斜位研今の研磨	
301	白玉	4	A	穿孔半割	9.4	4.5	1.8	0.13	滑石		
302	白玉	4	A	穿孔半割	8.9	3.6	2.8	0.1	滑石	孔貫通の可能性	
303	白玉	4	A	穿孔半割	7.2	5.5	1.8	0.1	滑石		
304	白玉	4	A	穿孔半割	7.9	5.8	2.6	0.15	滑石		
305	白玉	4	A	穿孔半割	7	5.1	2.5	0.15	滑石	孔断面U字状	
306	白玉	4	A	穿孔半割	6	5	2.1	0.07	滑石		
307	白玉	4	A	穿孔半割	8.5	5.5	2.6	0.15	滑石		
308	白玉	4	A	穿孔半割	5	3.6	2.1	0.04	滑石		
309	白玉	4	A	穿孔半割	10.9	4.5	2.2	0.17	滑石		
310	白玉	4	A	穿孔半割	9.1	4.2	2.1	0.13	滑石		
311	白玉	4	A	穿孔半割	9.8	5	1.5	0.11	滑石	孔貫通の可能性	
312	白玉	4	A	穿孔半割	6	4.6	2.1	0.1	滑石	一側面に横位の傷	
313	白玉	4	A	穿孔半割	7	4.5	2.4	0.12	滑石	孔断面四角	
314	白玉	4	A	穿孔半割	7.8	4.8	2.4	0.17	滑石	孔断面U字状	
315	白玉	4	A	穿孔半割	6	5	2.1	0.12	滑石	孔断面四角	
316	白玉	4	A	穿孔半割	8.1	4.5	1.8	0.07	滑石		
317	白玉	4	A	穿孔半割	7.8	5.1	7.6	0.15	滑石	裏面やや不整	
318	白玉	4	A	穿孔半割	6.1	4.2	2.4	0.08	滑石	孔断面U字状	

単位 mm, 重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
319	白玉	4 A		穿孔半割	9.5	4.2	1.8	0.13	滑石	
320	白玉	4 A		穿孔半割	9.2	5	2	0.21	滑石	一側面に彫溝痕か
321	白玉	4 A		穿孔半割	7.2	5	2.8	0.13	滑石	
322	白玉	4 A		穿孔半割	7.1	4.2	2	0.13	滑石	一側面に縦位擦痕の研磨
323	白玉	4 A		穿孔半割	7.8	3.2	1.5	0.05	滑石	
324	白玉	4 A		穿孔半割	7.5	4	2.8	0.09	滑石	孔断面四角
325	白玉	4 A		穿孔半割	10.9	4.5	2.2	0.2	滑石	孔断面U字状
326	白玉	4 A		穿孔半割	7.2	4	2.3	0.1	滑石	表面やや不整
327	白玉	4 A		穿孔半割	8.5	4.2	2.1	0.15	滑石	
328	白玉	4 A		穿孔半割	9	6	2.1	0.14	滑石	
329	白玉	4 A		穿孔半割	6.8	4.2	2.1	0.07	滑石	
330	白玉	4 A		穿孔半割	12.2	8	2.1	0.34	滑石か	表面ともやや不整
331	白玉	4 A	A	穿孔半割	7	4.1	2	0.13	滑石	
332	白玉	4 A	A	穿孔半割か	8.8	4	2.6	0.2	滑石	
333	白玉	4 A	A	穿孔半割	7.2	4.1	1.8	0.12	滑石	孔は貫通の可能性
334	白玉	4 A	A	穿孔半割	7.5	4.3	2.4	0.14	滑石	一側面に横位擦痕の研磨
335	白玉	4 A	A	穿孔半割	10.8	5.3	2.5	0.27	滑石	平行二側面一部縦位擦痕
336	白玉	4 A	A	穿孔半割	10.8	7	4.8	0.45	滑石	裏面不整
337	白玉	4 A	A	穿孔半割	8	7.2	3.2	0.24	滑石	
338	白玉	4 A	A	穿孔斜離半割	10.5	6.2	2.9	0.2	滑石	孔は斜めに穿たれる
339	白玉	4 A	A	穿孔半割	8.5	4.2	2.5	0.13	滑石	
340	白玉	4 Aか	A	穿孔斜離	8.6	3.8	2	0.11	滑石	孔は貫通の可能性
341	白玉	4 A	A	穿孔半割	7.5	2.4	2.4	0.16	滑石	孔貫通か、一側面斜位擦痕
342	白玉	4 A	A	穿孔斜離半割	9	7.4	2.6	0.16	滑石	
343	白玉	4 A	A	穿孔半割	9	5.4	2.5	0.16	滑石	孔は貫通の可能性
344	白玉	4 A	A	穿孔斜離半割	7.8	5	2.8	0.14	滑石	表面に彫溝痕か
345	白玉	4 A	A	穿孔半割	7	3.5	1.8	0.08	滑石	
346	白玉	4 A	A	穿孔半割	7.2	4.5	1.8	0.11	滑石	
347	白玉	4 A	A	穿孔半割	7.2	4	1.9	0.09	滑石	
348	白玉	4 A	A	穿孔半割	6	3.8	2.2	0.09	滑石	
349	白玉	4 A	A	穿孔半割	6.4	5	2.6	0.15	滑石	
350	白玉	4 A	A	穿孔半割	7.8	3	2	0.09	滑石	
351	白玉	4 A	A	穿孔半割	8.5	5	3	0.21	滑石	
352	白玉	4 A	A	穿孔半割	8	4.2	4	0.23	滑石	
353	白玉	4 A	A	穿孔半割	6.8	5	2	0.11	滑石	
354	白玉	4 A	A	穿孔半割	7.5	5.2	2	0.1	滑石	
355	白玉	4 A	A	穿孔半割	6	5	2	0.1	滑石	
356	白玉	4 A	A	穿孔半割	8.4	3.8	2	0.09	滑石	
357	白玉	4 A	A	穿孔半割	7	3.5	2	0.08	滑石	
358	白玉	4 A	A	穿孔半割	9	4.4	1.8	0.09	滑石	孔は貫通の可能性
359	白玉	4 A	A	穿孔斜離半割	6.5	4.5	2	0.08	滑石	
360	白玉	4 A	A	穿孔半割	7	4	2.4	0.11	滑石	孔断面U字状
361	白玉	4 A	A	穿孔半割	8.5	4	1.5	0.08	滑石	孔貫通の可能性
362	白玉	4 A	A	穿孔半割	6.5	3.5	1.8	0.06	滑石	
363	白玉	4 A	A	穿孔半割	5.2	4	3.1	0.13	滑石	
364	白玉	4 A	A	穿孔半割	6.4	4.5	1.5	0.07	滑石	
365	白玉	4 A	A	穿孔半割	7.1	4.2	0.9	0.05	滑石	
366	白玉	4 A	A	穿孔半割	5.3	3	2.1	0.1	滑石	
367	白玉	4 A	A	穿孔半割	7.5	4.5	1.6	0.09	滑石	
368	白玉	4 A	A	穿孔半割	6.5	4	2.1	0.1	滑石	
369	白玉	4 A	A	穿孔半割	6	4.2	7.8	0.13	滑石	
370	白玉	4 A	A	穿孔斜離半割	7	4.2	1.3	0.05	滑石	
371	白玉	4 A	A	穿孔半割	6	4.1	3	0.12	滑石	
372	白玉	4 A	A	穿孔半割	5.2	4	1.5	0.08	滑石	
373	白玉	4 A	A	穿孔半割	5.5	3.2	2	0.04	滑石	
374	白玉	4 A	A	穿孔半割	6.5	3.2	2.6	0.09	滑石	
375	白玉	4 A	A	穿孔斜離半割	6.1	4.9	1.5	0.07	滑石	
376	白玉か	4 Aか	B	穿孔半割か	6.5	6	2.1	0.1	滑石	表面とも不整、孔不明瞭
377	白玉	4 A	B	穿孔半割	9	4.5	2.5	0.17	滑石	孔断面四角
378	白玉	4 A	B	穿孔半割	8	4.8	2.2	0.12	滑石	裏面馬の背状、裏面に小孔
379	白玉	4 A	B	穿孔斜離半割	6.8	5	3	0.16	滑石	表面欠く、裏面馬の背状

単位 mm、重量 g

No.	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
380	白玉	4 A	B	穿孔半割	7.8	4.2	2.2	0.12	磨石	
381	白玉	4 A	B	穿孔半割	7.3	3.4	2.5	0.12	磨石	
382	白玉	4 A	B	穿孔半割	6.8	3.5	3	0.13	磨石	
383	白玉	4 A	B	穿孔半割	6.5	4	2.1	0.08	磨石	孔貫通の可能性
384	白玉	4 A	B	穿孔刺離半割	7.8	4	1.8	0.09	磨石	表面やや不整
385	白玉	4 A	B	穿孔刺離半割	6	4	3	0.08	磨石	裏面欠く
386	白玉	4 Aか	B	穿孔半割	8.9	6.5	2.1	0.11	磨石	孔先欠く、一側面に研磨か
387	白玉	4 A	B	穿孔半割	8.9	5.2	3.8	0.27	磨石	孔貫通の可能性
388	白玉	4 A	B	穿孔半割	8	4.5	2	0.09	磨石	孔先欠く
389	白玉	4 A	B	穿孔半割	7.2	3.8	1.8	0.1	磨石	3類との中間
390	白玉	4 A	B	穿孔半割	8.2	3.5	2.2	0.1	磨石	
391	白玉	4 A	B	穿孔半割	6.5	4.2	3	0.16	磨石	3類との中間
392	白玉	4 A	B	穿孔半割	6	6	3.5	0.17	磨石	孔斜め、L字二側面彫溝板
393	白玉	4 Aか	B	穿孔半割	7	6	3.1	0.17	磨石	裏面不整、孔やや不明瞭
394	白玉	5か	B	穿孔半割	6.5	3	3	0.11	磨石	裏面調整未了
395	白玉	4 A	B	穿孔半割	8.2	4.5	2.8	0.16	磨石	孔やや斜め
396	白玉	4 A	B	穿孔刺離半割	7	4	1.8	0.08	磨石	
397	白玉	4 A	B	穿孔半割	9.1	4.8	2.2	0.17	磨石	
398	白玉	4 Aか	B	穿孔半割	6.8	5.2	3.2	0.17	磨石	裏面不整
399	白玉	4 A	B	穿孔半割	6.8	3.8	3	0.13	磨石	
400	白玉	4 A	B	穿孔半割	6	5.2	3	0.11	磨石	
401	白玉	4 A	B	穿孔半割	6.5	3.8	2	0.07	磨石	裏面不整
402	白玉	4 A	B	穿孔半割	6.5	2.1	2.1	0.05	磨石	
403	白玉	4 A	B	穿孔半割	7.2	3.1	3	0.13	磨石	一側面縦位擦痕、裏面不整
404	白玉	4 A	B	穿孔半割	8.2	5	1.8	0.13	磨石	
405	白玉	4 A	B	穿孔半割	7	3.8	2.2	0.09	磨石	
406	白玉	5か	B	穿孔刺離半割	5.5	5.5	2.1	0.06	磨石	表面とも剝落
407	白玉	4 Aか	B	穿孔半割	6.5	4.8	2.7	0.13	磨石	孔先欠く
408	白玉	4 A	B	穿孔半割	6.5	3.8	3	0.1	磨石	
409	白玉	4 A	B	穿孔刺離半割	6	6	2	0.08	磨石	
410	白玉	4 Aか	B	穿孔刺離	6.5	5.2	2	0.07	磨石	裏面欠く
411	白玉	5か	B	穿孔刺離	6.1	4	2.5	0.07	磨石	裏面欠く
412	白玉	5か	B	穿孔刺離	6.8	4.5	2	0.07	磨石	裏面欠く
413	白玉	4 A	B	穿孔半割	5	4	2.5	0.07	磨石	
414	白玉	3	B	穿孔半割	5.8	3.1	3.5	0.06	磨石	
415	白玉	4 A	B	穿孔粉砕	5	3	3.1	0.07	磨石	一側面に研磨か
416	白玉	4 A	B	穿孔刺離半割	4	3.8	3	0.05	磨石	
417	白玉	4 A	B	穿孔半割	5	2.8	2	0.03	磨石	裏面やや不整
418	白玉	4 A	B	穿孔半割	3.8	2.8	2	0.13	磨石	孔貫通の可能性
419	白玉	4 A	B	穿孔半割	9.1	6.5	3.5	0.19	磨石	
420	白玉	4 A	B	穿孔刺離半割	5.2	2.1	2.2	0.14	磨石	裏面やや不整
421	白玉	4 A	B	穿孔半割	6	3.9	2.8	0.1	磨石	裏面やや不整
422	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	8	3.8	2.8	0.14	磨石	孔断面四角
423	白玉	4 A	C	穿孔半割	8.5	4.2	1.5	0.11	磨石	孔断面U字状
424	白玉	4 A	C	穿孔半割	7.5	4.8	2.5	0.11	磨石	裏面不整
425	白玉	4 A	C	穿孔半割	6.5	4.8	1.4	0.05	磨石	薄手、裏面刺離か
426	白玉	4 A	C	穿孔半割	5	4.8	1.5	0.05	磨石	孔不明瞭
427	白玉	4 A	C	穿孔半割	7.1	3	2	0.06	磨石	孔断面U字状
428	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	8	4.5	2.8	0.11	磨石	裏面やや不整
429	白玉	4 Aか	C	穿孔刺離半割	7.2	4.2	2.2	0.09	磨石	孔裏欠、孔貫通の可能性
430	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	9.5	4	2	0.13	磨石	
431	白玉	4 A	C	穿孔半割	8.2	6.5	2.5	0.19	磨石	孔裏欠
432	白玉	4 A	C	穿孔半割	8	3.5	2	0.08	磨石	孔裏欠、孔貫通の可能性
433	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	6	4.5	1.5	0.06	磨石	孔口欠
434	白玉	4 A	C	穿孔半割	8.2	3.2	3.2	0.18	磨石	孔裏欠、孔貫通の可能性
435	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	7.9	3.6	2	0.08	磨石	孔の残存僅か
436	白玉	4 A	C	穿孔半割	8	6.8	3	0.17	磨石	
437	白玉か	4 A	C	穿孔刺離半割	7	7	2	0.14	磨石	一側面縦位擦痕の研磨
438	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	8.9	3.2	2	0.08	磨石	孔の残存僅か
439	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	9	3.5	2	0.1	磨石	孔裏欠、一側面彫溝板か
440	白玉	4 A	C	穿孔半割	10.5	5.5	1.5	0.11	磨石	



単位 mm、質量 g

No.	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
441	白玉	4 A	C	穿孔半割	8	5	2	0.11	滑石	
442	白玉	4 A	C	穿孔半割	7.5	3.1	2	0.06	滑石	
443	白玉	4 A	C	穿孔半割	6	4	2.2	0.1	滑石	一側面傾位擦痕の研磨
444	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	7.5	4.8	3	0.11	滑石	孔断面四角
445	白玉	4 A	C	穿孔半割	7	6.5	2	0.14	滑石	
446	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	6	4	2.4	0.1	滑石	
447	白玉	4 A	C	穿孔半割	5	3.5	2.5	0.09	滑石	一側面研磨か
448	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	6.5	3.4	2	0.07	滑石	一側面に彫溝か
449	白玉	4 A	C	穿孔半割	7	6.4	2.5	0.19	滑石	孔は斜行
450	白玉	1	C	穿孔半割	9	6	3	0.24	滑石	平面三角形
451	白玉	4 A	C	穿孔半割	7.8	3	2.8	0.12	滑石	裏面2側の別孔あり
452	白玉	4 A	C	穿孔半割	6.5	5	2	0.09	滑石	裏面に別孔あり
453	白玉	5 A	C	穿孔半割	7.4	4.8	3.1	0.21	滑石	孔裏面整未了
454	白玉	5 A	C	穿孔半割	5.8	3.5	2.2	0.11	滑石	孔裏面整未了
455	白玉	4 A	C	穿孔半割	8.2	4.5	1.8	0.15	滑石	一側面に研磨か
456	白玉か	4 A	C	穿孔刺離半割	9.8	7	3.5	0.26	滑石	一側面に斜めの研磨
457	白玉	4 A	C	穿孔半割	8	5.1	1.8	0.14	滑石	一側面傾位擦痕の研磨
458	白玉	4 A	C	穿孔半割	8	4	2.4	0.17	滑石	一側面に彫溝か
459	白玉	4 Aか	C	穿孔半割	8.2	7	2.8	0.24	滑石	孔は斜行、孔底欠
460	白玉	4 A	C	穿孔半割	9	5.2	2.5	0.18	滑石	
461	白玉	4 Aか	C	穿孔刺離半割	6	5.5	2	0.1	滑石	表面欠、孔不明瞭
462	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	7	3.8	3.8	0.17	滑石	厚手、孔貫通の可能性
463	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	7.2	6.8	3	0.18	滑石	孔は斜行
464	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	6.5	5	1.8	0.07	滑石	孔断面四角
465	白玉	4 A	C	穿孔半割	7.6	3.6	2.8	0.12	滑石	孔断面U字状
466	白玉	4 Aか	C	穿孔半割	6.4	6.4	1.8	0.11	滑石	孔不明瞭
467	白玉	4 A	C	穿孔半割	7.3	6.5	2.2	0.14	滑石	
468	白玉	4 A	C	穿孔半割	4.8	4	1.5	0.09	滑石	孔貫通の可能性
469	白玉	4 A	C	穿孔半割	11	3.8	2	0.14	滑石	孔断面四角
470	白玉	4 A	C	穿孔半割	7.5	4.4	2	0.1	滑石	孔断面四角
471	白玉	4 A	C	穿孔半割	6.5	3.1	1.8	0.07	滑石	
472	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	8	3.8	2.1	0.08	滑石	孔底欠、孔貫通の可能性
473	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	8.4	4.2	1.3	0.09	滑石	3類との中間
474	白玉	4 A	C	穿孔半割	8	4.5	2	0.14	滑石	一側面一部彫溝か
475	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	8	5.5	3	0.2	滑石	孔断面U字状、表面不整
476	白玉	4 A	C	穿孔半割	8.5	4	3	0.17	滑石	
477	白玉	4 A	C	穿孔半割	6.5	4	2.5	0.14	滑石	孔断面U字状
478	白玉	4 A	C	穿孔半割	9.2	4.5	2	0.17	滑石	
479	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	9	4	2	0.11	滑石	裏面やや不整
480	白玉	4 A	C	穿孔半割	9.2	5	2.4	0.17	滑石	V字状二側面に彫溝か
481	白玉	4 A	C	穿孔半割	7	3.5	2.5	0.12	滑石	孔断面U字状
482	白玉	4 A	C	穿孔半割	7.8	4.9	2	0.12	滑石	
483	白玉	4 A	C	穿孔半割	7.4	6	2.8	0.17	滑石	一側面に彫溝か
484	白玉	4 A	C	穿孔半割	7.8	5	2.8	0.15	滑石	L字状二側面に彫溝か
485	白玉	4 A	C	穿孔半割	8	3.8	2.5	0.14	滑石	一側面に彫溝か
486	白玉	4 A	C	穿孔半割	7	6.2	1.9	0.11	滑石	3類との中間
487	白玉	4 A	C	穿孔半割	7	3.5	3.5	0.08	滑石	孔断面U字状
488	白玉	4 A	C	穿孔半割	8.9	6	2	0.1	滑石	
489	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	8	4	2.5	0.13	滑石	
490	白玉	4 A	C	穿孔半割	7	4	2.2	0.11	滑石	孔断面U字状
491	白玉	4 A	C	穿孔半割	6.5	4	2.2	0.13	滑石	孔断面U字状
492	白玉	4 A	C	穿孔半割	9	4.2	2.5	0.16	滑石	孔断面U字状
493	白玉	4 A	C	穿孔半割	7.2	3.8	2	0.09	滑石	
494	白玉	4 A	C	穿孔刺離半割	8.2	4.5	3	0.15	滑石	孔断面U字状
495	白玉	4 A	C	穿孔半割	7	5.1	2	0.1	滑石	
496	白玉	4 A	C	穿孔半割	6.5	5.5	2.1	0.09	滑石	孔は斜行、裏面やや不整
497	白玉	4 A	C	穿孔半割	5.5	5	2.5	0.13	滑石	一側面に彫溝か
498	白玉	4 A	C	穿孔半割	10.5	6.1	2.8	0.23	滑石	孔表欠
499	白玉	4 A	C	穿孔半割	6.8	3.8	2.5	0.1	滑石	
500	白玉	4 A	C	穿孔半割	6.1	3	2.5	0.09	滑石	孔の残存僅か
501	白玉	4 A	C	穿孔半割	7.2	3.5	2.5	0.09	滑石	

単位 mm、重量 g

No.	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
502	白玉	4A	C	穿孔半割	7	3	2.9	0.08	磨石	
503	白玉	4A	C	穿孔半割	6.5	2.5	2.5	0.08	磨石	一側面に彫溝痕
504	白玉	4A	C	穿孔半割	6.3	4.8	1.5	0.1	磨石	
505	白玉	4A	C	穿孔半割	7.5	2.5	1.5	0.07	磨石	孔断面U字状
506	白玉	4A	C	穿孔半割	7.2	3	2.5	0.08	磨石	一側面に彫溝痕か
507	白玉	4A	C	穿孔割離半割	7.6	4.2	1.8	0.08	磨石	裏面欠、一側面に縦位擦痕
508	白玉	4A	C	穿孔半割	6.9	5	2	0.09	磨石	
509	白玉	4A	C	穿孔割離半割	8	5.5	1.5	0.1	磨石	孔底欠
510	白玉	4A	C	穿孔半割	6	3.5	3	0.1	磨石	
511	白玉	4A	C	穿孔半割	6.9	4.5	2.3	0.11	磨石	孔断面U字状
512	白玉	4A	C	穿孔半割	8	5	1.9	0.14	磨石	一側面に研磨か
513	白玉	4A	C	穿孔半割	6.5	4.8	1.5	0.07	磨石	
514	白玉	4A	C	穿孔半割	6.5	4.5	2.4	0.09	磨石	孔断面四角
515	白玉	4A	C	穿孔割離半割	7.4	4	2.5	0.11	磨石	裏面やや不整
516	白玉	4A	C	穿孔割離半割	8.5	4.8	1.5	0.11	磨石	
517	白玉	4A	C	穿孔割離半割	6	3.5	2.2	0.09	磨石	
518	白玉	4Bか	C	穿孔割離半割	6.5	4.8	2	0.06	磨石	裏面からも穿孔か
519	白玉	5A	C	穿孔半割	8.5	4.4	1.5	0.1	磨石	孔裏調整未了
520	白玉	4A	C	穿孔半割	6	3.5	2	0.09	磨石	孔断面四角
521	白玉	4A	C	穿孔割離半割	6.5	5.5	2	0.08	磨石	孔不明瞭
522	白玉	4A	C	穿孔半割	8	3.5	2.2	0.1	磨石	裏面やや不整
523	白玉	4A	C	穿孔半割	8.1	3.6	2	0.1	磨石	孔断面U字状、裏面不整
524	白玉	4A	C	穿孔半割	6	4.9	2	0.11	磨石	
525	白玉	4A	C	穿孔半割	7.5	4.5	2.1	0.11	磨石	一側面に彫溝痕
526	白玉	4A	C	穿孔粉砕	9	4.5	1.5	0.07	磨石	孔底欠、孔不明瞭
527	白玉	4A	C	穿孔割離半割	7.2	5.5	2.5	0.15	磨石	裏面不整
528	白玉	4A	C	穿孔半割	7.8	5	2	0.11	磨石	孔底欠
529	白玉	4A	C	穿孔粉砕	6	3.5	2	0.07	磨石	孔底欠、5類の可能性
530	白玉	4A	C	穿孔半割	6.5	3.5	2	0.1	磨石	孔の残存僅か
531	白玉	4A	C	穿孔割離半割	6.1	3.2	2	0.06	磨石	孔断面U字状
532	白玉	4A	C	穿孔半割	6	5	2.5	0.11	磨石	孔断面U字状
533	白玉	4A	C	穿孔半割	5.5	4	1.8	0.06	磨石	
534	白玉	4A	C	穿孔半割	7	3	2.2	0.08	磨石	孔断面四角
535	白玉	4A	C	穿孔半割	6.5	5.2	2.5	0.11	磨石	一側面に彫溝痕
536	白玉	4A	C	穿孔割離半割	7.2	5.5	2.4	0.14	磨石	表面やや不整
537	白玉か	4A	C	穿孔半割	7	3.8	3	0.09	磨石	孔残存僅か、貫通の可能性
538	白玉	4A	C	穿孔半割	7.9	5	1.8	0.11	磨石	孔残存僅か
539	白玉	4A	C	穿孔半割	6.1	3.8	2	0.06	磨石	
540	白玉	4A	C	穿孔半割	5.5	3.5	2.1	0.08	磨石	一側面に縦位擦痕の研磨
541	白玉	4A	C	穿孔割離半割	6.5	4	2	0.09	磨石	表裏面ともやや不整
542	白玉	5Aか	C	穿孔半割	7.5	4.2	2.8	0.1	磨石	一側面に彫溝痕
543	白玉	4A	C	穿孔半割	5.2	4	2.8	0.13	磨石	
544	白玉	4A	C	穿孔半割	5.8	4.5	2.1	0.08	磨石	
545	白玉	4A	C	穿孔半割	6	5.2	1.8	0.08	磨石	
546	白玉	4A	C	穿孔半割	6	4.3	2.5	0.1	磨石	孔残存僅か
547	白玉	4A	C	穿孔割離半割	6.1	4.8	1	0.05	磨石	孔底欠、孔残存僅か
548	白玉	4A	C	穿孔半割	5.8	3.5	2	0.06	磨石	
549	白玉	4A	C	穿孔半割	7.5	3.4	1.8	0.07	磨石	
550	白玉	4A	C	穿孔半割	6	3	2	0.07	磨石	
551	白玉	4A	C	穿孔半割	5.1	3.1	2	0.07	磨石	孔底欠
552	白玉	4A	C	穿孔半割	6	2	2.1	0.04	磨石	
553	白玉	4A	C	穿孔半割	5.8	4.5	2	0.08	磨石	裏面やや不整
554	白玉	4A	C	穿孔割離半割	6	3.5	0.9	0.05	磨石	表面欠
555	白玉	4A	C	穿孔半割	6.5	4	2.1	0.09	磨石	孔断面U字状
556	白玉	4A	C	穿孔半割	6	2.5	2.5	0.07	磨石	孔底欠、貫通の可能性
557	白玉	4A	C	穿孔粉砕	5	3.1	2.1	0.07	磨石	
558	白玉	4A	C	穿孔半割	5	5	1.6	0.07	磨石	孔底欠
559	白玉	4A	C	穿孔半割	5	3.5	2	0.06	磨石	孔残存僅か
560	白玉	4A	C	穿孔半割	4.2	3.5	1.8	0.05	磨石	
561	白玉	4A	C	穿孔半割	5	2.9	2.1	0.05	磨石	孔断面U字状
562	白玉	4A	C	穿孔半割	5.5	4.5	1.8	0.08	磨石	孔底欠

単位 mm、質量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
563	白玉	4A	C	穿孔粉砕	4.8	2.5	2.2	0.06	滑石	
564	白玉	4A	C	穿孔剝離半割	6.1	4.2	1.1	0.06	滑石	5類の可能性、裏面欠く
565	白玉	6A	C	半割	5	2.5	2.4	0.07	滑石	御縁調整粗い
566	白玉	6Aか	C	半割	6	3.8	1.5	0.06	滑石	孔周辺は割れ口も研磨
567	白玉	4A	C	穿孔半割	6.5	3	2.1	0.07	滑石	一側面に斜位磨痕
568	白玉	4A	C	穿孔半割	4.8	2.1	1.5	0.05	滑石	孔断面U字状
569	白玉	4A	C	穿孔半割	5.5	3	2	0.05	滑石	
570	白玉	4A	C	穿孔剝離半割	5	4	0.5	0.04	滑石	5類の可能性、裏面欠く
571	白玉	4A	C	穿孔半割	4.5	2.8	3.2	0.07	滑石	孔断面四角
572	白玉	4Aか	C	穿孔剝離	5.2	5	1.5	0.06	滑石	表面不整、裏面欠く
573	白玉	4A	C	穿孔剝離半割	3.8	2.2	2.2	0.06	滑石	表面剝落
574	白玉	4A	C	穿孔半割	5	2.1	1.5	0.05	滑石	孔貫通の可能性
575	白玉	4A	C	穿孔半割	5.1	3.2	2	0.07	滑石	孔貫通の可能性
576	白玉	4A	C	穿孔半割	5.5	4	1.5	0.07	滑石	裏面やや不整
577	白玉	4A	C	穿孔半割	5	3.5	1.8	0.05	滑石	孔貫通の可能性
578	白玉	5Bか	C	穿孔半割	4.9	3	2.2	0.06	滑石	孔付近の残存欠ない
579	白玉か	4A	C	穿孔剝離半割	5	3.5	1.1	0.04	滑石	表面不整、裏面欠く
580	白玉	4A	C	穿孔半割	5.1	1.8	1.8	0.04	滑石	表面剝落、孔貫通の可能性
581	白玉	4A	C	穿孔半割	3.1	3.1	1.8	0.06	滑石	
582	白玉	4Aか	C	穿孔半割	3	2.2	0.9	0.03	滑石	5類の可能性、裏面欠く
583	白玉	4A	D	穿孔半割	7	4.5	3.8	0.11	滑石	
584	白玉	4A	D	穿孔半割	8.7	4.5	2	0.13	滑石	孔断面U字状
585	白玉	4A	D	穿孔半割	6.8	4.5	3	0.15	滑石	孔やや斜行
586	白玉か	4A	D	穿孔剝離半割	16.5	4.2	1.8	0.27	滑石	一側面縦位磨痕の研磨
587	白玉か	4A	D	穿孔半割	10.5	8.1	3.2	0.3	滑石	一側面縦位磨痕の研磨
588	白玉	4A	D	穿孔半割	10.5	4.5	2.1	0.21	滑石	
589	白玉	4A	D	穿孔半割	8	3.1	2	0.12	滑石	
590	白玉	4A	D	穿孔半割	5.5	3.8	2	0.09	滑石	表面平直さ欠
591	白玉	4A	D	穿孔半割	7	6.1	1.8	0.13	滑石	表面やや不整
592	白玉	4A	D	穿孔半割	7	3.2	1.8	0.09	滑石	一側面に彫溝痕か
593	白玉	4A	D	穿孔半割	7.5	4	2.1	0.14	滑石	
594	白玉	4Aか	D	穿孔剝離半割	10.5	5.5	2.8	0.27	滑石	孔底欠、5類の可能性
595	白玉	4A	D	穿孔半割	8.5	4	2.5	0.18	滑石	孔貫通の可能性
596	白玉	4A	D	穿孔半割	6.5	5	2	0.16	滑石	
597	白玉	4A	D	穿孔半割	6	3.5	2	0.08	滑石	590と接合
598	白玉	4A	D	穿孔半割	5	3.1	2.8	0.09	滑石	
599	白玉	4A	D	穿孔半割	4	3.8	2.8	0.08	滑石	
600	白玉	4A	D	穿孔半割	6	3.5	2.1	0.09	滑石	一側面に彫溝痕か
601	白玉	4A	D	穿孔剝離半割	5.8	4	1.4	0.05	滑石	
602	白玉	4A	D	穿孔半割	7.2	4.5	2.5	0.14	滑石	
603	白玉	4A	D	穿孔半割	9	5.5	2.1	0.22	滑石	
604	白玉	4A	D	穿孔半割	7.5	4.8	3	0.15	滑石	
605	白玉	4A	D	穿孔半割	5	4	3	0.14	滑石	
606	白玉	4A	D	穿孔半割	7	4.8	2.2	0.12	滑石	孔断面U字状
607	白玉	4A	D	穿孔半割	8.2	2.1	2.2	0.08	滑石	
608	白玉	4A	D	穿孔半割	5.5	4.2	2.5	0.11	滑石	
609	白玉	4A	D	穿孔半割	8.9	3.2	2.2	0.13	滑石	
610	白玉	4A	D	穿孔半割	6	3.5	2.6	0.1	滑石	
611	白玉	4A	D	穿孔半割	6.5	4.5	3	0.12	滑石	
612	白玉	5B	D	半割	9	7.8	2	0.19	滑石	
613	白玉	4A	D	穿孔半割	7	4.5	2	0.09	滑石	
614	白玉	4A	D	穿孔半割	8.2	4.6	2	0.15	滑石	表面やや不整
615	白玉	4A	D	穿孔半割	8.8	3.8	2	0.14	滑石	
616	白玉	4A	D	穿孔半割	7	4	2.5	0.14	滑石	
617	白玉	4A	D	穿孔半割	6.5	5.1	1.5	0.11	滑石	孔底欠、孔貫通の可能性
618	白玉	4A	D	穿孔半割	5	3	2.5	0.07	滑石	2孔あり、両者未貫通
619	白玉	4A	D	穿孔半割	6.1	6	2	0.1	滑石	一側面に彫溝痕
620	白玉	4A	D	穿孔半割	8.2	5.2	2.9	0.21	滑石	
621	白玉	4A	D	穿孔半割	6.3	3	2	0.07	滑石	
622	白玉	4A	D	穿孔半割	8.5	3.2	2	0.1	滑石	
623	白玉	4A	D	穿孔半割	9.8	5	2.1	0.17	滑石	

単位 mm、重量 g

No	種 類	タイプ	位置	破 損	長さ	幅	厚み	重量	石 材	備 考
624	白玉	4 A	D	穿孔半割	7	3	1.5	0.06	滑石	
625	白玉か	4 A	D	穿孔剝離半割	7.8	6.9	3	0.18	滑石	2孔あり、一側面彫溝痕か
626	白玉	4 A	D	穿孔半割	8.8	6.5	2.1	0.2	滑石	孔断面U字状
627	白玉	4 A	D	穿孔半割	8.5	5	2.5	0.18	滑石	孔中段に横あり
628	白玉	4 A	D	穿孔半割	7.2	4.5	2.3	0.14	滑石	
629	白玉	4 Aか	D	穿孔剝離半割	8	5.5	3.5	0.17	滑石	厚手、孔貫通の可能性
630	白玉	4 A	D	穿孔半割	7.9	6.2	2	0.12	滑石	
631	白玉	4 A	D	穿孔半割	6	3.5	2	0.16	滑石	
632	白玉	4 Aか	D	穿孔剝離半割	9	5.2	3	0.17	滑石	孔底欠、孔貫通の可能性
633	白玉	4 A	D	穿孔半割	7.2	5.1	2.2	0.13	滑石	
634	白玉	4 A	D	穿孔半割	10.5	6.1	2	0.22	滑石	孔口欠
635	白玉	4 A	D	穿孔剝離半割	7.2	6.1	3.2	0.14	滑石	孔断面四角
636	白玉	4 A	D	穿孔半割	9	4	2.1	0.12	滑石	
637	白玉	4 A	D	穿孔半割	8.6	4	2.2	0.15	滑石	一側面に彫溝痕か
638	白玉	4 A	D	穿孔半割	7	4.2	2.8	0.15	滑石	孔貫通の可能性
639	白玉	4 A	D	穿孔半割	7	3	2.9	0.1	滑石	孔断面U字状
640	白玉	4 A	D	穿孔半割	7.5	4	1.1	0.07	滑石	薄手
641	白玉	4 Aか	D	穿孔剝離半割	5	4	1.5	0.05	滑石	孔底欠、孔貫通の可能性
642	白玉	4 A	D	穿孔半割	9	4.8	2.1	0.19	滑石	
643	白玉	4 A	D	穿孔半割	7.1	6.5	2.5	0.15	滑石	
644	白玉	4 A	D	穿孔半割	7.3	4.5	1.8	0.09	滑石	
645	白玉	4 A	D	穿孔半割	10	6	2	0.2	滑石	一側面一部に縦位の擦痕
646	白玉	4 A	D	穿孔半割	7.2	3.2	2	0.08	滑石	
647	白玉	4 A	D	穿孔半割	10.5	4.8	2	0.16	滑石	一側面に縦位磨痕の研磨
648	白玉	4 A	D	穿孔半割	5	4.5	2.8	0.08	滑石	
649	白玉	4 A	D	穿孔半割	4.5	3.5	2.8	0.08	滑石	孔口欠
650	白玉	4 A	D	穿孔半割	6.5	4	1.5	0.05	滑石	
651	白玉	4 A	D	穿孔半割	5.5	4.5	2	0.06	蛇紋岩	孔断面四角
652	白玉	4 A	D	穿孔半割	6.2	4.8	2	0.09	滑石	
653	白玉	4 A	D	穿孔半割	6.4	4.5	2	0.1	滑石	孔中段に横あり
654	白玉	4 A	D	穿孔半割	9.8	7.2	2.5	0.16	滑石	一側面に彫溝痕か
655	白玉	4 A	D	穿孔半割	6.5	3.5	2.4	0.12	滑石	
656	白玉	4 A	D	穿孔半割	8.2	3.5	2	0.11	滑石	孔断面U字状
657	白玉	4 A	D	穿孔半割	5	5	1.8	0.08	滑石	孔断面U字状
658	白玉	4 A	D	穿孔半割	7	6	2.1	0.16	滑石	孔は斜行
659	白玉	4 A	D	穿孔半割	5.2	3.8	2	0.09	滑石	孔断面U字状
660	白玉	4 A	D	穿孔半割	5.5	5.5	2	0.07	滑石	
661	白玉	4 A	D	穿孔粉碎	4.5	4.2	2.2	0.05	滑石	裏面の平坦面は狭い
662	白玉	4 A	D	穿孔半割	6	2.8	2.8	0.07	滑石	孔断面U字状
663	白玉	4 A	D	穿孔半割	6.8	5	2.1	0.1	滑石	孔断面U字状
664	白玉	4 A	D	穿孔半割	9	5	2	0.14	滑石	
665	白玉	4 A	D	穿孔半割	6	3	3	0.07	滑石	一側面に彫溝痕か
666	白玉	4 A	D	穿孔半割	9	4.5	1.5	0.1	滑石	一側面に平坦面
667	白玉	4 A	D	穿孔半割	9	4	2	0.15	滑石	孔中段に横
668	白玉	4 A	D	穿孔半割	7.2	4.8	2.5	0.11	滑石	
669	白玉	4 A	D	穿孔半割	6.1	3.5	2.8	0.1	滑石	一側面に彫溝痕か
670	白玉	4 A	D	穿孔半割	5.5	3.2	2.2	0.08	滑石	
671	白玉	5 Aか	D	穿孔半割	6.2	4	1.8	0.09	滑石	孔貫通の可能性
672	白玉	4 A	D	穿孔半割	4.5	3.1	2	0.04	滑石	孔断面四角
673	白玉	4 A	D	穿孔半割	7.8	4.8	2.5	0.14	滑石	
674	白玉	5 Bか	D	穿孔半割	8.1	4.5	2	0.11	滑石	
675	白玉	5 B	D	穿孔半割	8.1	5	2	0.13	滑石	一側面に彫溝痕
676	白玉	4 A	D	穿孔半割	5.5	3.8	1.5	0.17	滑石	裏面からの調整途中
677	白玉	4 A	D	穿孔半割	5.5	3	1.9	0.15	滑石	孔底欠
678	白玉	4 A	D	穿孔半割	5.5	4	1.9	0.06	滑石	
679	白玉	4 A	D	穿孔半割	6	6	2.6	0.13	滑石	表面やや不整
680	白玉	4 A	D	穿孔半割	6.5	4.2	2.5	0.11	滑石	孔は斜行
681	白玉	4 A	D	穿孔半割	8.2	4.5	1.2	0.12	滑石	
682	白玉	4 A	D	穿孔半割	8	5.5	2	0.16	滑石	一側面に彫溝痕
683	白玉	4 A	D	穿孔剝離半割	5.5	5.5	2.6	0.17	滑石	孔底欠、一側面に彫溝痕
684	白玉か	4 A	D	穿孔剝離半割	8	5	4.2	0.16	滑石	孔は著しく斜行、孔底欠

単位 mm, 重量 g

No.	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
685	白玉	4A	D	穿孔半割	6.1	4.5	2.8	0.17	滑石	
686	白玉	4A	D	穿孔刺離	6.5	6.5	3.8	0.19	滑石	孔底欠
687	白玉	4A	P 1 内	穿孔半割	9	5	2.1	0.19	滑石	孔貫通か、一側面斜位擦痕
688	白玉	4A	P 1 内	穿孔半割	8.9	3.2	1.5	0.08	滑石	孔底欠
689	白玉	4A	P 1 内	穿孔半割	6.2	6.1	2.6	0.15	滑石	一側面に形溝痕
690	白玉	4A	P 1 内	穿孔半割	4.3	3.8	2.2	0.07	滑石	孔やや斜行
691	白玉	4A	P 1 内	穿孔半割	6.5	2.8	1.3	0.02	滑石	
692	白玉	4A	P 1 内	穿孔半割	5.5	4.4	2.2	0.1	滑石	孔断面四角
693	白玉	4A		穿孔刺離半割	10.3	6.9	3.1	0.29	滑石	3 類との中間
694	白玉	4A		穿孔刺離半割	7.8	5.2	3.1	0.21	滑石	表面やや不整、孔底欠く
695	白玉	4A		穿孔半割	9.5	4.2	1.2	0.11	滑石	孔底欠
696	白玉	4A	か	穿孔半割	8	3.8	2.1	0.1	滑石	孔残存僅か
697	白玉	4A		穿孔半割	8	3	3	0.12	滑石	
698	白玉	4A		穿孔半割	5.8	4	2.8	0.08	滑石	
699	白玉	4A		穿孔半割	8	5.9	1.9	0.15	滑石	
700	白玉	4B		穿孔刺離半割	6.7	4.9	3.1	0.16	滑石	孔やや斜行、裏孔僅か
701	白玉	4A		穿孔半割	8.4	4.2	2.3	0.15	滑石	
702	白玉	4A		穿孔半割	7.2	5	2.4	0.16	滑石	孔やや斜行
703	白玉	4A		穿孔半割	8.8	4.5	2.8	0.13	滑石	孔残存僅か
704	白玉	4A		穿孔半割	7.2	3.8	2.8	0.11	滑石	
705	白玉	4A		穿孔半割	8.4	4.1	2	0.13	滑石	孔底欠
706	白玉	4A		穿孔半割	7.2	2.5	2.3	0.11	滑石	表面やや不整
707	白玉	4A		穿孔半割	7.1	5.3	2.1	0.12	滑石	孔底欠
708	白玉	4A		穿孔半割	6.5	5	2.6	0.13	滑石	
709	白玉	4A		穿孔半割	7.8	4	1.8	0.09	滑石	
710	白玉	4A		穿孔半割	7	3.8	2.6	0.1	滑石	孔断面U字状
711	白玉	4A		穿孔半割	8.3	6.2	2.1	0.11	滑石	孔中段に横あり
712	白玉	4A		穿孔半割	7.3	3.5	2.2	0.08	滑石	孔中段に横あり
713	白玉	4A		穿孔半割	6.1	5	2	0.12	滑石	
714	白玉	4A		穿孔半割	6.9	4.1	1.3	0.06	滑石	裏面やや不整
715	白玉	4A		穿孔刺離半割	6.5	5.1	2.1	0.12	滑石	孔貫通か、5Aの可能性
716	白玉	4A		穿孔半割	6.8	5	2.3	0.12	滑石	
717	白玉	4A		穿孔半割	7.1	4.2	2.2	0.13	滑石	
718	白玉	4A		穿孔半割	8.1	4.2	1.8	0.07	滑石	
719	白玉	4A		穿孔半割	8.6	4.4	1.1	0.07	滑石	
720	白玉	4A		穿孔半割	7	4.9	1.2	0.07	滑石	
721	白玉	4A		穿孔半割	8.1	4	2.7	0.12	滑石	
722	白玉	4A		穿孔半割	5	5	2	0.1	滑石	
723	白玉	4A		穿孔刺離半割	7.8	5.1	2.2	0.06	滑石	
724	白玉	4A		穿孔半割	7.1	2.4	2.5	0.11	滑石	
725	白玉	4A		穿孔刺離半割	11.1	4.6	1.8	0.12	滑石	
726	白玉	4A		穿孔半割	7.3	4.2	1.4	0.11	滑石	
727	白玉	4A		穿孔半割	7.1	4.2	2.8	0.12	滑石	
728	白玉	4A		穿孔半割	7.4	3.8	1.8	0.1	滑石	
729	白玉	4A		穿孔半割	7.5	4	2.2	0.08	滑石	
730	白玉	4A		穿孔半割	5.8	3.9	3	0.09	滑石	
731	白玉	4A		穿孔半割	7.8	2.8	2.1	0.08	滑石	
732	白玉	4A		穿孔半割	6.8	3.2	2.2	0.08	滑石	
733	白玉	4A		穿孔半割	6	3.7	2.6	0.11	滑石	
734	白玉	4A		穿孔半割	6.3	3.5	1.9	0.07	滑石	
735	白玉	4A		穿孔刺離半割	6.1	4	2.2	0.1	滑石	
736	白玉	4A		穿孔半割	6.3	3.2	2	0.06	滑石	
737	白玉	4A		穿孔半割	5.8	4	1.5	0.06	滑石	
738	白玉	4A		穿孔半割	5.3	4	1.5	0.05	滑石	
739	白玉	4A		穿孔半割	6.1	3.2	1.6	0.05	滑石	
740	白玉	4A		穿孔半割	5.2	3.2	2	0.04	滑石	
741	白玉	4A		穿孔刺離半割	5.2	3.8	2.3	0.05	滑石	
742	白玉	4A		穿孔半割	5.9	2.1	1.8	0.06	滑石	
743	白玉	4A		穿孔半割	6.3	3.2	3	0.07	滑石	
744	白玉	4A		穿孔刺離半割	7.1	3.8	1	0.04	滑石	
745	白玉	4A		穿孔半割	8.4	3	2.2	0.07	滑石	

単位 mm、重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
746	白玉	4A		穿孔剝離半割	6.4	2.9	1.5	0.05	滑石	
747	白玉	4A		穿孔剝離半割	6.1	2.1	2	0.05	滑石	
748	白玉	4A		穿孔剝離半割	5.5	2.9	0.9	0.02	滑石	
749	白玉	4A		穿孔半割	3.5	2.6	1.4	0.02	雲母石英片岩	
750	白玉	4B		穿孔半割	9.2	6.7	2.2	0.25	滑石	
751	白玉	5A1		半割	8.2	5.3	2.9	0.26	滑石	
752	白玉	5A1		半割	11.3	5.1	7.5	0.43	滑石	孔曲がる、裏面とも不整
753	白玉	5A1		半割	10	7.1	2.6	0.24	滑石	裏面不整、孔貫通か
754	白玉	5A1		半割	8.2	7.4	2.6	0.22	滑石	裏面穿孔し直す
755	不明	5A1a		半割	10	7.8	3.1	0.38	滑石	
756	白玉	5A1			10.5	7.4	2.1	0.26	滑石	孔裏縁辺の剝離多い
757	白玉	5A1		剝離	10.1	8.9	3.6	0.35	滑石	一側面に彫溝痕か
758	白玉	5A1		穿孔剝離	7.4	6.1	1.6	0.31	滑石	孔斜め
759	白玉	5A1			9	7.9	2.9	0.31	滑石	平行二側面縦位擦痕
760	白玉	5A1			8.1	7.2	1.5	0.16	滑石	薄い、孔裏調整完了
761	白玉	5A1		穿孔剝離	10.2	6	2.8	0.32	滑石	
762	白玉	5A1			9.2	7.8	3	0.35	滑石	孔は中央を通れる
763	白玉	6A1		半割	6.8	4	1.5	0.08	滑石	側面調整完了
764	白玉	5A1		半割	6.1	5.2	2.2	0.08	滑石	孔斜め
765	白玉	5A1		剝離半割	9.4	4	2.6	0.1	滑石	裏面不整
766	白玉	5A1		半割	9.2	4.7	2	0.11	滑石	孔裏剝離あり
767	白玉	5A1		半割	10	6.5	2.4	0.3	滑石	孔裏調整完了
768	白玉	5A1		半割	9.2	6	2.3	0.23	滑石	孔裏調整完了、裏面不整
769	白玉	5A1		穿孔剝離	6.5	4.9	2.8	0.09	滑石	
770	白玉	5A1	A	半割	10	6.2	1.8	0.18	滑石	孔裏調整完了か
771	白玉	5A1	A	半割	8	5.4	3	0.24	滑石	孔裏調整完了
772	白玉	5A1	A	半割	9.1	5	2.8	0.17	滑石	一側面斜位擦痕の研磨か
773	白玉	5A1	A	半割	6.7	4.1	2.4	0.08	滑石	孔裏調整完了
774	白玉	5A1	A	半割	6.5	3.2	2.8	0.11	滑石	孔裏調整完了
775	白玉	5A1	A	半割	9	4.7	2.8	0.18	滑石	
776	白玉	5A1	A	剝離半割	7	5	2.6	0.11	滑石	孔裏調整完了
777	白玉	5A1	A	半割	6.1	3.1	2.5	0.08	滑石	
778	白玉	5A1	A	半割	8.9	5.3	1.8	0.15	滑石	孔裏調整完了
779	白玉	5A1	B	半割	8.5	5.5	2.2	0.18	滑石	
780	白玉	5A1	B	半割	8.6	4.4	2.1	0.13	滑石	裏面やや不整
781	白玉	5A1	B	半割	6.9	5	2	0.11	滑石	孔裏調整完了
782	白玉	5A1	B	半割	6.8	3	2	0.05	滑石	一側面に彫溝痕か
783	白玉	5A1	B	半割	5	4	1.8	0.04	滑石	裏面やや不整
784	白玉	5A1	B	半割	5	3.9	1.8	0.04	滑石	孔裏調整完了
785	白玉	5A1	C	半割	9	5.7	2.1	0.21	滑石	孔裏調整途中か
786	白玉	5A1	C	半割	9.2	6.3	2.1	0.17	滑石	孔裏調整完了か
787	白玉	5A1	C	半割	8.8	4	3.1	0.18	滑石	孔裏調整完了か
788	白玉	5A1	C	半割	9.1	5.3	2.7	0.15	滑石	一側面に彫溝痕か
789	白玉	5A1	C	半割	7.3	5.1	2.7	0.11	滑石	孔裏調整完了
790	白玉	5A1	C	剝離半割	8.9	5.9	2.6	0.2	滑石	表面不整
791	白玉	5A1	C	半割	8.4	4.8	2.3	0.12	滑石	孔裏調整完了
792	白玉	5A1	C	半割	6	5.6	2.1	0.11	滑石	孔裏調整完了
793	白玉	5A1	C	半割	8.2	4.1	2.6	0.13	滑石	孔裏調整完了か
794	白玉	5A1	C	半割	6.7	6.1	2.1	0.13	滑石	孔裏調整完了か
795	白玉	5A1	C	半割	8.5	5	2.8	0.14	滑石	裏面やや不整
796	白玉	5A1	C	半割	5.8	4.1	2.6	0.12	滑石	孔裏調整完了か
797	白玉	5A1	C	半割	7.1	3.4	2	0.08	滑石	
798	白玉	5A1	C	半割	6.2	4.3	1.6	0.07	滑石	一側面に彫溝痕か、裏面不整
799	白玉	5A1	C	半割	6.2	4.2	1.5	0.06	滑石	
800	白玉	5A1	C	半割	5.4	5.2	2.1	0.07	滑石	裏面欠
801	白玉	5A1	C	半割	5.5	3	2.1	0.07	滑石	孔残存僅か
802	白玉	5A1	C	半割	6.1	4.1	1.2	0.04	滑石	側面調整途中
803	白玉	5A1	C	半割	8.7	4.3	3.1	0.07	滑石	孔不明瞭
804	白玉	5A1	C	半割	8.6	5.8	3.1	0.17	滑石	裏面に別孔あり
805	白玉	5A1	C	剝離半割	7.5	3.8	1.9	0.04	滑石	不明瞭
806	白玉	5A1	C	半割	7	3.7	1.8	0.06	滑石	

単位 mm、重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
807	白玉	5A1	C	半割	7.1	6.2	2.5	0.17	滑石	
808	白玉	5A1	C	半割	7.2	4.6	3	0.14	滑石	孔裏調整未了
809	白玉	5A1	C	半割	5.9	5	2.5	0.14	滑石	孔斜行
810	白玉	5A1	C	穿孔剝離	7.6	4.5	2	0.08	滑石	孔裏調整未了
811	白玉	5A1	C	半割	6.5	3.9	1.6	0.05	滑石	一側面研磨か、孔裏未調整
812	白玉	5A1	C	半割	8.7	3.8	3	0.15	滑石	孔裏調整未了
813	白玉	5A1	C	半割	9.2	4.2	2.3	0.13	滑石	
814	白玉	5A1	C	剝離	8	6.7	2	0.11	滑石	
815	白玉	5A1	D	半割	10.9	5.4	2.1	0.2	滑石	孔不能で裏面調整未了
816	白玉	5A1	D	半割	9.2	5.3	1.9	0.14	滑石	孔やや不整
817	白玉	5A1	D	半割	8.5	4	2.2	0.15	滑石	孔裏調整時に欠損
818	白玉	5A1	D	半割	8.1	3.4	2.8	0.11	滑石	孔裏調整未了
819	白玉	5A1	D	半割	9	4.2	1.8	0.08	滑石	
820	白玉	5A1	D	半割	8.7	5.2	2	0.11	滑石	孔裏調整未了
821	白玉	5A1	D	半割	7.6	6.2	1.7	0.09	滑石	
822	白玉	5A1	D	半割	8.8	4.7	2.2	0.11	滑石	側面調整途中
823	白玉	5A1	D	半割	8.5	3.3	1.5	0.06	滑石	側面調整途中
824	白玉	5A1	D	半割	8	3.5	3.6	0.1	滑石	孔裏調整未了
825	白玉	5A1	D	半割	9.5	5.3	2.8	0.17	滑石	
826	白玉	5A1	D	半割	8.7	5.4	1.5	0.11	滑石	側面調整途中か
827	白玉	5A1	D	半割	7.3	4.6	2	0.13	滑石	側面調整途中か
828	白玉	5A1	D	剝離半割	8.2	4.2	2.4	0.1	滑石	
829	白玉	5A1	D	半割	7.9	5	2.1	0.11	滑石	孔裏調整未了
830	白玉	5A1	D	剝離半割	8.3	4.1	2.1	0.07	滑石	密孔の痕跡あり
831	白玉	5A1	D	半割	6.8	3.6	1.9	0.07	滑石	孔不明瞭
832	白玉	5A1	D	半割	7.6	5	2.4	0.14	滑石	孔裏調整未了
833	白玉	5A1	D	剝離半割	6.2	3	1	0.03	滑石	
834	白玉	5A1	D	半割	6.5	6	2	0.12	滑石	一側面縦位擦痕と研磨か
835	白玉	5A1	D	半割	5.9	5	2.3	0.13	滑石	
836	白玉	5A1	D	半割	8.7	4.8	1.6	0.1	滑石	孔裏調整未了
837	白玉	5A1	D	半割	7	4.2	1.9	0.08	滑石	側面調整途中か
838	白玉	5A1	D	半割	6.1	4.6	1.9	0.05	滑石	孔裏調整未了
839	白玉	5A1	D	半割	8	4.3	2	0.06	滑石	孔裏調整未了
840	白玉	5A1	D	半割	4.9	3.6	1.7	0.04	滑石	側面調整途中か
841	白玉	5A1	D	半割	4.2	4.1	1.8	0.04	滑石	
842	白玉	5A1	P1内	半割	6.2	3.9	2.1	0.07	滑石	
843	白玉	5A1	P1内	半割	7.5	5	2.8	0.11	滑石	孔裏調整未了
844	白玉	5A1	P1内	半割	7.8	4.6	1.8	0.09	滑石	側面調整途中か
845	白玉か	5A1	貯蔵穴内	半割	10.2	8.2	3.6	0.38	滑石	表裏面とも不整
846	白玉	5A1	貯蔵穴内	剝離	9	5.3	2.9	0.2	滑石	一側面に彫溝痕
847	白玉	5A1	貯蔵穴内	半割	8.3	5.2	2.3	0.14	滑石	側面調整途中
848	白玉か	5A1	貯蔵穴内	半割	5.2	5	2.4	0.09	滑石	残存の2側面に縦位擦痕
849	白玉	5A1	貯蔵穴内	半割	5.1	3	2.2	0.05	滑石	4類の可能性
850	白玉	5A1	半割	8.2	5.1	3.2	0.2	滑石	孔裏調整未了	
851	白玉	5Bか	半割	7.6	6.5	2.5	0.18	滑石	孔裏一部欠く	
852	白玉	5A1	半割	7	7	2.6	0.19	滑石	孔斜行	
853	白玉	5A1	半割	8.2	5.6	2.3	0.16	滑石	孔裏調整完了	
854	白玉	5A1	剝離半割	8.4	5.8	2.6	0.11	滑石		
855	白玉か	4Aか	半割	13.1	7.1	1.2	0.2	滑石	孔底欠、孔裏面不整	
856	白玉	5A1	半割	6.9	6.7	2.1	0.11	滑石		
857	白玉	5A1	半割	8.7	6.1	2.2	0.2	滑石	孔やや斜行	
858	白玉	5A1	半割	7.1	6	2.9	0.17	滑石	孔裏調整未了	
859	白玉	5A1	半割	8.2	3.9	2.5	0.15	滑石	孔裏調整未了	
860	白玉	5A1	半割	9	4.5	1.7	0.11	滑石	孔裏調整未了	
861	白玉	6A	半割	6.8	3.6	1.2	0.07	滑石	断面凹内、側面調整やや難	
862	白玉	5A1	剝離半割	8.1	4.1	3	0.1	滑石	裏面欠、表面やや不整	
863	白玉	5A1	剝離半割	5.6	3.5	4.1	0.18	滑石	厚手、孔裏調整未了	
864	白玉	5A1	剝離半割	7.1	4.8	3.1	0.11	滑石	裏面大半欠	
865	白玉	5A1	半割	8	2.6	1.6	0.07	滑石	孔裏調整未了	
866	白玉	5A1	半割	5.6	4.4	1.8	0.05	滑石		
867	白玉	5A1	半割	6.7	4.8	1.4	0.06	滑石	孔裏調整未了	

単位 mm、重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
868	白玉	5 A 1		半割	5.3	5.1	2.1	0.09	滑石	孔裏調整完了
869	白玉	5 A 1		半割	7.2	4.9	2.6	0.13	滑石	
870	白玉	5 A 1		半割	6.1	5.5	1.6	0.08	滑石	孔裏調整完了
871	白玉	5 A 1		剝離半割	5.8	5	1.9	0.06	滑石	
872	白玉	5 A 1		半割	7.8	3.8	2.1	0.07	滑石	孔裏調整完了
873	白玉	5 A 1		剝離半割	6.3	3.2	3.4	0.1	剝離	孔やヤ斜行
874	白玉	5 A 1		半割	6.5	6	2.5	0.11	滑石	孔裏調整完了
875	白玉	5 A 1		半割	8.1	4.4	2.1	0.08	滑石	孔裏調整完了
876	白玉	5 A 1		半割	8.7	4.4	1.8	0.13	滑石	孔裏調整完了
877	白玉	5 A 1		剝離半割	5.4	4.8	1.2	0.05	滑石	裏面欠
878	白玉	5 A 1		半割	4.4	4.4	1.3	0.04	滑石	
879	白玉	5 A 1		半割	7.3	3.9	2.8	0.11	滑石	
880	白玉	5 A 1		半割	7	4.5	3.8	0.08	滑石	孔やヤ斜行
881	白玉	5 A 1		半割	5.8	4.8	2.9	0.11	滑石	裏面ともやや不整
882	白玉	5 A 1		剝離半割	8.3	4.3	1.8	0.09	滑石	裏面欠
883	白玉	5 A 1		半割	6.6	3.5	2.2	0.05	滑石	孔裏調整完了
884	白玉	5A16		剝離半割	5.8	3.8	1.7	0.04	滑石	裏面欠
885	白玉	5 A 1		剝離半割	7.1	3	1.6	0.04	滑石	裏面欠
886	白玉	5 B 1		剝離	7.1	6.5	2.7	0.06	滑石	裏面大平欠、孔裏調整完了
887	白玉	5 B 1		剝離半割	8.3	2.6	1.6	0.05	滑石	孔裏調整完了
888	白玉	5 B 1		半割	7.1	4.9	2	0.08	滑石	断面三角、孔裏調整完了
889	白玉	6 A		完形	4	4	2	0.05	滑石	側面調整完了、断面四角
890	白玉	6 A		完形	3.5	3.5	2.2	0.03	滑石	側面調整完了、断面六角形
891	白玉	6 A		完形	4.3	4.3	2	0.05	滑石	側面調整完了、断面六角
892	白玉	6 A		完形	4.1	3.9	3.1	0.06	滑石	側面調整完了、断面六角
893	白玉	6 A		完形	4.2	4.2	3.1	0.09	滑石	側面調整完了、断面六角
894	白玉	6 A		完形	3.5	3.5	1.7	0.03	滑石	側面調整完了、断面六角
895	白玉	6 A		完形	3.8	3.8	2.8	0.06	滑石	側面調整完了、断面六角
896	白玉	6 A		完形	4	4	2.1	0.05	滑石	側面調整完了、断面六角
897	白玉	6 A		完形	4.1	4.1	2	0.05	滑石	側面調整完了、断面六角
898	白玉	6 A		半割	5.7	4.4	2.3	0.1	滑石	側面調整途中
899	白玉	6 A		半割	5.2	3	2.1	0.05	滑石	側面調整完了、断面台形
900	白玉	6 A		半割	5	2.2	1.4	0.03	滑石	側面調整完了、断面六角
901	白玉	6 A	貯蔵穴内	一部欠損	4	4	2.8	0.05	滑石	側面調整完了、断面台形
902	白玉	6 A	貯蔵穴内	半割	5	3.4	1.7	0.03	滑石	側面調整完了、断面台形
903	白玉	6 A	貯蔵穴内	半割	5.1	3	1.3	0.03	滑石	側面調整完了、断面六角
904	白玉	6 A	貯蔵穴内	半割	5	2.5	2	0.04	滑石	側面調整完了、断面六角
905	白玉	6 A	貯蔵穴内	半割	5.2	3	1.8	0.04	滑石	側面調整完了、断面四角
906	白玉	6 A	貯蔵穴内	半割	4.1	2	2.6	0.03	滑石	側面調整完了、断面六角
907	白玉	6 A	貯蔵穴内	半割	4	1.9	3.1	0.03	滑石	側面調整完了、断面台形
908	白玉	6 A	貯蔵穴内	半割	2.8	1.2	2	0.0	滑石	側面調整完了、断面六角
909	白玉	6 A		半割	6.2	4.6	2.1	0.1	滑石	側面調整途中
910	白玉	6 A		半割	7	4.4	2	0.11	滑石	側面調整途中
911	白玉	6 A		半割	6.3	3.2	2.4	0.06	滑石	側面調整完了、断面四角
912	白玉	6 A		剝離半割	5.6	3.6	1.9	0.06	滑石	側面調整完了、断面台形
913	白玉	6 A		半割	4.3	3	2	0.03	滑石	側面調整完了、断面四角
914	白玉	6 A		半割	4.6	2.6	1.7	0.02	滑石	側面調整完了、断面台形
915	白玉	6 A		半割	4.2	2.1	1.7	0.02	滑石	側面調整完了、断面四角
916	白玉	6 A		半割	4.9	2.3	1.1	0.02	滑石	側面調整途中
917	白玉	6 A		半割	4.6	3	1.3	0.03	滑石	側面調整完了、断面台形
918	白玉	6 A		半割	3.2	2	1.9	0.02	滑石	側面調整完了、断面六角
919	白玉	6 A		半割	4.3	2.2	2.4	0.03	滑石	側面調整完了、断面六角
920	白玉	6 A		半割	3.7	2.4	2.4	0.04	滑石	側面調整完了、断面台形
921	白玉	6 A		半割	3.8	2.1	2.3	0.04	滑石	側面調整完了、断面六角
922	白玉	6 A		半割	4.1	2.5	1.9	0.03	滑石	側面調整完了、断面六角
923	白玉	6 A		半割	3.2	1.8	2	0.03	滑石	側面調整完了、断面四角
924	白玉	6 A E		半割	7.2	3.5	3	0.16	滑石	側面調整完了、断面四角
925	白玉	6 A E		半割	6	2.5	1.5	0.05	滑石	側面調整完了、断面四角
926	白玉	6 A E		半割	5.8	2.2	2.8	0.07	滑石	側面調整完了、断面台形
927	白玉	6 A E		半割	5	2	1.5	0.05	滑石	側面調整完了、断面台形
928	白玉	6 A E		半割	5	2.2	1.5	0.02	滑石	側面調整途中



単位 mm、重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
929	白玉	6 A	E	半割	4.8	2.2	1.5	0.03	滑石	側面調整完了、断面台形
930	白玉	6 B		半割	4.2	2	2.2	0.04	滑石	側面調整完了、断面六角
931	白玉	6 B		半割	5.2	2	2.5	0.04	滑石	側面調整途中か
932	勾玉か		B	半割か	11.5	6.8	5.5	0.75	滑石	側面調整完了
933	勾玉か		B	半割か	10	7.5	3.8	0.5	滑石	側面調整完了

No157以降は実測図なし。

## 福島鹿嶋下遺跡10号住居

単位 mm、重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
4	割片か				47	27	9.5	13.17	滑石	形構成あり
5	不明未製品			完形	45	23	9	18.79	滑石	側面に研磨
6	白玉	1			11.5	10	4	1.15	滑石	側面一部に研磨
7	白玉	1			11.5	13.5	5	0.67	滑石	
8	白玉	5 A 1	西寄り	完形	11	12	2.5	0.53	滑石	側面一部に研磨
9	白玉	5 A 1	西側	完形	12.5	11	2	0.48	滑石	
10	白玉	5 A 1		完形	11	10	3	0.41	滑石	側面一部に研磨
11	白玉	5 A 1		完形	10	8	2.5	0.36	滑石	
12	白玉	5 A 1		完形	9	8	2.5	0.22	滑石	
13	白玉	5 A 1	東寄り	完形	10	10	3	0.36	滑石	
14	白玉	5 A 1	西寄り	完形	11	11	3	0.53	滑石	表面やや不整、側面研磨
15	白玉	6 A		完形	6	5.5	2	0.1	滑石	
16	鏡形模造品か			一辺欠く	22	17	3	2	滑石	
17	白玉	3		穿孔半割	8.8	4.2	2.3	0.22	滑石	
18	白玉	4 A		穿孔半割	8	6	2.2	0.23	滑石	
19	白玉	4 A		穿孔半割	13	6	2	0.36	滑石	
20	白玉	5 A		半割	7.2	4	2	0.1	滑石	
21	白玉	5 A		半割	8	4	2.2	0.11	滑石	
22	白玉	6 A		半割	5.3	2.1	1	0.02	滑石	
23	白玉	4 A		穿孔半割	8.2	4.8	3.2	0.23	滑石	
24	白玉	4 A		穿孔半割	8	4	2	0.08	滑石	
25	白玉	5 A		半割	6.2	3.2	2.2	0.09	滑石	
26	白玉	6 A		半割	3.5	1.5	2	0.03	滑石	
27	白玉	6 A		半割	4	2.2	2	0.04	滑石	
28	白玉	6 A		半割	2.2	2.2	1.5	0.07	滑石	
29	白玉	6 A		半割	2	2.8	3	0.08	滑石	

No17以降は実測図なし。

## 福島鹿嶋下遺跡11号住居

単位 mm、重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
15	白玉	1	埋没土		9	10	4	0.5	滑石	
16	白玉	1	B		8	9	3	0.26	滑石	
17	白玉	1	A		8	5	2.5	0.18	滑石	
18	白玉	1	A		7	5.5	3	0.24	滑石	
19	白玉	4 A	A	完形	7	6	3	0.19	滑石	
20	白玉	4 B	A	完形	9	8.5	3.5	0.41	滑石	
21	白玉	5 A 1	埋没土	完形	10	10	2.5	0.37	滑石	
22	白玉	5 A 1	B	完形	10	10	2	0.34	滑石	
23	白玉	5 A 1	A	完形	7.5	8.5	3.5	0.28	滑石	
24	白玉	5 A 1	炬付近	完形	7	7.5	3	0.26	蛇紋岩	一側面に彫磨痕か
25	白玉	5 A 1	炬付近	完形	7	8.5	3	0.21	滑石	
26	白玉	5 A 1	埋没内	完形	10	10	3.5	0.63	滑石	側面一部に研磨
27	白玉	6 A	B	完形	5	5.5	3.5	0.1	滑石	
28	白玉	6 A	B	完形	3	2.5	2.5	0.04	滑石	
29	白玉	6 A	北東寄り	完形	4	2.5	2	0.06	滑石	
30	白玉	6 A		完形	3	3	2	0.02	滑石	
31	白玉	6 A		完形	3.5	3.5	1.5	0.03	滑石	
32	不明模造品		埋没土		14	6	1	0.22	滑石	刺彫か
33	鏡形模造品		北寄り	完形	24	24	4	5	滑石	欠失は調査時
34	白玉	3		穿孔半割	7.2	4	2	0.12	滑石	
35	白玉	3		穿孔半割	6.8	3.2	2	0.08	滑石	
36	白玉	3		穿孔半割	6.8	4.2	1.5	0.1	滑石	

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
37	白玉	3		穿孔半割	6	4.5	2.1	0.11	磨石	
38	白玉	3		穿孔半割	6.5	4.5	2.5	0.14	磨石	
39	白玉	3	B	完形	9	8	4	0.4	磨石	L字状2側面に彫溝痕
40	白玉	3	B	穿孔半割	8.2	4	1.8	0.16	磨石	
41	白玉	4 A	A	穿孔半割	4.8	4.8	2	0.06	磨石	
42	白玉	4 A	A	穿孔剝離半割	8.5	7	1.8	0.21	磨石	孔貫通の可能性
43	白玉	4 A	A	穿孔半割	7.5	6	4.1	0.3	磨石	裏面に彫溝痕
44	白玉	4 A	A	穿孔剝離半割	7.4	5.4	2.5	0.12	磨石	孔貫通の可能性
45	白玉	4 A	A	穿孔半割	10.2	5	2.5	6	磨石	
46	白玉	4 A	A	穿孔半割	7.8	4.3	2.5	0.17	磨石	一側面に彫溝痕か
47	白玉	4 A	A	穿孔半割	6	3.9	2	0.1	磨石	
48	白玉	4 A	A	穿孔半割	7	4	2.8	0.13	磨石	
49	白玉	4 A	A	穿孔半割	8	5	2.8	0.17	磨石	裏面に彫溝痕
50	白玉	4 A	A	穿孔半割	10	3.5	1.6	0.13	磨石	孔貫通の可能性
51	白玉	4 A	A	穿孔半割	9.5	3	2.5	0.11	磨石	孔貫通の可能性
52	白玉	4 A	A	穿孔半割	7	3.5	2.2	0.13	磨石	
53	白玉	4 A	A	穿孔半割	8.5	4	2	0.09	磨石	
54	白玉	4 A	A	穿孔半割	7	3.8	2	0.11	磨石	
55	白玉	4 A	A	穿孔半割	6.5	4	2	0.07	磨石	
56	白玉	4 A	A	穿孔半割	5.4	3.5	2	0.06	磨石	
57	白玉	4 A	A	穿孔半割	6.2	4	2	0.2	磨石	
58	白玉	4 A	A	穿孔半割	9.4	4.5	2	0.17	磨石	
59	白玉	4 A	A	穿孔半割	9.2	4.5	2.5	0.14	磨石	
60	白玉	4 A	A	穿孔半割	7.8	4.2	2.8	0.16	磨石	裏面にL字状彫溝痕
61	白玉	4 A	A	穿孔半割	7.8	3.2	2.4	0.08	磨石	
62	白玉	4 A	A	穿孔半割	5.5	4.2	3	0.11	磨石	
63	白玉	4 A	A	穿孔半割	6.5	5.5	1.8	0.12	磨石	
64	白玉	4 A	A	穿孔半割	6.5	4.5	2.1	0.11	磨石	
65	白玉	4 A	A	穿孔半割	8	5	1.8	0.1	磨石	
66	白玉	4 A	A	穿孔半割	6.2	4	3	0.15	磨石	
67	白玉	4 A	A	穿孔半割	6	3.5	3	0.11	磨石	
68	白玉	4 A	A	完形	4.5	3	1.8	0.04	磨石	
69	白玉	4 A	A	穿孔半割	9.5	6.5	3.2	0.27	磨石	
70	白玉	4 A	A	穿孔半割	10.5	6	2.5	0.26	磨石	
71	白玉	4 A	A	穿孔半割	8.5	3	2.1	0.09	磨石	
72	白玉	4 A	A	穿孔半割	7.5	4	2.8	0.12	磨石	一側面研磨
73	白玉	4 A	A	穿孔半割	6.8	4	2	0.13	磨石	L字状2側面研磨
74	白玉	4 A	A	穿孔半割	7	4.2	3.2	0.15	磨石	
75	白玉	4 A	A	穿孔半割	6.2	4.2	1.5	0.07	磨石	
76	白玉	4 A	A	穿孔半割	7	6	2.1	0.12	磨石	
77	白玉	4 A	A	穿孔半割	6.2	5	2.1	0.11	磨石	
78	白玉	4 A	A	穿孔半割	7.9	5.5	3	0.12	磨石	
79	白玉	4 A	A	穿孔半割	6	4.2	2.5	0.11	磨石	一側面研磨
80	白玉	4 A	A	穿孔半割	8	3.8	2.5	0.1	磨石	
81	白玉	4 A	A	穿孔半割	8.5	5.1	2	0.12	磨石	
82	白玉	4 A	A	穿孔半割	6	4.5	2	0.08	磨石	
83	白玉	4 A	A	穿孔半割	6.5	3	1.5	0.07	磨石	
84	白玉	4 A	A	穿孔半割	7.2	3.9	2	0.08	磨石	
85	白玉	4 A	A	穿孔半割	6	4	2.5	0.08	磨石	
86	白玉	4 A	A	穿孔半割	4	3.2	1.8	0.02	磨石	
87	白玉	5 A 1		半割	8.2	8	3.5	0.34	磨石	裏面不整
88	白玉	5 A 1		半割	7.2	3.2	2.9	0.07	磨石	
89	白玉	5 A 1		完形	7.2	6	2.8	0.21	磨石	
90	白玉	5 A 1		半割	7.5	5	3.5	0.2	磨石	一側面に彫溝痕
91	白玉	5 A 1		半割	8	5.5	2.5	0.2	磨石	
92	白玉	5 A 1		剝離半割	7	7	2.5	0.14	磨石	
93	白玉	5 A 1		半割	7.2	5.2	2.5	0.14	磨石	
94	白玉	5 A 1		半割	6	4	2	0.06	磨石	
95	白玉	5 A 1		半割	8.5	4.5	1	0.07	磨石	
96	白玉	5 A 1		半割	7	3.8	1.5	0.09	磨石	
97	白玉	5 A 1		剝離半割	7	7	2.5	0.18	磨石	

単位 mm、重量 g

No	種類	タイプ	位置	破損	長さ	幅	厚み	重量	石材	備考
98	白玉	5 A 1		半割	6	3	3	0.07	滑石	
99	白玉	6 A		半割	4	2	1.8	0.02	滑石	断面六角形
100	白玉	6 A		半割	6.9	4.2	1.5	0.07	滑石	断面四角
101	白玉	6 A		半割	3.8	2	1.1	0.03	滑石	断面台形
102	白玉	6 A		半割	4.5	1.5	1.5	0.04	滑石	断面四角
103	白玉	6 A		半割	4	1.8	1.2	0.03	滑石	断面台形
104	白玉	6 A		半割	7.2	3	3	0.11	滑石	表面やや不整。断面台形
105	白玉	6 A		半割	6	2.5	1.5	0.04	滑石	
106	白玉	6 A		完形	2.8	2.8	1.5	0.01	滑石	
107	白玉	6 A 1		半割	7.5	6	3	0.3	滑石	

No.34以降は実測図なし。

- \* 玉類の出土位置を示すA～Dは、セクションベルトで4分割された住居跡の南または南東側をAとし、以降時計回りの方向にB以下のアルファベットを付けた。
- \* 玉類の製作工程を示すための分類は、『竹田遺跡』藤岡市教育委員会1978 を参照して、以下の基準によった。
  - 1類：上下両面を平坦に研磨した板状品。形割りを行って白玉の原型を作り出す段階。
  - 2類：中心部に穿孔が開始された段階。
  - 3類：穿孔がほぼ1/2まで進行した段階。
  - 4類：穿孔が終了する直前で中断されている段階。技法的にA・Bの2様式が存在する。
    - 4 A類：1方向より穿孔する技法。
    - 4 B類：3/4程度まで穿孔した後、反対面から穿孔する技法。
  - 5類：穿孔は終了したが側面部が未調整の段階。4 A類の穿孔技法をうけ、次の2分が可能である。
    - 5 A 1：1方向より穿孔する技法。
    - 5 A 2：1方向より穿孔する技法だが、穿孔終了間際に、反対方向から孔の周辺部を調整する。
  - 6類：側面部を調整・研磨する段階。第5行程の技法を継起した6 A 1・6 A 2・6 Bがある。



# 写真図版





1 田藤塚原道跡遺景（東から）



2 田藤塚原道跡遺景（上空から）



3 田藤塚原道跡遺景（1・2号墳）



1 福島駒形遺跡遠景（東から）



2 福島駒形遺跡遠景（西から）



3 福島聖鳩下遺跡遠景（西から）





1 1号住居 全景



2 1号住居 炉E-E'断面



3 2号住居 全景



4 2号住居 炉E-E'断面



5 2号住居 2号炉F-F'断面



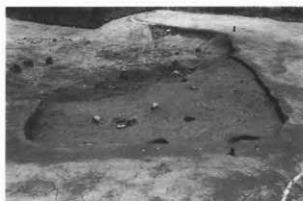
6 3・4号住居 全景



7 3号住居 炉F-F'断面



8 4号住居 遺物出土状態



1 5号住居 全景



2 5号住居 および遺物出土状態



3 5号住居 A-A'断面



4 6号住居 全景



5 6号住居 遺物出土状態



6 6号住居 炭化材出土状態



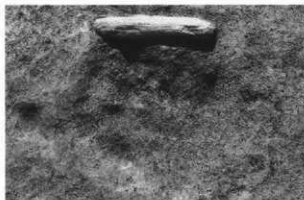
7 6号住居 1号炉E-E'断面



8 6号住居 2号炉



1 6号住居 4号炉H-H'断面



2 6号住居 1号炉



3 7号住居 全景



4 7号住居 遺物出土状態



5 7号住居 遺物



6 7号住居 炉D-D'断面



7 8号住居 全景



8 8号住居 遺物出土状態



1 8号住居 遗物出土状态



2 9号住居 全景



3 10号住居 全景



4 10号住居 遗物出土状态



5 10号住居 遗物出土状态



6 10号住居 贮藏穴



7 10号住居 炉F-F'断面



8 10号住居 A-A'断面



1 11号住居 全景



2 11号住居 遺物出土状態



3 11号住居 貯藏穴内遺物出土状態



4 11号住居 貯藏穴



5 12号住居 全景



6 12号住居 遺物出土状態



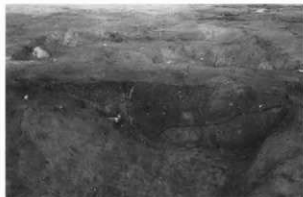
7 13号住居 全景



8 13号住居 遺物出土状態



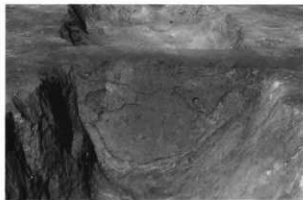
1 方形周溝墓 凹形周溝狀遺構全景



2 方形周溝墓 A-A' 断面



3 方形周溝墓 B-B' 断面



4 方形周溝墓 C-C' 断面



5 4号鼎



1 1号墳調査前状況(東から)



2 石室周辺の転石(南から)



3 全景(東から)



4 全景(南から)



5 基壇(西から)



6 東側周溝(南から)



7 西側周溝(南から)



1 2号墳調査前状況(南から)



2 閉塞石



3 全景(東から)



4 石室全景(南から)



5 石室全景(北から)



6 西側裏込め



7 東側裏込め





1 2号墳西側羨道側壁



2 西側玄室側壁



3 東側玄室側壁



4 東側羨道側壁



5 西側墓込め断面



6 東側墓込め断面



7 基壇敷石



8 敷石下



1 3号墳調査前状況(南から)



2 石室側面(東から)



3 石室全景(南から)



4 石室側面(西から)



5 羨道



6 西側羨道側壁



7 西側玄室側壁



1 3号填石室全景



2 東側裏込め下



3 石室内遺物出土状態



4 東側女室側壁



5 東側護道側壁



6 基壇散石



7 散石下



1 4号墳調査前状況（東から）



2 調査前状況（西から）



3 墳丘上堆積状況



4 墳丘上堆積状況



5 墳丘上堆積状況



6 羨門閉塞状況（南から）



7 羨門閉塞状況（北から）



1 4号墳全景 (南から)



2 4号墳と笹森稲荷神社古墳 (北西から)



3 上段貼石 (北側)



4 上段貼石 (西側)



5 上段貼石 (東側)



1 4号墳石室正面



2 前庭東側



3 前庭西側



4 前庭東脇石積み



5 前庭西脇石積み



1 4号墳玄室



2 奥壁



3 東側玄室側壁と奥壁



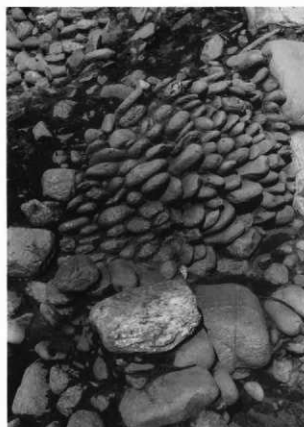
4 西側玄室側壁と奥壁



5 東側玄室と堀部



6 西側玄室と堀部



1 4号墳狭門西脇



2 狭門東脇



3 奥壁西側最上段



4 西側裏込め



5 東側裏込め



6 西側裏込め





1 4号墳貼石と墳丘内石組



2 東側墳丘内石組



3 墳丘F'断面と墳丘内石組



5 墳丘F'断面



4 西側墳丘内石組崩落状態



7 東側墳丘内石組



6 西側墳丘内石組崩落状態



1 4号墳奥壁上段



2 石室石材の割れ



3 石室石材の割れ



4 石室石材の割れ



5 墳丘内石列



6 墳丘内石組と石列



7 墳丘F断面



8 墳丘F'断面



1 4号墳墳丘内石組最下段（北から）



2 奥壁外側（北から）



3 奥壁最下段と石室（北から）



4 基壇敷石（北から）



5 敷石断面



6 墳丘下土层断面



1 5号墳調査前状況(南東から)



2 西御墳丘上A-A'断面



3 石室全景



4 墳丘A-A'断面



5 閉塞断面



6 奥壁外側



7 東側玄門と側壁



1 5号墳石室最下段



2 西側羨門跡



3 奥壁最下段



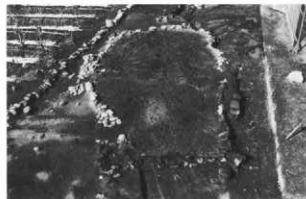
4 西側御壁裏



5 敷石断面



6 基壇敷石 (南から)



7 礎敷き下 (南から)



1 6号墳調査前状況（西から）



2 全景（西から）



3 石室全景（南から）



4 後門および閉塞



5 奥壁裏込め



6 墓石側面



1 6号墳石室全景



2 西側玄室側壁および奥壁



3 東側玄室側壁および奥壁



4 西側羨道側壁



5 奥壁



6 東側玄門および玄室側壁



7 東側羨道側壁



1 6号墳全景



2 石室正面



3 石室最下段 (南から)



4 西側基込め



5 西側葺き石



6 基壇敷石最下段 (南から)



7 礎敷き下 (南から)





1 7号墳全景



2 周堀内遺物出土状態(北から)



3 周堀断面



4 4号墳簡易貫入試験



5 4号墳墳丘試料採取



6 4号墳調査風景



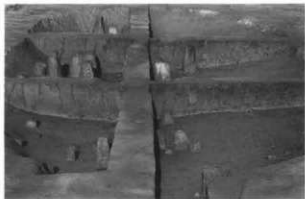
1 1号特殊土坑 全景



2 1号特殊土坑 断面



3 2号特殊土坑 遗物



4 2号特殊土坑 断面



5 3号特殊土坑 断面



6 4号特殊土坑 遗物



7 5号特殊土坑 断面



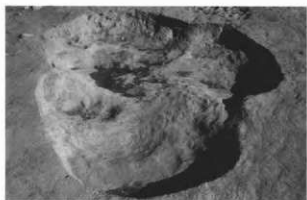
8 5号特殊土坑 断面



1 1号土坑 全景



2 1号土坑 断面



3 2号土坑 全景



4 2号土坑 断面



5 3号土坑 全景



7 5·6·7号土坑 全景



6 8号土坑 断面



1 13·14号土坑 全景



2 15号土坑 全景



3 16号土坑 断面



4 19号土坑 全景



5 21号土坑 全景



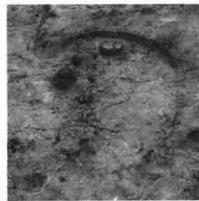
6 22号土坑 全景



7 23号土坑 露出土状熊



8 25号土坑 全景



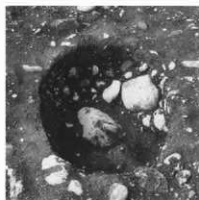
9 26号土坑 全景



10 27号土坑 全景



1 28号土坑 断面



2 29号土坑 全景



3 30-31号土坑 全景



4 32号土坑 全景



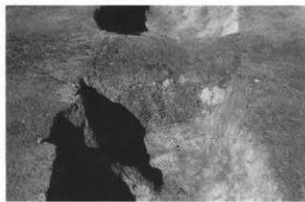
5 33号土坑 全景



6 35号土坑 断面



7 1号溝 全景



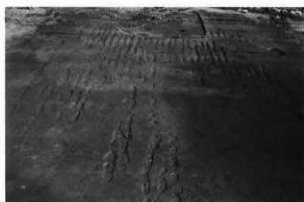
8 2号溝 断面



9 3号溝 全景



1 2号畠



2 3号畠



3 3号畠



4 IV区全景



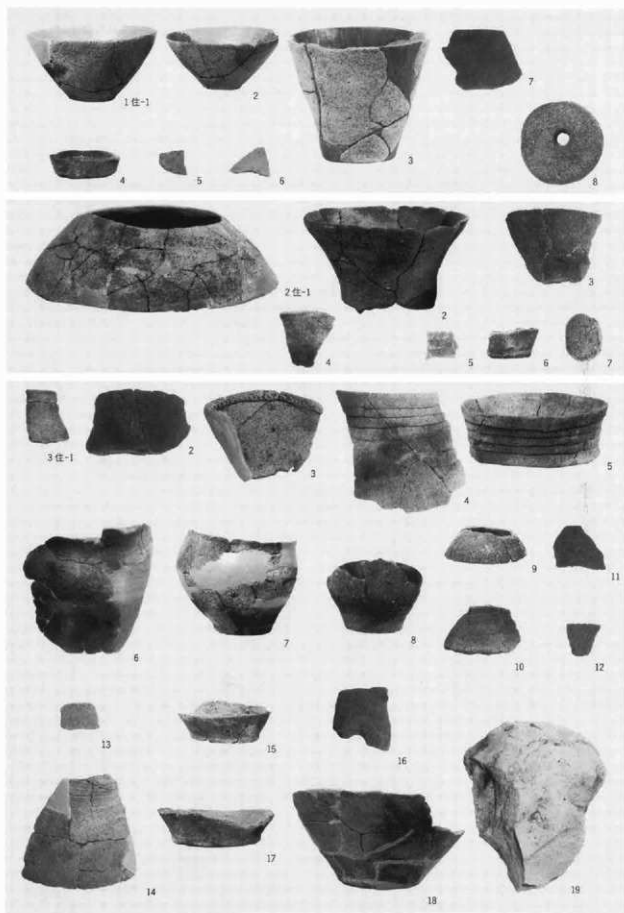
5 B地点試掘



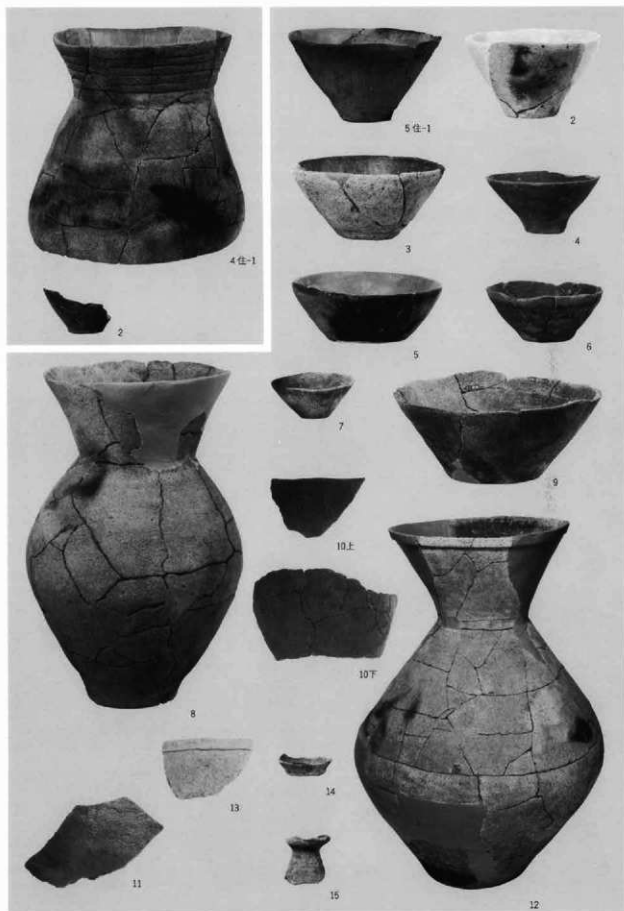
6 A地点暗渠跡



7 A地点As-B下全景



1～3号住居出土遺物



4・5号住居出土遺物

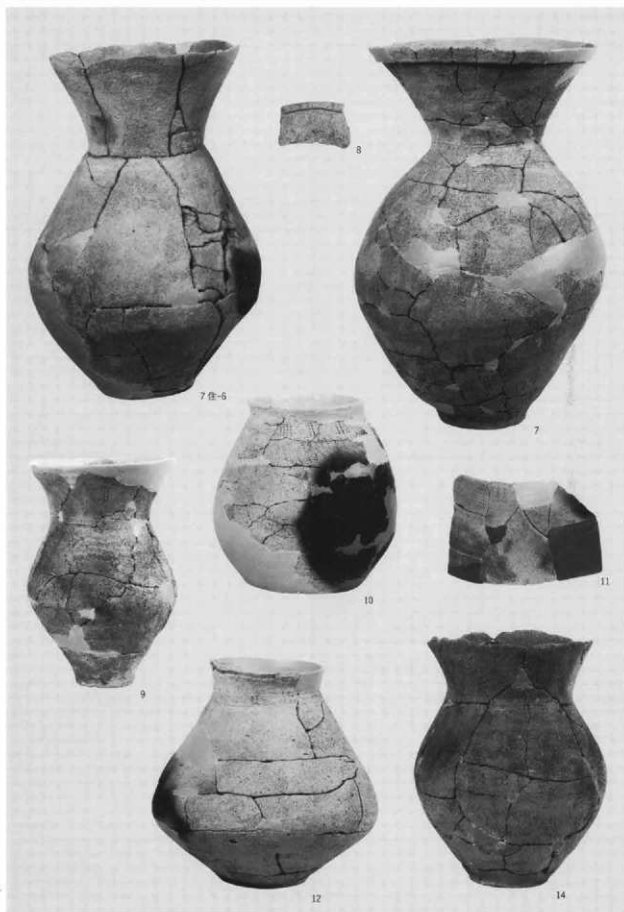




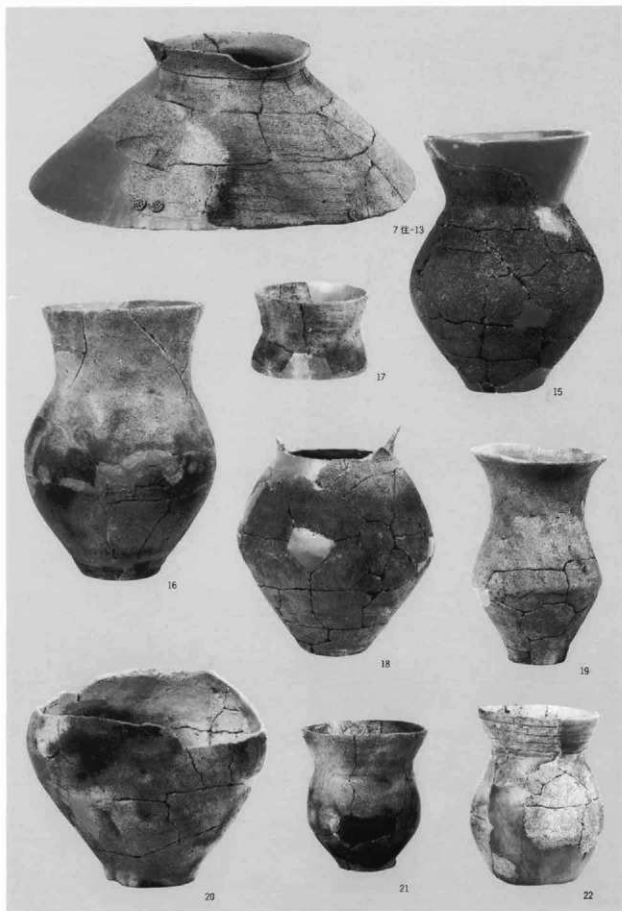
5号住居出土遺物



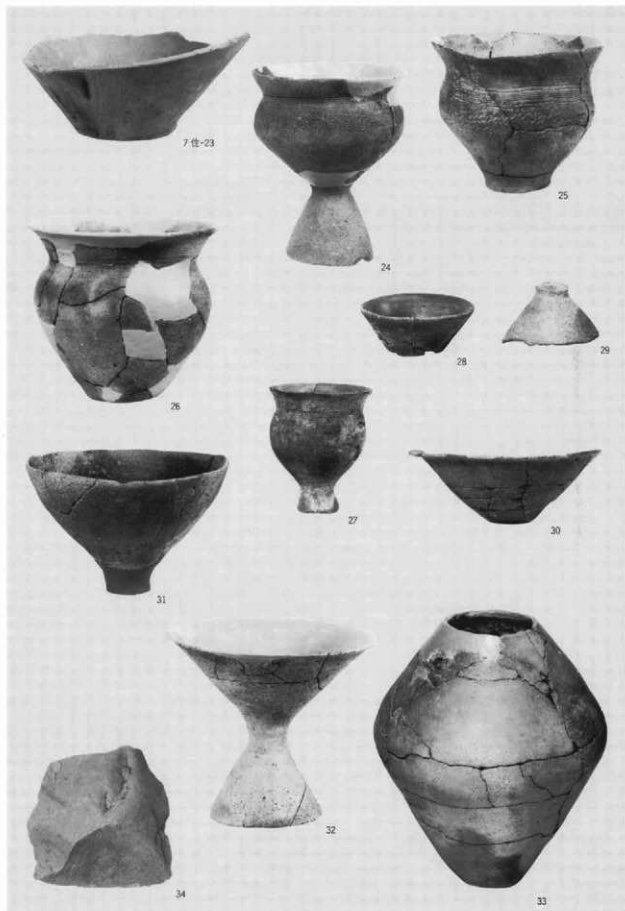
6・7住居出土遺物



7号住居出土遺物



7号住居出土遺物



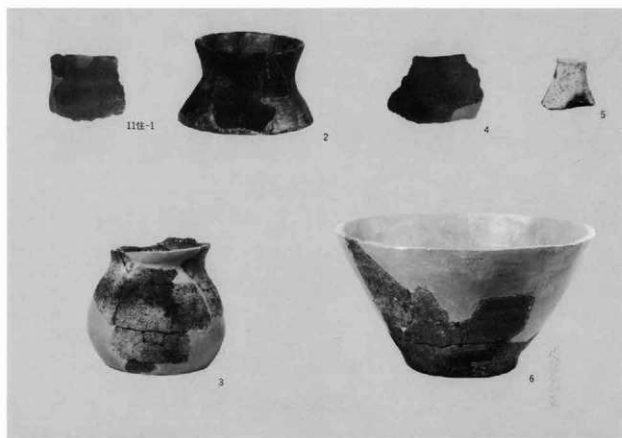
7号住居出土遺物



8号住居出土遺物

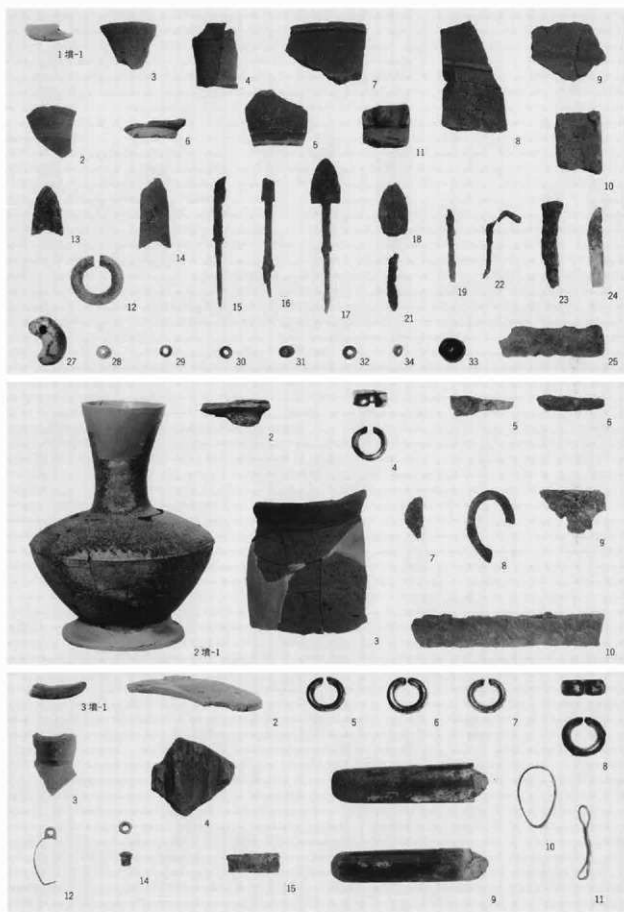


9・10号住居出土遺物

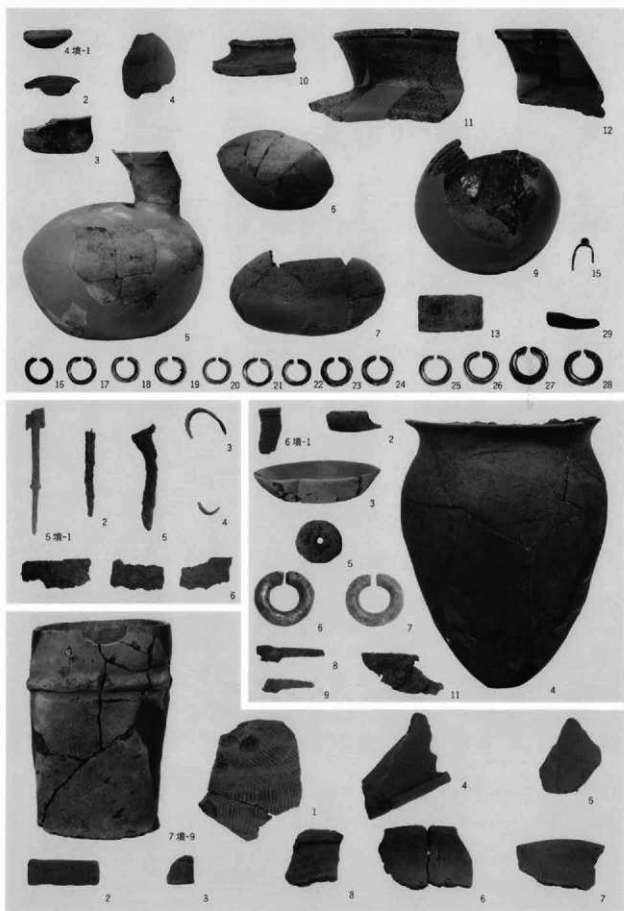


11~13号住居出土遺物

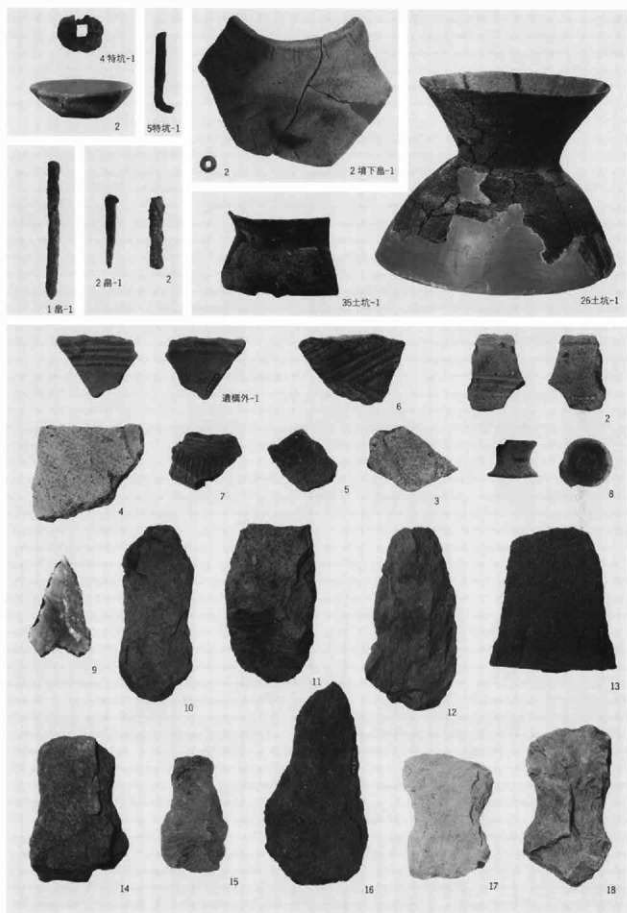




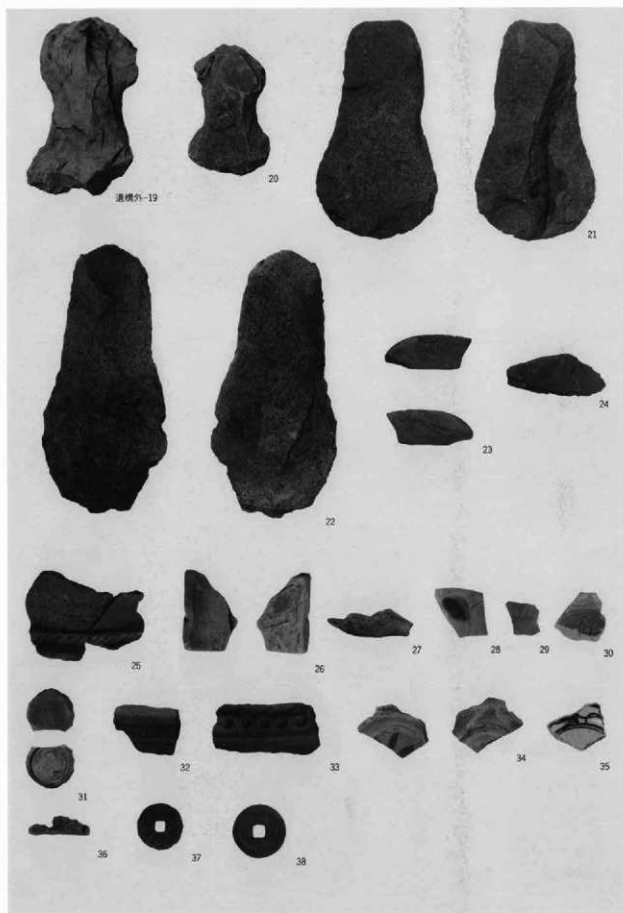
1～3号墳出土遺物



4~7号墳出土遺物



4・5号特殊土坑、1・2号墓、26・35号土坑、遺構外出土遺物



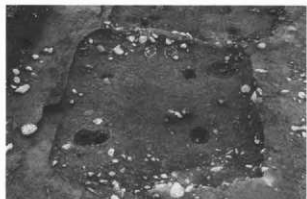
道橋外出土遺物



1 1号住居 全景



2 1号住居 竈



3 2号住居 全景



4 2号住居 遺物出土状態



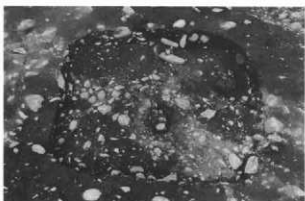
5 3号住居 全景



6 3号住居 竈



7 4号住居 全景



8 5号住居 全景



1 6号住居 全景



2 6号住居 竈内遺物出土狀況



3 6号住居 竈



4 8号住居 全景



5 7号住居 全景



6 7号住居 竈G-G' 断面



7 9号住居 全景



8 10号住居 A-A' 断面



1 11号住居 遺物出土状態



2 11号住居 断面



3 12・13号住居 全景



4 13号住居 炉



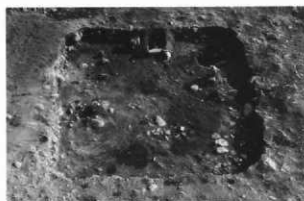
5 14号住居 全景



6 15号住居 全景



7 15号住居 B-B' 断面



1 16号住居 全景



2 16号住居 竈



3 17号住居 全景



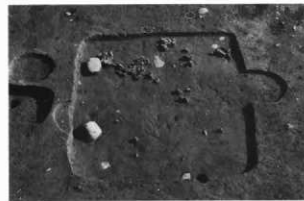
4 17号住居 竈



5 18・19号住居 全景



6 19号住居 竈H-H' 断面



7 20号住居 全景



8 20号住居 遺物

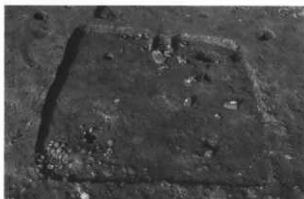




1 21号住居 全景



2 21号住居 貯藏穴



3 22号住居 全景



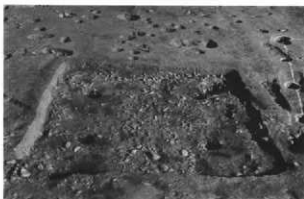
4 22号住居 竈周辺遺物



5 23号住居 全景



6 24号住居 全景



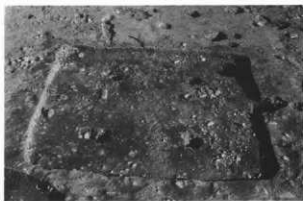
7 26号住居 全景



8 26号住居 遺物



1 25号住居 全景



2 27号住居 全景



3 28号住居 全景



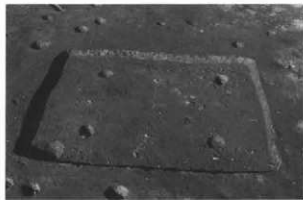
4 28号住居 遗物



5 29号住居 全景



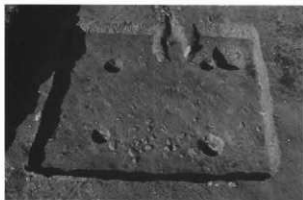
6 29号住居 贮藏穴遗物



7 30号住居 全景



8 30号住居 遗物



1 31号住居 全景



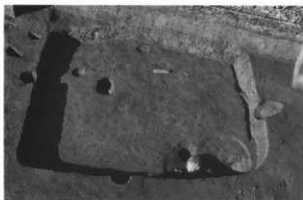
2 31号住居 電F-F'断面



3 31号住居 貯藏穴内遺物



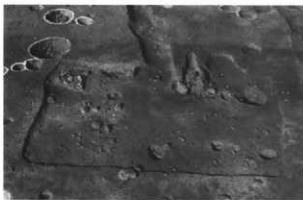
4 33号住居 全景



5 32号住居 全景



6 32号住居 貯藏穴C-C'断面



7 34号住居 全景



8 34号住居 電内遺物



1 1号墳 As-A下段 (北から)



2 石室側面 (北から)



3 石室側面 (北から)



4 石室側面 (西から)



5 1号墳 全景 (上から)



1 1号墳 石室全景 (南から)



2 袖部とまぐさ石 (北から)



3 まぐさ石



4 東側玄室側壁



5 袖部と東側玄室側壁



6 東側羨道側壁



7 西側玄室側壁



1 狭門と狭道西側側壁



2 狭門と狭道東側側壁



3 西側墳丘B-B'断面



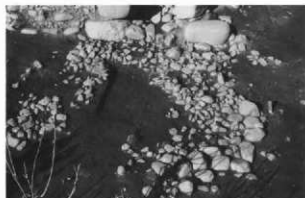
4 北側墳丘A-A'断面



5 石室最下段(南から)



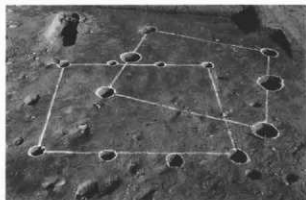
6 石室最下段(北から)



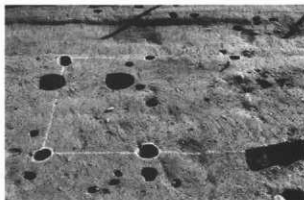
7 前庭付近(南から)



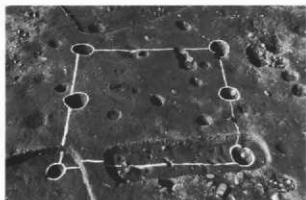
8 石室下の礎敷き(北から)



1 1·2号孤立柱建物 全景



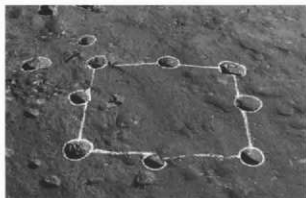
2 3号孤立柱建物 全景



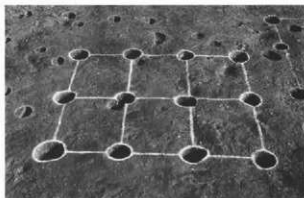
3 4号孤立柱建物 全景



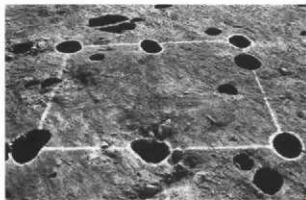
4 5号孤立柱建物 全景



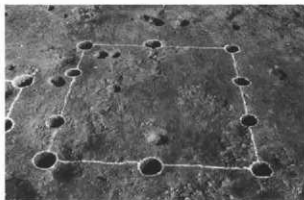
5 6号孤立柱建物 全景



6 7号孤立柱建物 全景



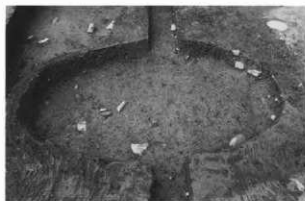
7 8号孤立柱建物 全景



8 9号孤立柱建物 全景



1 10号孤立柱建物 全景



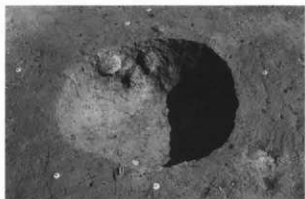
2 1号土坑 全景



3 2号土坑A-A' 断面



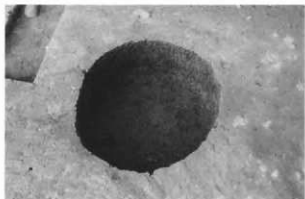
4 4号土坑A-A' 断面



5 5号土坑 全景



6 6号土坑 全景



7 8号土坑 全景



8 10~13号土坑 全景





1 14号土坑 全景



2 15~19号土坑 全景



3 15号土坑 全景



4 16号土坑 全景



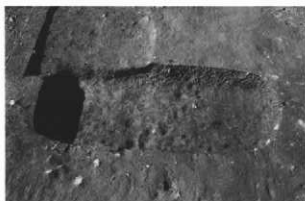
5 17号土坑 全景



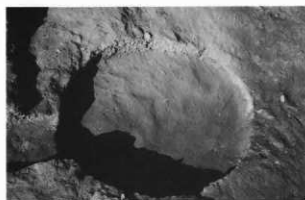
6 18号土坑 全景



7 19号土坑 炭化物出土状態



8 20号土坑 全景



1 21号土坑 全景



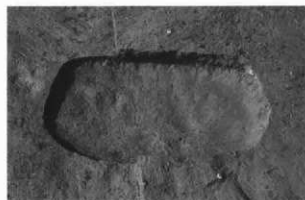
2 22号土坑 全景



3 24~26号土坑 全景



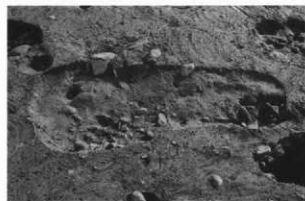
4 27号土坑 全景



5 28号土坑B-B' 断面



6 29~31号土坑 全景



7 34号土坑 全景



8 35号土坑 全景



1 36号土坑 全景



2 37号土坑A-A' 断面



3 38·39号土坑 全景



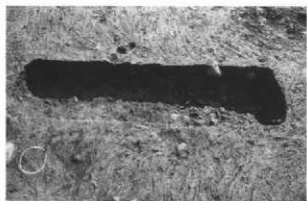
4 41号土坑 全景



5 42·43号土坑 全景



6 44·48号土坑 全景



7 46号土坑 全景



8 49号土坑 全景



1 51号土坑 全景



2 52号土坑 全景



3 53号土坑 全景



4 54号土坑 全景



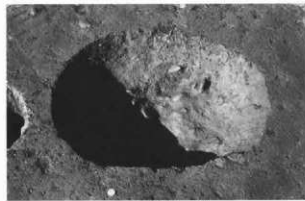
5 56号土坑 全景



6 59号土坑 全景



7 60号土坑 遗物出土状态



8 61号土坑 全景



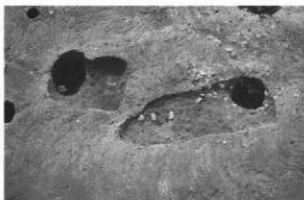
1 63号土坑 全景



2 64号土坑 全景



3 65号土坑 全景



4 66·67号土坑 全景



5 68号土坑 全景



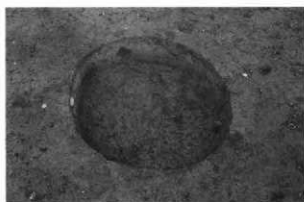
6 69号土坑 全景



7 70号土坑 全景



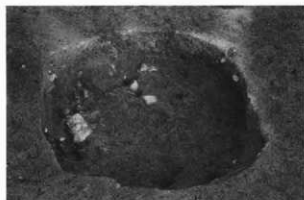
8 71号土坑 全景



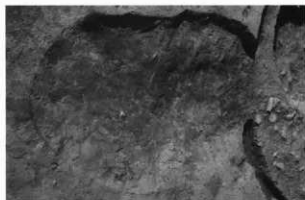
1 72号土坑 全景



2 73号土坑 全景



3 74号土坑 全景



4 81号土坑 全景



5 75号土坑 全景



6 76号土坑 全景



7 78号土坑 全景



8 79号土坑 全景



9 80号土坑 遗物



10 82号土坑 断面



11 83号土坑 断面



1 1号溝 全景



2 2号溝 全景



3 3号溝 全景



4 4号溝 全景



1 柱穴列



2 1号井戸 全景



3 IV区基盤層



4 1号集石 調査前風景

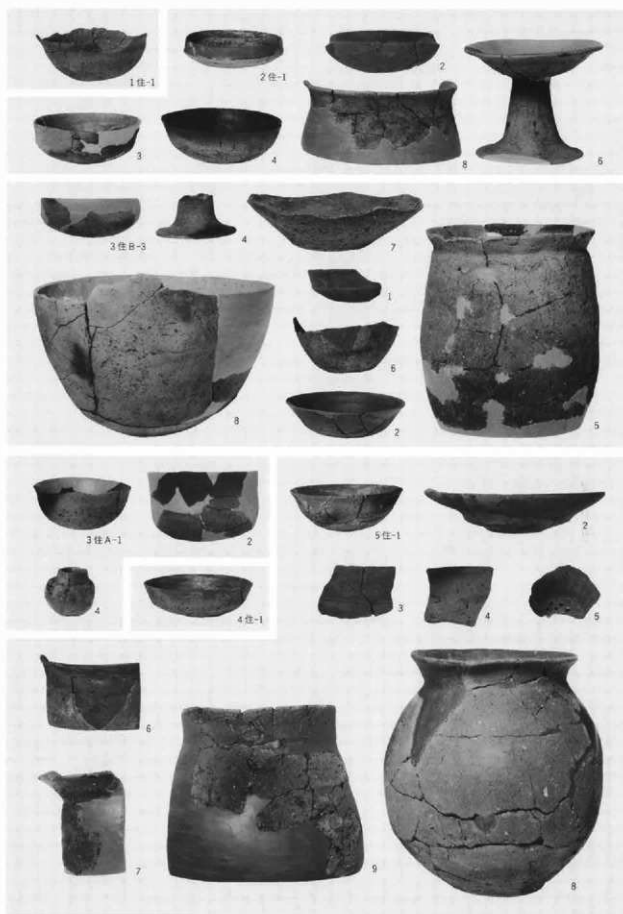


5 1号集石 全景



6 発掘調査風景

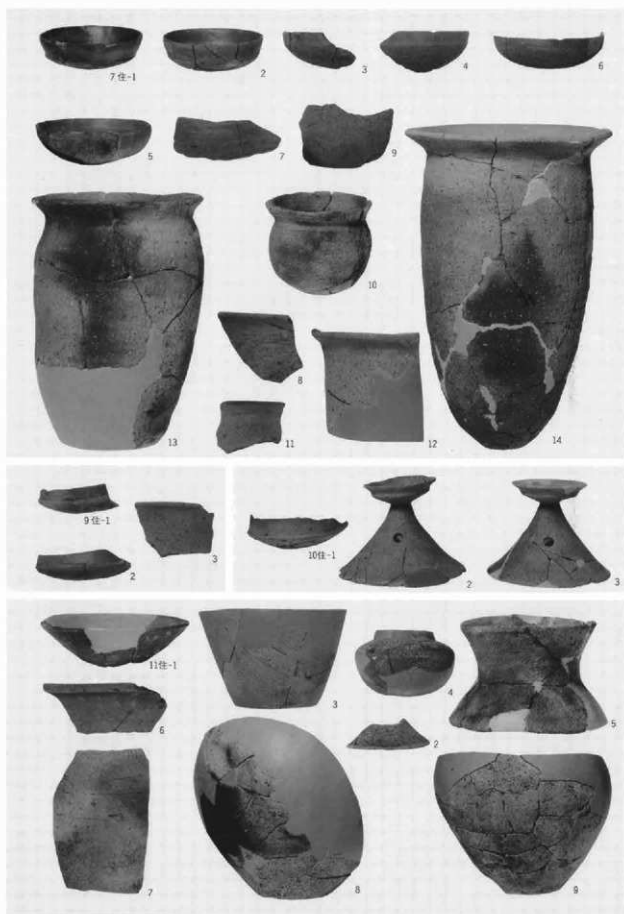




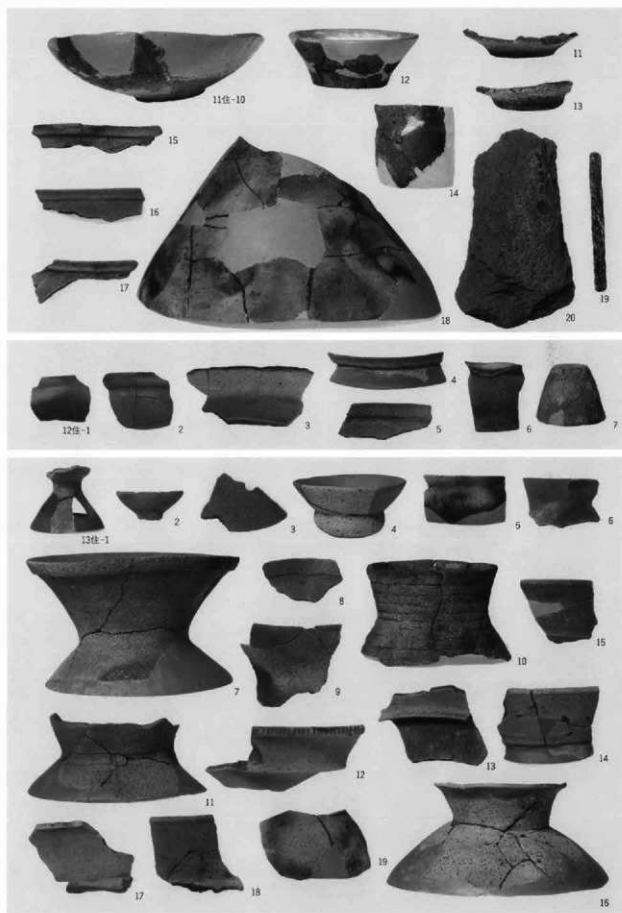
1～5号住居出土遺物



6号住居出土遺物



7・9～11号住居出土遺物



11~13号住居出土遺物



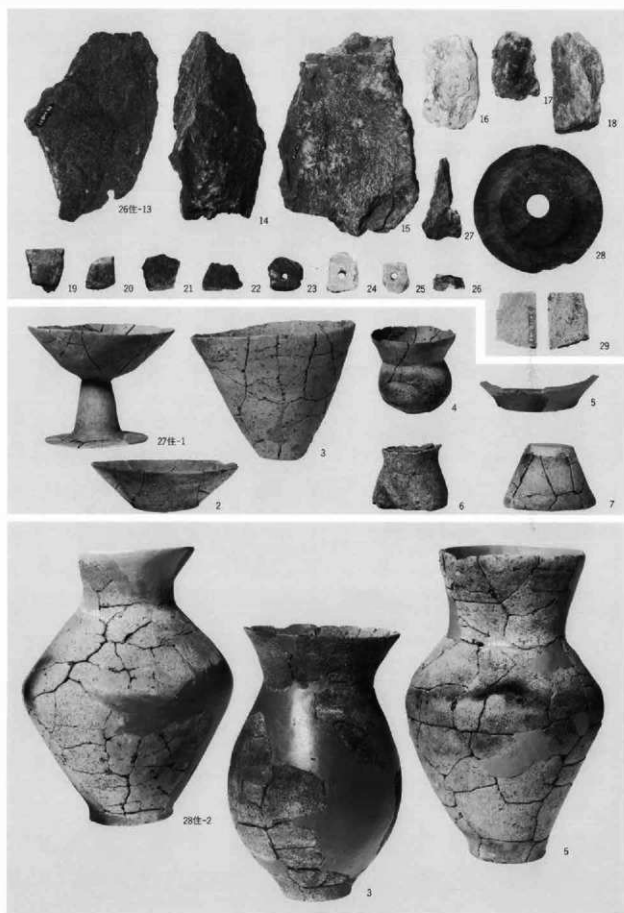
13~15号住居出土遺物



16・17・19～21号住居出土遺物



22・23・25～26号住居出土遺物

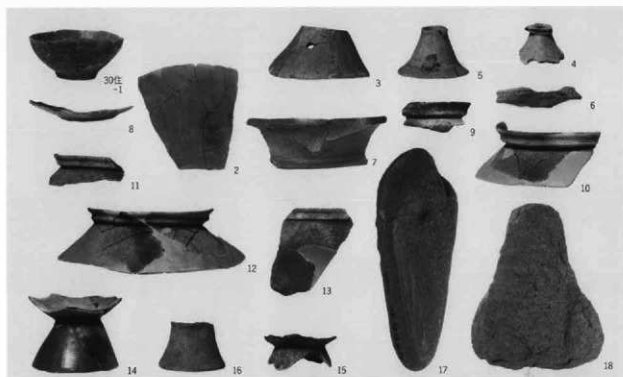


26~28号住居出土遺物

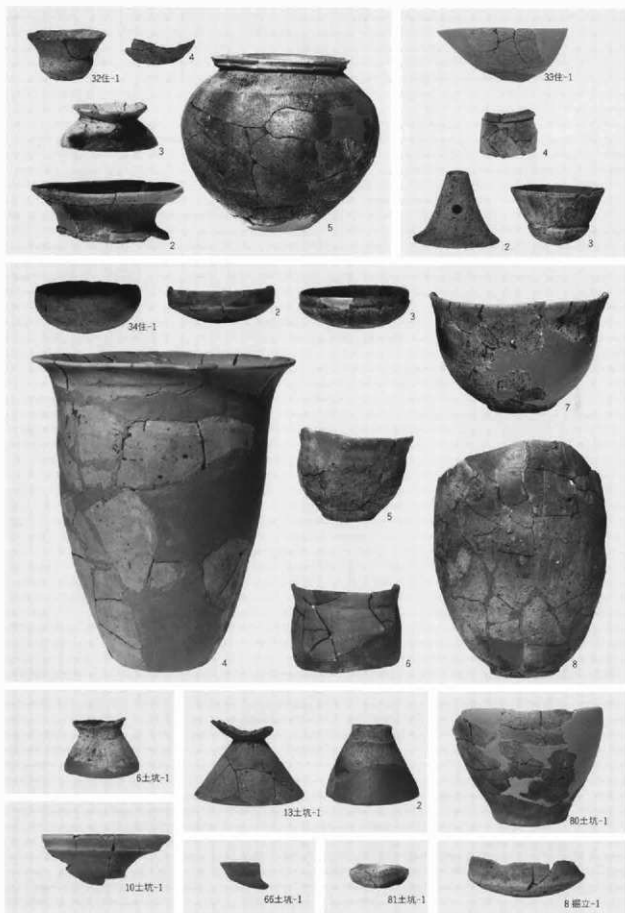




28~29号住居出土遺物



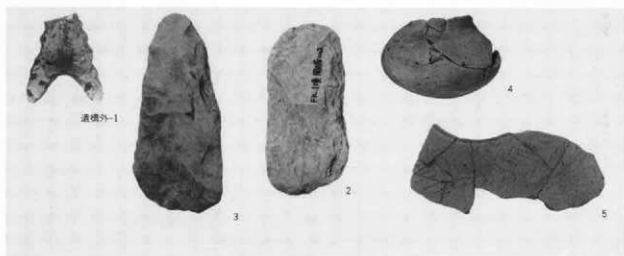
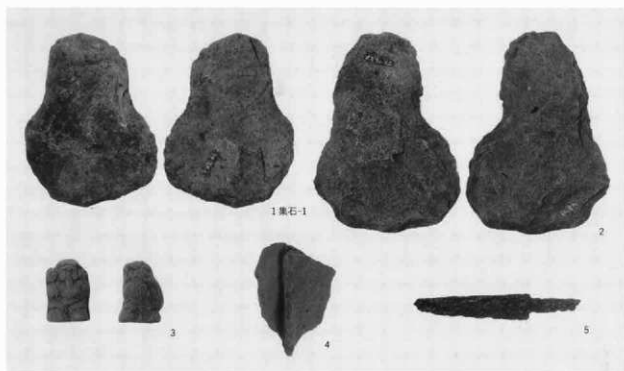
30・31号住居出土遺物



32~34号住、8掘立柱建物、土坑出土遺物



1号墳出土遺物



1号集石、遺構外出土遺物



1 縄文時代遺構確認面



2 1号配石 確認面



3 1号配石 全景



4 1号配石 炉周辺



5 1号配石 炉



6 1号配石 断面



1 2号配石 全景



2 2号配石 列石



3 4号配石 確認面



4 4号配石 伊断面



5 4号配石 全景



6 4号配石 伊



7 5号配石 全景



1 1号住居 全景



2 2号住居 遺物出土状態



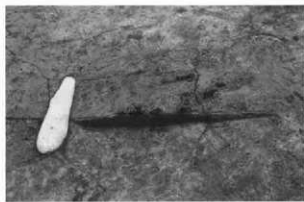
3 1号住居 貯藏穴内遺物出土状態



4 1号住居 貯藏穴内粘土出土状態



5 1号住居 南壁原曝出土状態



6 1号住居 炉F-F'断面



7 2号住居 全景



8 2号住居 貯藏穴E-E'断面





1 3号住居 全景



2 3号住居 炉断面



3 3号住居 遗物出土状态



4 3号住居 遗物出土状态



5 4号住居 全景



6 4号住居 遗物出土状态



7 5号住居 全景



8 5号住居 遗物出土状态



1 6号住居 全景



2 6号住居 遺物出土状態



3 7号住居 全景



4 7号住居 遺物出土状態



5 7号住居 掘り方全景



6 8号住居 遺物出土状態



7 8号住居 B-B'断面



8 8号住居 炭化物出土状態



1 9号住居 遺物出土状態



2 9号住居 遺物出土状態



3 10号住居 全景



4 10号住居 炉C-C'断面



5 11号住居 全景



6 11号住居 貯蔵穴



7 12号住居 掘り方全景



8 12号住居 貯蔵穴



1 13号住居 遗物出土状态



2 14号住居 全景



3 14号住居 遗物出土状态



4 14号住居 遗物出土状态



5 15号住居 全景



6 15号住居 遗物出土状态



7 16号住居 全景



8 16号住居 遗物出土状态



1 17号住居 室内遺物出土状態



2 18号住居 全景



3 19号住居 全景



4 19号住居 A-A' 断面



5 19号住居 竈全景



6 19号住居 竈F-F' 断面



7 20号住居 全景



8 20号住居 A-A' 断面



1 1号竖穴状遺構 全景



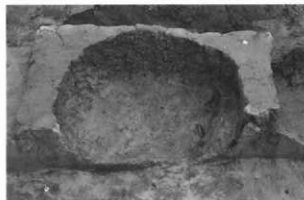
2 1号竖穴状遺構 A-A' 断面



3 2号竖穴状遺構 全景



4 2号竖穴状遺構 A-A' 断面



5 1号土坑



6 4号土坑



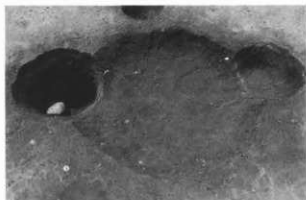
7 5号土坑



8 6号土坑



1 7号土坑



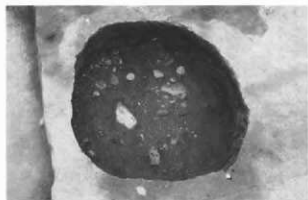
2 8号土坑



3 9号土坑 断面



4 10号土坑



5 11号土坑



6 14号土坑 断面



7 1号掘立柱建物 全景



8 2号掘立柱建物 全景



1 1号溝 全景



2 1号溝 断面



3 2~4・6号溝 全景



4 3号溝 全景



5 3・4号溝 断面

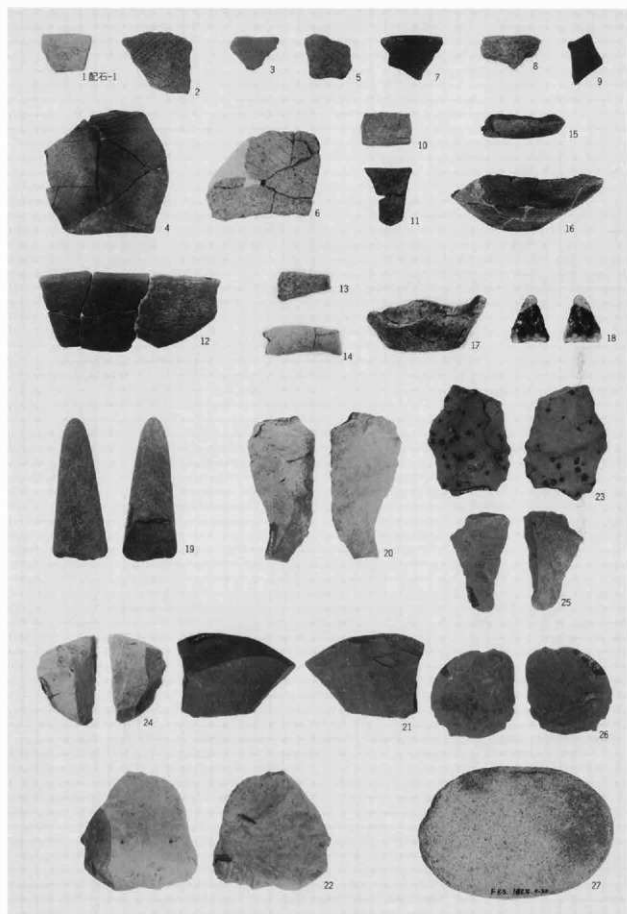


6 2号溝 全景

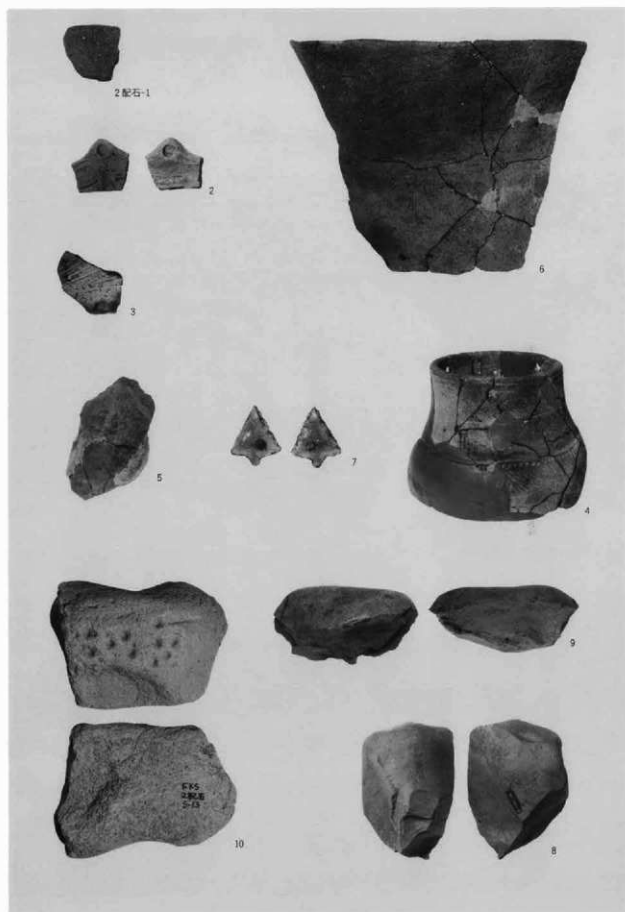


7 4号溝 全景

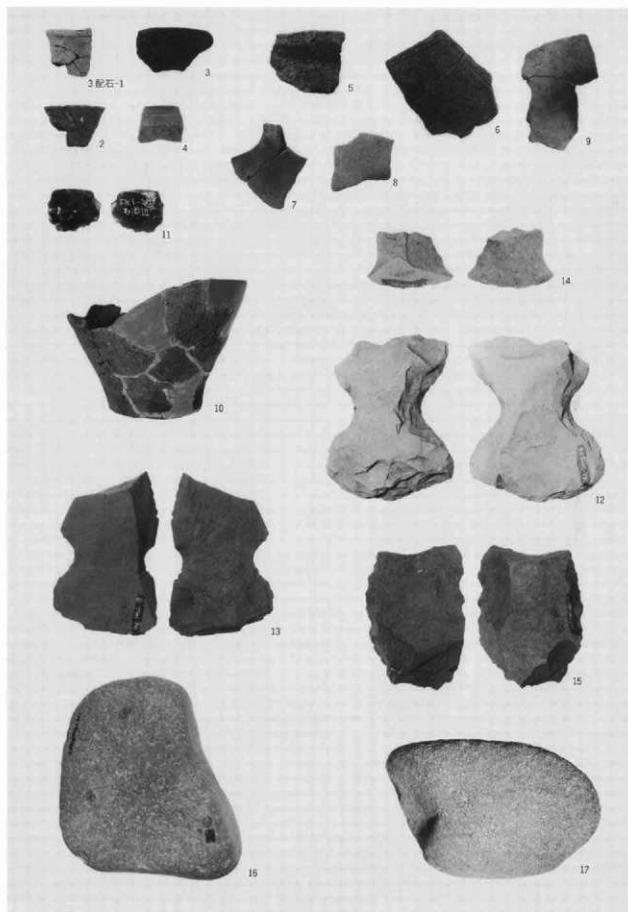




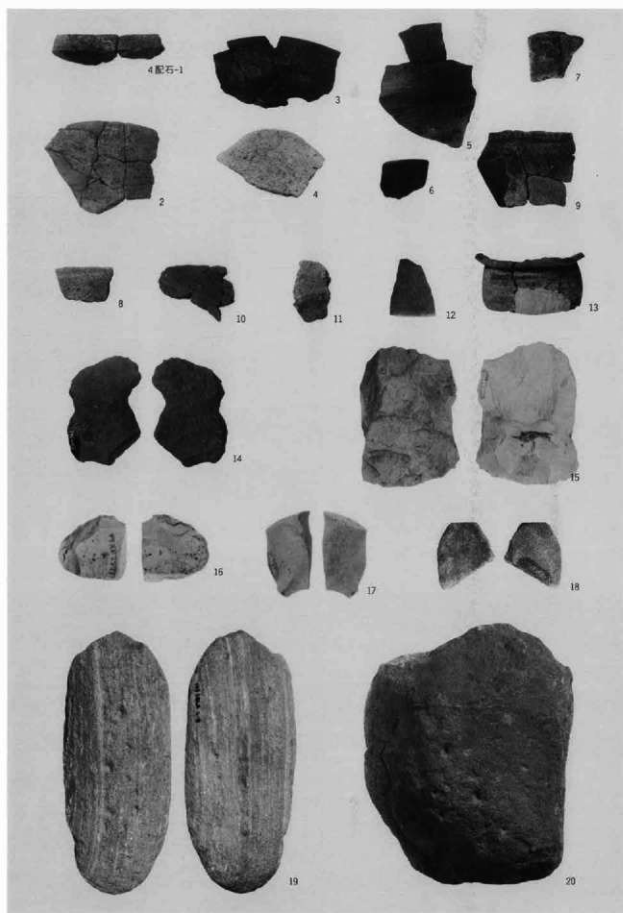
1号配石 出土遺物



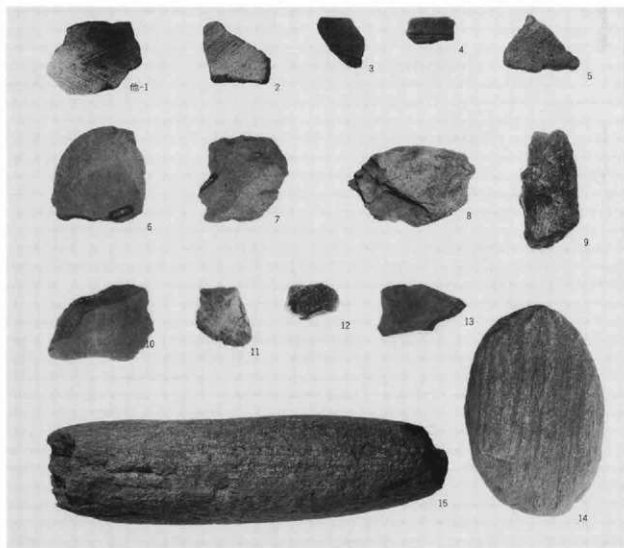
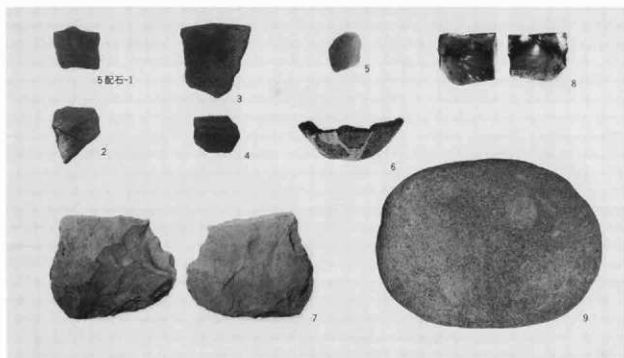
2号配石 出土遺物



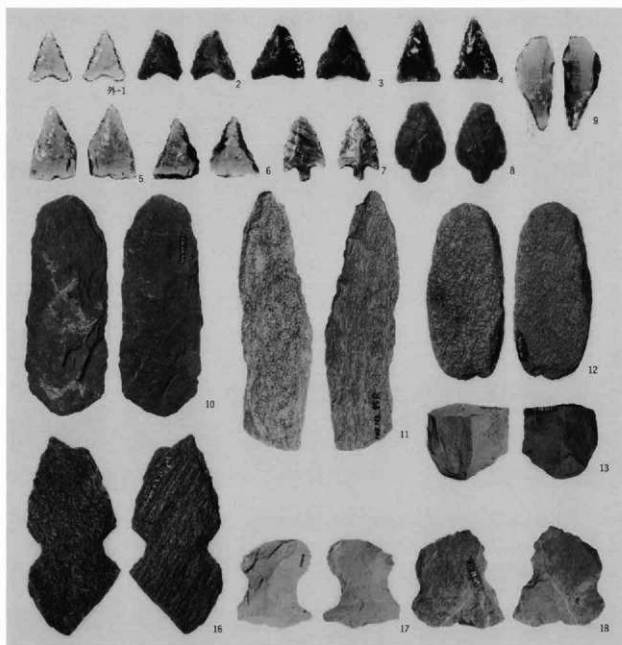
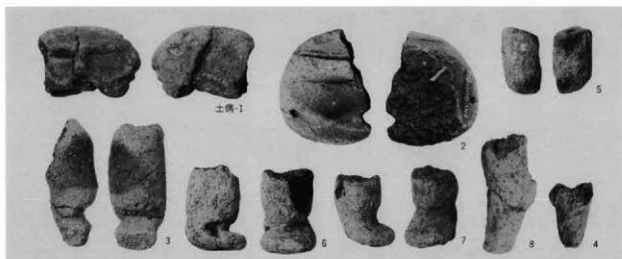
3号配石 出土遺物



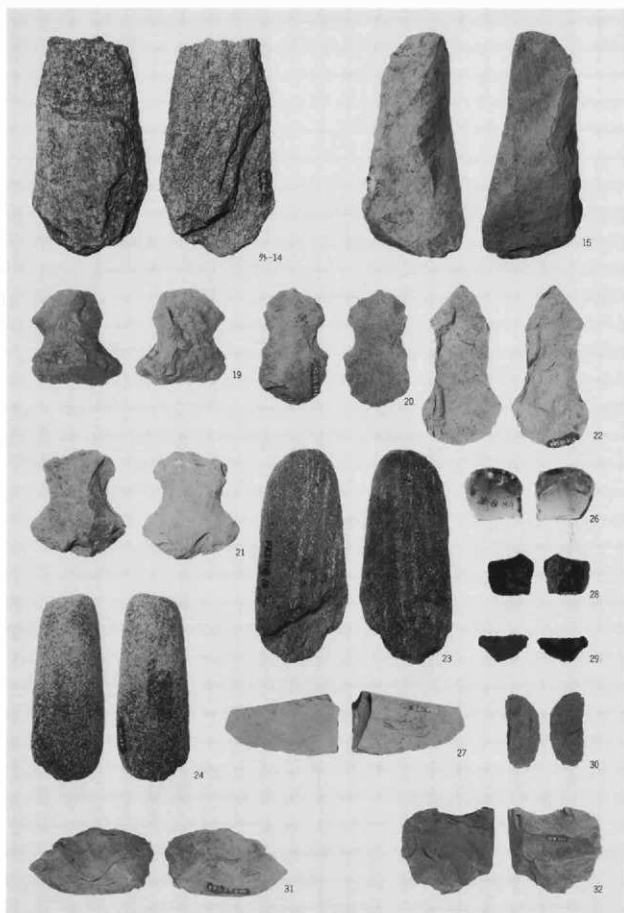
4号配石 出土遺物



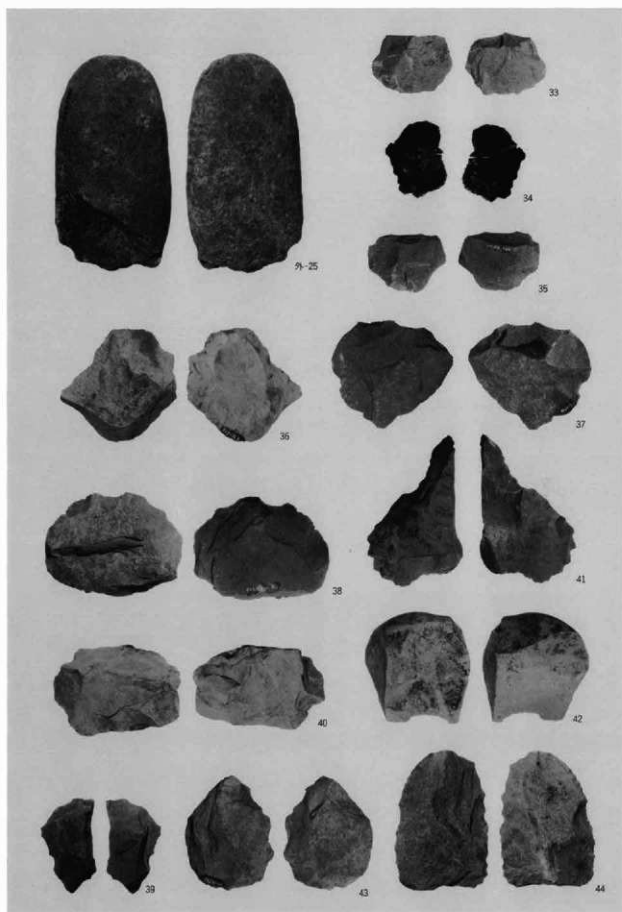
5号配石・その他の遺構出土器



土偶・遺構外出土石器(1)

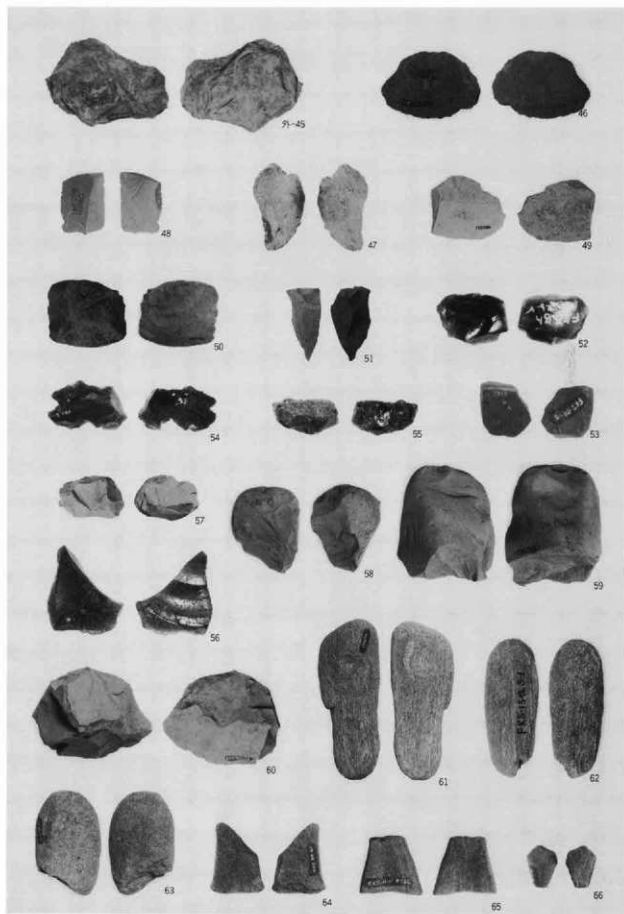


遺構外出土石器 (2)

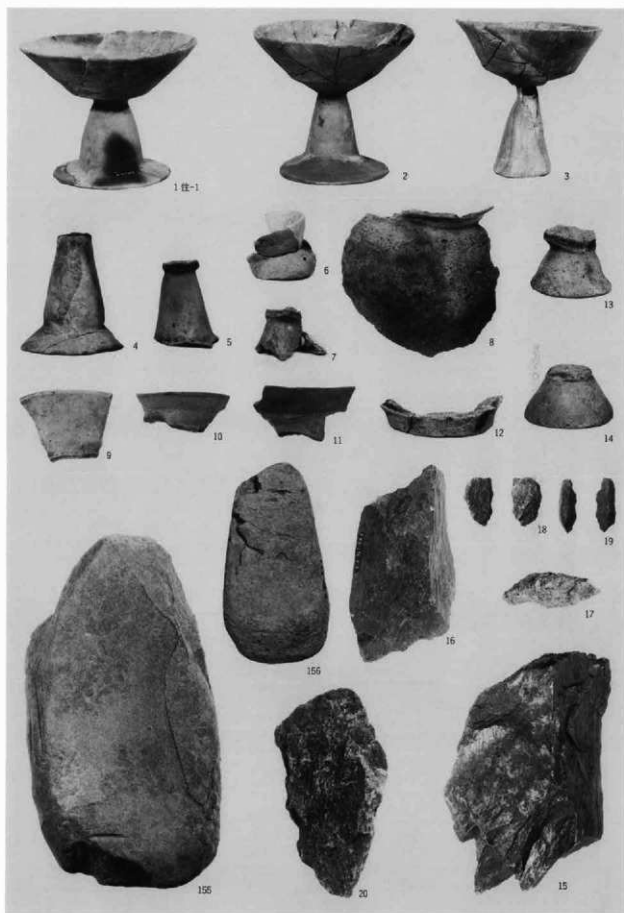


遺構外出土石器 (3)

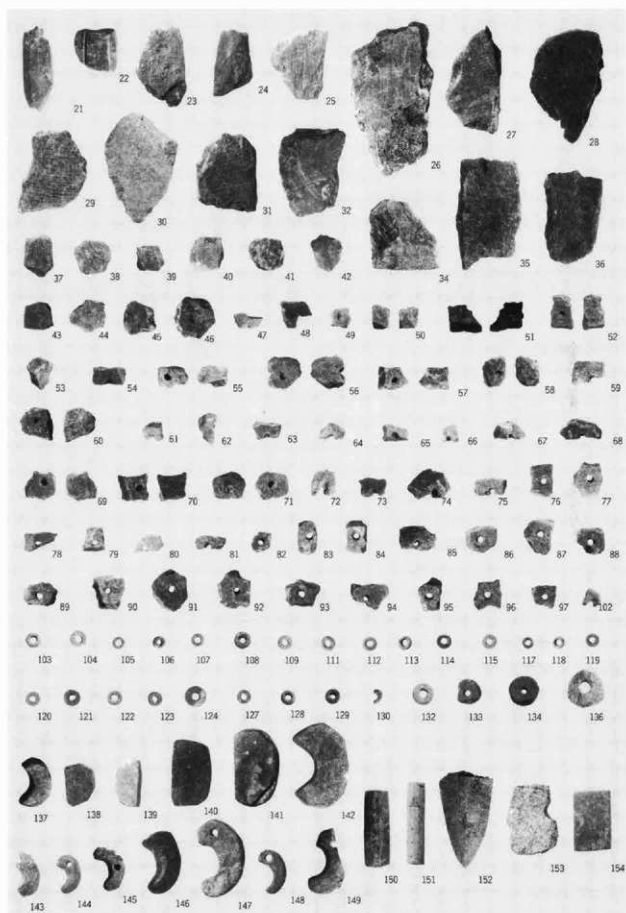




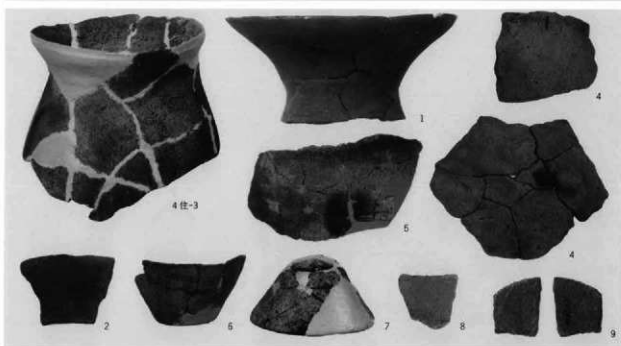
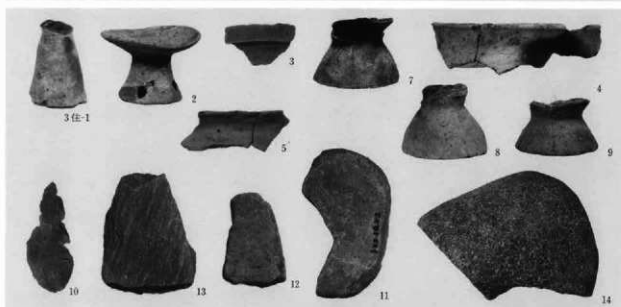
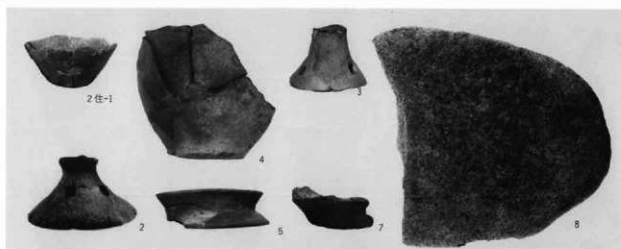
遺構外出土石器 (4)



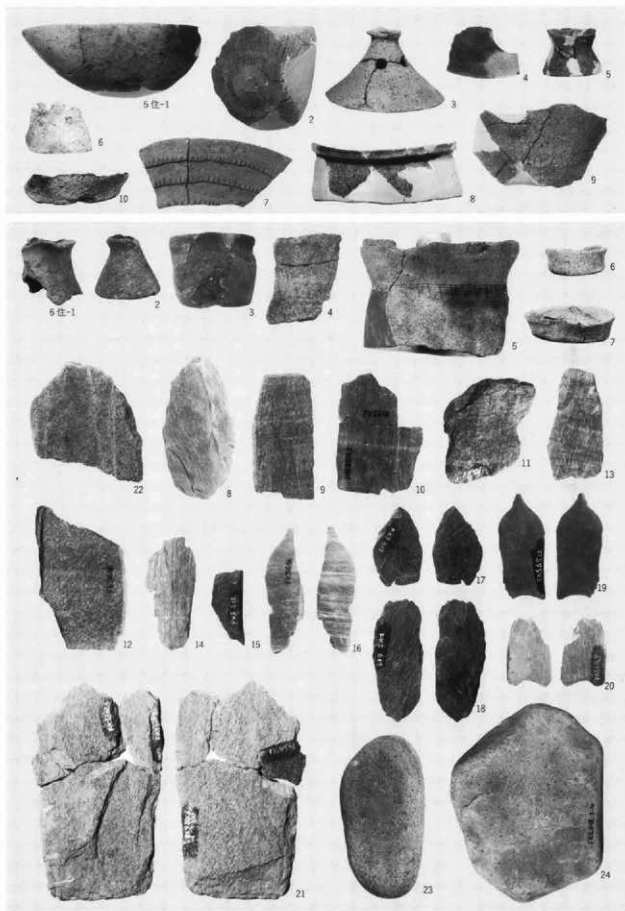
1号住居出土遺物



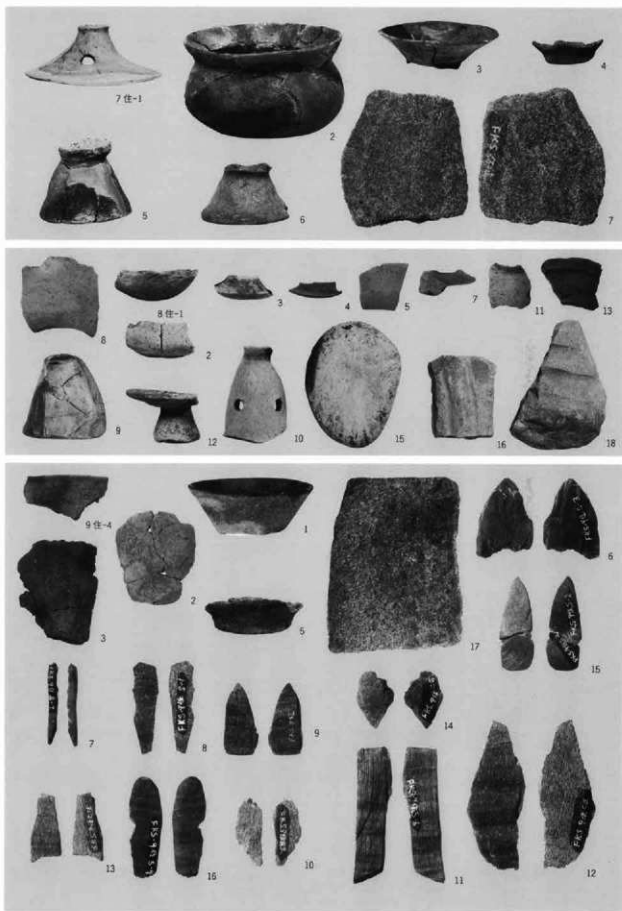
1号住居出土遺物



2~4号住居出土遺物



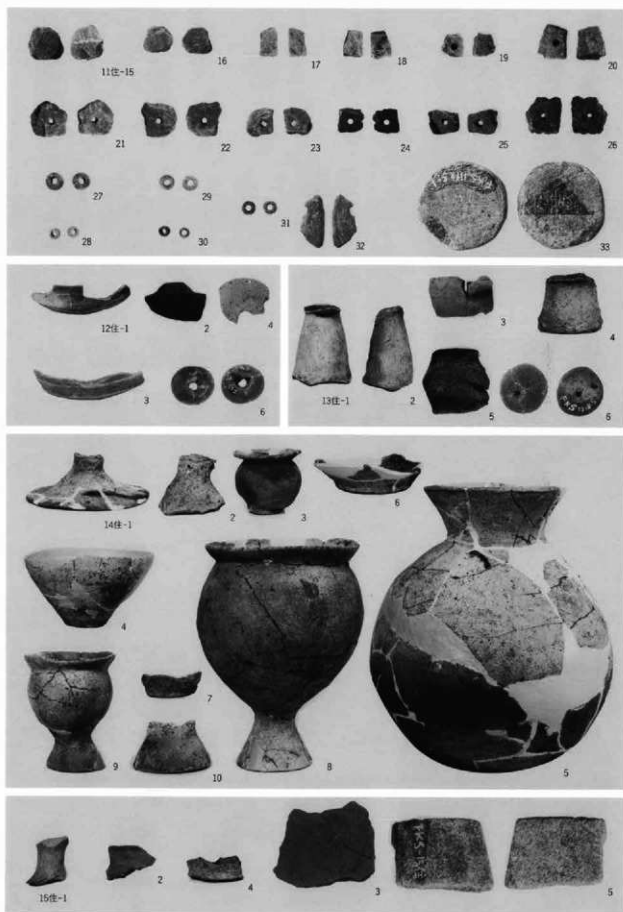
5・6号住居出土遺物



7～9号住居出土遺物

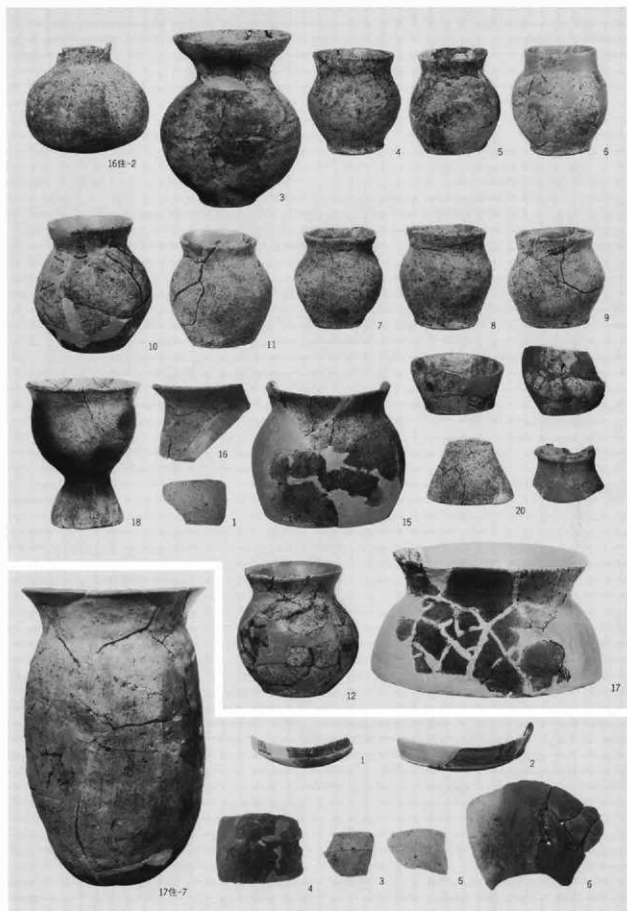


10・11号住居出土遺物

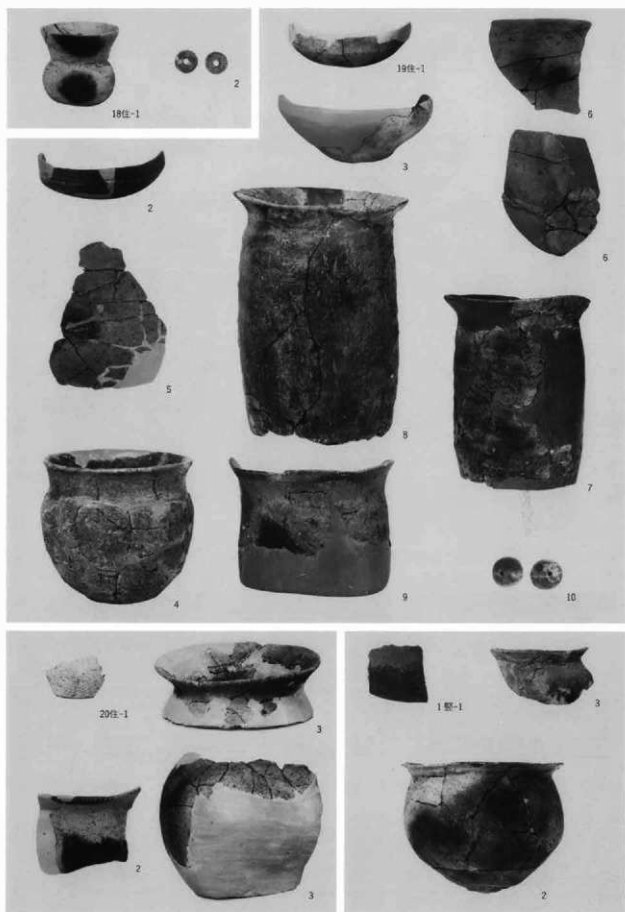


11~15号住居出土遺物

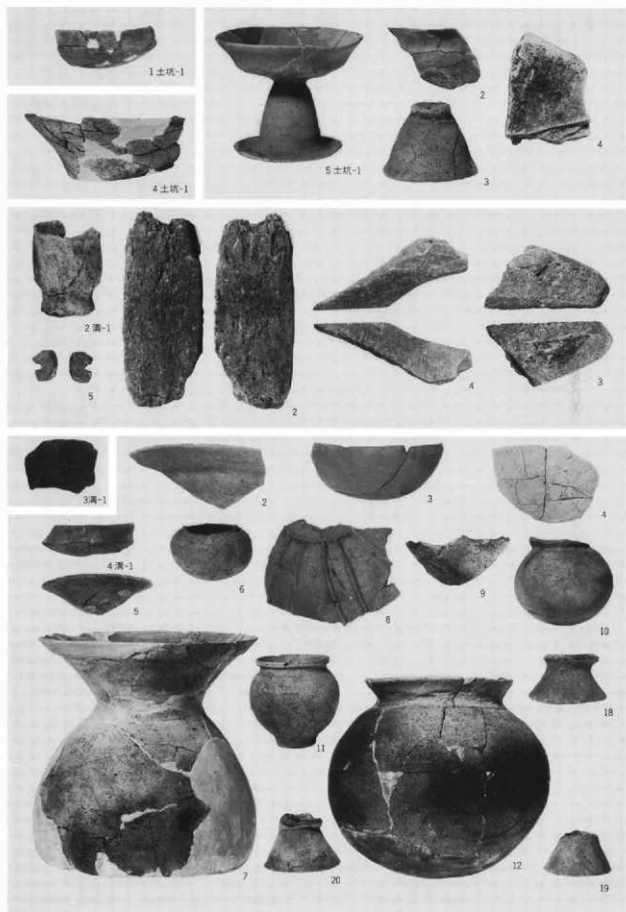




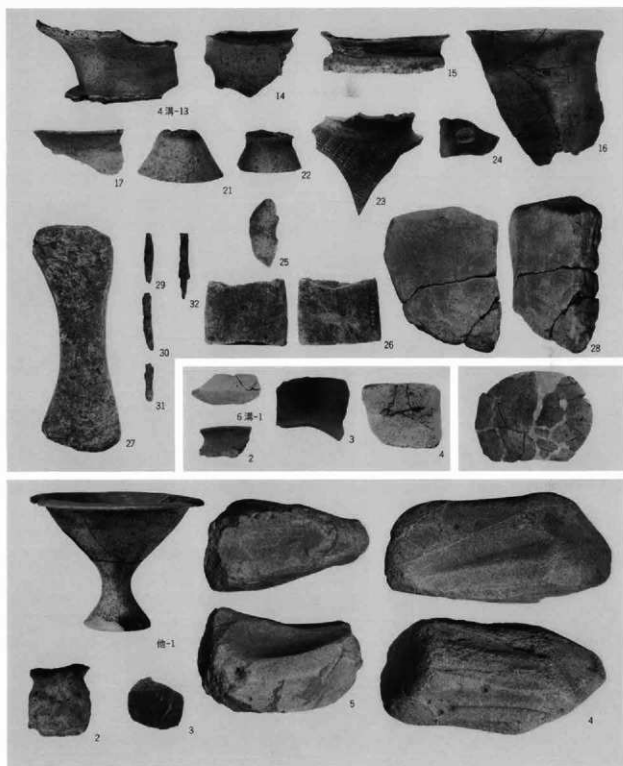
16・17号住居出土遺物



18~20号住居、1号窟穴伏遺構出土遺物



1·4·5号土坑、2·3·4号溝出土遺物



4～6号溝・その他・出土遺物



1 福島橋森遺跡 全景



2 北西側拡張部分



3 1号墓坑 断面



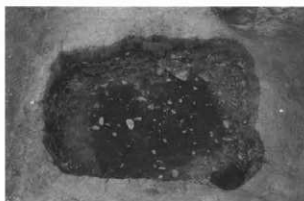
4 1号墓坑 人骨及び副葬品



5 1号墓坑 掘出土状態



6 2号墓坑 全景



7 3号墓坑 全景



1 1号土坑 全景



2 2号土坑 全景



3 3·34号土坑 全景



4 4号土坑 全景



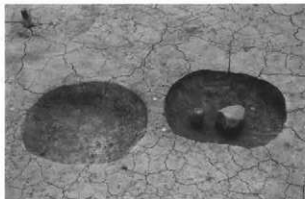
5 5土坑 断面



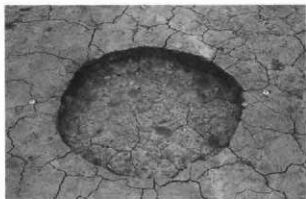
6 6·7号土坑 全景



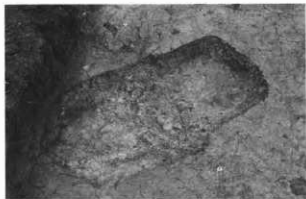
7 8·9号土坑 全景



8 10·11号土坑 全景



1 12号土坑 全景



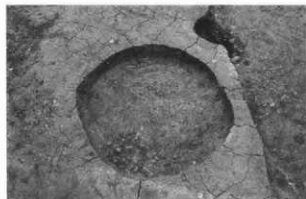
2 13号土坑 全景



3 14号土坑 全景



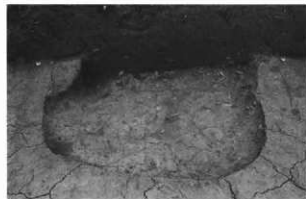
4 15号土坑 全景



5 16号土坑 全景



6 16·23号土坑 全景



7 17号土坑 全景



8 18号土坑 全景



1 19号土坑 全景



2 20·21号土坑 全景



3 22·26~31号土坑群



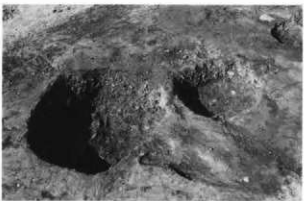
4 23号土坑 断面



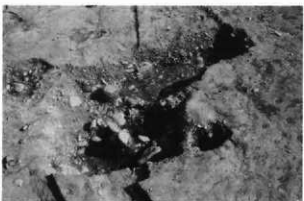
5 24·25号土坑 全景



6 35号土坑 全景



7 39号土坑 全景

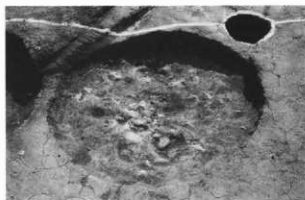


8 46~49号土坑 全景





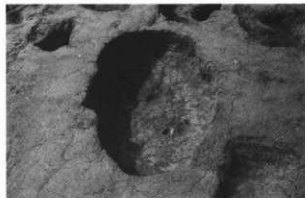
1 50号土坑 全景



2 54号土坑 全景



3 56号土坑 全景



4 57号土坑 全景



5 58号土坑 断面



6 61·62号土坑 全景



7 62号土坑 露出土状態



8 63号土坑 断面



1 1·2号溝 全景



2 1·2号溝 西側拡張区全景



3 2号溝 断面



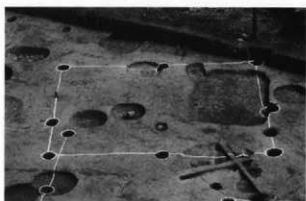
4 3·4号溝 全景



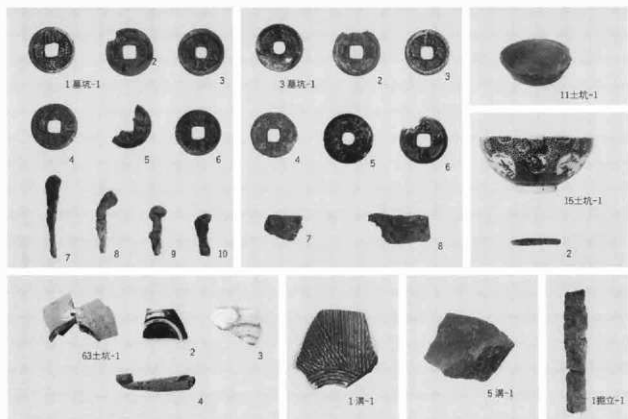
5 3号溝 断面



6 6号溝 西側拡張区全景

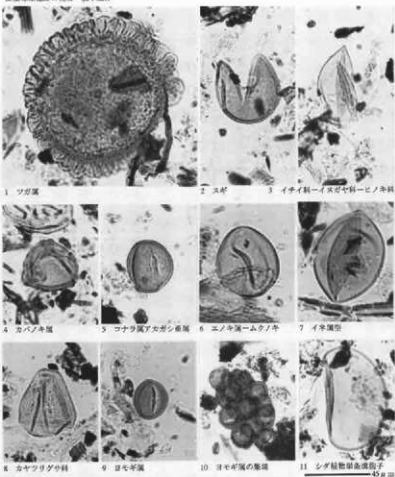


7 1号掘立柱建物全景



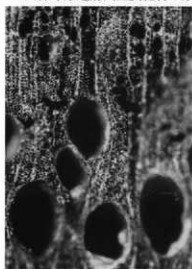
1 福島椿森遺跡出土遺物

福島椿森遺跡の花粉・孢子遺体



2 検出花粉顕微鏡写真

田篠塚原遺跡出土炭化材の顕微鏡写真



横断面 ————— : 0.4mm

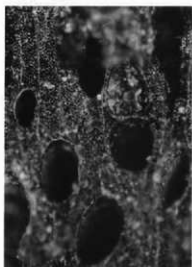
1. 炭2 クリ



放射断面 ————— : 0.2mm



接線断面 ————— : 0.2mm



放射断面 ————— : 0.4mm

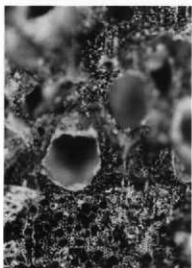
2. 炭3 クリ



放射断面 ————— : 0.2mm



接線断面 ————— : 0.2mm



横断面 ————— : 0.4mm

3. 炭6 クリ



放射断面 ————— : 0.2mm



接線断面 ————— : 0.2mm

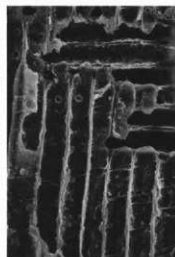
## 福島駒形遺跡の住居跡出土炭化材の電子顕微鏡写真(1)



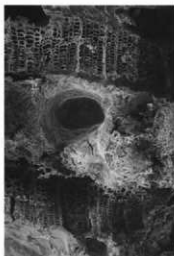
1a. カヤ (横断面)  
21住No.9  
bar: 0.5mm



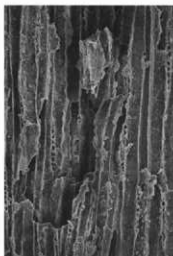
1b. 同 (接線断面) bar: 0.1mm



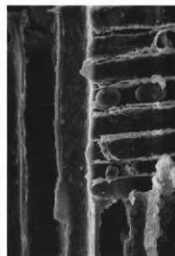
1c. 同 (放射断面) bar: 0.05mm



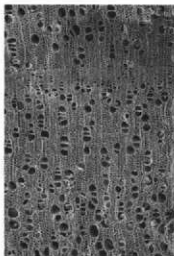
2a. 針葉樹 (横断面)  
12住EN17  
bar: 0.5mm



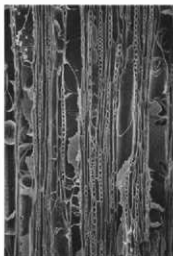
2b. 同 (接線断面) bar: 0.1mm



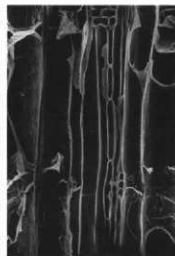
2c. 同 (放射断面) bar: 0.05mm



3a. クマシダ属 (横断面)  
26住No.86  
bar: 0.5mm

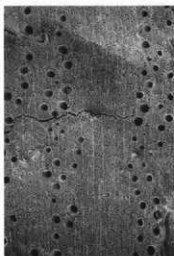


3b. 同 (接線断面) bar: 0.1mm



3c. 同 (放射断面) bar: 0.1mm

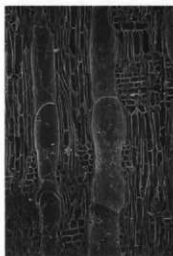
## 福島駒形遺跡の住居跡出土炭化材の電子顕微鏡写真(2)



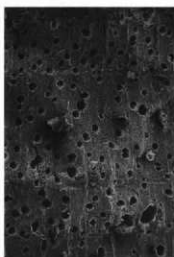
4a. アカガシ亜属 (横断面)  
17住No.5 bar: 1.0mm



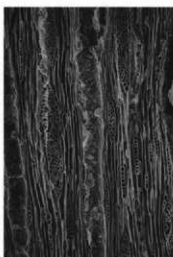
4b. 同 (接線断面) bar: 0.1mm



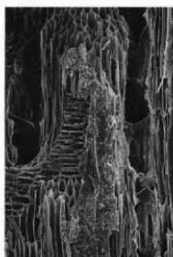
4c. 同 (放射断面) bar: 0.1mm



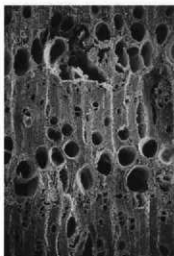
5a. カエダ属 (横断面)  
22No.23 bar: 1.0mm



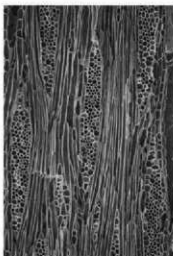
5b. 同 (接線断面) bar: 0.1mm



5c. 同 (放射断面) bar: 0.1mm



6a. ケンボナシ属 (横断面)  
12住No.9 bar: 1.0mm

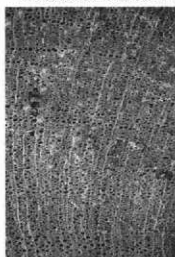


6b. 同 (接線断面) bar: 0.1mm

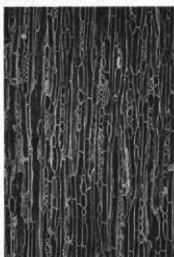


6c. 同 (放射断面) bar: 0.1mm

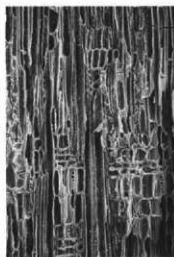
## 福島駒形遺跡の住居跡出土炭化材の電子顕微鏡写真(3)



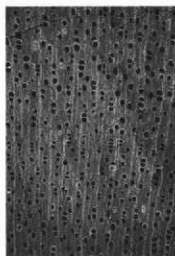
7a. シキミ (横断面)  
26住No.74 bar:0.5mm



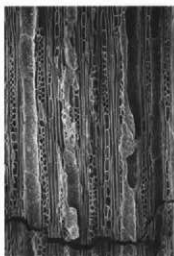
7b. 同 (接線断面) bar:0.1mm



7c. 同 (放射断面) bar:0.1mm



8a. ムラサキシキブ属 (横断面)  
21住No.10-2 bar:0.5mm



8b. 同 (接線断面) bar:0.1mm



8c. 同 (放射断面) bar:0.1mm

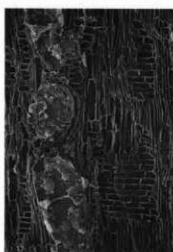
福島鹿嶋下遺跡住居跡出土炭化材の樹種



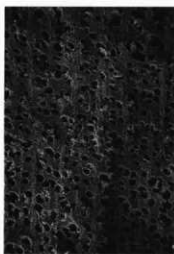
1a. コナラ属アカガシ亜属 (横断面)  
8号遺構 炭1 bar: 1mm



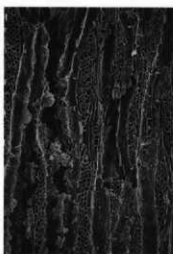
1b. 同左 (接線断面) bar: 0.1mm



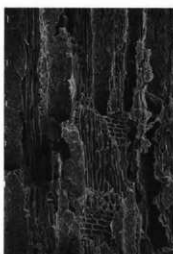
1c. 同左 (放射断面) bar: 0.1mm



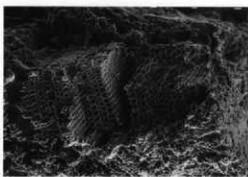
2a. サクラ属 (横断面)  
8号遺構 炭2 bar: 0.5mm



2b. 同左 (接線断面) bar: 0.1mm



2c. 同左 (放射断面) bar: 0.1mm



3. 針葉樹 (横断面)  
3号遺構 炭1 bar: 0.1mm



〔群〕群馬県埋蔵文化財調査事業団  
調査報告書第241集

田篠塚原遺跡  
福島駒形遺跡  
福島鹿嶋下遺跡  
福島椿森遺跡

国道254号道路改築工事に伴う  
埋蔵文化財調査報告書 第1集  
(観察表・写真図版編)

1998(平成10)年3月10日 印刷  
1998(平成10)年3月25日 発行

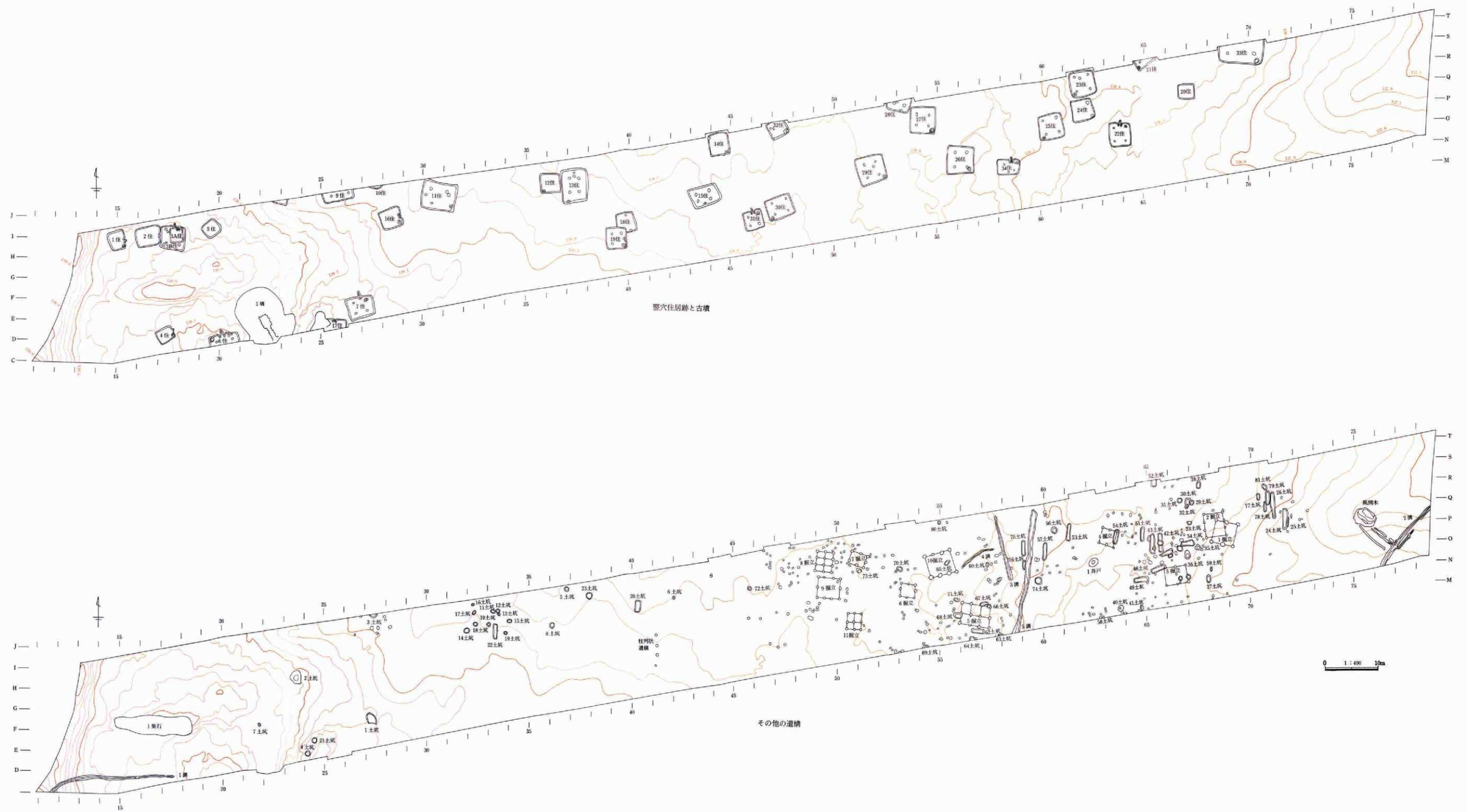
編集／群馬県埋蔵文化財調査事業団  
発行／群馬県考古資料普及会  
勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2  
電話(0279)52-2511(代表)

印刷／上毎印刷工業株式会社

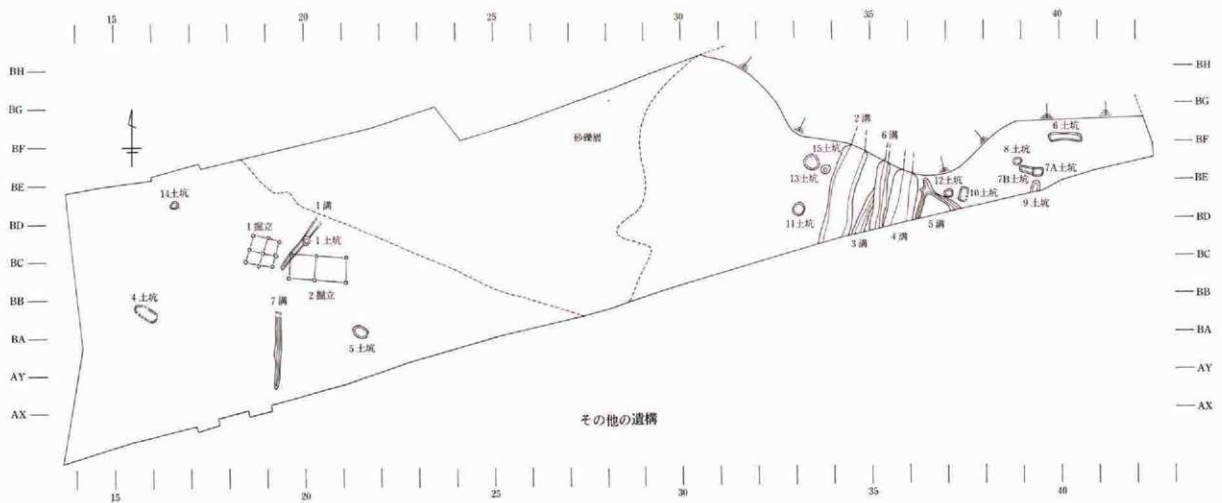
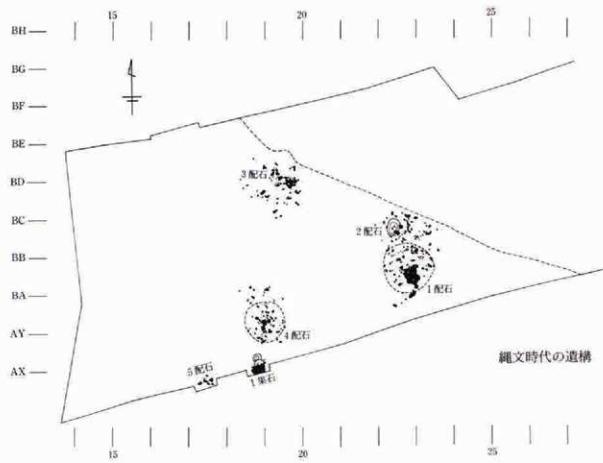
付図1 田篠塚原遺跡全体図



付図2 福島駒形遺跡全体図

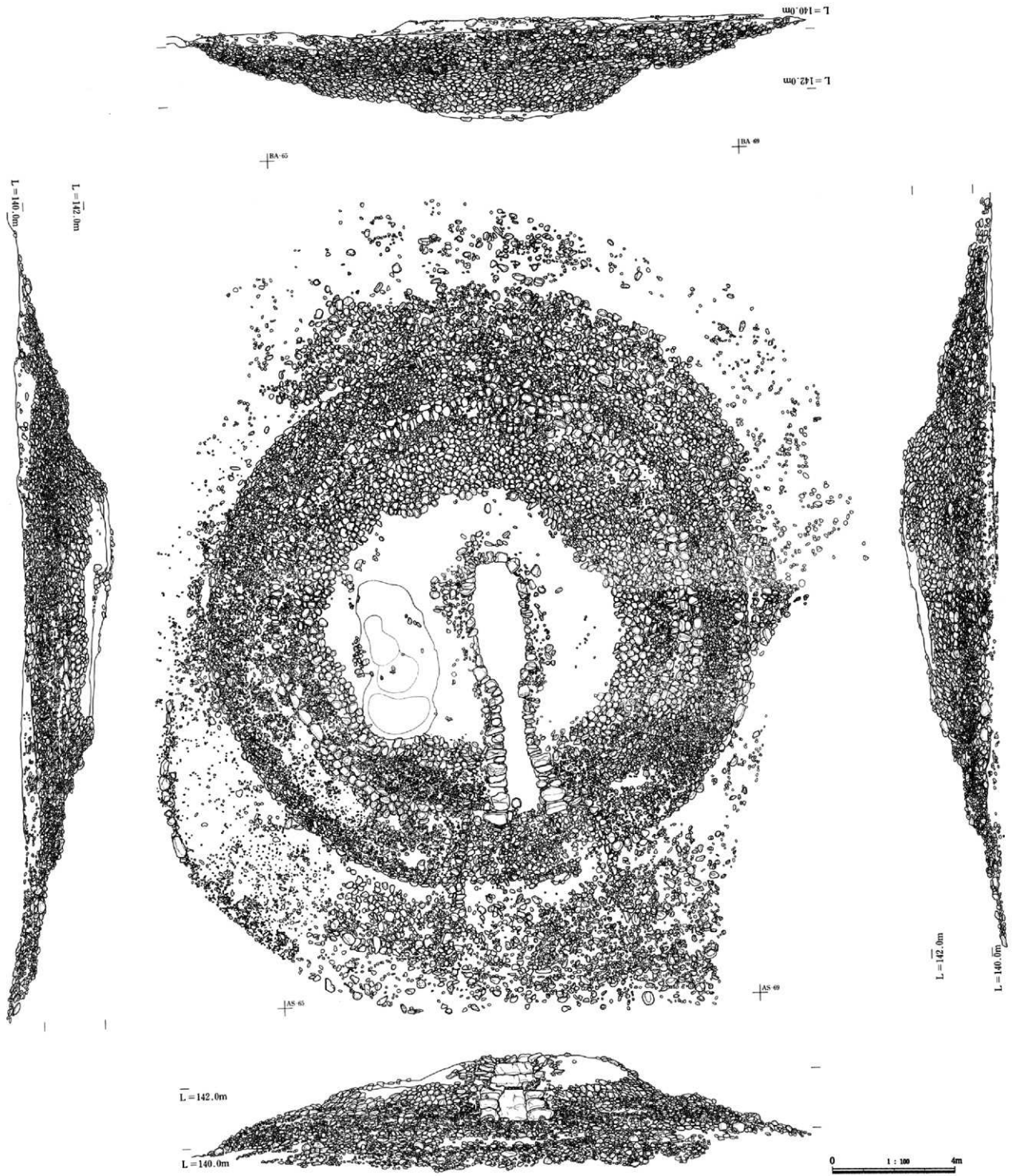


付図3 福島鹿嶋下遺跡全体図





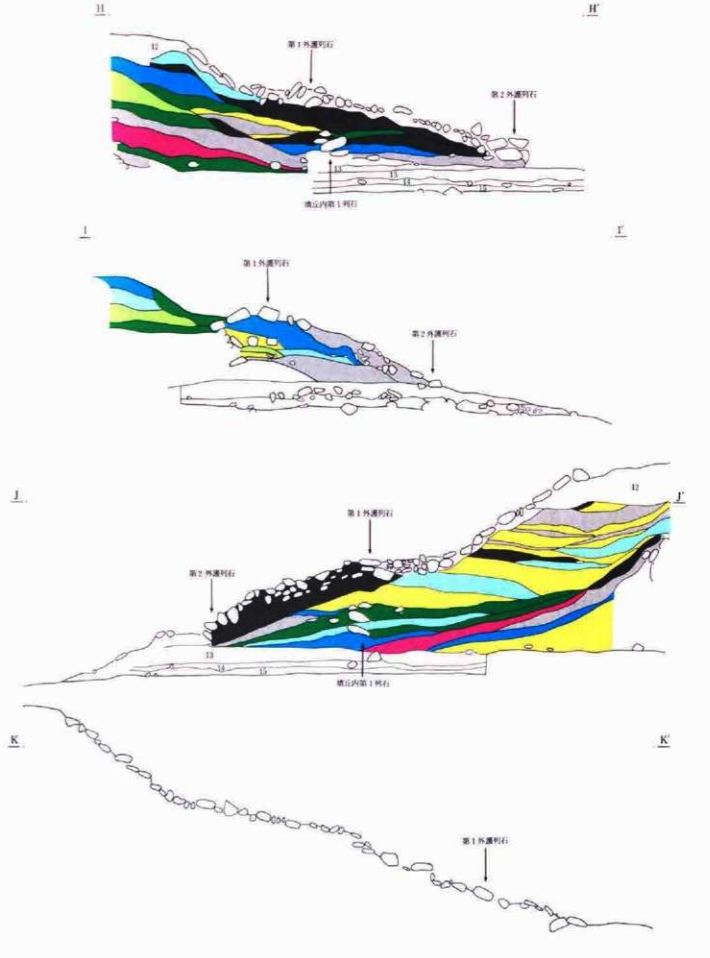
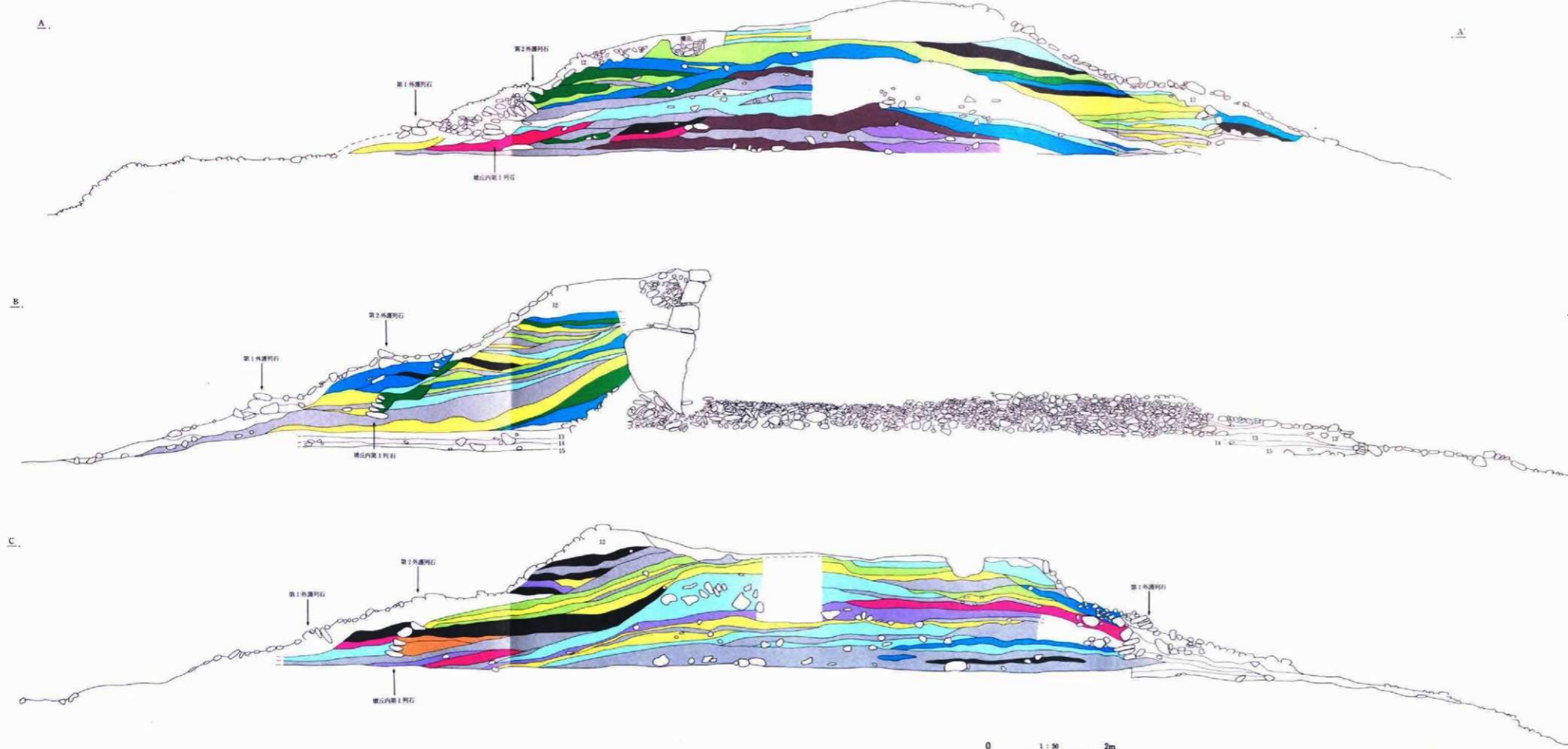
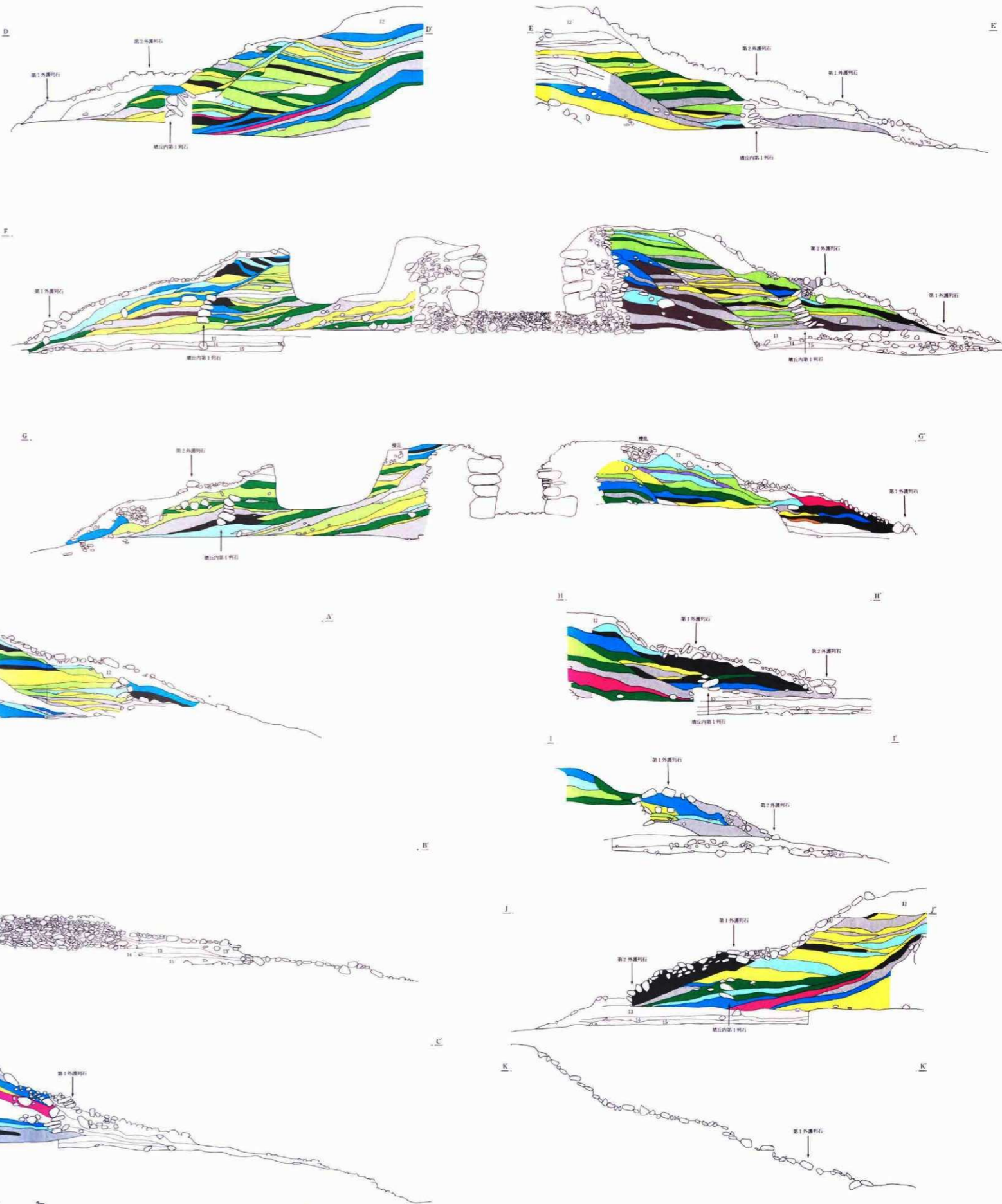
付図4 田篠塚原遺跡4号墳(しの塚古墳)墳丘図







- 1 コーム状の濃い黄褐色土。
- 2 粒子の細かい非粘性土主体の黄褐色土。
- 3 やや粘性のある粒子細かい黄褐色土。
- 4 黄褐色土、暗褐色土がブロック状に混入。
- 5 1と2の混土層、1が多い。
- 6 1と2の混土層、2が多い。
- 7 1と3の混土層、1が多い。
- 8 1と3の混土層、3が多い。
- 9 2と3の混土層、2が多い。
- 10 2と3の混土層、3が多い。
- 11 暗褐色土。
- 12 暗褐色土、非粘性土、2〜30cm程度の厚さの層状に混入。カキス、カキボシなども含む。砂質粘土。
- 13 黒色土、砂石、土器破片、小骨を含む。機軸層。
- 14 13に類似、黄褐色土を混入したもの。
- 15 暗イロ〜黒褐色土、13から15への移行層。
- 16 明黄褐色土、地山。





付図6 田篠塚原遺跡4号墳(しの塚古墳)石室平面図および展開図

